

1 6 . 道路標識

16.道路標識 [目 次]

1. 総則	16-1	11. 補助標識の設置	16-26
1-1 道路標識の様式	16-2	12. その他案内標識	16-27
1-2 道路標識の設置者区分	16-3	13. 案内標識設置の留意点	16-29
2. 道路標識の設置体系	16-4	13-1 交差点案内	16-29
2-1 道路標識の分類	16-4	13-2 立体交差・インター出口案内	16-29
2-2 案内標識の設置体系	16-4	13-3 高速道路等の通称名	16-33
2-3 道路の分類	16-5	13-4 案内標識と規制標識との調整	16-33
2-4 目標地の選定	16-5	13-5 道路線形表示	16-34
2-5 道路の分類と目標地	16-5	14. 歩行者案内標識	16-35
2-6 基準地の使用	16-5	14-1 設置場所・表示内容	16-35
2-7 目標地の選定例	16-6	14-2 歩行者のための誘導サイン計画	16-35
3. 道路標識の設置計画	16-8	14-3 標識面への張り紙、落書き防止対策	16-35
3-1 設置の基本	16-8	14-4 使用素材等	16-35
4. 標示板・文字の寸法等	16-10	14-5 概略案内地図・触知図	16-36
4-1 標示板及び文字等の基本寸法	16-10	14-6 視覚障害者誘導用ブロックについて	16-36
4-2 標示板材質等	16-11	15. 表示面の更新	16-37
4-3 道路標識に用いられる反射シートの種類	16-12	15-1 表示面全体を修正する場合	16-37
5. 標示板設置の留意事項	16-14	15-2 表示面を部分的に修正するか追加する場合	16-37
5-1 標示板の取付け角度及び積雪地域における鉛直度	16-14	16. レイアウト図	16-39
6. 標識柱	16-15	レイアウト図目次	16-40
6-1 設計条件	16-15	17. 構造図 路側式 [タイプA]	16-165
6-2 材料	16-15	18. 構造図 片持式 (オーバーハング式) [タイプB]	16-173
6-3 塗装	16-15	19. 構造図 門型式 (オーバーヘッド式) 単管型 [タイプC]	16-245
6-4 建柱様式	16-15	20. 構造図 門型式 (オーバーヘッド式) トラス型 [タイプD]	16-267
6-5 使用区分	16-15	構造図 [タイプD] 目次	16-268
6-6 管理用銘板の設置	16-16	21. 標識板背面構造図 (参考図)	16-395
6-7 美装化柱、張り紙防止塗装	16-16	22. 取付金具	16-399
7. 基礎	16-17	23. 基礎及び応力一覧表	16-411
8. 案内標識の留意点	16-18	23-1 応力一覧表及び直接基礎寸法表	16-412
8-1 経路案内	16-18	23-2 ケーソン式による基礎寸法表	16-419
8-2 地点案内	16-20	23-3 大型標識柱基礎の配筋例	16-426
9. 道路の付属施設の案内	16-23	24. 案内標識目標地一覧表	16-429
10. 交通バリアフリー法対応案内標識	16-24	25. 歩行者標識参考図例	16-441
10-1 エレベーター、エスカレーター、傾斜路	16-24		
10-2 乗合自動車停留所	16-24		
10-3 路面電車停留場	16-24		
10-4 便所	16-25		
10-5 設置における留意点	16-25		

総則		
型	式	

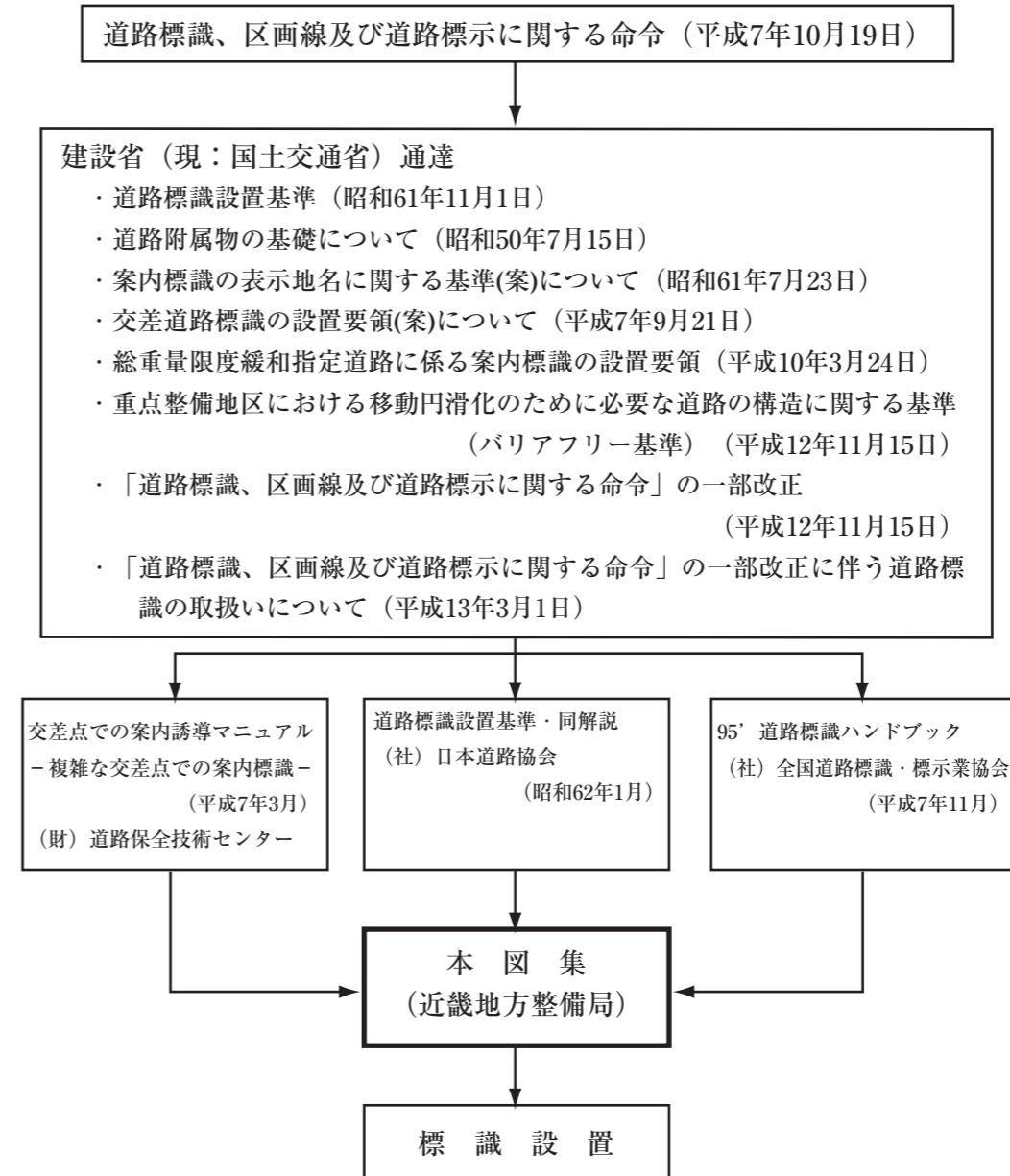
1. 総 則

目 的

この標準設計図は道路標識の設計に適用し、標示方法及び部材の基準を示すものである。

適 用 範 囲

位置付け



総則	
型式	

1-1 道路標識の様式 表-1-1

The image displays a wide variety of Japanese road signs, organized into a grid. The signs are color-coded and labeled with their respective categories and codes. Key categories include:

- Location and Directional Signs:** Signs for municipalities (e.g., 温泉町 Onsen Town), prefectures (e.g., 静岡県 Shizuoka Pref.), and cities (e.g., 東京都 Tokyo Met.).
- Directional and Distance Signs:** Signs indicating directions and distances to various locations like 国分寺 (Kokufuji), 熱海 (Atami), 沼津 (Numazu), 横浜 (Yokohama), 市ヶ谷 (Ichigaya), 池袋 (Ikubukuro), 池田 (Ikeda), and 京都 (Kyoto).
- Advance Directional Signs:** Signs for interchanges and junctions, such as 日本橋 (Nihonbashi) and 五反田 (Gotanda).
- Exit and Toll Gate Signs:** Signs for exits (e.g., 出口 EXIT) and toll gates (料金所 TOLL GATE).
- Service Area Signs:** Signs for parking (P), food and drink (fork and cup), and rest (bed and chair).
- Route and Distance Signs:** Signs for national routes (e.g., 142 ROUTE) and prefectural routes (e.g., 142 神奈川).
- Other Signs:** Signs for elevators (エレベーター), escalators (エスカレーター), and various parking facilities (バス, 電車).

案内標識

総則	
型式	

1-1 道路標識の様式 表-1-2

警戒標識		<p>上り急勾配あり(212の3)</p> <p>下り急勾配あり(212の4)</p> <p>道路工事中(213)</p> <p>横断歩道(214)</p> <p>動物が飛び出すおそれあり(214の2)</p> <p>その他の危険(215)</p>
		<p>車両横断禁止(312)</p> <p>幅員禁止(313)</p> <p>道路工事のための右折禁止(314)</p> <p>道路工事のための右折禁止(314の2)</p> <p>駐車禁止(315)</p> <p>駐車禁止(316)</p> <p>駐車禁止(317)</p> <p>時間制限駐車区画(318)</p> <p>危険物積載車両通行止め(319)</p> <p>重量制限(320)</p> <p>高さ制限(321)</p> <p>最大幅(322)</p> <p>最高速度(323)</p> <p>特定の種類の車両の最高速度(323の2)</p> <p>最低速度(324)</p> <p>自転車専用(325)</p> <p>自転車専用(325の2)</p> <p>自転車及び歩行者専用(325の3)</p> <p>歩行者専用(325の4)</p>
		<p>原動機付自転車の右折方法(二段階)(327の8)</p> <p>原動機付自転車の右折方法(小回り)(327の9)</p> <p>警備隊(328)</p> <p>警備隊(328の2)</p> <p>徐行(329)</p> <p>前方優先道路(329の2)</p> <p>一時停止(330)</p> <p>前方優先道路一時停止(330の2)</p> <p>歩行者通行止め(331)</p> <p>歩行者横断禁止(332)</p>
		<p>規制予告(409-A)</p> <p>規制予告(409-B)</p>
		<p>注意事項(510)</p> <p>路肩弱し</p> <p>最高速度 30</p> <p>規制理由(510の2)</p> <p>騒音防止区画</p> <p>歩行者横断多し</p> <p>対向車多し</p> <p>方向(511)</p> <p>方向(511)</p> <p>地名(512)</p> <p>小踏市本町</p> <p>地点(513)</p> <p>始点</p> <p>終点(514)</p>
	<p>ゾーン規制の表示方法</p>	<p>時間制限駐車区画表示板</p> <p>パーキングチケット発給設備表示板</p> <p>パーキングメーター表示板</p> <p>車輪止め装置取付け区画表示板</p>

総則	
型 式	

1-2 道路標識の設置者区分
表-2

分 類	種 類	設置者区部	
		道路管理者	公安委員会
案内標識	全種類	○	
警戒標識	全種類	○	
規制標識	通行止め	○	○
	車両通行止め	○	○
	車両進入禁止	○	○
	二輪の自動車以外の自動車通行止め	○	○
	大型貨物自動車等通行止め		○
	大型乗用車通行止め		○
	二輪の自動車原動機付き自転車通行止め		○
	自転車以外の軽車両通行止め		○
	自転車通行止め		○
	車両（組合せ）通行止め	○	○
	自動二輪車2人乗禁止		○
	指定方向外進入禁止	○	○
	車両横断禁止		○
	転回禁止		○
追い越しのための右側部分はみ出し通行禁止		○	
追越し禁止		○	
駐停車禁止		○	
駐車禁止		○	
駐車余地		○	
駐車時間制限		○	
危険物積載車両通行止め	○		
重量制限（道路法による道路に設置する場合）	○		
重量制限（道路法による道路以外の道路に設置する場合）		○	
高さ制限（道路法による道路に設置する場合）	○		
高さ制限（道路法による道路以外の道路に設置する場合）		○	

分 類	種 類	設置者区部	
		道路管理者	公安委員会
規制標識	最大幅	○	
	最高速度		○
	最低速度		○
	自動車専用	○	
	歩行者専用	○	○
	自転車専用	○	○
	自転車及び歩行者専用	○	○
	一方通行	○	○
	車両通行区分		○
	進行方向別通行区分		○
専用通行帯		○	
路線バス等優先通行帯		○	
警笛鳴らせ		○	
警笛区間		○	
徐行		○	
前方優先道路		○	
一時停止		○	
前方優先道路・一時停止		○	
歩行者通行止め		○	
歩行者横断禁止		○	
指示標識	並進可		○
	軌道敷内通行可		○
	駐車可		○
	停車可		○
	優先道路		○
	中央線		○
	横断歩道		○
	自転車横断帯		○
安全地帯		○	
規制予告	○	○	
補助標識	全種類	○	○

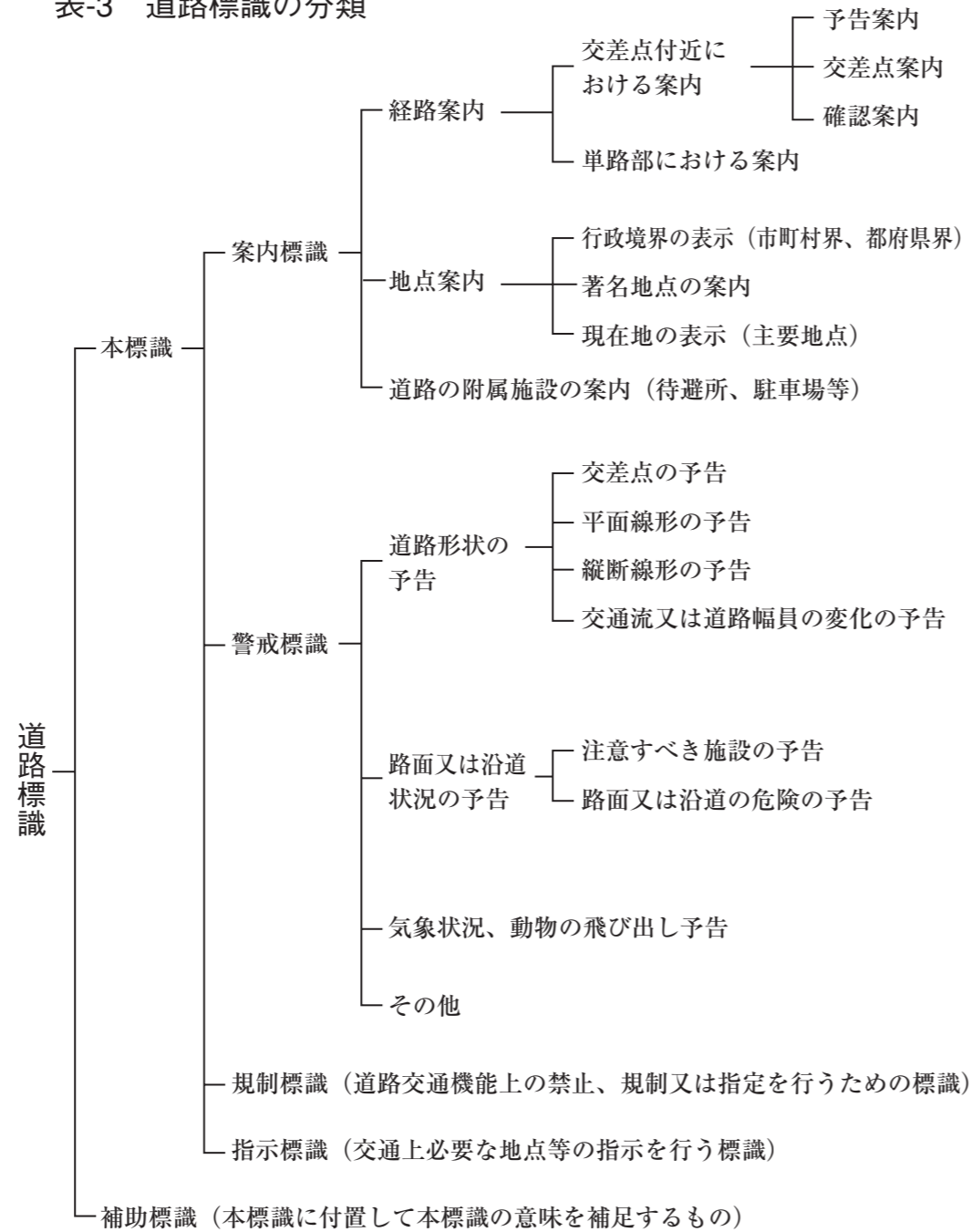
道路標識の設置体系	
型 式	

2. 道路標識の設置体系

2-1 道路標識の分類

道路標識は各種標識の機能に応じ、表-3のように分類される

表-3 道路標識の分類



2-2 案内標識の設置体系

案内標識は道路の利用者に対し、目的の方面、方向、距離、現在地、道路の附属施設等を案内するものであり、当該道路及び交差道路の種類に応じて標識の体系的な整備を図ることが重要である。

表-4 案内標識の設置体系

	交差点付近	単路部	地点	道路附属施設等
予告案内 (交差点流入部)	方面及び方向の予告 (108-A,B) 方面、方向及び道路の通称名の予告 (108の3)	方面及び距離 (106-A) 国道番号 (118-A) 道路の通称名 (119-C)	市町村 (101) 都府県 (102-A) 著名地点 (114-A) 主要地点 (114の2-A,B) 道路の通称名 (119-A,B,C) ----- 歩行者用 著名地点 (114-B) 主要地点 (インターチェンジ名) (114の2-A)	非常電話 (116の2) 待避所 (116の3) 非常駐車帯 (116の4) 駐車場 (117-A) 登坂車線 (117の2-A) 施設 (121-A~C) (122-A~C) (123-A~C) (126-A~C) 停留所 (124-A~C) (125-A~C) ----- (規定外) チェーン着脱場 誘導表示板 トンネル名 トンネル出口 峠名 通行規制区間 路側通信 工事事務所及び出張所 道の駅 国道情報連絡所
交差点案内 (交差点)	方面及び方向 (108の2-A,B) 方面、方向及び道路の通称名 (108の4) ※方面、方向及び距離 (105-A,B,C) ※国道番号 (118-A,B,C) ※都道府県道番号 (118の2-B,C) ※総重量限度緩和指定道路 (118の3-A,B) ※まわり道 (120-A,B)			
確認案内 (交差点流出部)	方面及び距離 (106のA) ※国道番号 (118-A) ※都道府県道番号 (118の2-A) ※道路の通称名 (119-A,B,C)			

※ 必要に応じ設置するもの。

型 式	
-----	--

2-3 道路の分類

道路を、その道路が全体の道路網の中で果たすべき機能に着目して、次の三つに分類する。

ア. 主要幹線道路

主として地方生活圏及び大都市圏内の骨格となるとともに、高速自動車国道を補完して生活圏相互を連絡する道路をいう。

イ. 幹線道路

地方部にあっては、主として地方生活圏の二次生活圏の骨格となるとともに、主要幹線道路を補完して、二次生活圏相互を連絡する道路をいう。

都市部にあっては、その骨格及び近隣住区の外郭となる道路をいう。

ウ. 補助幹線道路

地方部にあっては、主として地方生活圏の一次生活圏の骨格となるとともに幹線道路を補完し、一次生活圏相互を連絡する道路をいう。

都市部にあっては近隣住区内の幹線となる道路をいう。

表-5 主として対応する分類

道路の種類 道路の分類	一般国道		県 道		市 道
	指定区間	指定区間外	主要地方道	一般県道	主要な市道
主要幹線道路	●	●	○		
幹線道路		○	●	○	○
補助幹線道路			○	●	●

●：主たる対応 ○：ありうる対応

注) 市道で主要な市道とは、政令指定都市、県庁所在地等の主要な市道

2-4 目標地の選定

目標地は、標識を設置する道路の性格、周辺の道路網、目標候補地の間隔等を考慮して選定する。目標候補地は重要地・主要地・一般地に分類され、昭和61年7月「道路案内標識の目標地」の表示地名一覧より選定する。(別添)

ただし、一般地のその他地名については、道路網整備等により対応しきれないため、表示地名一覧にこだわらず選定しても良い。

2-5 道路の分類と目標地

道路分類に対応する目標地としては表-6による。

表-6

目標地 道路の分類	重要地	主要地	一般地
主要幹線道路	◎	○	⊙
幹線道路	◎	◎	○
補助幹線道路	◎	◎	◎

注) ◎：第一ランク (原則として用いる地名)
○：第2ランク (2地名表示の場合に用いる地名)
⊙：必要に応じて

交差道路については、道路の分類に応じて、表で示されている第一ランク地名のうち、最も近いものを表示することを原則とする。

2-6 基準地の使用

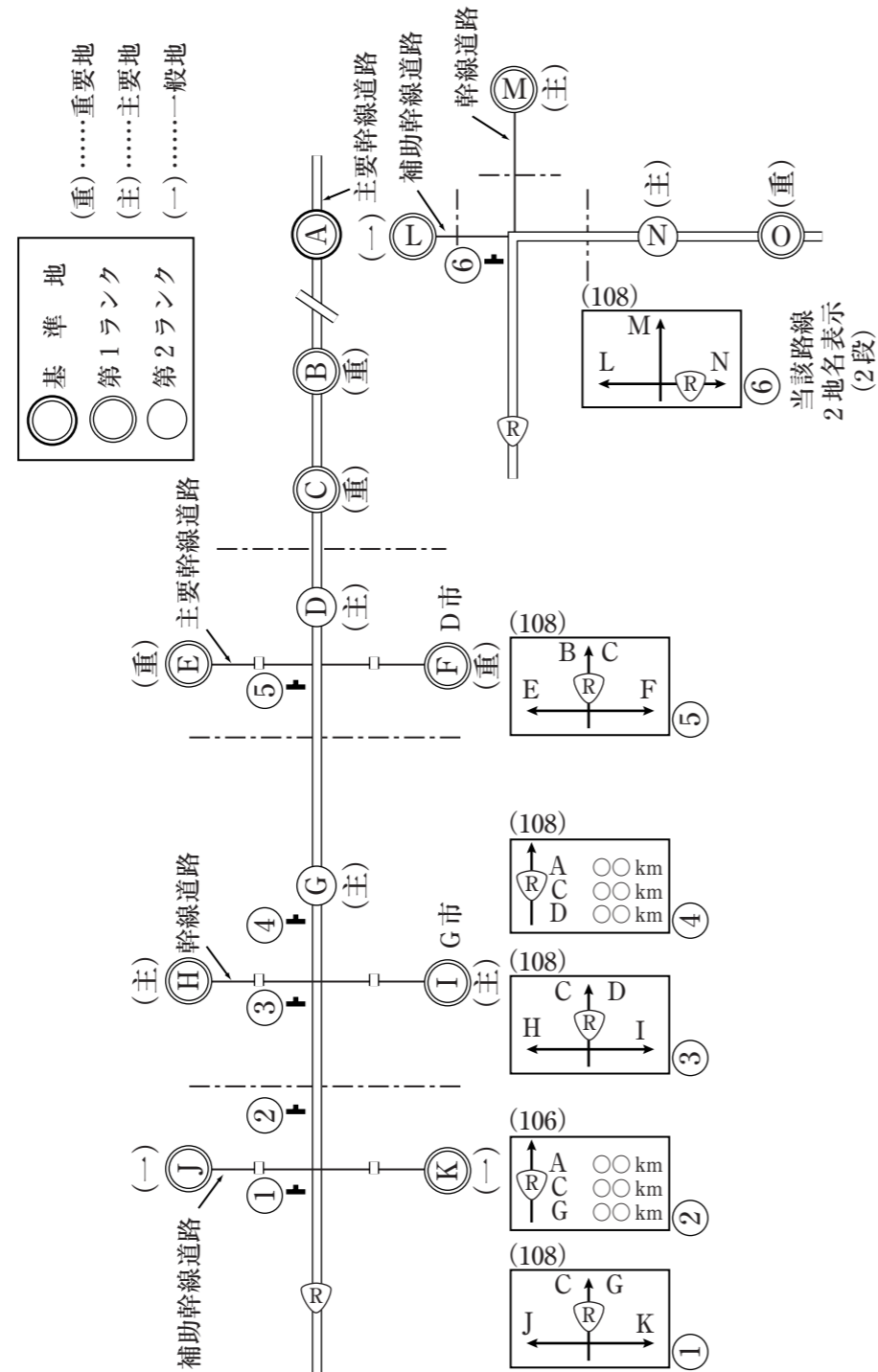
トリップ長の長い交通が多く通行する主要幹線道路においては、重要地の中から特に主要な都市を基準地として選定(おおむね1県1都市)し、その基準地を確認案内標識(106-A)で案内することが望ましい。

この場合は、基準地、最も近い第1ランク地名、最も近い第2ランク地名(又は、2番目に近い第1ランク地名)の3段表示となり、上段から順次、距離の遠い地名を表示する。2-7に目標地の選定の例を図示する。

型 式	
-----	--

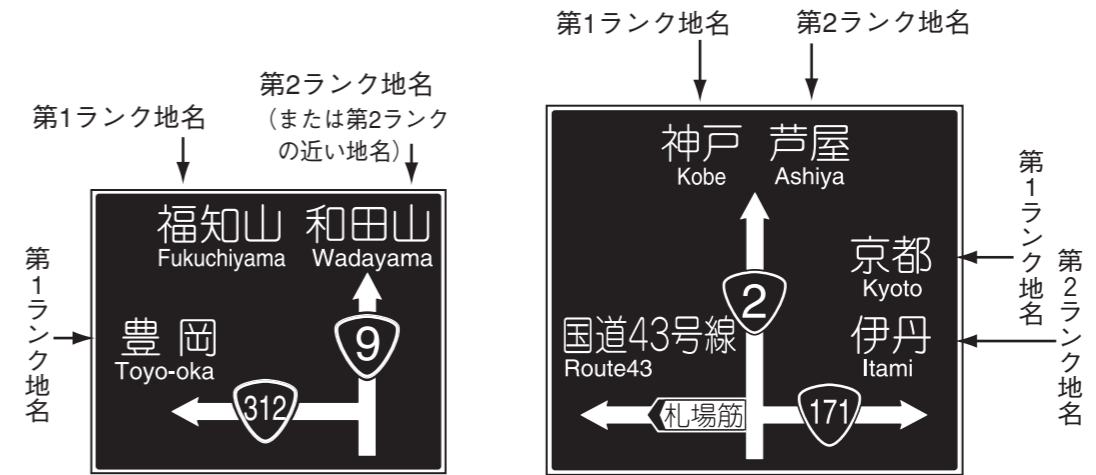
2-7 目標地の選定例

図-1 目標地の選定の例



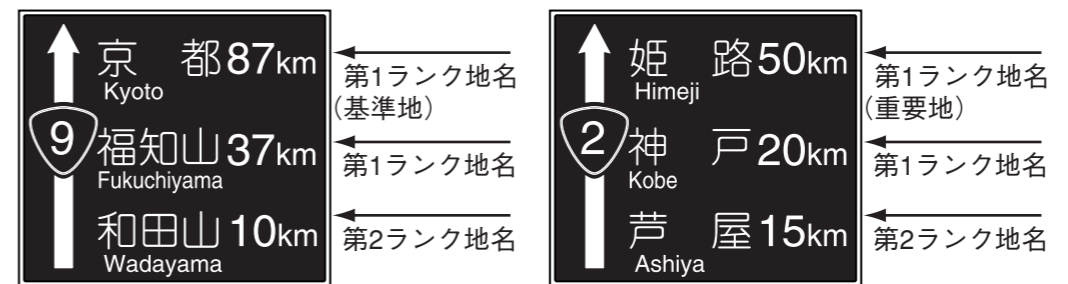
- (1) 108系の当該道路方向（当該道路が屈折している場合を含む）は、2地名表示を原則とする。
 また、交差道路方向は1地名表示とするが、交差道路が主要幹線道路等の場合2地名表示とすることができる。

図-2 108系目標地の選定



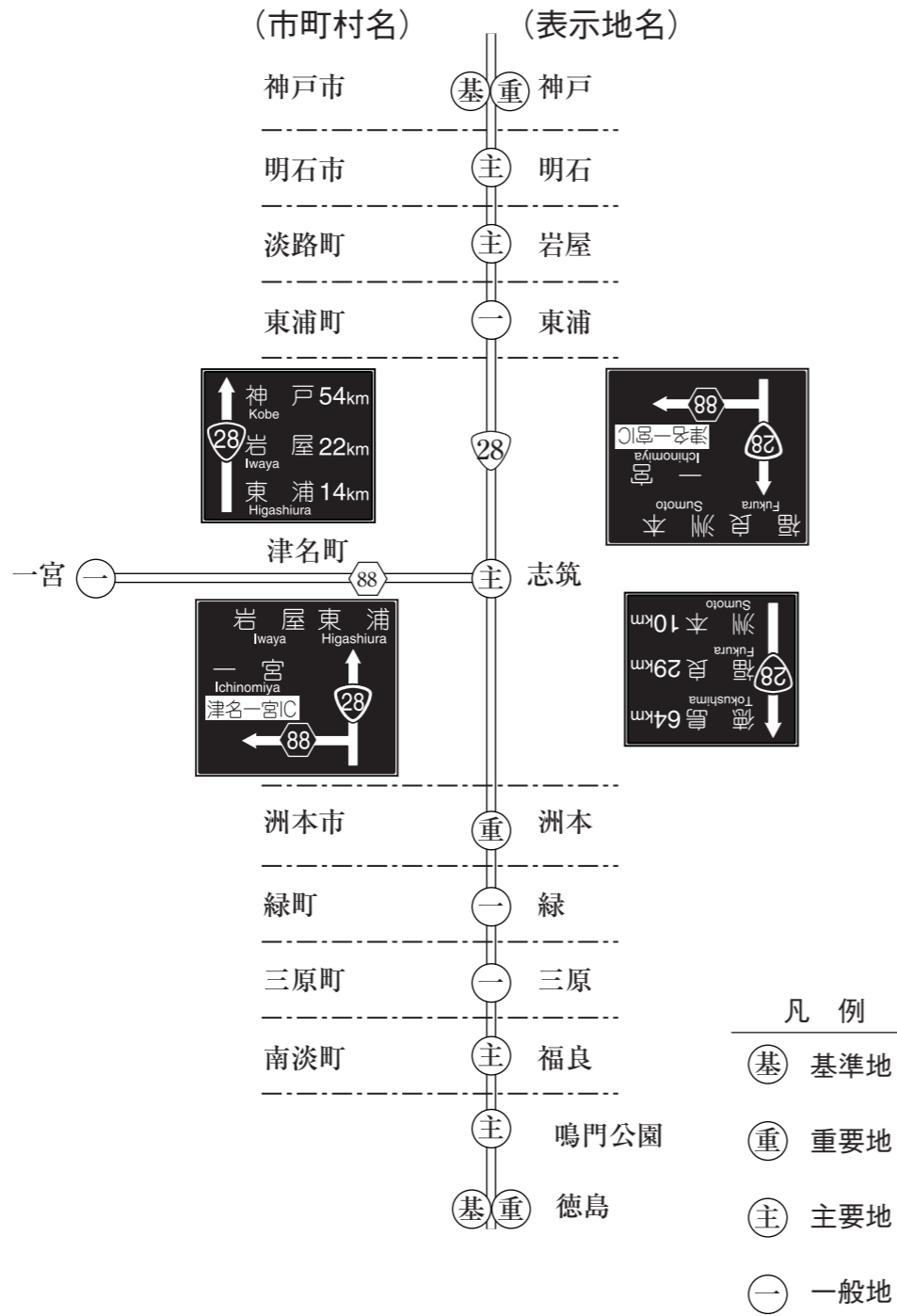
- (2) 106系の地名表示方法は図-3による。
 基本的には3地名表示とする。

図-3 106系目標地の選定



型 式	
-----	--

[例]



型 式		

3. 道路標識の設置計画

3-1 設置の基本

3-1-1) 設置場所の選定

道路標識の設置場所の選定に際しては、下記の事項に留意しなければならない。

- (1) 道路利用者の行動性を配慮し、視認距離、判読距離、ドライバーの行動範囲等を十分に検討し適切な場所に設置する。
- (2) 道路標識の視認性が妨げられないよう、道路の附属施設、占用物件等の設置状況及び新設計画を検討のうえ適切な場所に設置する。
- (3) 沿道からの道路利用者にとって、支障とならない設置場所を選定する。
- (4) 運転者が安全に交差点部を通過するために、必ずしも交差点部に設置する必要のない標識は、交差点部は極力避け、運転者の視界を妨げることをしないよう配慮する。
- (5) 道路標識が交通の障害とならないこと。この場合の留意事項は、建築限界を侵さないこと、道路構造に支障を及ぼさないこと、既設の信号機及び標識の視認性を妨げないこと、沿道住民に対して支障を及ぼさないこと、標識が損傷を受ける恐れが少ないこと等である。

3-1-2) 設置方式及び建築限界等

[1] 設置方式

設置方式は下記のように分類する。

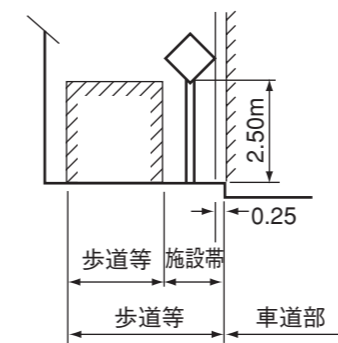
- ①路側式 → 図集タイプA
単柱型、複柱型
- ②片持式（オーバーハング式） → 図集タイプB
逆L型、F型、WF型
- ③門型式（オーバーヘッド式） → 単管型：図集タイプC
単管型、トラス型 トラス型：図集タイプD
- ④添架式
歩道橋添架、信号機添架

[2] 建築限界

歩道等に標識を設置する場合は、建築限界のみを考えればよいが、標識板・柱の事故破損を防ぐため25cm以上を確保するのが望ましい。

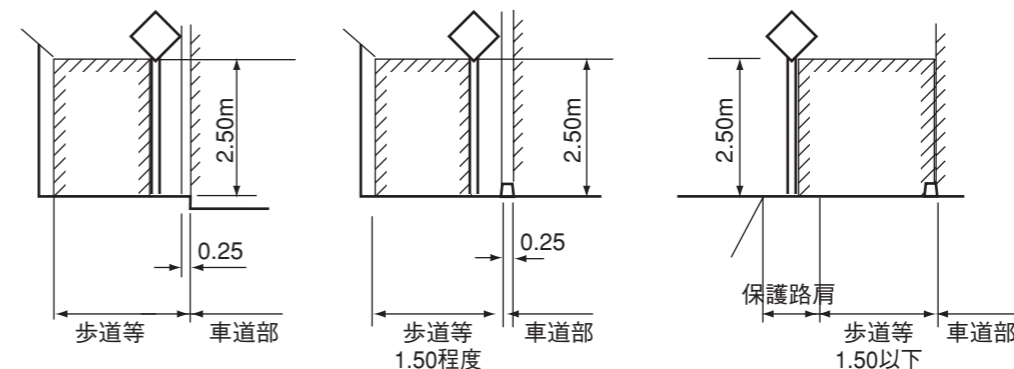
①路側式（単柱型）

1) 歩道部に施設帯のある場合



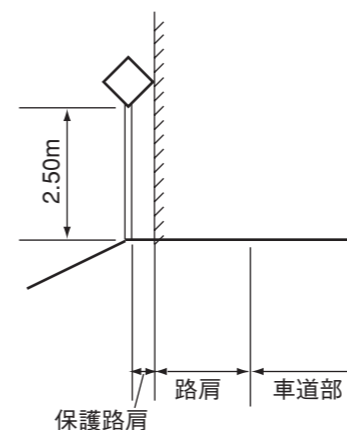
(凡例) 建築限界線

2) 歩道部に施設帯のない場合

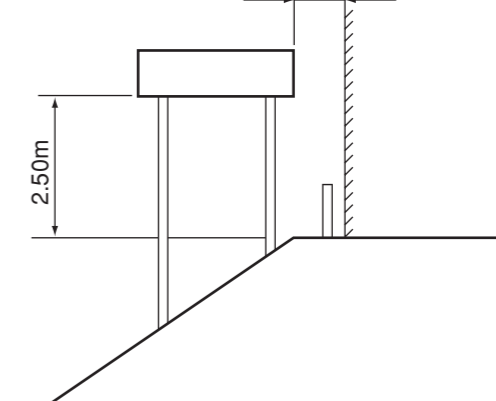


歩道部の車道側に設置するのが原則とするが、歩道部の機能上好ましくない場合は、標識の視認性を検討して外側部に設置してもよい。

3) 歩道等を有しない場合



4) 複柱型の場合

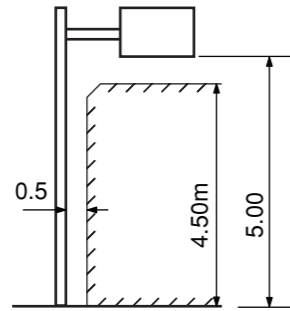


型 式	
-----	--

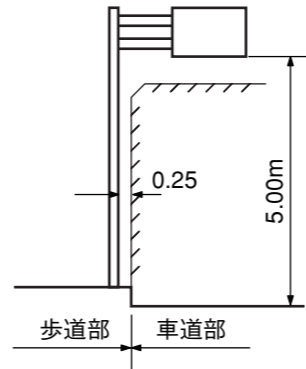
②片持式（オーバーハング式）

(凡例) 建築限界線

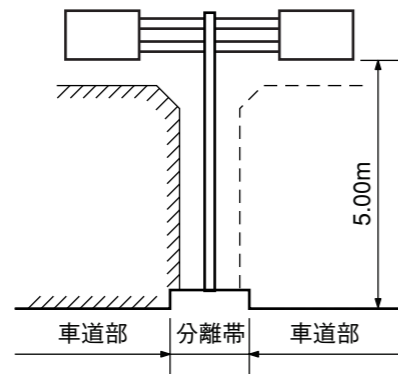
(逆L型)



(F型)

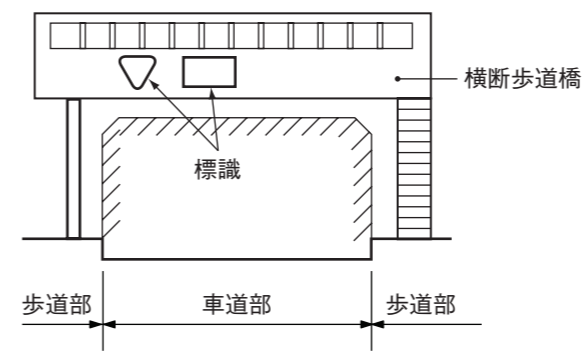


(WF型)

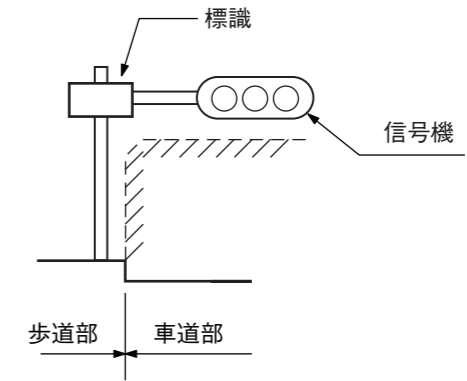


④添架式

(歩道橋)

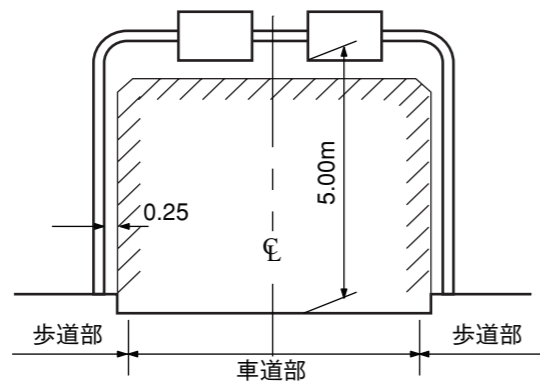


(信号機)

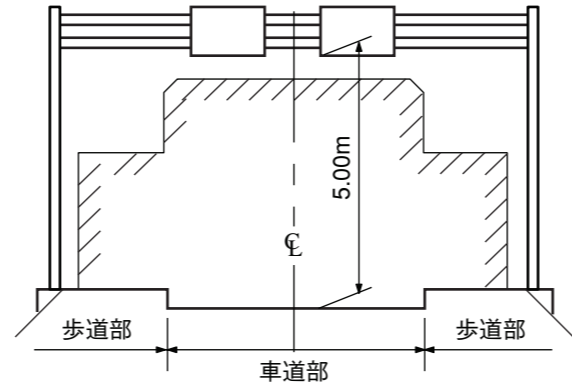


③門型式（オーバーヘッド式）

(単管型)



(トラス型)



型 式	
-----	--

4. 標示板・文字の寸法等

4-1 標示板及び文字等の基本寸法

標示板の基本寸法は、文字数の変化により定まるものと、文字数や記号を一定として標示板の寸法を定めたものとに分けられる。警戒、規制、指示標識については標識令で標示板の基本寸法が定められている。

4-1-1) 標識令により寸法が定められている案内標識

案内標識のうち表-7は、標識令により標示板及び文字等の基本寸法が定められている。

表-7

非常電話	116の2
待避所	116の3
非常駐車帯	116の4
駐車場	117-A,B
登坂車線	117の2-A,B
国道番号（及び交差道路標識）	118-A,B,C
都道府県道番号（及び交差道路標識）	118の2-A,B,C
総重量限度緩和指定番号	118の3-A,B
道路の通称名	119-A,B,C
まわり道	120-A
エレベーター	121-A,B,C
エスカレーター	122-A,B,C
傾斜路	123-A,B,C

4-1-2) 車線等による倍率

表-8 車線数等による倍率

	基本寸法 (1.0倍)	路 側		頭上式
		片側1車線	片側 2車線以上	
国道番号 (118-A)	450×432.5	1.3 倍	1.6 倍	2.0 倍
道路の通称名 (119-A~C)	240×800	1.0	2.0	2.0
交差道路標識 (118-B・C) (118の2-B・C)	270×800	1.0	1.5	2.0
警戒標識	450×450	1.3	1.6	2.0

4-1-3) 漢字の大きさ

漢字の大きさの基本は下記によるが、視認性を考慮して拡大しても良い。

路側式	20cm
片持式、門型式、添架式	30cm
114-B	10cm又は20cm

4-1-4) ローマ字及び数字の大きさ

表-9

ローマ字		数 字 (距離)		
大文字	小文字	105-A,B,C 106-A	108系	114系
漢字の大きさの 1/2	大文字の大きさの 3/4程度	漢字の大きさの 1.0倍	漢字の大きさの 0.7倍	漢字の大きさの 0.5倍

※文字（漢字）の間隔は、漢字の大きさの1/10以上とする。

4-1-5) 標示板の寸法






標示板の寸法は、表示する地名数等により決定する。

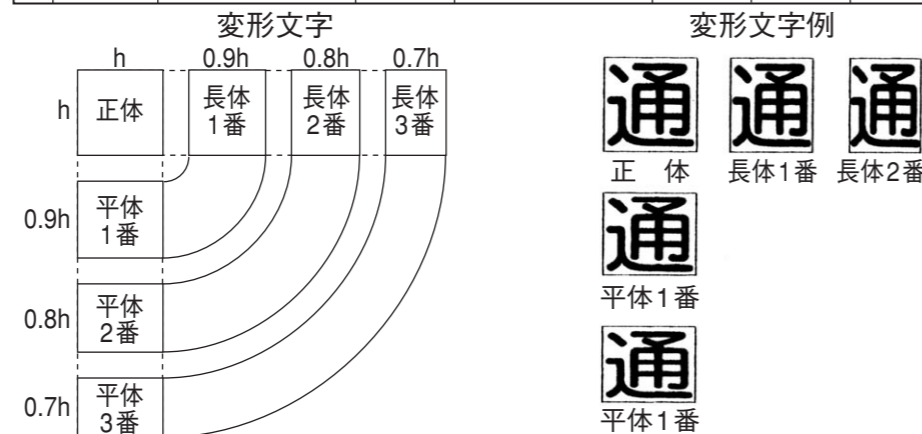
型 式	
-----	--

4-1-6) 文字の形等

1. 字体 漢字の字体は常用・人名漢字表の字体に準ずる。
常用・人名漢字以外の漢字は旧漢字にする。
ただし、漢字の偏のうち、**辶**、**冫**、**宀**の3部分字体については、常用漢字の**辶**、**冫**、**宀**を用いる。
また、俗字や点画を簡略化した文字は使用しないものとする。
2. 書体 漢字、ローマ字、数字の書体は表-10による。

表-10 書体の分類

字 体	漢 字		ローマ字		数 字				
	地色→青色 文字→白色 (105, 106, 114, 118)	地色→白色 文字→青色 (101, 102, 114, 118の3-A, Bなど)	地名表記	118-A	(105, 106, 114)の距離に使用するkm	(105, 106, 108, 118のB, C, 118の2-B, C)の国道番号、都道府県道番号	(108)の予告118の3-A, B	(105, 106, 114)の距離	(118)の番号
形 体			 Kobe	ROUTE 14 km		 300m			
書 体	ナールD	ナールDB	ヘルベチカ・デミボールド		ヘルベチカ・デミボールド		ヘルベチカ・レギュラーコンダンス	ヘルベチカ・デミボールド	
形 体	原則として使用するもの	正体	長体1番	長体2番	・1桁→長体1番 ・2桁の「1」を含む番号→長体2番	長体1番	正体		
	状況により用いることのできるもの	長体1番、長体2番 平体1番、平体2番 なるべく1番にとどめることが望ましい。	長体2番		・2桁の「1」を含まない番号及び3桁の番号→長体3番			1桁、2桁→正体 3桁→長体1番	



4-2 標示板材質等

4-2-1) 材料

標示板に使用する材料は表-11に適合するものとする。

表-11

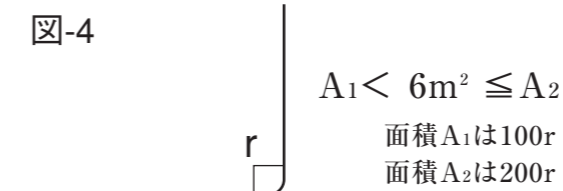
種 別	名 称	規 格
基 板	アルミニウム合金板	JIS-H-4000 (A5052P)
補強材 (リブ)	アルミニウム合金押出型材	JIS-H-4100 (A6063S)
取付用ブラケット	アルミニウム合金押出型材	JIS-H-4100 (A6063S)
鋼 材	一般構造用圧延鋼材	JIS-G-3101 (SS400)
ボ ル ト	六角ボルト (ステンレス)	SUS304
ナ ッ ト	六角ボルト (ステンレス)	SUS304

2-2) 塗装

- ① 標示板裏面には、塗装を施さないことを原則とするが、美観を考慮して塗装を施すことができる。
- ② 附属品のうち、鋼材のものについては溶融亜鉛メッキ (JIS-H-8641, HDZ35) を施す。

4-2-3) 案内標識板のR化

基板の四角をR化型する場合は、図-4を基本とする。



4-2-4) 標示の反射様式

標示の反射様式は次の通りとする。

表-12

種 別	反射様式	備 考
案 内 標 識	高輝度全面反射 (カプセルレンズ型)	広角プリズム型反射も可
警 戒 標 識	高輝度全面反射 (カプセルレンズ型) (黒色部無反射)	広角又は蛍光広角プリズム型反射も可
規 制 標 識	高輝度全面反射 (カプセルレンズ型)	広角プリズム型反射も可
その他の標識	高輝度全面反射 (カプセルレンズ型)	広角又は蛍光広角プリズム型反射も可
管 理 銘 板	普通全面反射 (封入レンズ型)	手貼り用シート

型 式	
-----	--

4-3 道路標識に用いられる反射シートの種類

4-3-1) 広角プリズム型反射シート

① 反射性能

反射性能は表-13に示す値以上でなければならない。

表-13

観測角	入射角	白	黄	赤	青	緑
12'	5°	430	350	70	30	45
	30°	235	190	45	16	23
20'	5°	300	250	45	20	33
	30°	150	130	20	10	18
1°	5°	80	65	12	4	9
	30°	50	40	8	2.5	5

※単位：cd/lux/sqm
※試験及び測定の方法は、JIS Z 9117による。

② 色

色は表-14に示す色度座標の範囲とする。

表-14

色	色度座標の範囲								Y値の限界(%)	
	1		2		3		4			
	x	y	x	y	x	y	x	y	上限	下限
白	0.305	0.305	0.355	0.355	0.335	0.375	0.285	0.325	-	40
黄	0.487	0.423	0.545	0.454	0.465	0.534	0.427	0.483	45	20
赤	0.690	0.310	0.595	0.315	0.569	0.341	0.655	0.345	15	3
青	0.078	0.171	0.150	0.220	0.210	0.160	0.137	0.038	10	1
緑	0.030	0.398	0.166	0.364	0.286	0.446	0.201	0.776	9	2

※色度座標は標準の光D65による。
※試験及び測定の方法は、JIS Z 8722による。

③ 耐候性

適正な加工方法により作成された広角プリズム型反射シート道路標識の耐候性は、10ヶ年屋外にさらされても著しいひび割れ、剥がれが生じてはならず、その反射性能は、表-13の数値の50%以上を維持し、色は、表-14の色度座標の範囲内とする。

④ その他

接着性	800g/25mmの静荷重を5分間かけて、貼付けした試験片 (Al) から、50mm以上はがれないこと。
収縮性	10分間で0.8mm以上、24時間で3.2mm以上収縮しないこと。

4-3-2) 蛍光広角プリズム型反射シート

表-15

① 反射性能

反射性能は表-15に示す値以上でなければならない。

観測角	入射角	蛍光黄	蛍光黄緑
12'	5°	275	375
	30°	160	225
20'	5°	190	270
	30°	95	135
2°	5°	50	75
	30°	30	45

※単位：cd/lux/sqm
※試験及び測定の方法は、JIS Z 9117による。

② 色

色は表-16-1に示す色度座標の範囲とする。

表-16-1

色	色度座標の範囲							
	1		2		3		4	
	x	y	x	y	x	y	x	y
蛍光黄	0.521	0.424	0.557	0.442	0.479	0.520	0.454	0.491
蛍光黄緑	0.387	0.610	0.460	0.540	0.421	0.486	0.368	0.539

※反射シートの輝度率は、表-16-2に示す範囲とする。

表-16-2 輝度率

色	輝度率Y _T		輝度率Y _F	
	上限	下限	上限	下限
蛍光黄	-	40.0	-	25.0
蛍光黄緑	-	60.0	-	35.0

※色度座標は、標準の光D65による。

③ 耐候性

適正な加工方法により作成された蛍光広角プリズム型反射シート道路標識の耐候性は、10ヶ年屋外にさらされても著しいひび割れ、剥がれが生じてはならず、その反射性能は、表-15の50%以上を維持し、色は、表-16-1の色度座標の範囲内とし、輝度率は表-17の範囲内とする。

表-17 耐候後輝度率

色	全輝度率Y _T		蛍光輝度率Y _F	
	上限	下限	上限	下限
蛍光黄	-	35.0	-	20.0
蛍光黄緑	-	50.0	-	20.0

※色度座標は、標準の光D65による。

④ その他

接着性	800g/25mmの静荷重を5分間かけて、貼付けした試験片 (Al) から、50mm以上はがれないこと。
収縮性	10分間で0.8mm以上、24時間で3.2mm以上収縮しないこと。

型 式	
-----	--

4-3-3) カプセルレンズ型反射シート

① 反射性能

反射性能は表-18に示す値以上でなければならない。

表-18

観測角	入射角	白	黄	赤	青	緑
12'	5°	250	170	45	20	45
	30°	150	100	25	11	25
20'	5°	180	122	25	14	21
	30°	100	67	14	8	12
2°	5°	5	3	0.8	0.3	0.6
	30°	2.5	1.8	0.4	0.1	0.3

※単位：cd/lux/sqm

※試験及び測定の方法は、JIS Z 9117による。

② 色

色は表-19に示す色度座標の範囲とする。

表-19

色	色度座標の範囲								Y 値の限界(%)	
	1		2		3		4			
	x	y	x	y	x	y	x	y	上限	下限
白	0.303	0.287	0.368	0.353	0.340	0.380	0.274	0.316	-	27
黄	0.498	0.412	0.557	0.442	0.479	0.520	0.438	0.472	40	15
赤	0.613	0.297	0.708	0.292	0.636	0.364	0.558	0.352	11	2.5
青	0.144	0.030	0.244	0.202	0.190	0.247	0.066	0.208	10	1
緑	0.030	0.380	0.166	0.346	0.286	0.428	0.201	0.776	8	3

※色度座標は標準の光D65による。

※試験及び測定の方法は、JIS Z 8722による。

③ 耐候性

適正な加工方法により作成されたカプセルレンズ型の反射シート道路標識の耐候性は、屋外暴露試験（南面鉛直）を10ヶ年、もしくは促進耐候性試験（屋外暴露南面45°）を4ヶ年行った後、著しいひび割れ、剥がれが生じてはならず、その反射性能は、表-18の数値の80%以上を維持し、色は、表-19の色度座標の範囲内とする。

④ その他

接着性	800g/25mmの静荷重を5分間かけて、貼付けした試験片（Al）から、50mm以上はがれないこと。
収縮性	10分間で0.8mm以上、24時間で3.2mm以上収縮しないこと。

4-3-4) 封入レンズ型反射シート

① 反射性能

反射性能は表-20に示す値以上でなければならない。

表-20

観測角	入射角	白	黄	赤	青	緑
12'	5°	70	50	15	4	9
	30°	30	22	6	1.7	3.5
20'	5°	50	35	10	2	7
	30°	24	16	4	1.0	3
2°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6
	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3

※この表は、日本工業規格JIS Z 9117（安全保安用シート及びテープ）によるものである。

② 色

色は表-21に示す色度座標の範囲とする。

表-21

色	色度座標の範囲								輝度率 (β) 下限値	色の参考値
	1		2		3		4			
	x	y	x	y	x	y	x	y		
白	0.363	0.372	0.319	0.318	0.297	0.335	0.340	0.390	0.35	5.0YG7/1
黄	0.532	0.468	0.493	0.453	0.467	0.481	0.492	0.508	0.27	2.5Y 6/15
赤	0.722	0.278	0.608	0.323	0.580	0.363	0.654	0.346	0.05	10.0R 3/15
青	0.103	0.138	0.151	0.192	0.197	0.151	0.162	0.063	0.01	5.0PB1/10
緑	0.101	0.492	0.191	0.441	0.157	0.379	0.116	0.387	0.04	10.0G 3/10

※この表は、日本工業規格JIS Z 9117（安全保安用シート及びテープ）によるものである。

③ 耐候性

適正な加工方法により作成された封入レンズ型の反射シート道路標識の耐候性は、7ヶ年屋外にさらされても著しいひび割れ、剥がれが生じてはならず、その反射性能は、表-20の数値の80%以上を維持し、色は、表-21の色度座標の範囲内とする。

④ その他

接着性	800g/25mmの静荷重を5分間かけて、貼付けした試験片（Al）から、50mm以上はがれないこと。
収縮性	10分間で0.8mm以上、24時間で3.2mm以上収縮しないこと。

※上記の性能は、道路標識ハンドブックの規格に適合している。

5. 標示板設置の留意事項

5-1 標示板の取付け角度及び積雪地域における鉛直度

標示板の取付け角度は「著名地点（114-B）、国道番号（118-B,C）、都道府県道番号（118の2-B,C）、エレベーター等（121～126-A～C）」を除いて表-22のとおりとする。

表-22 路側式標識の取付け角度

標識の種類	取付角度	例 図
案内標識及び警戒標識	道路とほぼ直角	
規制標識及び指示標識	一般的な場合（下記以外）	
	一方通行（326-A）	(1) (2)
	車道の中央に設ける場合	

片持式及び門型式の取付角度は原則として直角とする。
沿角度については一般的に $0^{\circ} \sim 5^{\circ}$ とする。ただし、積雪地域においては 15° 程度傾けて標示板への着雪を防止する。
また、落雪による事故防止のため背面リブを隠すか屋根の設置等の対策を講ずること。

型 式	
-----	--

6. 標識柱

6-1 設計条件

標識柱の計算は設計条件を次の通りとする。

表-23

		路側式	片持・門型式	
一 般 事 項	風 速 (V) [地上部] ※	40m/s	50m/s	
	速度圧 (P) [地上部] ※	982 N/m ²	1534 N/m ²	
	風 速 (V) [高架部] ※	60m/s	65m/s	
	速度圧 (P) [高架部] ※	2209 N/m ²	2592 N/m ²	
	抗 力 係 数	部材種別		抗力係数
		標識板		1.2
		丸管		0.7
		丸管 (二重構造)		0.7 × 2
		標識板重量	196 N/m ²	196 N/m ²
		標識柱重量	支柱・梁・たて梁 (ベース・フランジ等含まず)	
	受圧面積	正面・45° 側面 (m ²)	正面・45° 側面 (m ²)	
許 容 力 度	SS400・STK400 引張り・曲げ	長期 = 156 N/mm ² 短期 = 235 N/mm ²	長期 = 156 N/mm ² 短期 = 235 N/mm ²	
	SS400ベアリングプレート など面外に曲げを受ける板	長期 = 180 N/mm ² 短期 = 270 N/mm ²	長期 = 180 N/mm ² 短期 = 270 N/mm ²	
	SS400ボルト引張り	長期 = 120 N/mm ² 短期 = 180 N/mm ²	長期 = 120 N/mm ² 短期 = 180 N/mm ²	
	SS400・STK400 割増係数	長期 = 短期 × 1/1.5 短期 = 長期 × 1.5	長期 = 短期 × 1/1.5 短期 = 長期 × 1.5	

※P=V²/1.63

6-2 材料

標識柱に使用する材料は表-24の規格に適合するものとする。

表-24

種 別	名 称	規 格	摘 要
鋼管	一般構造用炭素鋼管	JISG3444 (STK400)	直管
テーパポール	一般構造用圧延鋼材	JISG3101 (SS400)	
鋼板	"	"	ベースプレート等
ボルト	"	"	

6-3 塗装

標識柱・付属品及びボルト類は溶融亜鉛メッキとし、亜鉛の付着量は標識柱及び付属品はJISH8641「溶融亜鉛メッキ」2種 (HDZ55) とし、アンカーボルト及びフランジボルト (ナット・ワッシャ類を含む) は2種 (HDZ35) とする。また、アンカーボルトはネジ部のみメッキとする。

6-4 建柱様式

路側式 埋込式
頭上式 ベースプレート式とし、基礎をアンカーボルトにより結合し、アンカーボルトグリスキャップ (ネジ込み式) を設置する。

6-5 使用区分

路側式 使用材の最小寸法はφ76.3×4.2とする。
頭上式 オーバーハング式及びオーバーヘッド式で、3車線以上・曲線部・障害物等のために視認性を高める必要がある場合はオーバーヘッド式とすることが望ましい。

6-5-1) オーバーハング式

- ① 106-A、108-A、108の2-A、108-3についてはF型支柱 (固定式) とする。
- ② 101等については標識板縦寸法が1000 mm以下は逆L型支柱 (固定式)、1001 mm以上はF型支柱 (固定式) とする。

6-5-2) オーバーヘッド式

- ① 単管型及びトラス型とする。
- ② 柱はテーパポールを使用する。
- ③ 標識板の取付け方法は全固定式とする。
- ④ 柱間隔が標準寸法の間の場合には上位寸法を使用する。
(例：柱間隔 L = 18.5mは、L = 20.0mの部材を使用する)
- ⑤ 板面積も標準面積の間の場合には、上位面積を使用する。
(例：板面積10.5m²は、板面積12m²の部材を使用する)
- ⑥ 標識板取付金具は、実数により設計のこと。

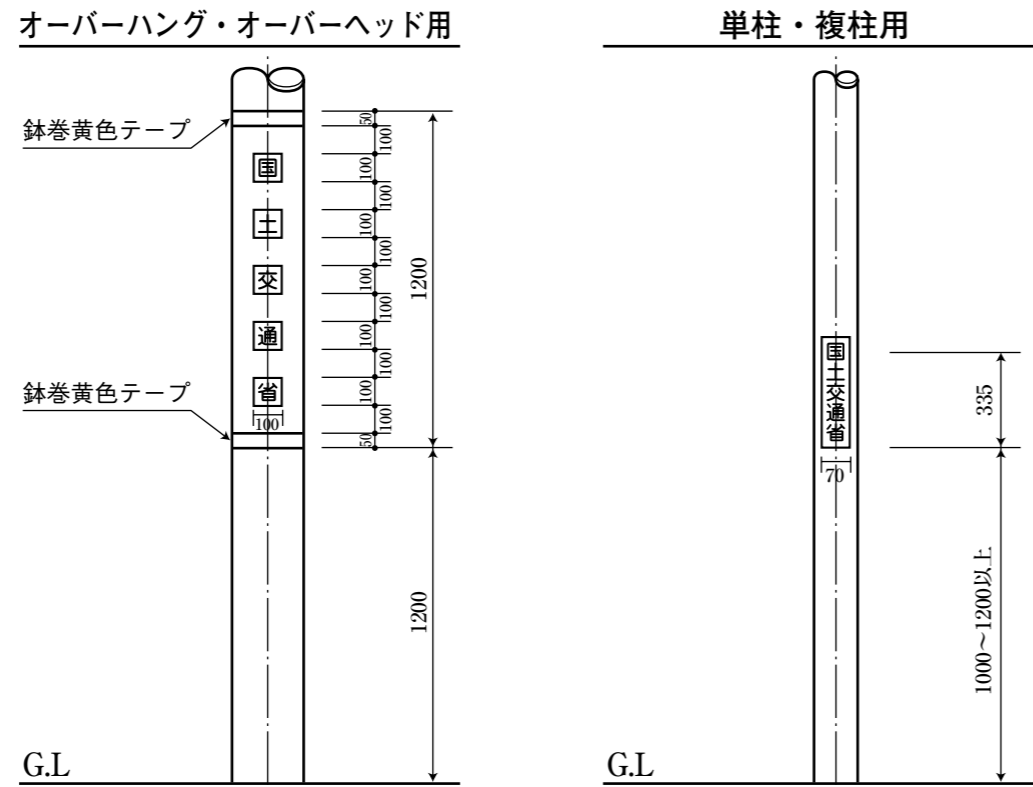
注) 支柱テーパの肉厚については、製作メーカーにより多少異なるので、協議のうえ変更しても良い。

標識柱	
型 式	

6-6 管理用銘板の設置

図-5の銘板を貼付けるものとする。なお、張り紙防止塗装等にする場合、あるいは防止塗装等が施されている場合は張り紙防止用反射シートに印刷する等により検討すること。

図-5



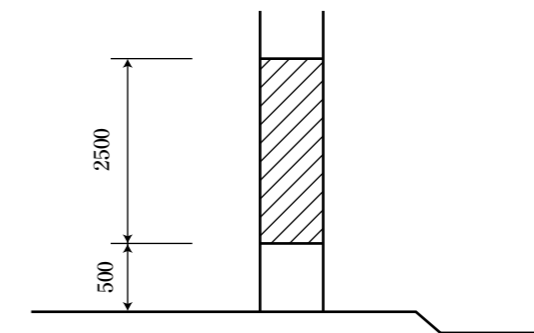
注) 銘板 (シート) は下地白、文字黒色とする。

6-7 美化化柱、張り紙防止塗装

標識支柱の色彩は、原則として溶融亜鉛メッキ色とする。ただし、案内標識を設置する場合は周辺環境 (大規模公園、古い街並等) との調和を図るために、美化化柱にする場合には、明度・彩度の低い色彩 (例えば茶系色等) を使用することが望ましい。

また、都市部等で張り紙により美観を損ねる可能性がある場合には張り紙防止塗装等を施すことが望ましい。

図-6 張り紙防止塗装



基礎	
型 式	

7. 基礎

- (1) 基礎の寸法については、ケーソン基礎寸法表〔建設省（現：国土交通省）道企発第52号（昭和50年7月15日）の「道路附属物の基礎について」による〕及び直接基礎寸法表によるものとする。

表-25-1 計算設計条件

	路側式	片持・門型式
基礎設計諸条件 (砂質地盤とする)	標準貫入試験 N値 = 10 受動土圧係数 k p = 3.53 短期許容地耐力 q = 100k N/m ²	標準貫入試験 N値 = 10 受動土圧係数 k p = 3.53 短期許容地耐力 q = 100k N/m ²
土の単位重量	17 kN/m ³	17 kN/m ³
コンクリート設計基準強度	18 N/mm ² 24 N/mm ²	18 N/mm ² 24 N/mm ²
無筋コンクリート単位重量	23.0 kN/m ³	23.0 kN/m ³
鉄筋コンクリート単位重量	24.5 kN/m ³	24.5 kN/m ³
鉄筋引張り許容応力度 (SD345)	180 N/mm ²	180 N/mm ²

表-25-2 コンクリート許容応力度

コンクリートの設計基準強度 (N/mm ²)		長期〔短期〕許容応力度 (N/mm ²)			
		圧縮	曲げ圧縮	支圧	付着-丸鋼 付着-異形棒鋼
18 (無筋コンクリート)	長期	4.5	6.0	5.0	0.60 [0.90]
	短期	[6.75]	[9.0]	[7.5]	1.20 [1.80]
24 (鉄筋コンクリート)	長期	6.5	8.0	7.0	0.80 [1.20]
	短期	[9.75]	[12.0]	[10.5]	1.60 [2.40]

- (2) 次の場合は別途計算とする。

- ①ケーソン基礎、直接基礎の表にない場合。
- ②地下埋設物の影響等の理由で、基礎幅、または根入長を標準寸法によることが困難であるか、不相当である場合。
- ③オーバーヘッド式道路標識。（標準図集と板位置・支柱長さ等が異なる場合）
- ④柱の位置が偏芯している場合。
- ⑤法面に基礎を施工する場合。
- ⑥基礎天端は土被り25cmを標準としているため、それ以外の場合。

- (3) 法面基礎の設計条件

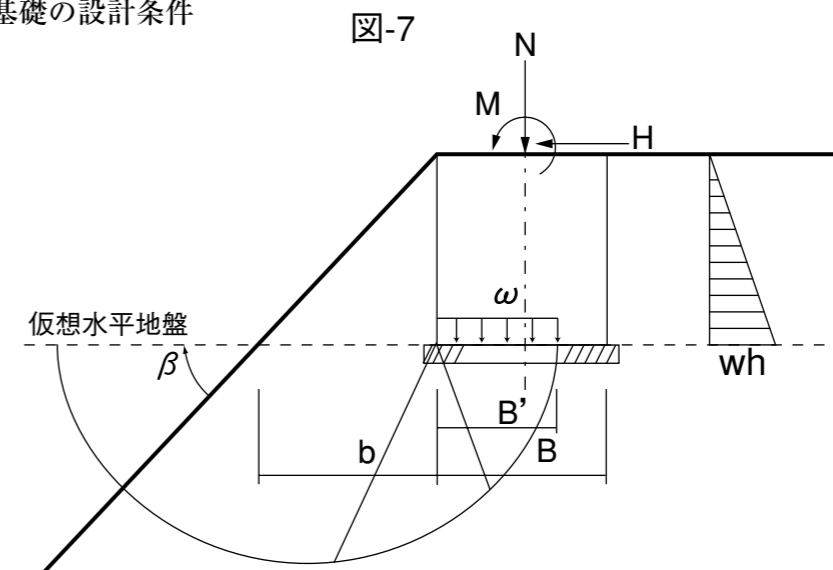


図-7に示すような、斜面上の直接基礎の計算については、以下のように考えることとする。

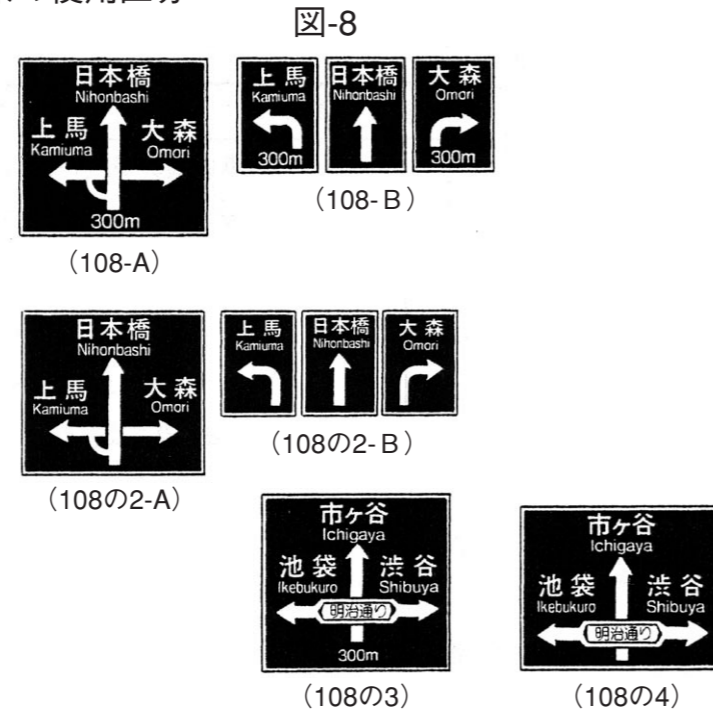
- ①地盤の支持力、転倒及び滑動に対する安定、躯体の断面力について検討する。
- ②基礎根入れ部の前面抵抗土圧は無視する。
- ③N, H, Mは上部構による柱脚部存在応力とする。
- ④whは、クーロン土圧による主動土圧係数から求めた土圧とする。
- ⑤上記の条件のもと、斜面上基礎の常時鉛直支持力は前面余裕幅 (b) を考慮した基礎底面の極限鉛直支持力度を求め、常時 = 3 の安全率で除して算出する。

型 式	
-----	--

8. 案内標識の留意点

8-1 経路案内

8-1-1) 108系の使用区分



108系は、それぞれに予告と交差点案内の機能を持った標識がある。使用区分は、表26を原則とする。

表-26 108系の種類と使用区分の目安

種 類	使 用 区 分
108-A 108の2-A	・ 交差点の形状を示す必要がある道路の交差点。 ・ 片側2車線以下の道路。
108の3 108の4	・ 上記交差点において、交差道路に案内すべき道路の通称名がある場合。ただし、通称名のある交差道路が一般国道である場合は、(108、108の2-A)を設置し、経由路線番号を表示する。
108-B 108の2-B	・ 付加車線を加えて、片側3車線以上となる道路。 ・ 進行方向別通行区分を表示する必要がある道路。 ・ 通行量の多い道路で必要がある場合。 ・ Y字形交差点の分岐点、またはインターチェンジのノーズの先端で表示する場合。

8-1-2) 確認案内

方面及び距離 (106-A)

図-9



(106-A)



(106-A)

長距離交通を対象とし、主要な道路の単路部及び主要な交差点の流出部に、方面及び距離を案内するため確認標識を設置する。

○設置場所

- ①単路部においては、市街地、交差点の流出部（確認標識として使用）を除く一般部を対象とし、5km程度の設置間隔とする。
- ②確認標識は、交差点を通過して視認性の良好な場所に設置するが、おおむね300m以内とする。

○距離表示

- ①表示する距離は、原則として当該地点から目標地となる市町村の市役所もしくは、町村役場の正面地点までとするが、やむを得ない場合においては、主要交差点、駅、繁華街、その他当該市町村の代表地点とする。
- ②距離は、km未満を四捨五入して、km単位で表示する。ただし、距離が1km未満の場合は、小数点第1位まで表示する。

○経由路線番号

- ①経由路線番号を表示する。
- ②一般国道の重複区間は、上位の路線番号を表示するが、路線番号の連続性を補うため、当該区間内では国道番号(118-A)を二段に重ねて表示する。

8-1-3) 国道番号 (118-A)



図-10

通過交通の比率の高い国道では、国道番号を表示することによって、運転者に安心感を与える。

○設置場所

交差点付近

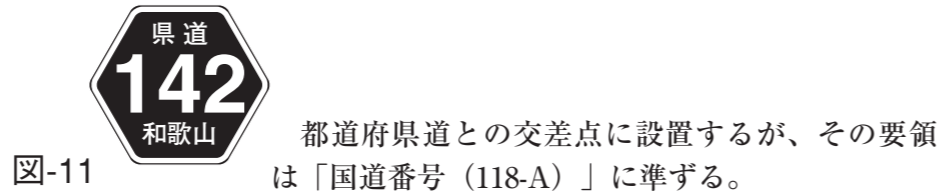
交差点の流出部で(106-A)を設置しない場合は、確認標識として設置する。

単路部

- ①単路部では一般に、1km間隔を標準として設置する。
- ②市街地については、500m程度の間隔で設置する。
- ③単路部においては、補助標識「地名(512)」を付け、現在位置の明示をする。

型 式	
-----	--

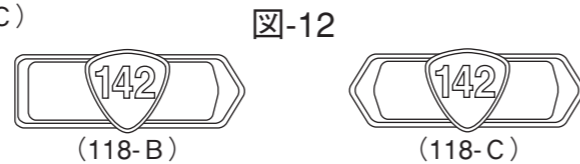
8-1-4) 都道府県道番号 (118の2-A)



8-1-5) 交差道路標識

一般都道府県道以上との交差点に設置する。使用区分は表27の通りである。

国道番号 (118-B,C)



都道府県道番号 (118の2-B,C)

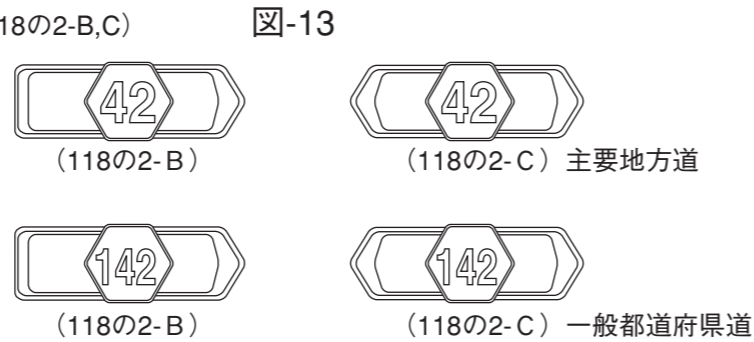


表-27 種類及び使用区分

道路の種類別	矢印の色	種類	使用区分
一般国道	淡い赤色	118-B 118-C	Bタイプ ・路線の起点、終点 ・交差点で屈折している場合 Cタイプ ・上記以外の路線
主要地方道	淡い緑色	118の2-B 118の2-C	
一般都道府県道	淡い黄色	118の2-B 118の2-C	

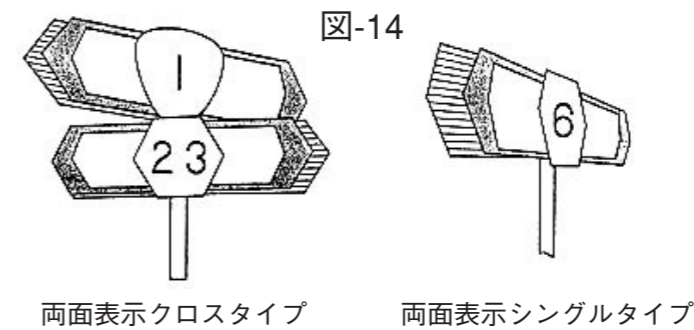
○設置場所

交差点内に設置する。
上り線、下り線の双方に設置する。十字路交差点の場合は、4箇所の設置。

○設置方法

両面表示を基本とする。
表示する路線と平行になるように設置する。

○設置型式



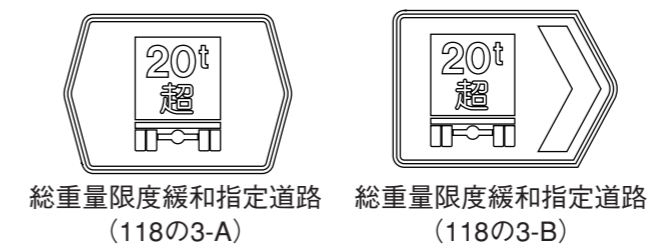
○道路幅員や歩道幅員が狭い三差路 (T字型) の場合、進行方向正面に設置する交差道路標識は、片面シングルタイプを用いてもよい。

○路線番号が変化する場合

交差する路線が当該道路を境に路線番号が変化する場合、片方向タイプをそれぞれに設置する。

8-1-6) 総重量限度緩和指定道路 (118の3-A, B)

図-15

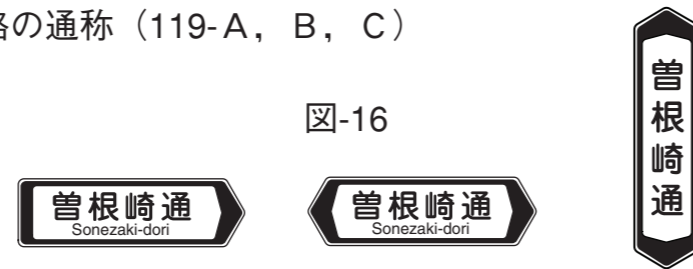


○設置場所及び設置型式

交差点の30m以内 (108系標識に添架する場合には、150m以内) の地点における左側路端、車道の上、進行方向の正面等に設置し、標示板の矢印と案内する道路の方向と一致するようにする。

型 式	
-----	--

8-1-7) 道路の通称 (119-A, B, C)



この標識は、道路に親しまれている愛称、通称名がある場合に設置する。使用区分は表-28の通りである。

表-28 種類及び使用区分

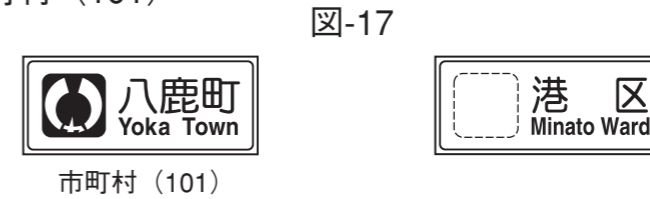
種 類	使 用 区 分
A	道路通称名のある道路の起終点。 道路通称名のある道路が交差点で屈折している場合。
B	道路通称名のある道路上記以外の交差点。
C	道路通称名のある道路の単路部。

○設置場所及び設置方法

- ① (119-A,B) は、道路の通称名のある道路と平行になるように設置し、(119-C) は、車両進行方向に直角になるように設置する。
- ② (119-A,B) は、道路通称名のある道路に交差する道路上の運転者又は歩行者に、交差する道路の名称を表示するもので、道路通称名のある道路上に設置することを原則とする。
- ③ (119-C) は、単路部に設置し、一般におおむね250m間隔で設置する。
- ④ (119-B) を単路部の歩道又は施設帯に設置してもよい。この場合、両面式とし、道路照明灯があれば、添架式としてもよい。

8-2 地点案内

8-2-1) 市町村 (101)



市町村 (101)

8-2-2) 都府県 (102-A)

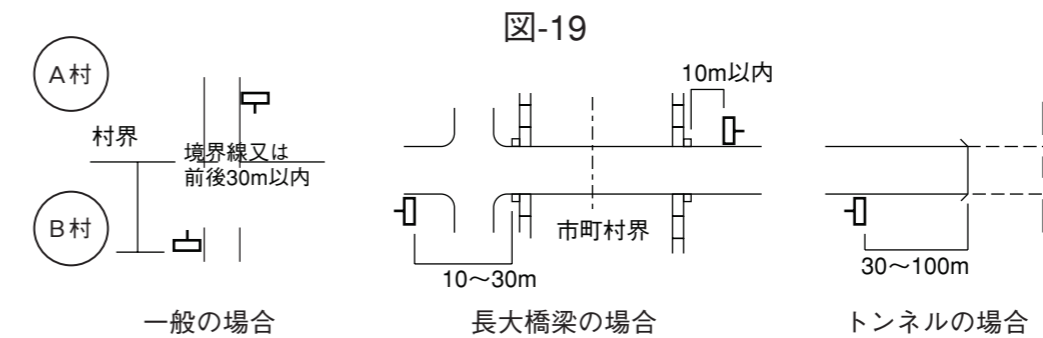


都府県 (102-A)

大都市における「区」も必要に応じ (101) と同じ扱いとし、市境には (101) (102-A) を併設したものを設置する。

○設置場所

- ① 設置場所は境界線上、またはその前後30m以内の左側とするが、市町村を境界が長大橋梁、トンネル等になっている場合は、橋梁、トンネル等を通過して、当該市町村側へ出たところの左側に設置するものとし、設置場所は図-19の通りとする。また、トンネルの出口については、特に視認性を検討しなければならない。



- ② 両方の市町村名を背中合わせに表示するのは、片方の通行に対して右側表示になるので避けること。ただし、視認性を考慮して、アームを長くする場合は、両面式としてもよい。

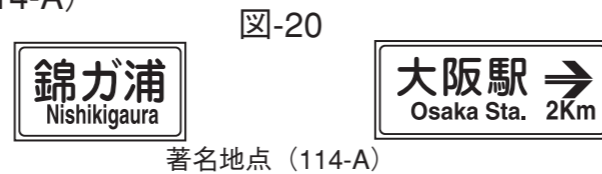
○板面表示

- ① 市町村等の固有名の後には必ず「県」、「市」、「区」、「町」、「村」を表示する。
- ② 府県章、市町村章を併記する。

型 式	
-----	--

8-2-3)

●著名地点 (114-A)



著名地点 (114-A)



シンボルマークを併記した例

この標識は、著名地点に通じる道路の分岐点または著名地点の前面あるいはその入口を表示して、観光のための案内、交通施設の案内等交通の目的地となる主要な場所の案内をするもので、分岐点で設置する場合には矢印及び距離を表示する。

○設置場所

著名地点の設置対象は表-29を参考とする。

表-29

分 類	例
交 通 施 設	駅、バスターミナル、市場、流通センター、港湾、空港、公共駐車場、道の駅
文 化 施 設	公園、遊園地、動物園、植物園、庭園、霊園、墓地、博物館、美術館、絵画館、図書館、資料館、公会堂、文化会館、劇場
名 所 ・ 旧 跡	神社、仏閣、寺院、教会、史跡（城跡、墓、貝塚、碑、古戦場）
観 光 地	展望台、タワー、洞窟、沼、池、湖、滝、溪谷、名木、河川、橋、峠、ダム、その他の名勝
公 共 / 公 的 施 設	大使館、公的地方のサービス機関、病院、学校、警察署、消防署、郵便局、電話局、ホテル、ユースホステル、国民宿舎
体 育 施 設	体育館、運動場、球技場、海水浴場、釣場、ハイキングコース、サイクリングコース、キャンプ場（山小屋）

有料道路の入口、有料の駐車場はそれぞれの管理者において設置するものとする。

○板面表示

板面には必要に応じて、シンボルマークを併記する。シンボルマークの大きさは、日本字の1.7倍とし、原則として、青地に白抜き記号とする。

●著名地点 (114-B)



著名地点 (114-B) にシンボルマークを表示する場合

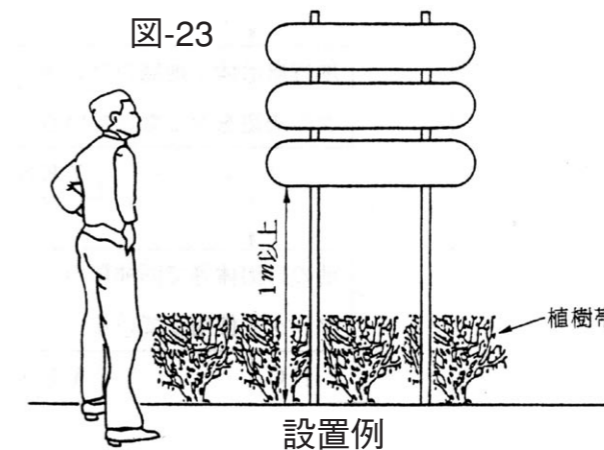
この標識は、歩行者のために駅、バス停などから目的地間まで、あるいは主要な交差点から最寄りの駅を案内するものである。

○設置場所

案内する施設は、著名地点の設置対象の中から歩行者の目印となり利用者の多い施設を選び、おおむね1,000mの範囲内で案内をする。

○板面表示

- ①距離及び方向を表示する。距離はメートル表示（100m単位）とする。
- ②文字の高さは10cmとする。
- ③案内する施設が多い場合は、一つの柱に数枚並べて設置する。この場合、全体のバランスを考慮するものとする。
- ④板面には必要に応じて、シンボルマークを併記する。
シンボルマークの大きさは、必要に応じて日本字の1.7倍とし、原則として、青地に白抜き記号とする。矢印とシンボルマークは相対する位置に表示する。



設置例

シンボルマークの選定

公共施設の形状等をデザインしたシンボルマークを標識に表示すれば、道路の利用者に一目でわかる案内を行うことができる。

シンボルマークを表示する場合、その公共施設特有のものを採用する場合と、一般的に認められているシンボルマークを採用する場合とに分類される。

また、商業用に登録されているものも存在する。

・シンボルマークは、日本字、ローマ字以外の文字を補完するものとして、一目で施設等が理解できるもので複雑なデザインや、はでな色あいにならないものとする。

○支柱

美観を考慮してデザインポールを使用しても良い。

8-2- 4)

●主要地点 (114の2-A,B)

図-24



(114の2-A)



(114の2-B)

この標識は、現在走行している地点がどこであることを知らせるために設ける標識である。

A型を標準とし、設置場所又は設置方式等からA型では不都合な場合はB型とする。

○地点名の選定

地点名としては歴史的な地点名、町・丁目、交通案内上便利な目標物等があるが、これらのうちいずれの地点名とするかを優先度の高い順にまとめると、表-30のようになる。

表-30

有名な地点名の有無	地 点 名 の つ け 方
有	一般に広く親しまれている著名な地点名がある場合はその名称 交通のターミナルがある場合はその名称 有名な目標物又は視認性のよい目標物がある場合はその名称
無	住居表示の町・丁目 その他その地点を代表するような名称

地点選定上の留意点

- ①同一地点に2つ以上の地点名をつけてはならない。
- ②〇〇通りのように、通り名か地点名か判断に苦しむ地点名はつけない。
- ③小さな目標物や営業用の広告とみなされるような地点名はつけない。
- ④信号機のある交差点名標識は、公安委員会の「交差点コード表」に基づいて表示する。

○設置方式

- ①交差点付近は標識等が集中するので、十分な視認が得られ、構造的に安全であれば、電柱、信号機、案内標識柱に添架することを原則とするが、やむを得ない場合は、単独路側又は、中央帯に設置する。
- ②信号機への添架の場合には、公安委員会と協議のうえ設置する。
なお、交差点が広い場合は、前後の信号機への設置あるいは、両面式として、一方向に複数の表示を行ってもよい。

○高架橋のインターチェンジ名

高架橋のインターチェンジは、交通上の主要な目標となるので、その名称を表示することが望ましい。

- ①設置場所はインターチェンジの出口付近とする。
- ②設置方法は、頭上式とするが、インターチェンジ付近の標識の煩雑さを避けるため、他の標識へ添架してもよい。
なお、添架にあたっては、建築限界及び標識柱の応力を検討のうえ決定する。

型 式	
-----	--

9. 道路の付属施設の案内

●非常電話（116の2） 非常電話の標識は、非常電話の上方又は非常電話の収納ケースと一体にして設置するものとする。

●待避所（116の3） 待避所の標識は、1車線の道路又は車両のすれ違いが困難な道路で待避所のある場合に設置する。

●非常駐車帯（116の4） 非常駐車帯は非常駐車帯のテーパー端に設置する。



非常電話（116の2） 待避所（116の3） 非常駐車帯（116の4）

図-25

標識の色は、一般道路であっても（116の2）、（116の4）は地を緑色、文字及び記号を白色とする。

●駐車場（117-A）



駐車場（117-A）

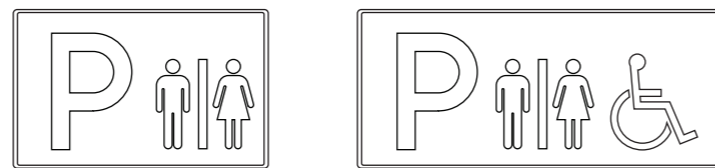
図-26

道路管理者が設置又は管理している駐車場には原則としてこの標識を設置する。

また自転車駐車場も、この標識で案内するものとするが、この場合、標識の下に「自転車駐車場」の補助標識をつけるものとする。

駐車場に自由に利用できるトイレが設置されている場合は、トイレを表す記号を表示する。また、身障者用のトイレもある場合は車椅子の記号も表示する。

駐車場を明示するために、必要に応じて「距離・区域（501）」「方向（511）」の補助標識を付置する。



駐車場（117-A） 〈トイレが設置されている場合〉 駐車場（117-A） 〈身障者用トイレが設置されている場合〉

図-27



駐車場（117-A）

図-28

※「障害者用マーク」を表示する場合は、下記事項に適合する駐車場であること。

- ①幅員が3.5m以上の身体障害者用駐車施設を設けることとし、身体障害者用である旨を見やすい方法により表示すること。
- ②歩行者の出入口の有効幅は80cm以上とし、戸を設ける場合においては、当該戸は、自動的に開閉する構造又は車いす使用者が円滑に開閉できる構造とすること。
- ③身体障害者用駐車施設へ通ずる歩行者の出入口から当該身体障害者用駐車施設に至る通路のうち、1以上の通路の有効幅員が、1.2m以上とし、通路の全体あるいは適当な部分で車いす使用者の回転に支障のない構造であること。
- ④エレベーター、傾斜路又は階段、便所を有する場合には、各施設がバリアフリー基準に適合しているか確認すること。

●登坂車線（117の2-A）



登坂車線（117の2-A）

図-29

登坂車線が設けられている場合に設置する。設置例は図-30を標準とする。

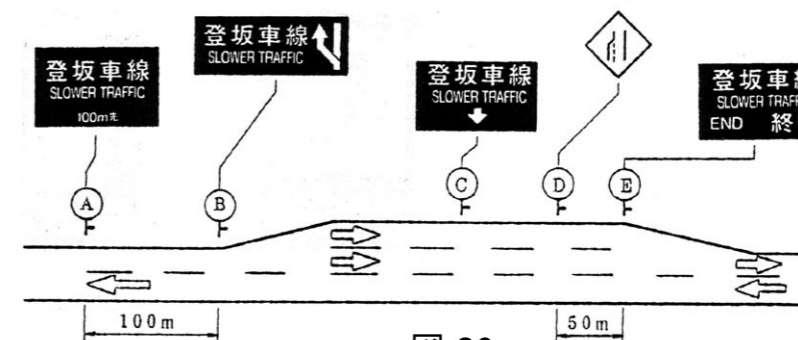


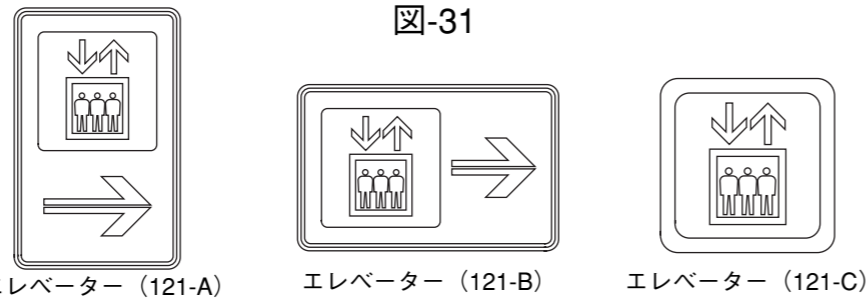
図-30

- ① C は登坂車線が長い場合に設置する。
- ② A、B、C、E は片持式又は門型式とする。
- ③ 登坂車線区間において、対向車線の車両が、はみ出すことのないよう、区画線にて中央線を明示することが必要である。

型 式	
-----	--

10. 交通バリアフリー法対応案内標識

10-1 エレベーター、エスカレーター、傾斜路



エレベーター (121-A)

エレベーター (121-B)

エレベーター (121-C)



エスカレーター (122-A)

エスカレーター (122-B)

エスカレーター (122-C)



傾斜路 (123-A)

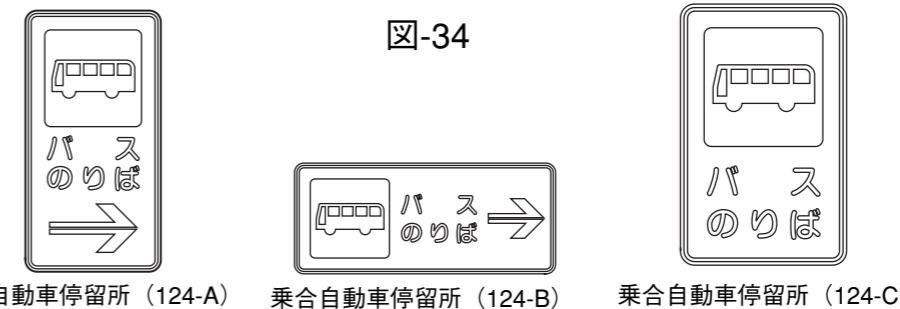
傾斜路 (123-B)

傾斜路 (123-C)

○設置場所

- ①立体横断施設に設けるエレベーター、エスカレーター又は傾斜路の昇降口近傍（おおむね10m程度）において、これら施設が確認しにくい地点から視認できる場所。
- ②上記①に示す施設の昇降口で、これら施設の昇降口である旨を表す必要のある場所（道路施設である壁面を含む）。
- ③道路施設以外エレベーター、エスカレーター又は傾斜路のうち、一般の歩行者等が利用することが見込まれるこれら施設の昇降口近傍において、当該施設が確認しにくい地点から視認できる場所。
- ④上記③に示す施設の昇降口において、これら施設の昇降口である旨を表す必要のある場所（当該施設の利用時間が限られている場合には、その時間帯も併せて明示するものとする）。

10-2 乗合自動車停留所



乗合自動車停留所 (124-A)

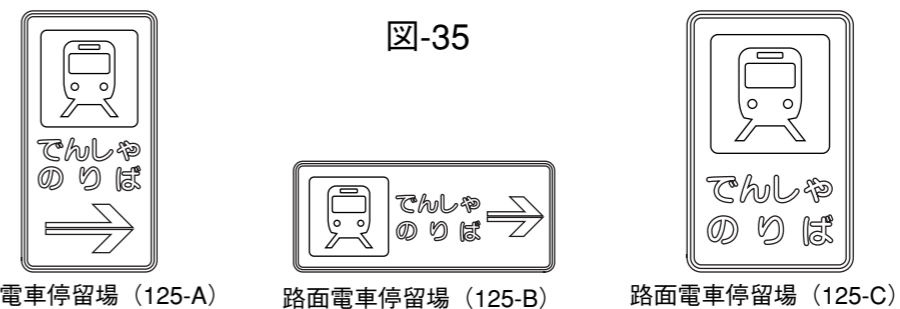
乗合自動車停留所 (124-B)

乗合自動車停留所 (124-C)

○設置場所

- ①鉄道駅、旅客船ターミナル等の出入口付近において、当該乗合自動車停留所が確認しにくい地点から視認できる場所。
- ②乗合自動車停留所である旨を表す必要のある場所（道路施設である上屋を含む）。

10-3 路面電車停留場



路面電車停留場 (125-A)

路面電車停留場 (125-B)

路面電車停留場 (125-C)

○設置場所

- ①鉄道駅、旅客船ターミナル等の出入口付近において、当該路面電車停留場が確認しにくい地点から視認できる場所。
- ②路面電車停留場近傍の歩道等において、当該路面電車停留場が確認しにくい地点から視認できる場所。
- ③路面電車停留場である旨を表す必要のある場所（道路施設である上屋を含む）。

型 式	
-----	--

10-4 便所

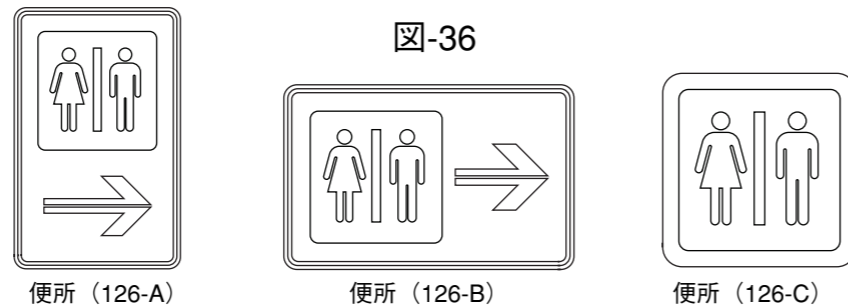


図-36

便所 (126-A)

便所 (126-B)

便所 (126-C)

○設置場所

- ①道路に接して設けられた便所の出入口付近又は道路の沿道に設けられた一般の歩行者が利用されることが見込まれる便所の出入口近傍において、当該便所が確認しにくい地点から視認できる場所。

10-5 設置における留意点

- 当該案内標識の設置場所は、原則としての場所を示しているため、これら以外の場所についても、歩行者等の行動特性等を考慮して、必要に応じて設置すること。
- 道路施設以外の施設を当該案内標識により案内する場合には、あらかじめ当該施設の管理者との調整を図ること。
- 「身体障害者マーク」を表示する場合は、バリアフリー基準に当該施設が適合しているか確認のうえ表示すること。



図-37 表示例

- 「エスカレーター」(112-A~C)において上り専用と下り専用の昇降口が異なる場所にある時は、昇降方向を示す矢印を表示すること。

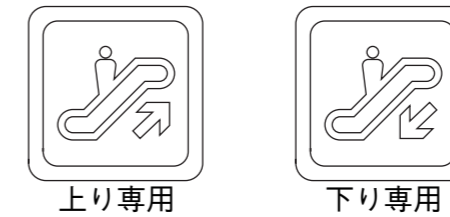


図-38 表示例

11. 補助標識の設置

補助標識は本標識に付置して本標識の意味を補足するものである。

●距離・区域（501）

この先100m

図-39

案内標識「待避所（116の3）」警戒標識「踏切あり（207-A, B）」、「信号機あり（208の2）」等に付置する。

●通学路（508）

通学路

図-40

小学校、幼稚園、保育所等の通学路については、警戒標識「学校、幼稚園、保育所等あり（208）」に付置する。

●踏切注意（509の2）

踏切注意

図-41

警戒標識「踏切あり（207-A, B）」に付置する。

●横風注意（509の3）

横風注意

図-42

強い横風のおそれがある箇所に設置する警戒標識「横風注意（214）」に付置する。

●動物注意（509の4）

動物注意

図-43

動物が飛び出すおそれがある箇所に、それぞれの動物の形状を表示して設置する警戒標識「動物が飛び出すおそれあり（214の2）」に付置する。

●注意（509の5）

注意

図-44

「注意（509の5）」は、警戒標識でシンボライズされていないその他の各種の道路上の障害を警告する警戒標識「その他の危険（215）」に付置する。

●注意事項（510）

路肩弱し

図-45

「注意事項（510）」は、注意すべき事項（たとえば「路肩弱し」）を表示するが、設置の目的が一目でわかる場合は「注意（509の5）」で表示する。

安全速度
30

図-46

「安全速度」は道路構造上、規制速度では走行しにくい箇所、又は区間が短いため特別の速度規制が行われていない箇所に設置するものである。

「安全速度」を設置後、それ以下の速度規制「最高速度（323）」が設置された場合は「安全速度」はただちに取りはずすものとする。

●方向（511）



図-47

交差点付近で国道の方向を表示するため、案内標識「国道番号（118-A）」等に付置する。

●地名（512）

小諸市
本町

図-48

現在地の確認のため、案内標識「国道番号（118-A）」等に付置する。

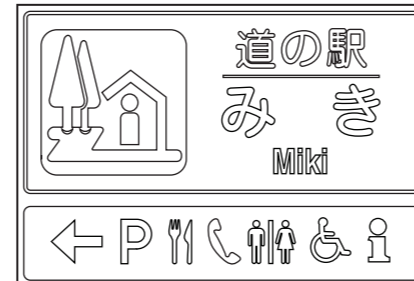
12. その他案内標識

●道の駅

図-49



図-50



①設置場所

予告案内（2km、1km、500m）と指示標識をオーバーハング方式にて設置する。

②色

白地に青文字。指示標識の矢印Pマーク等の部分は青地に白文字。

●トンネル名

図-51



①設置場所

ポータル入口の左側にオーバーハング式又は壁面添架で設置することを標準とする。ポータル入口付近のスペースがない場合、またはトンネルの構造上、視認性等で設置することが不相当と思われる場合は、トンネル入口から概ね30m以内に設置する。

②色

トンネル名は、白地に青文字。長さは、青地に白文字。

●峠名

図-52



①設置場所

峠付近にオーバーハング方式にて設置する。

②色

峠名は、白地に青文字。標高は、青地に白文字。

●橋名

図-53



①設置場所

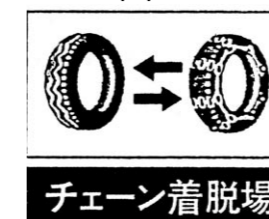
原則として橋の手前30m以内とし、オーバーハング方式とする。

②色

橋名が、白地に青文字。橋長は、青地に白文字。

●チェーン着脱場

図-54



①設置場所

「チェーン着脱場」入口付近の左側路端にオーバーハング方式あるいは路側方式（タテ型）とする。必要に応じ予告標識を設置すること。

②色

タイヤは黒色、矢印は青色、地は白色。チェーン着脱場は、文字は白色、地は青色。

注) 冬期以外は撤去するか、マスキングをすること。

その他案内標識	
型 式	

●誘導表示板（トンネル出口）

図-55



①設置場所

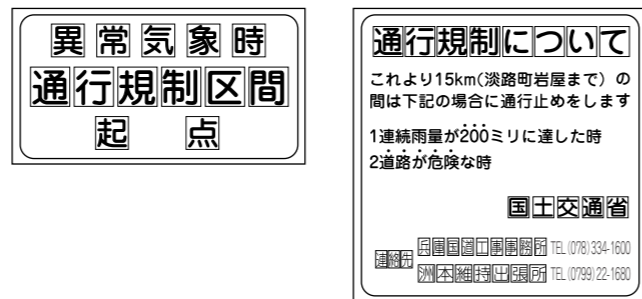
「道路トンネル非常用施設設置基準」（昭和56年4月21日）に基づき、必要に応じて設置する。トンネル出口又は避難通路までの距離や方向等を表示し、設置高さは路面上1.5mを標準とする。標示板は必要に応じて内部照明式とし、しない時は全面反射式とし、標示板の四辺を緑色の縁線で囲むこと。

②色

地は白色。文字及び記号は緑色。
注) 一般国道のトンネルについては、“非常口”を“出口”と表示すること。

●交通規制区間

図-56



①設置場所

異常気象時等に通行規制を行うことを指定している道路の区間の前後にオーバーハング方式あるいは路側方式にて設置する。

②色

地は青色。文字は白色。

●路側通信

図-57



①設置場所

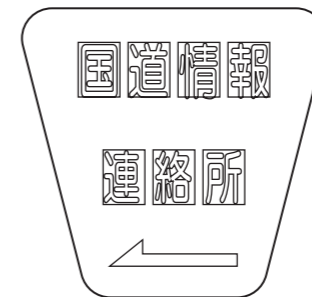
路側通信により道路交通情報を提供している箇所に、提供区間の予告及び提供区間の案内をオーバーハング方式にて設置する。

②色

上段、地は青色。文字は白色。
下段、地は白色。文字は青色。

●国道情報連絡所

図-58



①設置場所

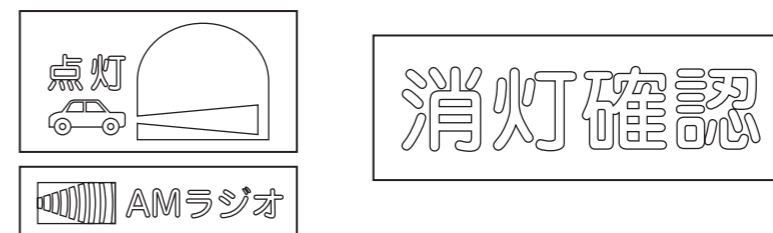
原則として、モニターの存する側の路肩で、進行方向の敷地手前隅、または出入口道路等の入口に一基設置する。両面表示とし、オーバーハング方式とする。
注) 1.付近に電柱等があり、電柱に添架することが望ましい場合は、その管理者と協議して添架することができる。
2.当該施設場所が線形、地形等によって視認性が著しく悪い場合は、上り、下り車線を問わず、予告標識を併設する。（この場合の標識板の矢印を○mに置き換える）
3.当該標識設置位置からモニター家屋の判別が困難な場合は、看板等を家屋に掲示することを考慮する。

②色

地は緑。文字・矢印は白。

●トンネル入口（点灯）
●トンネル出口（消灯）

図-59



①設置場所

トンネル名標識に準ずる。

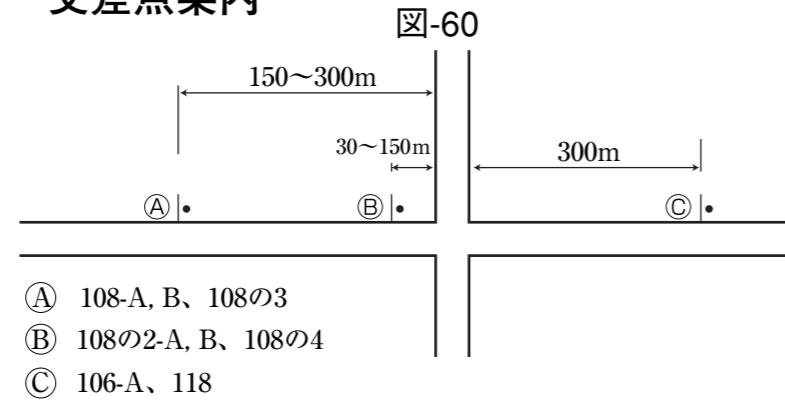
②色

点灯及び消灯は、地は黄、文字は黒。
AMラジオは、地は青、文字は白。

型式	
----	--

13. 案内標識設置の留意点

13-1 交差点案内



- Ⓐ 108-A, B, 108の3
- Ⓑ 108の2-A, B, 108の4
- Ⓒ 106-A, 118

図-61 Ⓐ 予告標識

方面及び方向の予告 (108-A)



図-62 Ⓑ 交差標識

方面及び方向 (108の2-A)

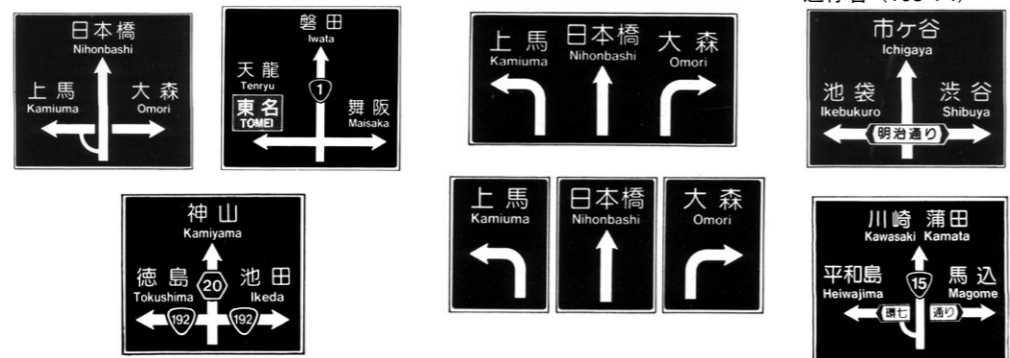


図-63 Ⓒ 確認標識

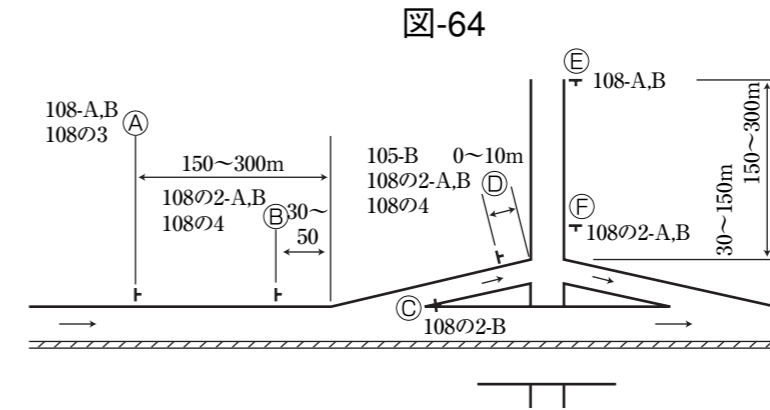
方面及び距離 (106-A)



国道番号 (118-A)



13-2 立体交差・インター出口案内



- Ⓐ 108-A, B, 108の3
- Ⓑ 108の2-A, B, 108の4
- Ⓒ 108の2-B (WF型ポール)
- Ⓓ 105-B, 108の2-A, B, 108の4 (交差する道路により区分)
- Ⓔ 108-A, B
- Ⓕ 108の2-A, B

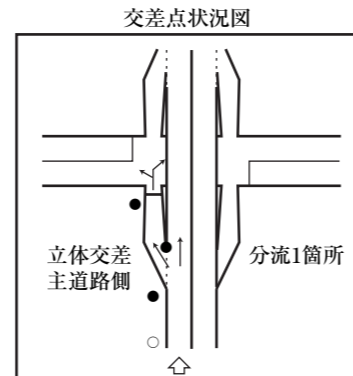
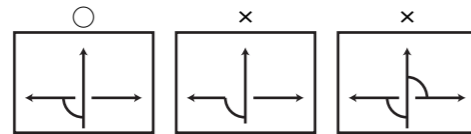
型 式	
-----	--

[事例1]

立体交差（主道路側）分流箇所が1箇所の場合

【適用範囲】

立体交差の主道路側であって、分流箇所が1箇所の場合に適用する。



- 予告標識
- 交差点標識
- ▲ 確認標識
- その他の標識

【複雑な交差点での案内誘導方法】



予告標識



交差点標識1



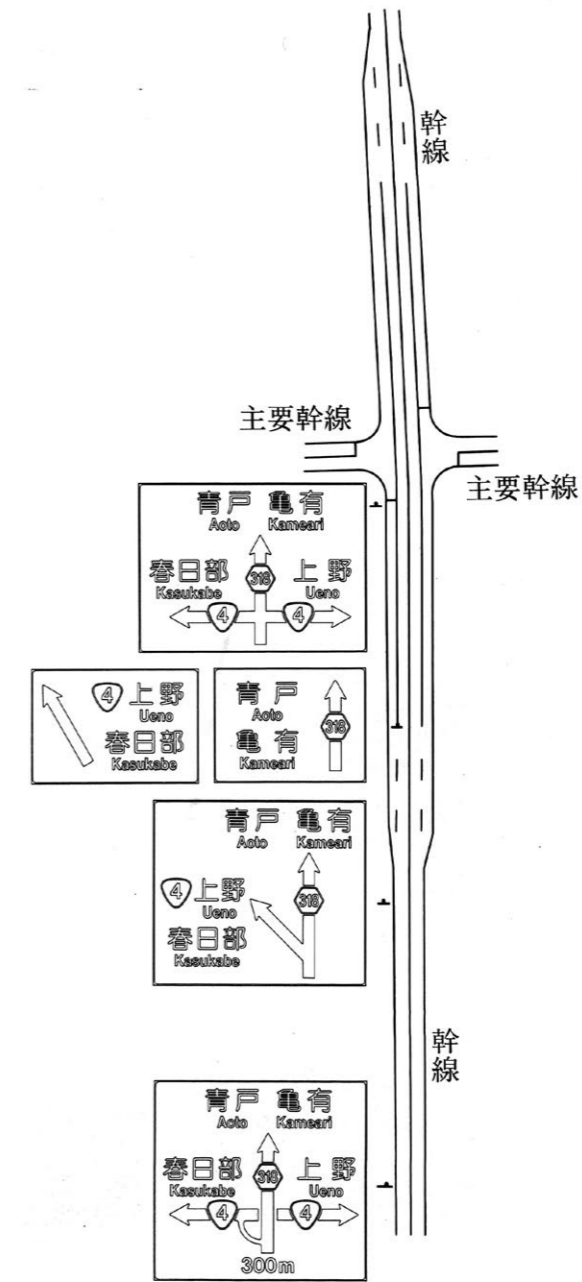
交差点標識2



交差点標識3

【解 説】

- ・ 予告標識を設置し、交差形状等を伝達する。
- ・ 行動点（付加車線の始まり）の手前に交差点標識1を設置する。
- ・ 分流ノーズ端に交差点標識2を設置する。
- ・ 側道に交差点標識3を設置する。



【適用上の注意】

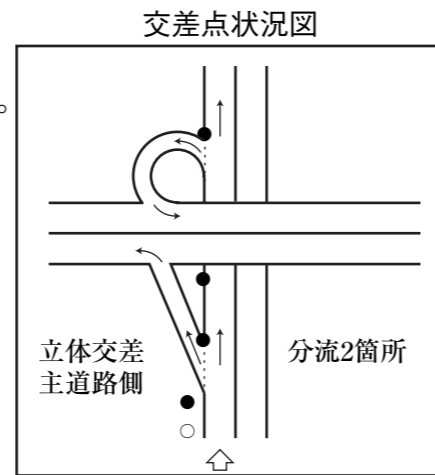
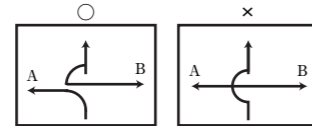
- ・ 予告標識は交差形状等の伝達によって進行方向の判断を促すものである。反対方向からの側道等を表示すると進行方向の判断に誤解を生ずるので、この表示はしない。
- ・ 立体交差には本線のオーバースタックとアンダーパスがあるが、事例はオーバースタックのものである。アンダーパスでは交差道路を1本の直線で表示し、直進路を切って表示する。

型 式	
-----	--

[事例2]
立体交差 指定方向外進行禁止の連結路表示例
 分流箇所が2箇所の場合

【適用範囲】

立体交差の主道路側であって、分流箇所が2箇所の場合に適用する。



【複雑な交差点での案内誘導方法】



予告標識



交差点標識1



交差点標識2



交差点標識3



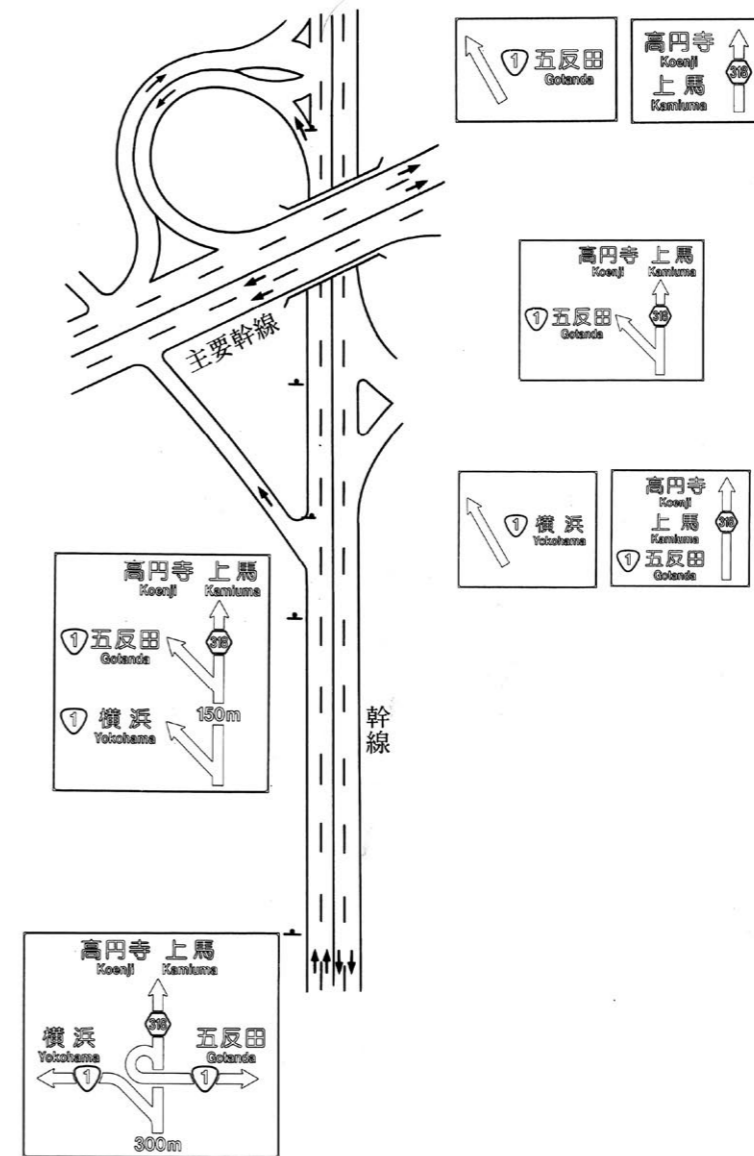
交差点標識4

【解 説】

- ・ 予告標識では、進行経路を主体として交差点全体が把握できるように表示する。
- ・ 交差点案内は進行に従って順次行うが、第1分岐の案内（交差点標識1）では第2分岐の予告を兼ねた表示を行う。
- ・ 交差点標識1及び3は各分岐路への行動点の手前に設置し、交差点標識2及び4を分岐ノーズ端に設置する。

【適用上の注意】

- ・ 予告標識は交差形状等の伝達によって進行方向の判断を促すものである。反対方向からの側道等を表示すると進行方向の判断に誤解を生ずるので、この表示は行わない。
- ・ 立体交差には本線のオーバーパスとアンダーパスがあるが、事例はアンダーパスのものである。オーバーパスでは直進路を1本の直線で表示し、交差道路を切って表示する。

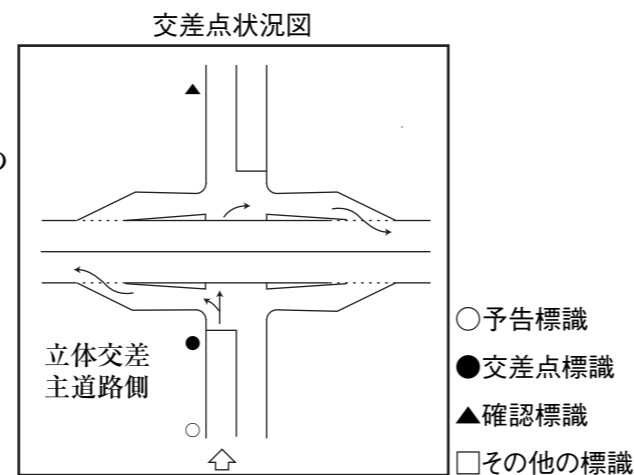


型 式	
-----	--

[事例3]
立体交差（従道路側）

【適用範囲】

立体交差の従道路側交差点の案内に適用する。



【複雑な交差点での案内誘導方法】

地域の状況等を勘案して方法イ)、ロ)のいずれかによる。

方法イ)



予告標識



交差点標識



確認標識

方法ロ)



予告標識



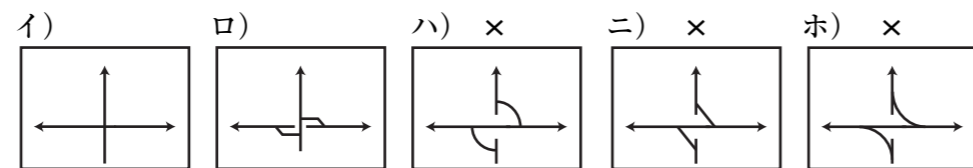
交差点標識



確認標識

【解 説】

- ・ 予告標識を設置して案内する。
- ・ 予告標識及び交差点標識に表示する交差形状（矢印）については統一されておらず下図のような様々な表示がなされている。



注) すべて、主道路側がオーバースの場合を例示している。

これらの内ハ) ニ) ホ) については以下の理由から好ましくない。

ハ) いったん左折した後、右方向へ向かえるように見える。

ニ) こちら側からは右折できないのではないと思われる。

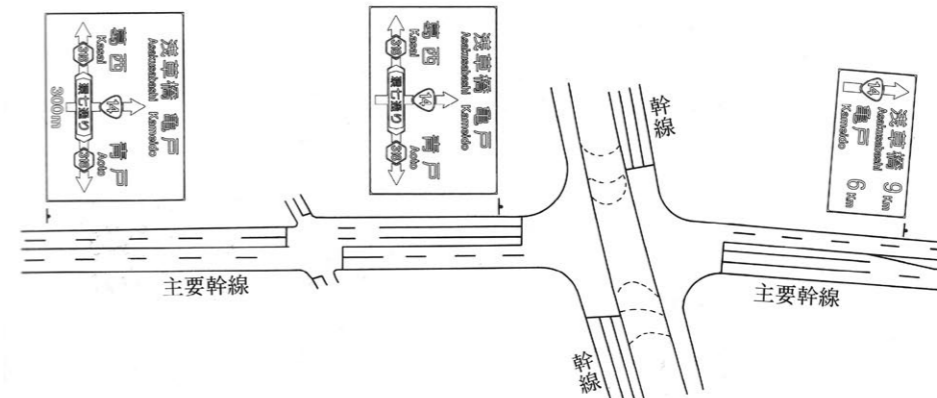
ホ) こちら側からの右折進入はできないと思われる。

イ) ロ) については、どちらも誤判断を生じさせる恐れはないと考えられ、おおむね次のように用いられている。

イ) 単純な十字型の表示：立体交差点の多い地域でこの表示が多い。従道路側からは一般的な平面交差点と同様な進入方法で通過できるため特に側道を表示していない。通過に問題はないが、立体交差であることはわからない。

ロ) 右左折用の側道を表示：立体交差点の少ない地域でこの表示が多い。立体交差の状況（オーバースかアンダーパスか）も示せるので、通行の目印にもなる。

・ 以上のような状況であるので、イ) 又はロ) のいずれかの表示とし、地域の状況等を勘案して決定するのが良い。



【適用上の注意】

- ・ 方法イ) による例を示している。地域の状況等に応じて方法ロ) によることが良い場合もある。
- ・ 立体交差点は交通の目標となることが多いので、従道路の交差点通過後、主道路の側道合流後には確認標識の設置が望ましい。

型 式	
-----	--

13-3 高速道路等の通称名

交差点付近で標識の視認性の確保が困難な場合には、高速道路等への入口案内標識と一般国道の案内標識を併設する（図-65）か、一般道路標識に高速道路等の通称名を表示し案内する。（図-66）

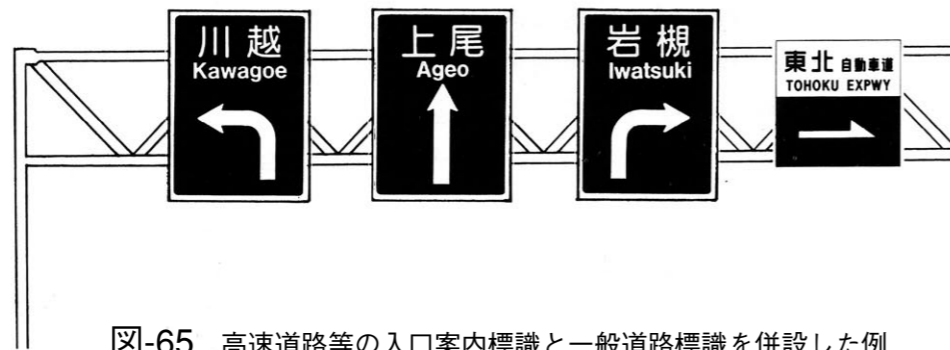


図-65 高速道路等の入口案内標識と一般道路標識を併設した例

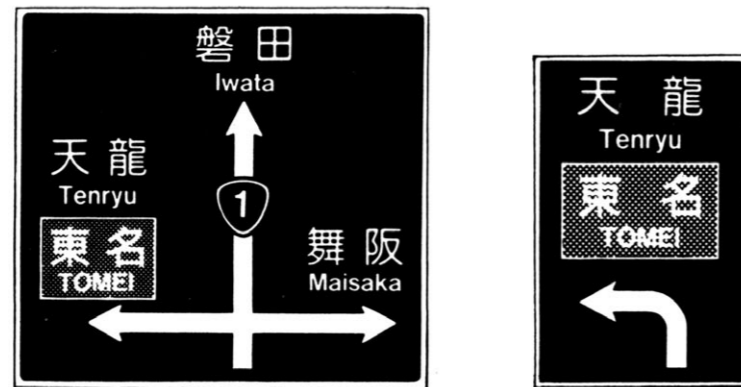


図-66 108系の標識に高速道路等の通称名を表示した例

通称名に替えて高速道路のインターチェンジ名とすることもできる。

13-4 案内標識と規制標識との調整

方面、方面を表示する案内標識では、交通規制によりその矢印の方向に進行できない場合には次の様に調整する必要がある。

- ①「規制予告（409-A, B）」と共架（図-67）
- ②案内標識の中に規制マークを記入（図-68）

終日規制である場合で、正規の規制標識の代わりにはならないのと、公安委員会との調整が必要である。

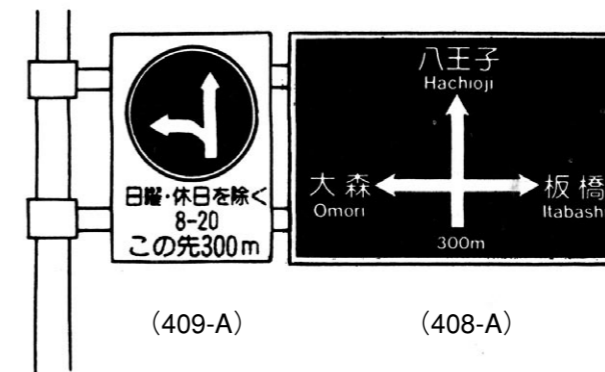


図-67 指示標識を共架した例



図-68 案内標識の中に規制標識のマークを記入した例

13-5 道路線形表示

- ①交差形状は道路線形に合わせて表示してよいが、文字の大きさ、間隔、矢印の形状、路線番号の形状、寸法等の基本はくずさないものとする。
- ②道路幅員3m以上の交差道路は原則としてすべて表示する。
- ③交差道路の幅員を考慮して、道路を示す線の太さを変える。

表-31 道路を示す線の太さの目安

対象 道路車線数	交差道路 車線数		1車線以上	
	4車線以上	2車線以上	3m以上	3m未満
4車線以上	同	同	細	表示しない
2車線	同	同	細	表示しない
1車線	同	同	同	表示しない

注) 同：対象道路と同じ太さの線で交差道路を表示する。

細：対象道路より細い（2/3の中）で交差道路を表示する。

- ④方面案内を行う方向には必ず矢頭（⇨）を表示し、案内しない方向には矢頭を表示しない。

14. 歩行者案内標識

「道路標識設置基準・同解説」（昭和62年1月）で歩行者のための案内は「著名地点（114-B）」により設置しているが、さらに「重点整備地区における移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準」（平成12年11月15日）に第33条（案内標識）で交差点、駅前広場その他の移動の方向を示す必要がある箇所には、高齢者、身体障害者等が見やすい位置に施設の案内標識を設けるとなっている。

これに伴い「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の一部改正」（平成13年3月1日）に道路標識の追加と設置場所と「身体障害者マーク」の表示の取扱いについて追達されている。

14-1 設置場所・表示内容

交差点、地下鉄出入口、バス停等の付近に設置し、官公庁施設、福祉施設その他の施設及びエレベーターその他の移動の円滑化のために必要な施設の案内をする。

また、案内する範囲としては、歩行者が一般に歩く距離、バス停、地下鉄などの駅の間隔を考えて、およそ1,000mの範囲内の施設を選ぶ。

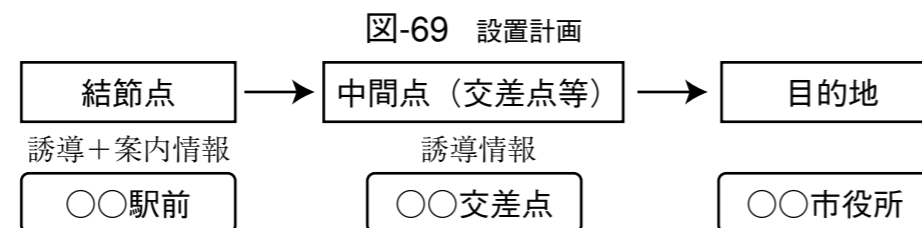
施設案内のうち、身体障害者マークを表示する場合にはバリアフリー基準に施設が適合しているか検討が必要である。整備優先地区として、地区外からの外来者が不特定多数であり、年間を通じて活用できるとされる地区とする。

設置場所は歩道となるため、歩行者等に対して視認性が良く、障害とならないよう考慮する。

14-2 歩行者のための誘導サイン計画

地下鉄出入口、バス停等の公共交通機関の結節点においては、利用者に対する確かな情報を与える歩行者向け誘導・案内情報板の設置が必要である。

また、高齢者・身障者等の様々な利用者が判断できる案内とする為に全ての人が利用できるデザイン（ユニバーサルデザイン）の設置が望ましい。



提供する情報の内容

- 1) 比較的広域な範囲の地図
現在地と目的地の位置関係、距離等の概略が把握でき、交通機関の選択等を含めた行動決定ができる情報。
- 2) 歩行範囲の地図
現在地と目的地、歩行経路と経路上の目標物等の詳細が判断できる情報。
- 3) 目標物に向かう道路の方向と目標物までの距離情報
経路や距離を確認するための情報。
- 4) 現在地を確認する情報
町・丁目名や通り名などの現在地を確認するための情報。
- 5) 著名地点等の情報
地域に応じた外国語の表示も行う。
- 6) 地図情報と方向・距離情報を組み合わせた情報
- 7) 概略案内図・触知案内図を表示し、弱視者・視覚障害者に対しても情報の伝達を可能にする。

14-3 標識面への張り紙、落書き防止対策

バリアフリー標識は、歩行者の手が届く高さの設置が多くなるとされる。その対策として標識表面にラミネート等を施すことが望ましい。

14-4 使用素材等

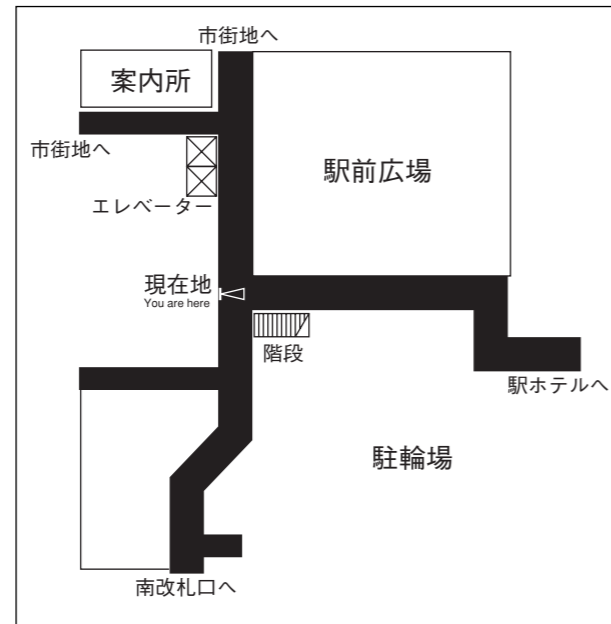
- ① 標示板は反射シートを使用すること。
- ② 利用者の視点、視野角を考慮した標示板の大きさ・位置・角度とし、親しみやすい形状、鋭利な突起、危険な角部のないものとする。衝突の危険性がある部分には、柔らかな素材を利用することが望ましい。
- ③ 衝突防止ガード、手摺（グリップ）の設置も必要に応じ検討すること。
- ④ 設置場所における夜間の視認性を確保するために、照明装置を検討する。

14-5 概略案内地図・触知図

高齢者や弱視、全盲等視覚障害者に対して、地理情報を提供するために設置する。晴眼者に対応した周辺案内図に概略案内地図を併設し、触知図と共用し、分かりやすく表示する。サイズは小さくまとめ、肩幅程度とする。

点字案内は、存在を分かりやすく、移動に必要な最小限の情報を絞る。

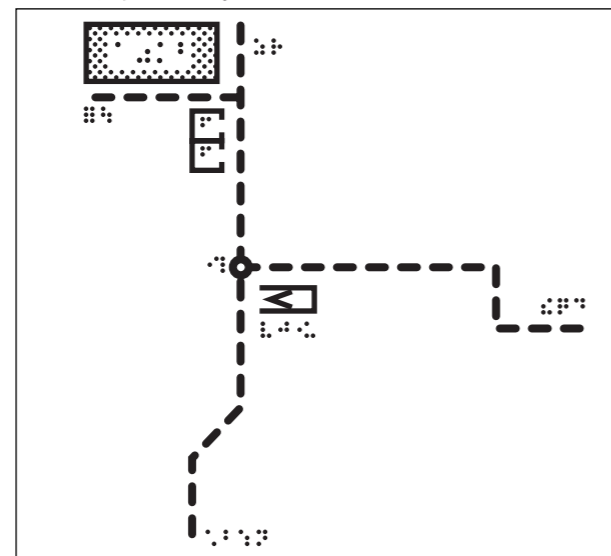
図-70 概略案内地図



- 移動に必要な最小限の情報を拡大し、概略化した地理情報を、明度差の高い色彩と大活字によって分かりやすく表示。(目的地名、通路形状、階段・エレベーター等)
- 道程を黄色とし、周辺の色は彩度を落としたものとし、輝度差を確保するように注意する。

図-71 触知図

※(トイレ・階段・通路・案内所など)のみを記載し、余分な労力を使わせないよう配慮する必要がある。

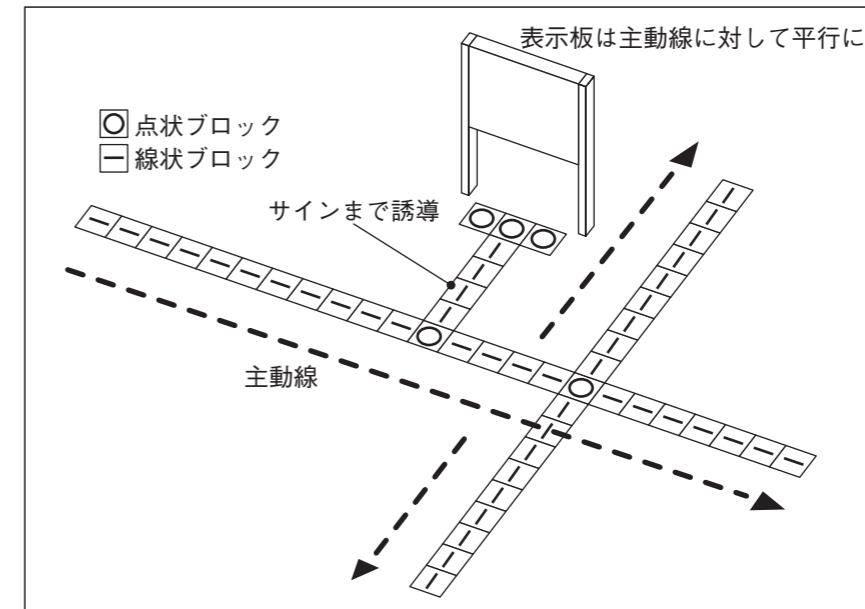


- 触知記号と触図及び点字によって、地理情報を凸形状で表示する。
- 表示範囲は、歩いて移動できる程度とする。
- 周辺案内図は機能と共用するため、凸表示は透明度の高い仕様とし、必要十分な凸高さを確保することとする。
- 記載内容は概略案内地図に表示する。
- ※触知記号、点字の表示内容については、地区内で共通した情報内容の提供を図る必要がある。

14-6 視覚障害者誘導用ブロックについて

視覚障害者対応の情報(触知図・点字表示)が掲載されているサインの場合、視覚障害者誘導用ブロックを敷設し、案内位置まで利用者を誘導する。また、センサーによる音声案内機器を付設することが望ましい。

図-72



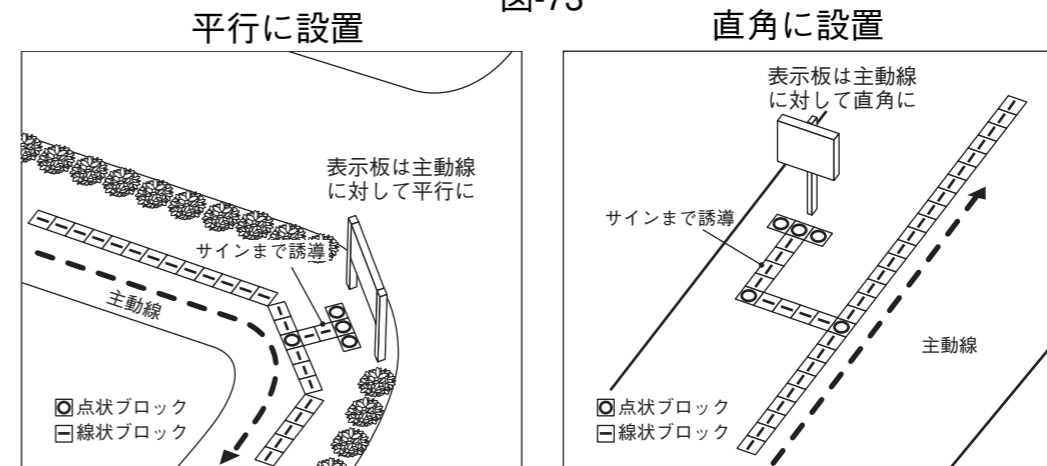
案内地図の設置方向

進行方向に対し、平行に設置することを基本とする。

T字路の突き当たり部利用者が多く見込まれる場所で、設置場所を確保できる場合は、主要動線の進行方向に対し、直角に設置することが有効な場合もある。

誘導ブロックの曲部を可能な限り、少なくする設置方向が望ましい。

図-73



15. 表示面の更新

表示内容の修正、更新を行う場合、既設の標識板内で納めると文字等が小さくなったり、美観上好ましくない時は取替えが望ましい。やむなく表示面の修正、更新を行う場合の対応は下記による。

15-1 表示面全体を修正する場合

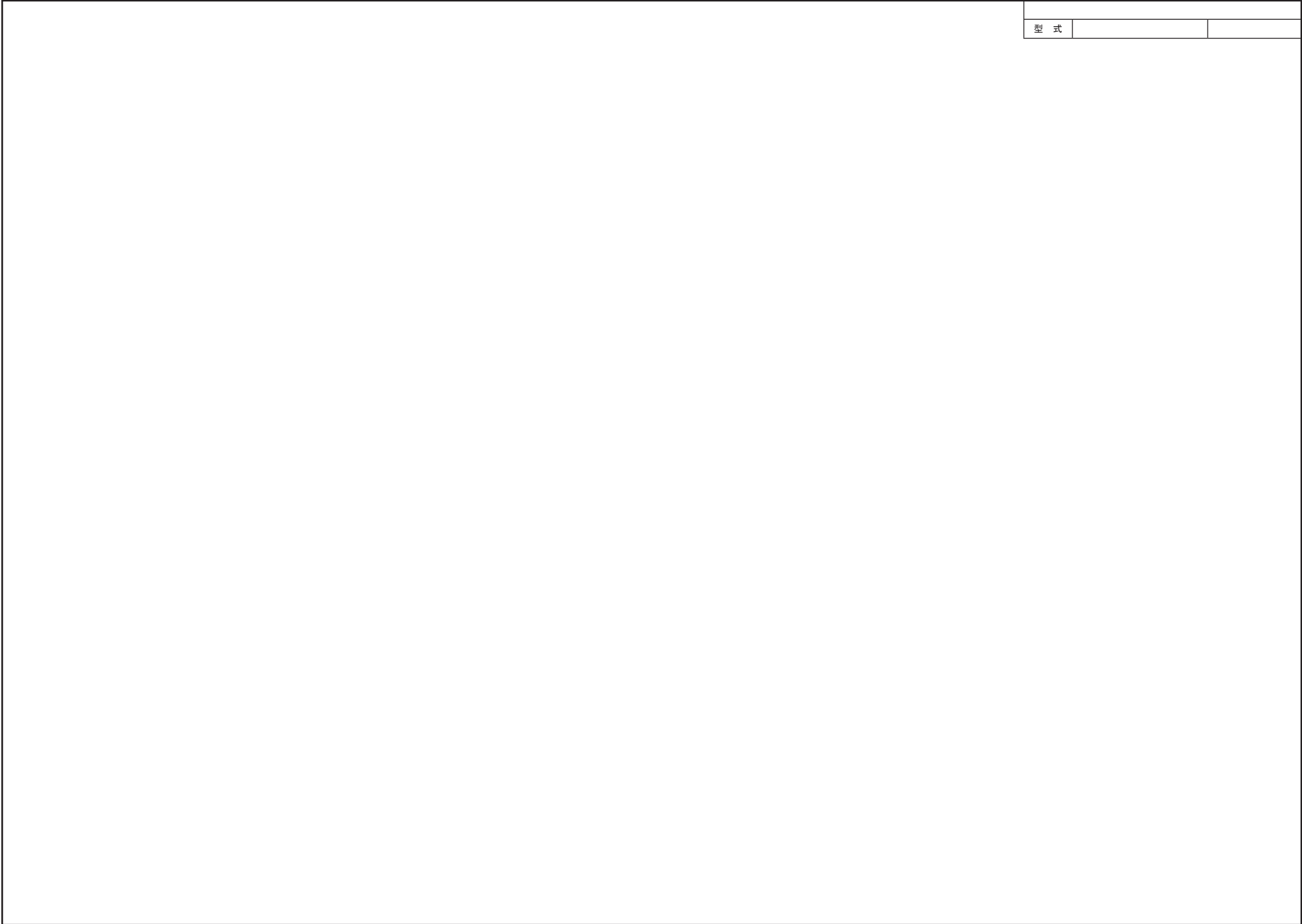
旧の標示板の上へ新しい標示板（板厚2mmのアルミ板）をステンレスビス（ $\phi 6\text{mm}$ ）でダブルナット又はゆるみ止めナットにて固定する重ね貼り工法で施すのがよい。

15-2 表示面を部分的に修正するか追加する場合

板厚1mmのアルミ板を使用し、部分的に修正する箇所へあてがい、ステンレスビス（ $\phi 6\text{mm}$ ）でダブルナット又はゆるみ止めナットにて固定する。

15-1、15-2共にステンレスビス頭は標示板と同色での塗料等で、目立たないようにすること。

型 式		



16. レイアウト図

レイアウト図 目次-1

路側式

ページ	高さ×幅 (mm) (mm)	種別	構造図	シンボル マーク
16-42	500 900	114-A/114の2-A	A-1	無
16-42	500 900	114-A/114の2-A	A-1	無
16-42	500 1100	114-A/114の2-A	A-2	無
16-42	500 1400	114-A/114の2-A	A-5	無
16-43	500 1400	114-A/114の2-A	A-5	無
16-44	500 1300	101/102-A/114-A	A-4/A25	有
16-44	500 1300	101/102-A/114-A	A-4/A25	有
16-44	500 1500	101/102-A/114-A	A-6/A26	有
16-45	500 1800	101/102-A/114-A	A-9/A27	有
16-45	500 1800	101/102-A/114-A	A-9/A27	有
16-46	500 1200	114-A	A-3	無
16-46	500 1200	114-A	A-3	無
16-47	500 1400	114-A	A-5	無
16-47	500 1700	114-A	A-8	無
16-48	500 1700	114-A	A-8	無
16-48	500 1600	114-A	A-7	有
16-49	500 1600	114-A	A-7	有
16-49	500 1800	114-A	A-9	有
16-50	500 2100	114-A	A-10	有
16-50	500 2100	114-A	A-10	有
16-51	900 1300	114-A	A-12	有
16-51	900 1500	114-A	A-14	有
16-52	900 1200	114-A	A-11	無
16-52	900 1400	114-A	A-13	無
16-53	900 1700	114-A	A-16	無
16-53	900 1600	114-A	A-15	有
16-54	900 1800	114-A	A-17	有
16-54	900 2100	114-A	A-18	有
16-55	1300 1200	114-A	A-19	無
16-55	1300 1400	114-A	A-20	無
16-56	1300 1700	114-A	A-22	無
16-57	1300 1600	114-A	A-21	有
16-58	1300 1800	114-A	A-23	有
16-59	1300 2100	114-A	A-24	有
16-60	900 600	116の2	A-42	無
16-60	900 600	116の3	A-42	無
16-60	900 600	116の4	A-42	無
16-60	600 600	117-A	A-43	無

オーバーハング式
オーバーヘッド式

ページ	高さ×幅 (mm) (mm)	種別	構造図	シンボル マーク
16-61	270 800	118-B	A-32/A-33	無
16-61	405 1200	118-B	A-34/A-35	無
16-61	270 800	118の2-B	A-32/A-33	無
16-61	405 1200	118の2-B	A-34/A-35	無
16-62	270 800	118-C	A-32/A-33	無
16-62	405 1200	118-C	A-34/A-35	無
16-62	270 800	118の2-C	A-32/A-33	無
16-62	405 1200	118の2-C	A-34/A-35	無
16-63	700 1000	118の3-A	A-41	無
16-63	700 1000	118の3-B	A-40	無
16-64	240 800	119-A	A-36	無
16-64	240 800	119-B	A-36	無
16-64	800 200	119-C	A-38	無
16-65	480 1600	119-A	A-37	無
16-65	480 1600	119-B	A-37	無
16-65	1600 400	119-C	A-39	無
16-66	660 420	121-A	A-49	無
16-66	420 660	121-B	A-50	無
16-66	360 360	121-C	A-51	無
16-67	660 420	122-A	A-49	無
16-67	420 660	122-B	A-50	無
16-67	360 360	122-C	A-51	無
16-68	660 420	123-A	A-49	無
16-68	420 660	123-B	A-50	無
16-68	360 360	123-C	A-51	無
16-69	810 420	124-A	A-52	無
16-69	420 990	124-B	A-53	無
16-69	660 420	124-C	A-49	無
16-70	810 420	125-A	A-52	無
16-70	420 990	125-B	A-53	無
16-70	660 420	125-C	A-49	無
16-71	660 420	126-A	A-49	無
16-71	420 660	126-B	A-50	無
16-71	360 360	126-C	A-51	無
16-72	*	114-B	*	有

ページ	高さ×幅 (mm) (mm)	種別	構造図	シンボル マーク
16-73	800 1300	114-A/114の2-A	B-1/B-13	無
16-73	800 1300	114-A/114の2-A	B-1/B-13	無
16-74	800 1700	114-A/114の2-A	B-2/B-14	無
16-74	800 2000	114-A/114の2-A	B-5/B-16	無
16-75	800 2000	114-A/114の2-A	B-5/B-16	無
16-76	800 1900	101/102-A/114-A	B-4/B-15	有
16-76	800 1900	101/102-A/114-A	B-4/B-15	有
16-77	800 2300	101/102-A/114-A	B-7/B-17	有
16-77	800 2600	101/102-A/114-A	B-10/B-18	有
16-78	800 2600	101/102-A/114-A	B-10/B-18	有
16-79	800 1800	114-A	B-3	無
16-79	800 1800	114-A	B-3	無
16-80	800 2100	114-A	B-6	無
16-80	800 2500	114-A	B-9	無
16-81	800 2500	114-A	B-9	無
16-82	800 2400	114-A	B-8	有
16-82	800 2400	114-A	B-8	有
16-83	800 2700	114-A	B-11	有
16-83	800 3100	114-A	B-12	有
16-84	800 3100	114-A	B-12	有
16-85	1400 1900	101/102-A/114-A	B-20	有
16-86	1400 2300	101/102-A/114-A	B-23	有
16-87	1400 2600	101/102-A/114-A	B-26	有
16-88	1400 1800	114-A	B-19	無
16-89	1400 2100	114-A	B-21	無
16-90	1400 2500	114-A	B-25	無
16-91	1400 2400	114-A	B-24	有
16-92	1400 2700	114-A	B-27	有
16-93	1400 3100	114-A	B-29	有
16-94	2000 2300	114-A	B-32	有
16-95	2000 2600	114-A	B-35	有
16-96	2000 2100	114-A	B-30	無
16-97	2000 2500	114-A	B-34	無
16-98	2000 2400	114-A	B-33	有
16-99	2000 2700	114-A	B-36	有
16-100	2000 3100	114-A	B-39	有
16-101	1400 2200	106-A	B-22	無
16-102	1400 2400	106-A	B-24	無

レイアウト図 目次-2

オーバーハング式
オーバーヘッド式

ページ	高さ×幅 (mm) (mm)	種別	構造図	シンボル マーク	ページ	高さ×幅 (mm) (mm)	種別	構造図	シンボル マーク
16-103	1400 2500	106-A	B-25	無	16-139	1800 2200	108の2-B	—	無
16-104	1400 2700	106-A	B-27	無	16-140	1800 2200	108の2-B	—	無
16-105	1400 2700	106-A	B-27	無	16-141	1800 2600	108-B	—	無
16-106	1400 2800	106-A	B-28	無	16-142	1800 2400	108-B	—	無
16-107	2000 2200	106-A	B-31	無	16-143	1800 2600	108の2-B	—	無
16-108	2000 2400	106-A	B-33	無	16-144	1800 2400	108の2-B	—	無
16-109	2000 2500	106-A	B-34	無	16-145	1800 2600	108の2-B	—	無
16-110	2000 2700	106-A	B-36	無	16-146	1800 2600	108の2-B	—	無
16-111	2000 2700	106-A	B-36	無	16-147	1800 2600	108の2-B	—	無
16-112	2000 2800	106-A	B-37	無	16-148	1800 3000	108の2-B	—	無
16-113	2500 3000	108-A	B-45	無	16-149	1600 2600	108の2-B	B-53	無
16-114	2500 3000	108-A	B-45	無	16-150	1600 2600	108の2-B	B-53	無
16-115	3200 3200	108-A	B-51	無	16-151	1600 2200	108の2-B	B-52	無
16-116	3200 3200	108-A	B-51	無	16-152	1600 2200	108の2-B	B-52	無
16-117	3200 3200	108-A	B-51	無	16-153	720 2400	119-A※	—	無
16-118	2600 3000	108-A	B-46	無	16-153	720 2400	119-B※	—	無
16-119	3200 3200	108-A	B-51	無	16-153	2400 600	119-C※	—	無
16-120	2500 2800	108-A	B-44	無	16-154	900 2400	117の2-A	B-70	無
16-121	2400 3000	108-A	B-43	無					
16-122	2300 3000	108-A	B-42	無					
16-123	2600 3000	108の3	B-46	無					
16-124	2300 3000	108の2-A	B-42	無					
16-125	2300 3000	108の2-A	B-42	無					
16-126	2800 3000	108の2-A	B-48	無					
16-127	2800 3000	108の2-A	B-48	無					
16-128	3000 3200	108の2-A	B-50	無					
16-129	2400 3000	108の2-A	B-43	無					
16-130	3000 3000	108の2-A	B-49	無					
16-131	2300 2800	108の2-A	B-41	無					
16-132	2800 2800	108の2-A	B-47	無					
16-133	2100 3000	108の2-A	B-40	無					
16-134	2000 3000	108の2-A	B-38	無					
16-135	2300 3000	108の4	B-42	無					
16-136	1800 1300	108-B	—	無					
16-136	1800 1300	108-B	—	無					
16-137	1800 1300	108の2-B	—	無					
16-137	1800 1300	108の2-B	—	無					
16-138	1800 1700	108の2-B	—	無					
16-138	1800 1700	108-B	—	無					

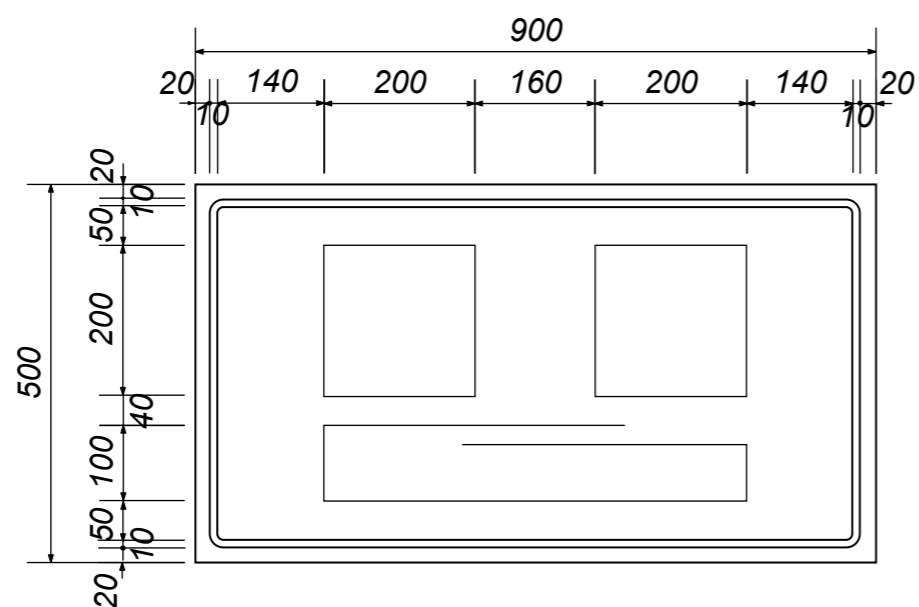
※119-A,B,Cはオーバーヘッドにのみ設置。

その他案内標識

ページ	高さ×幅 (mm) (mm)	種別	構造図	シンボル マーク
16-155	1850 700	チェーン着脱場	A-71	無
16-155	1080 1350	チェーン着脱場	B-75	無
16-156	1200 1700	峠名	B-73	無
16-157	1300 1800	登坂車線の予告	B-71	無
16-157	1300 1800	登坂車線	B-71	無
16-158	1300 1800	登坂車線	B-71	無
16-159	2500 1500	交通規制区間	A-70	無
16-159	1500 1500	交通規制区間	B-72	無
16-160	1200 1700	橋名	B-73	無
16-161	1200 2300	トンネル名	B-74	無
16-162	1100 2700	道の駅	B-76	無
16-163	1600 2700	道の駅	B-77	無
16-164	1900 2300	トンネル入口(点灯)	B-78	無
16-164	500 1500	トンネル出口(消灯)	B-79	無

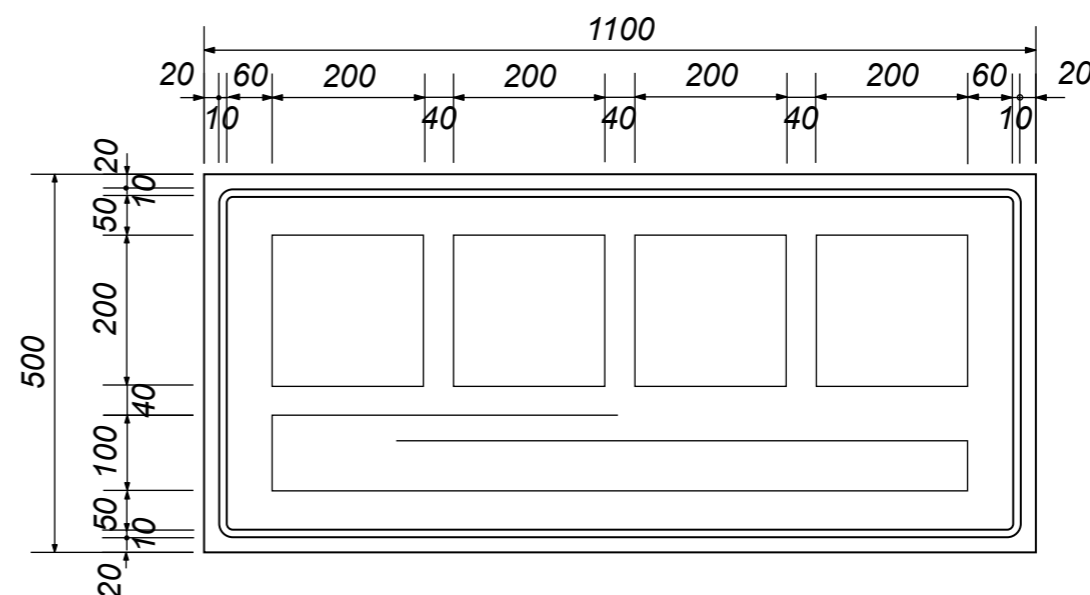
[路側式]

著名地点 (114-A)
主要地点 (114の2-A) **A-1**



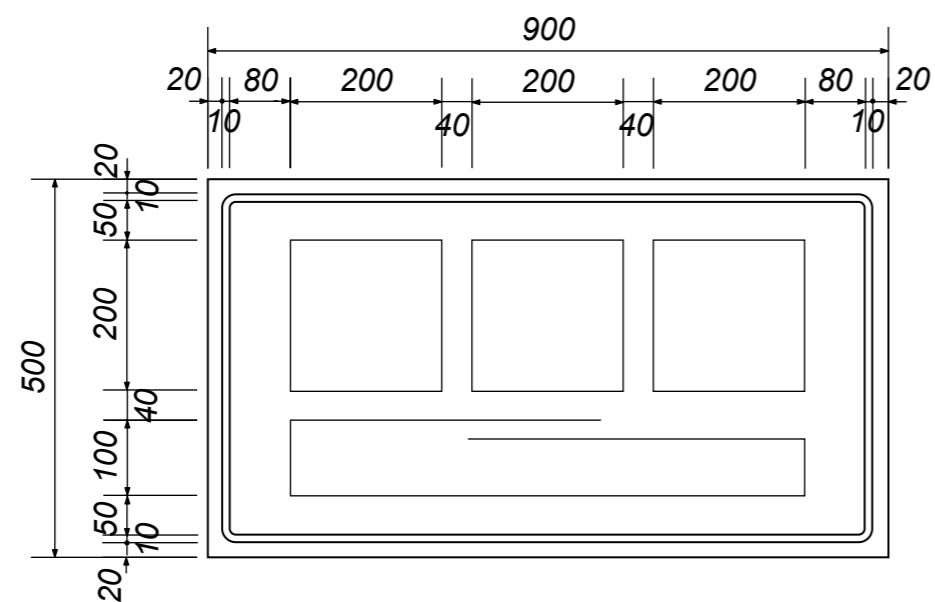
[路側式]

著名地点 (114-A)
主要地点 (114の2-A) **A-2**



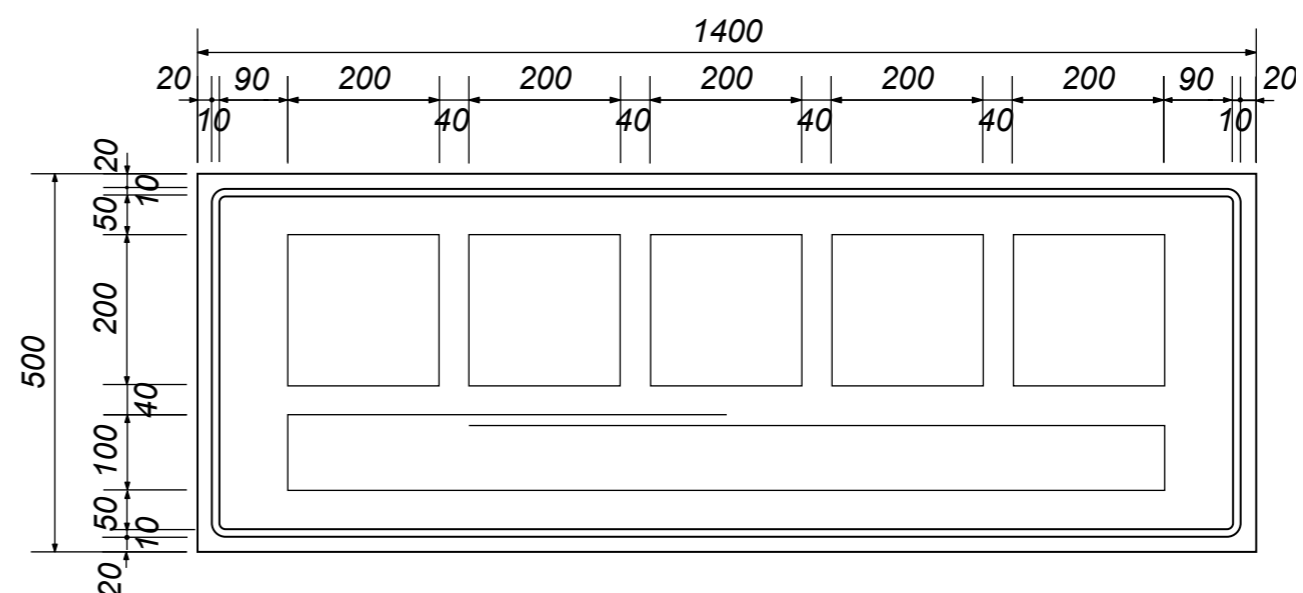
[路側式]

著名地点 (114-A)
主要地点 (114の2-A) **A-1**



[路側式]

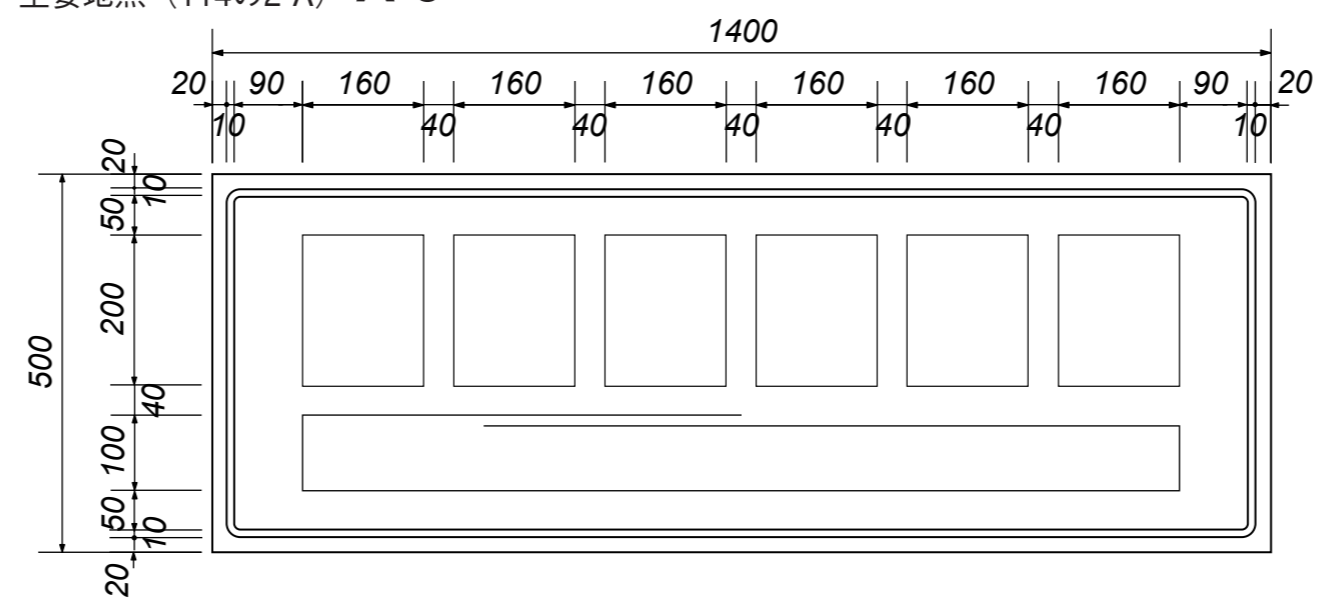
著名地点 (114-A)
主要地点 (114の2-A) **A-5**



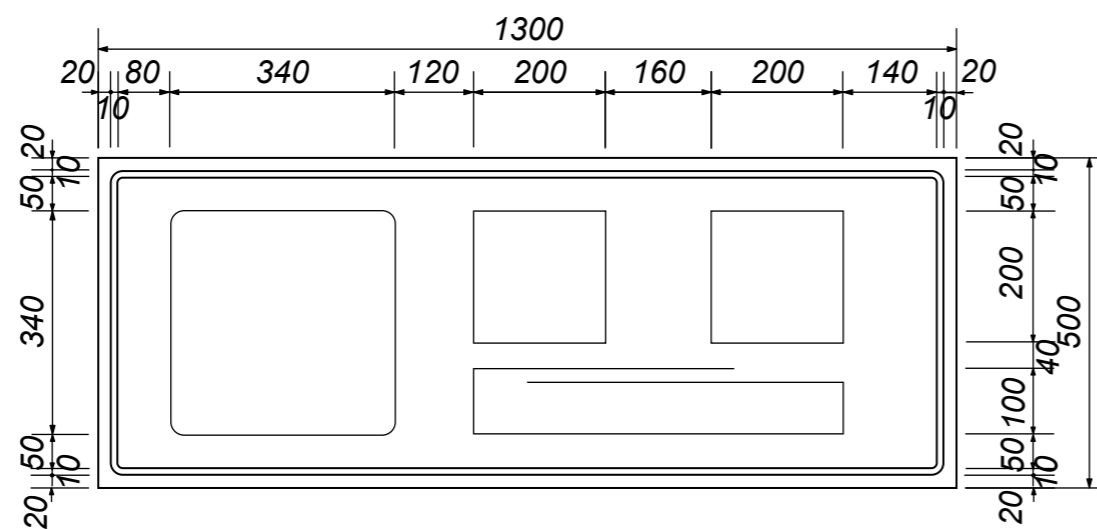
[路側式]

著名地点 (114-A)

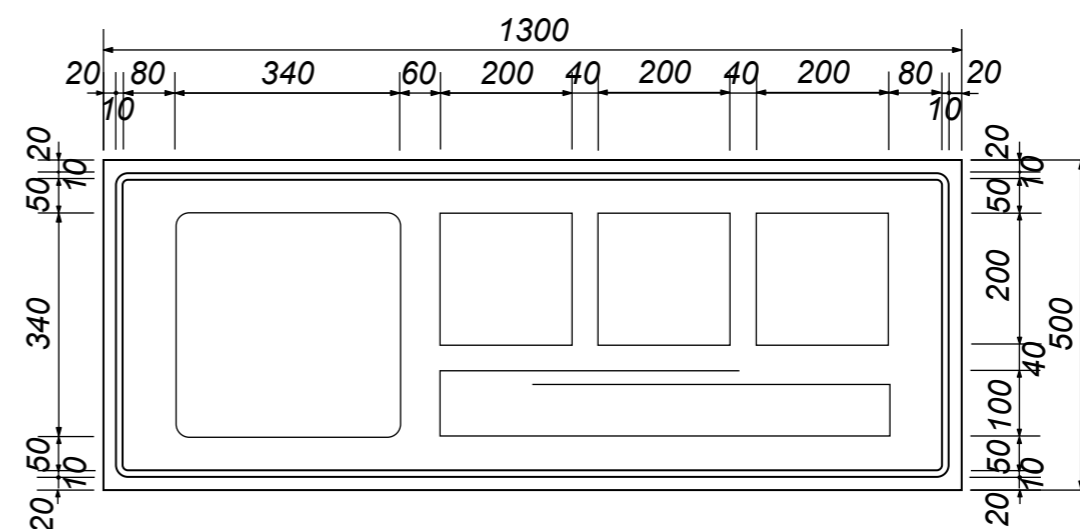
主要地点 (114の2-A) **A-5**



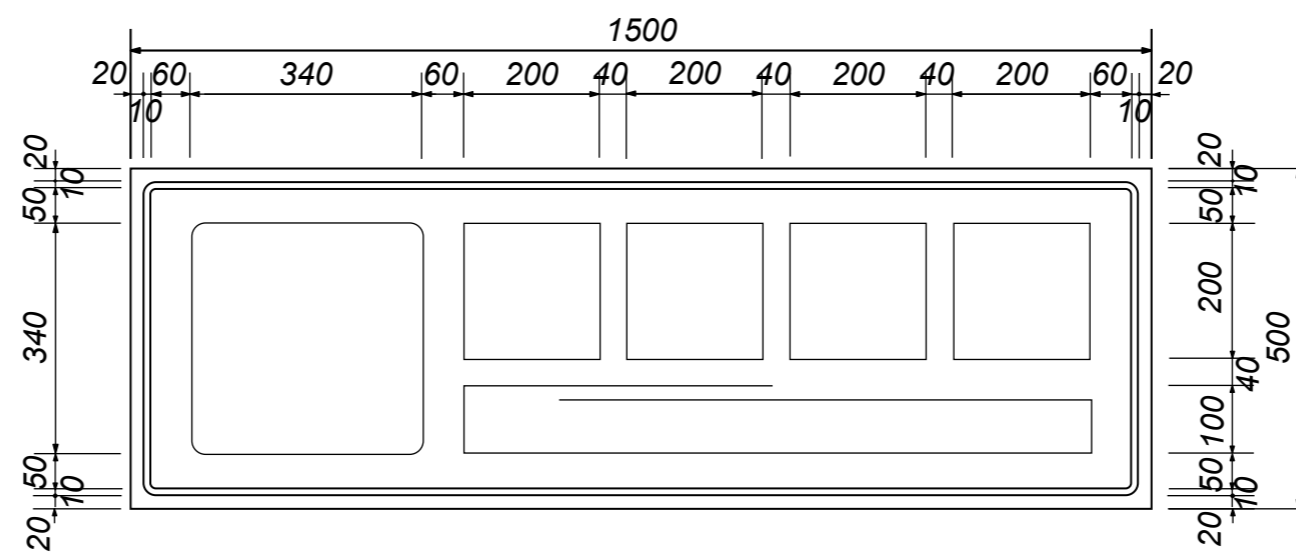
[路側式]
市町村 (101)
都府県 (102-A)
著名地点 (114-A) **A-4/A25**



[路側式]
市町村 (101)
都府県 (102-A)
著名地点 (114-A) **A-4/A25**



[路側式]
市町村 (101)
都府県 (102-A)
著名地点 (114-A) **A-6/A26**



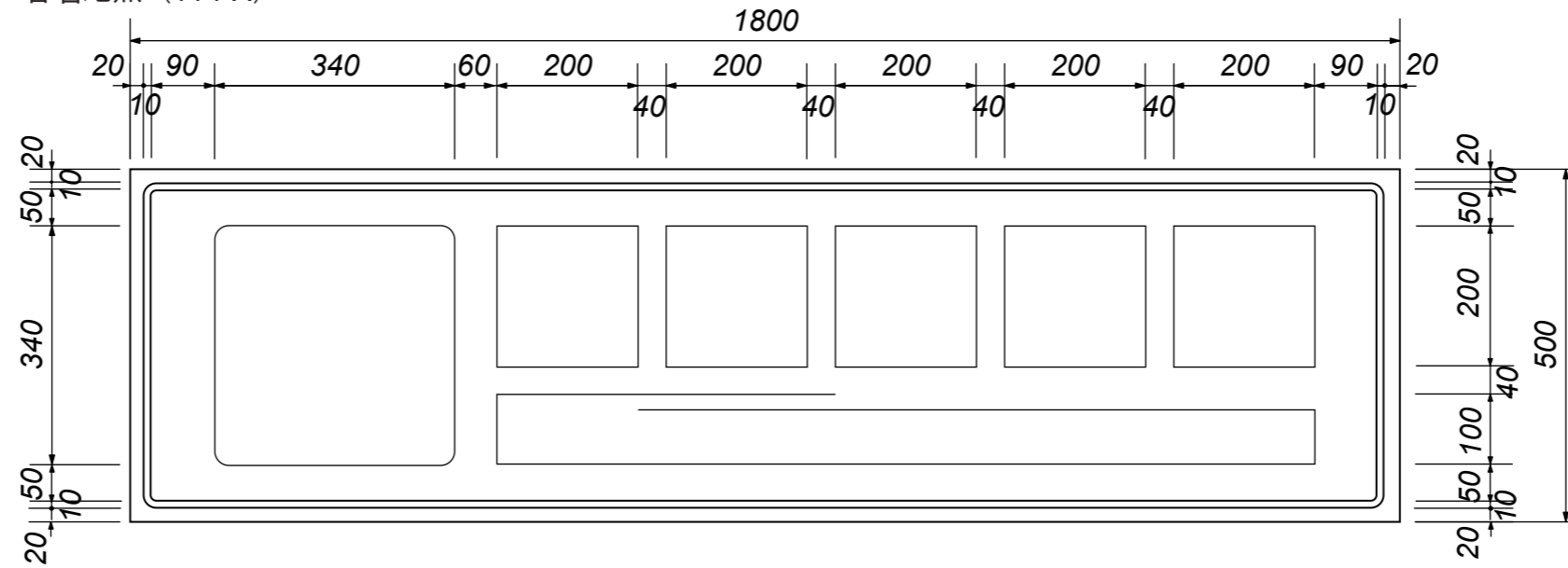
[路側式]

市町村 (101)

都府県 (102-A)

著名地点 (114-A)

A-9/A27



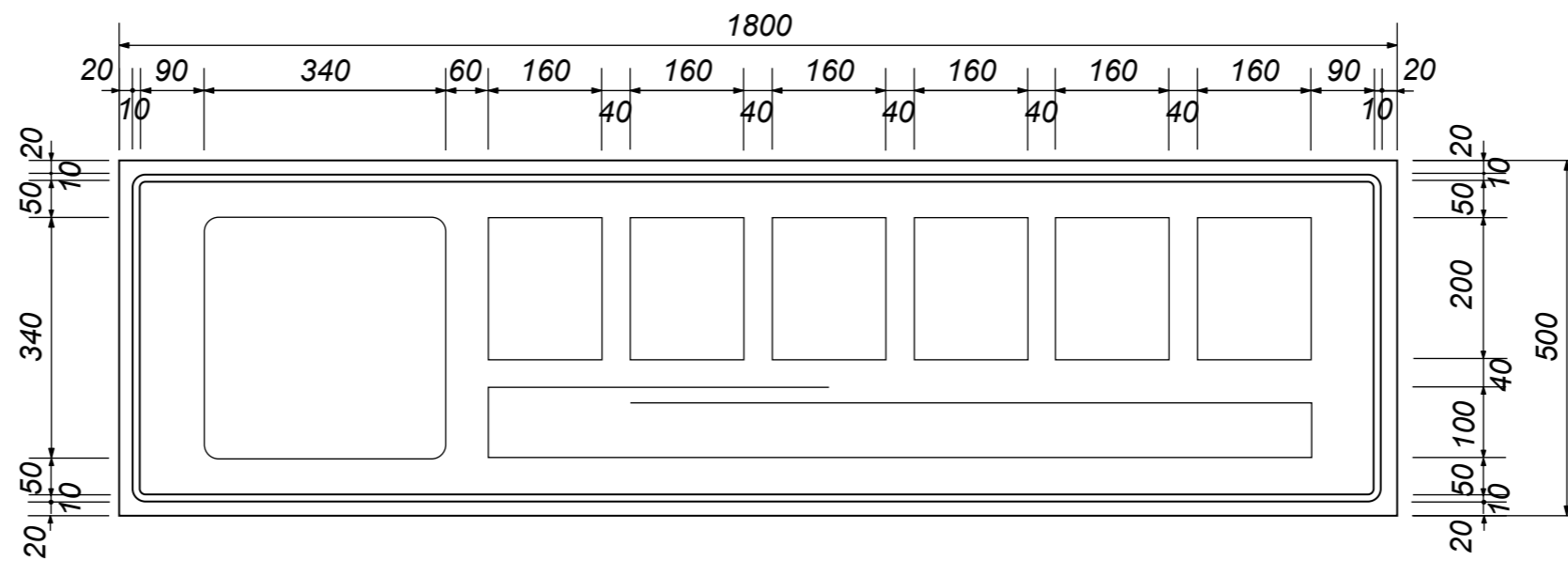
[路側式]

市町村 (101)

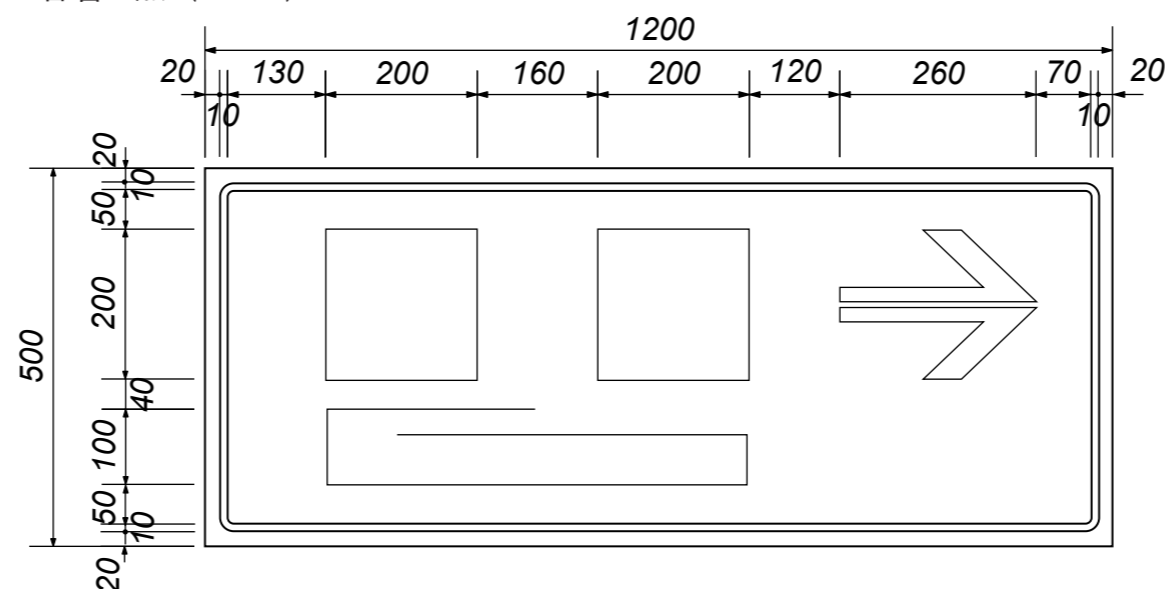
都府県 (102-A)

著名地点 (114-A)

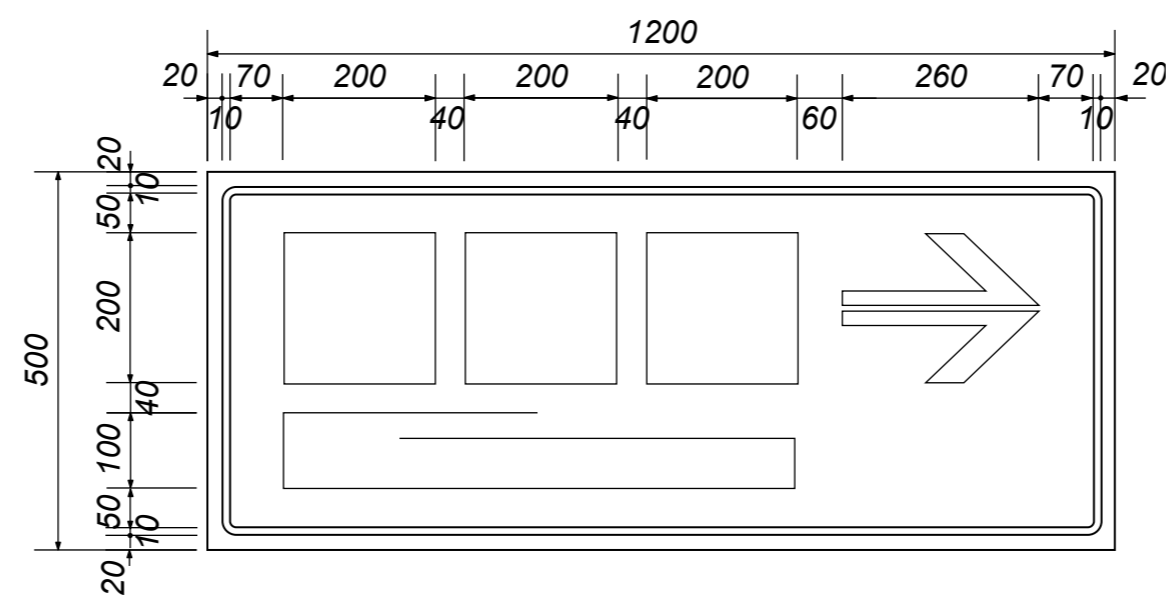
A-9/A27



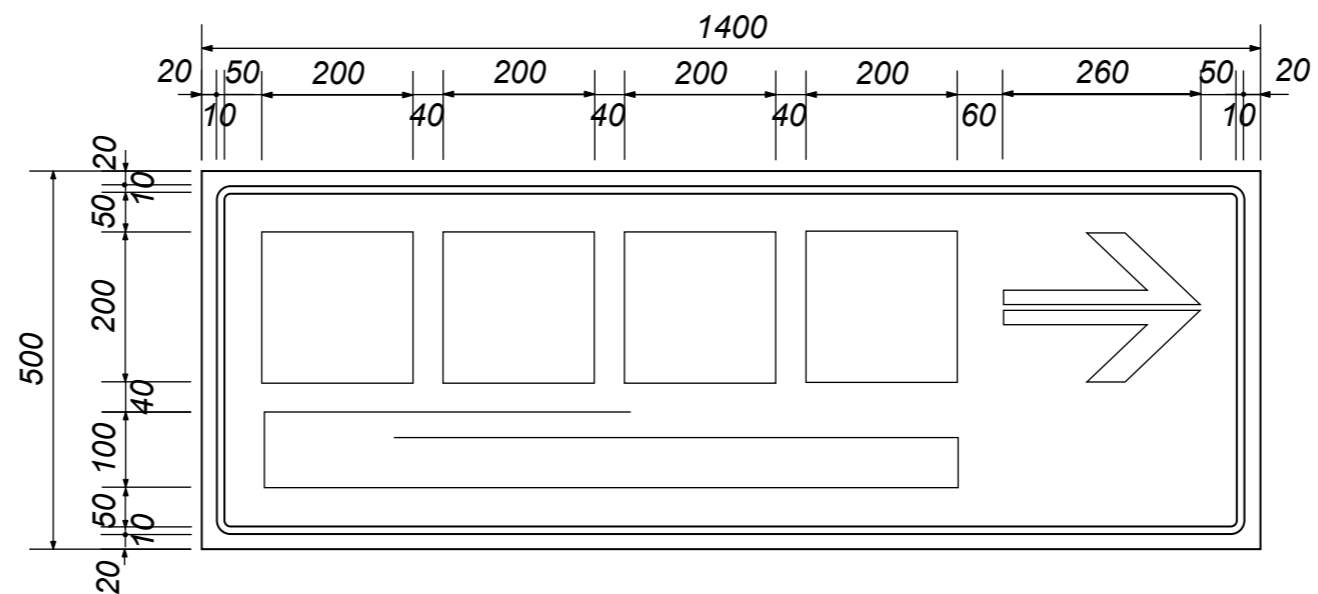
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-3**



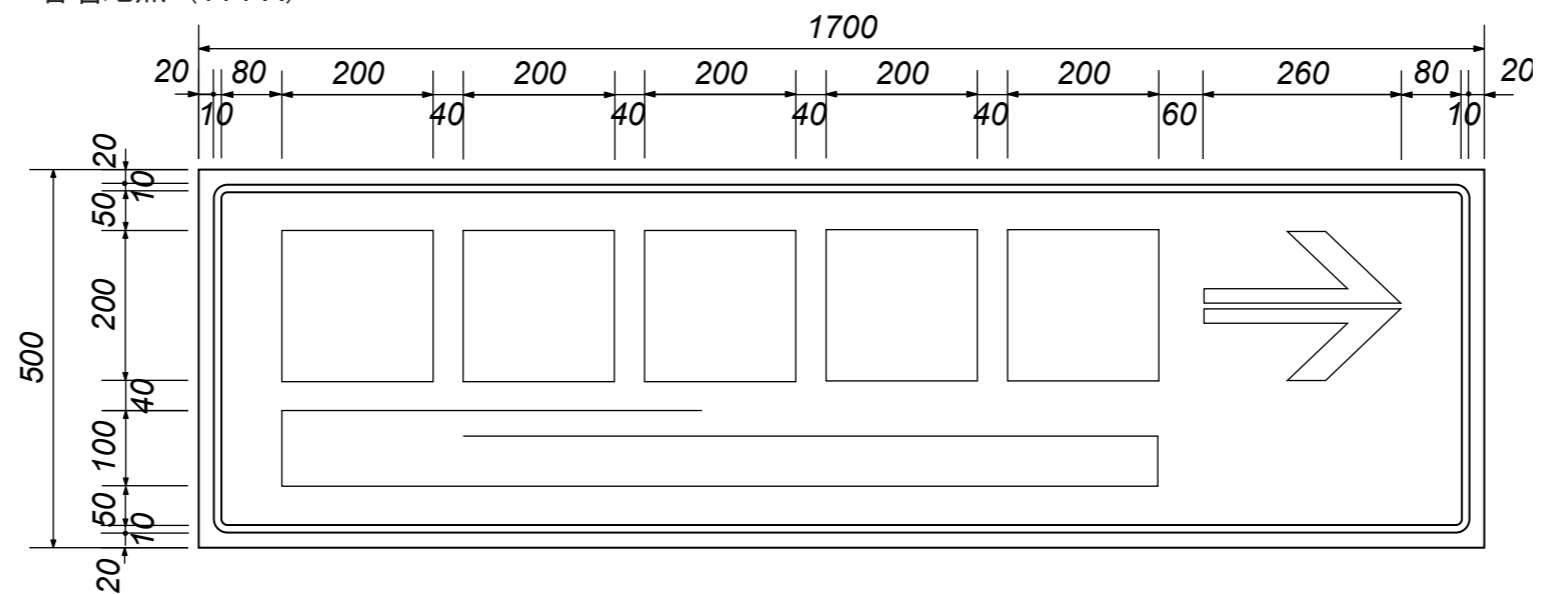
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-3**



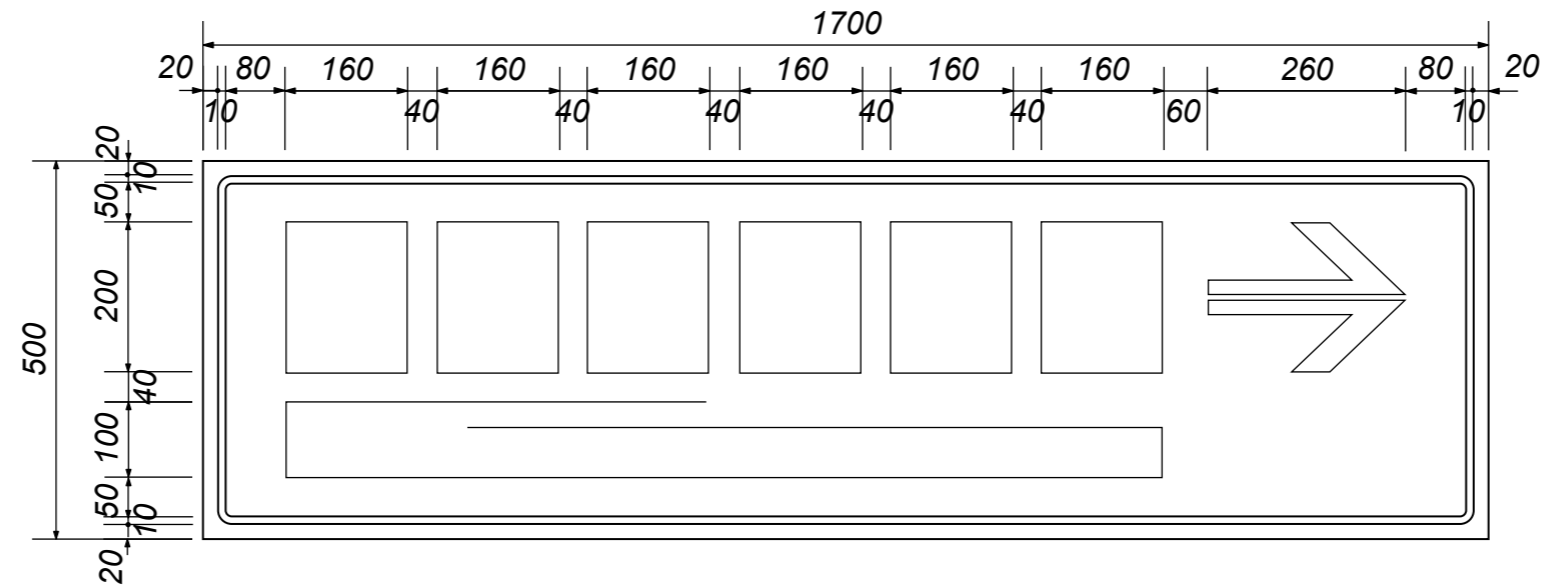
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-5**



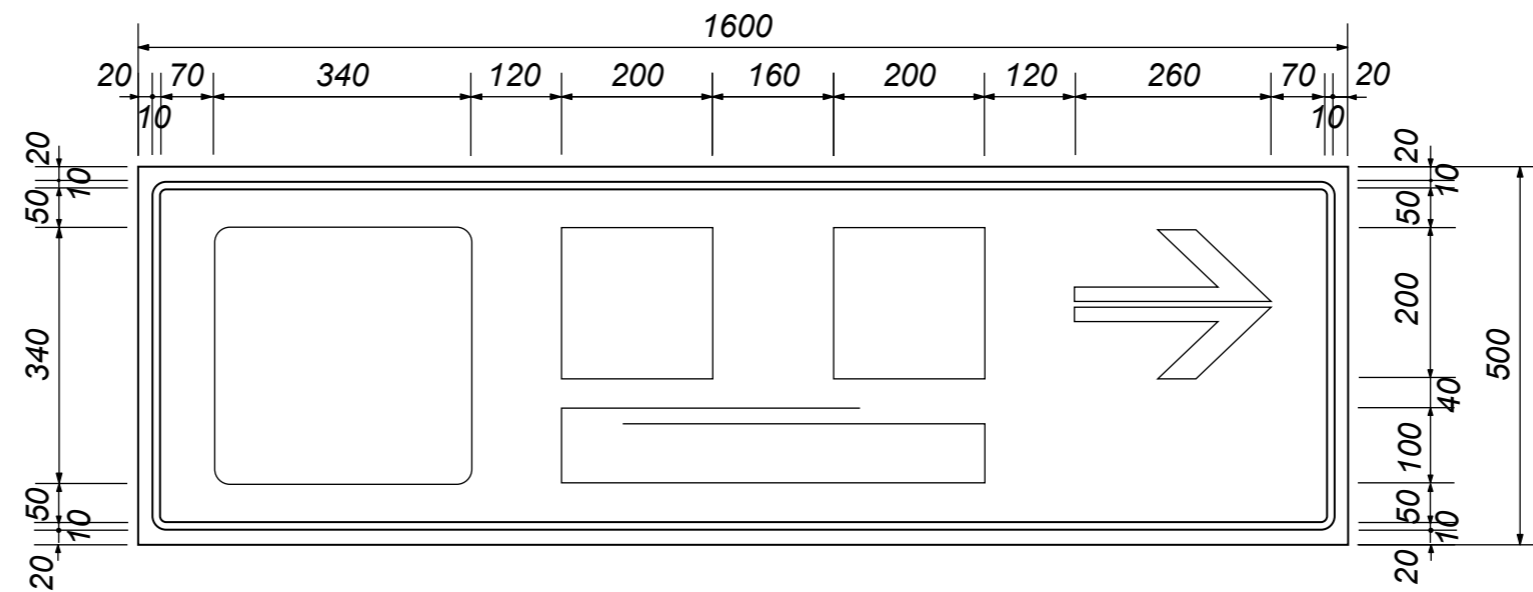
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-8**



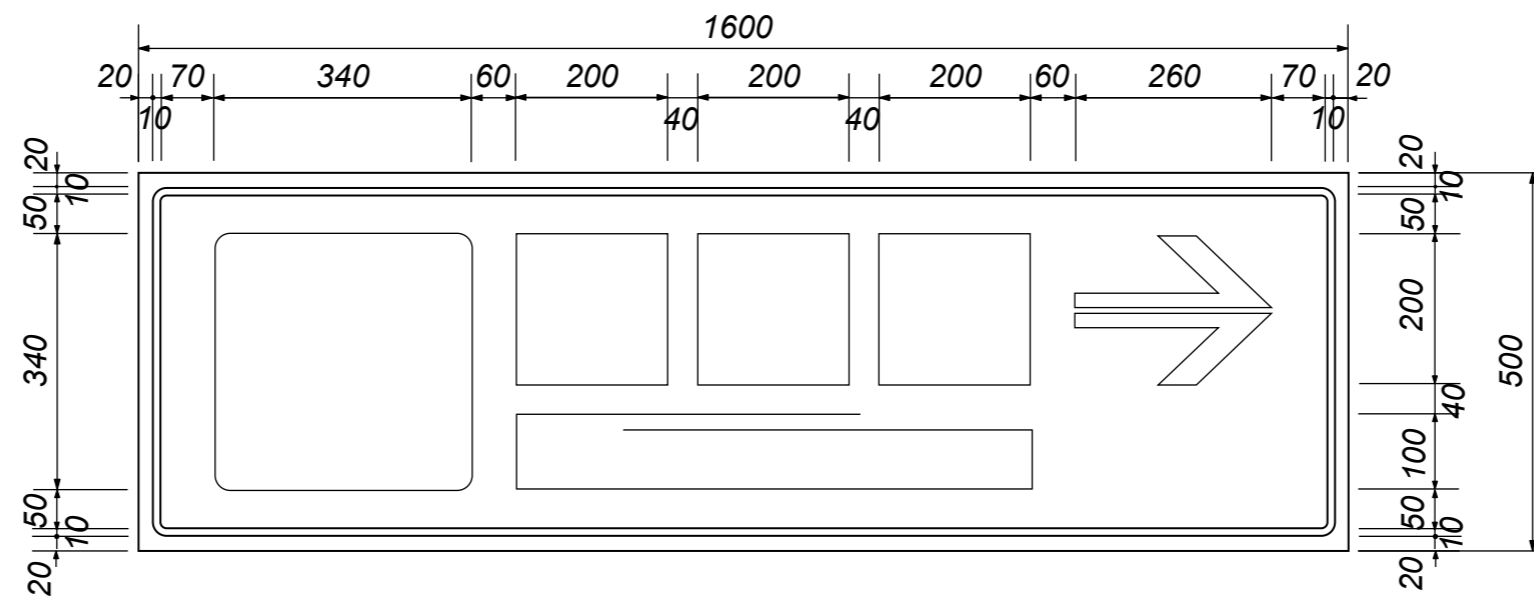
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-8**



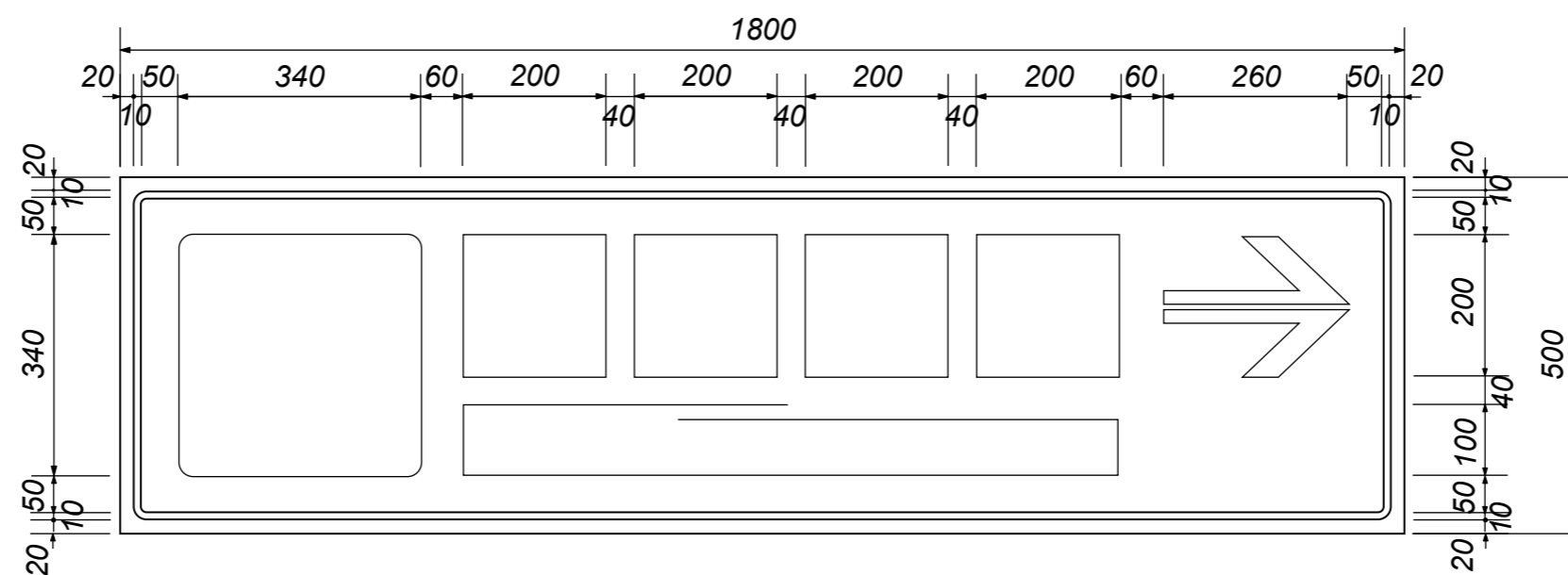
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-7**



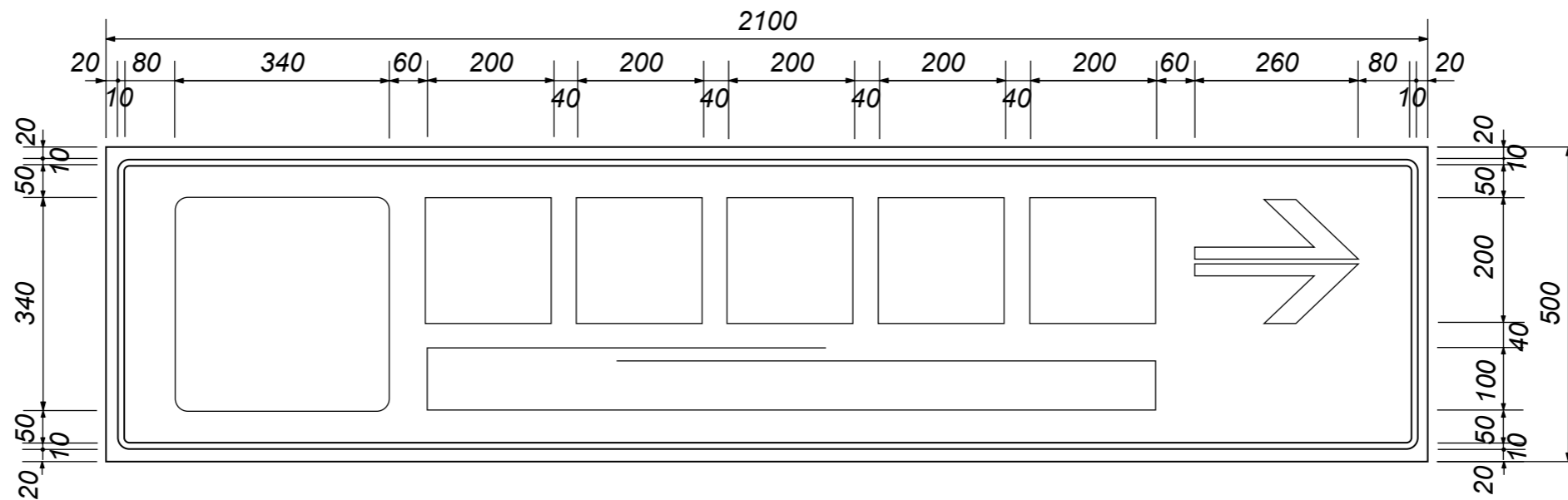
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-7**



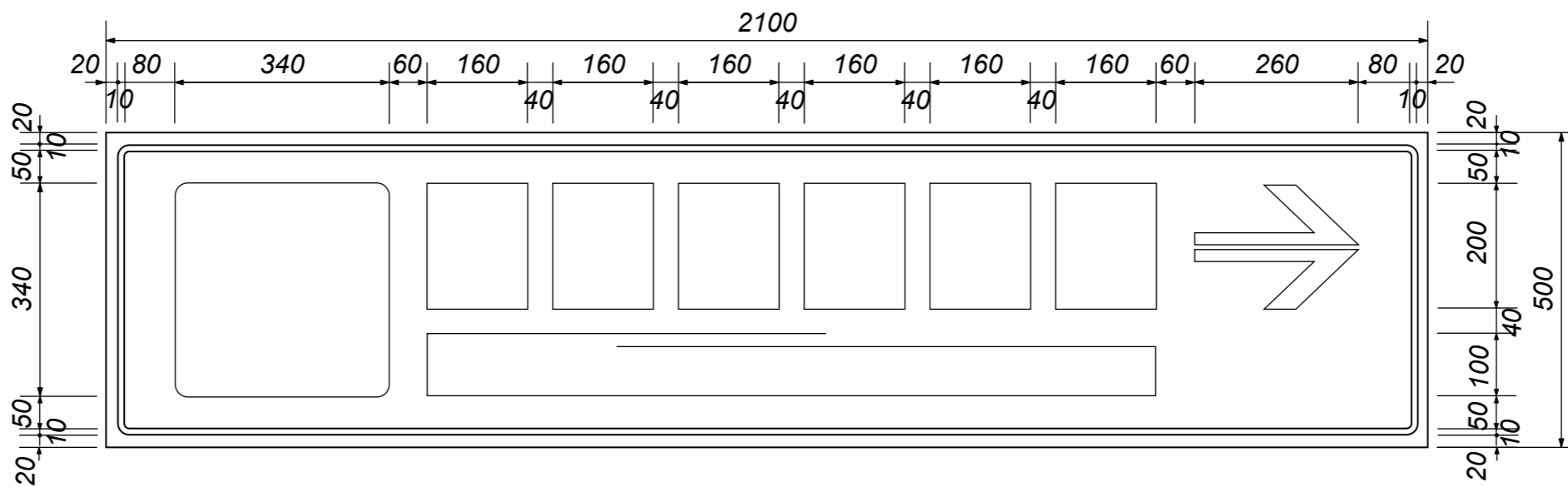
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-9**



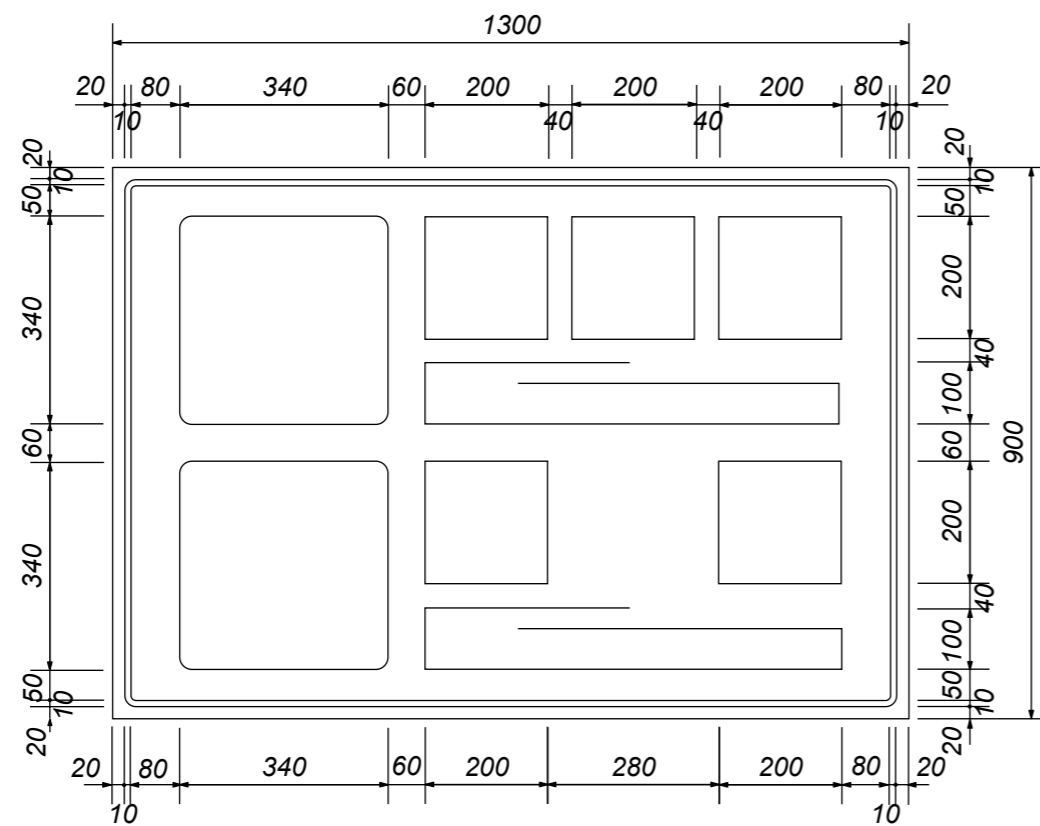
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-10**



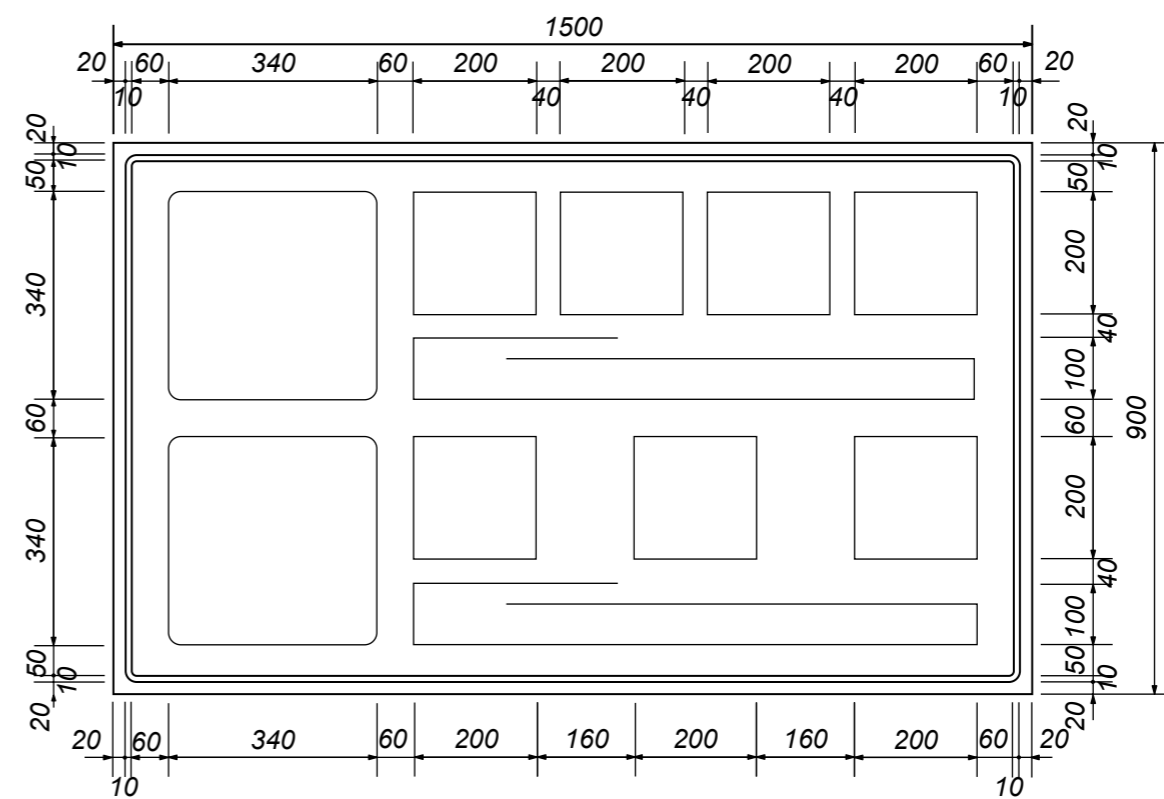
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-10**



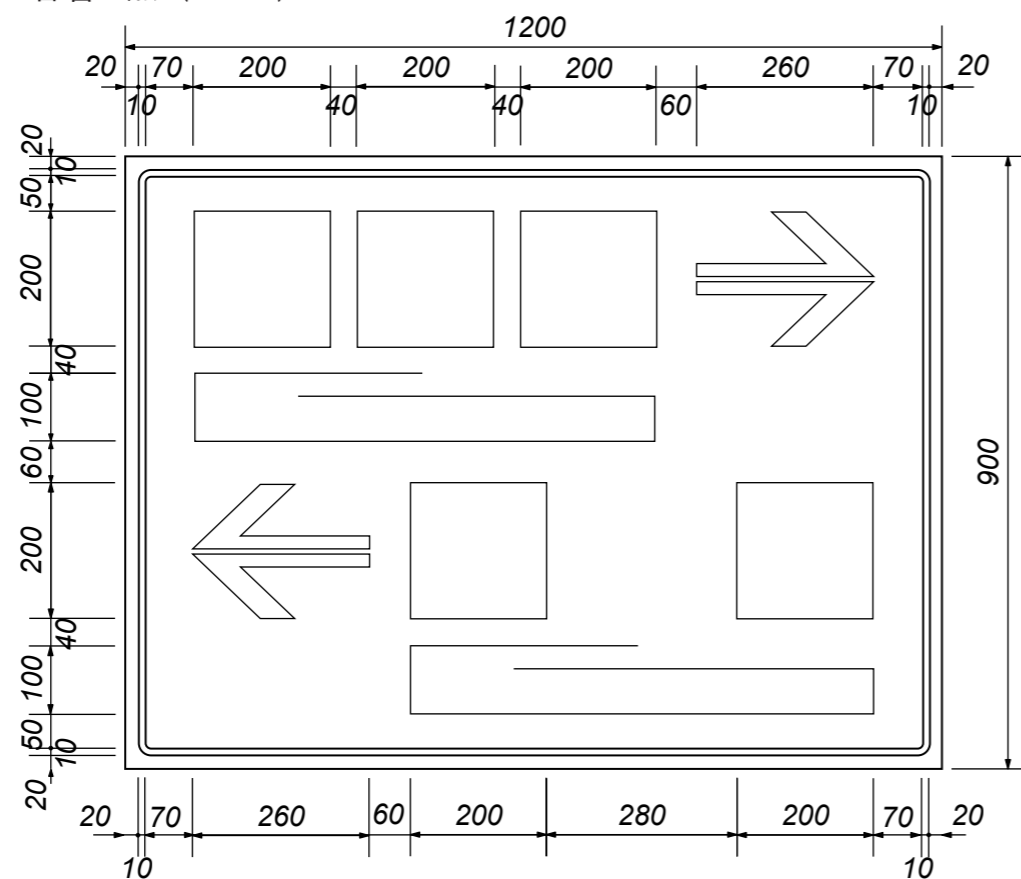
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-12**



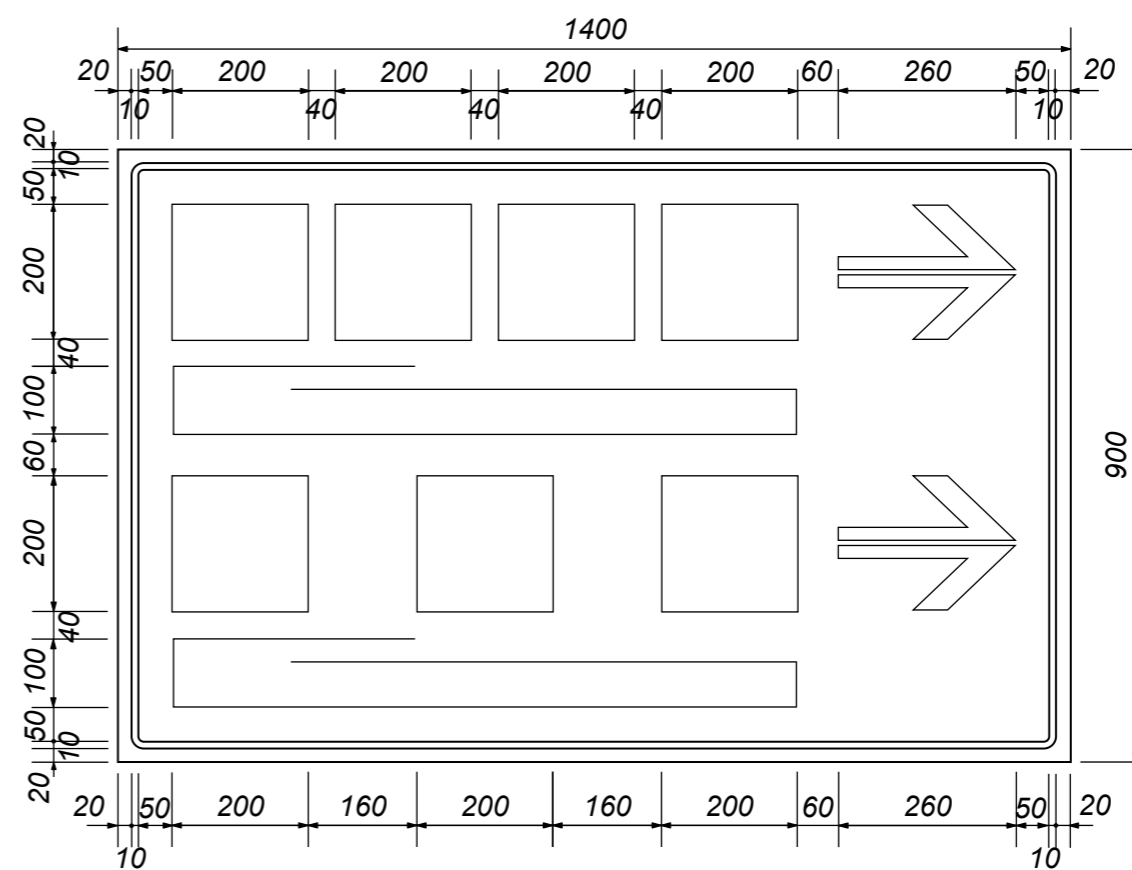
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-14**



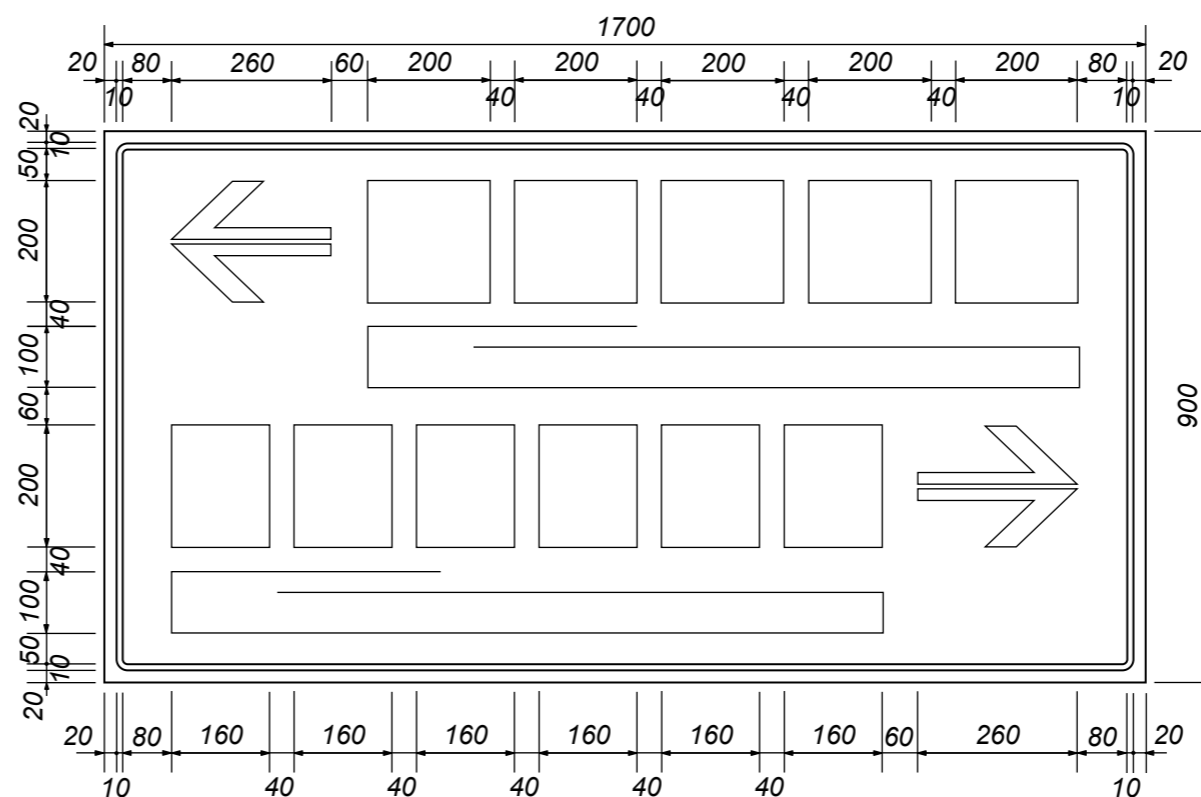
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-11**



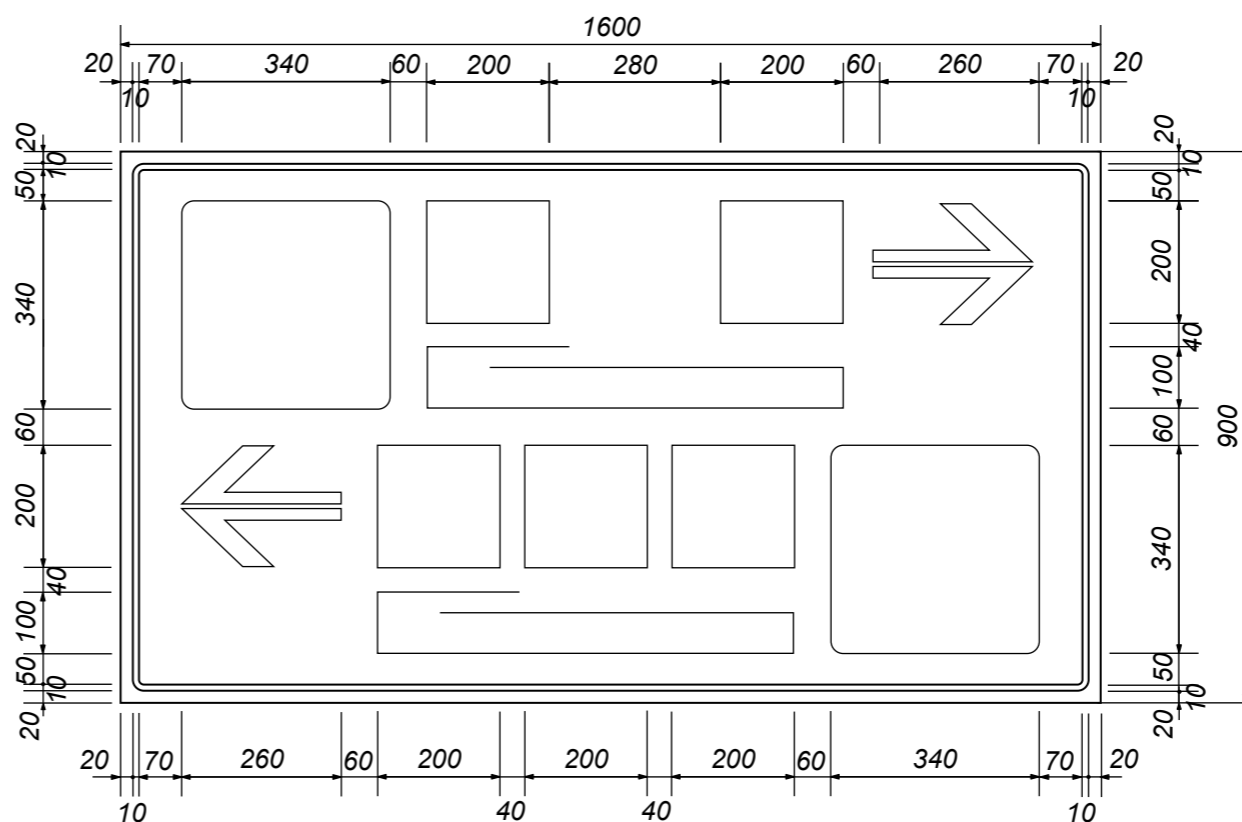
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-13**



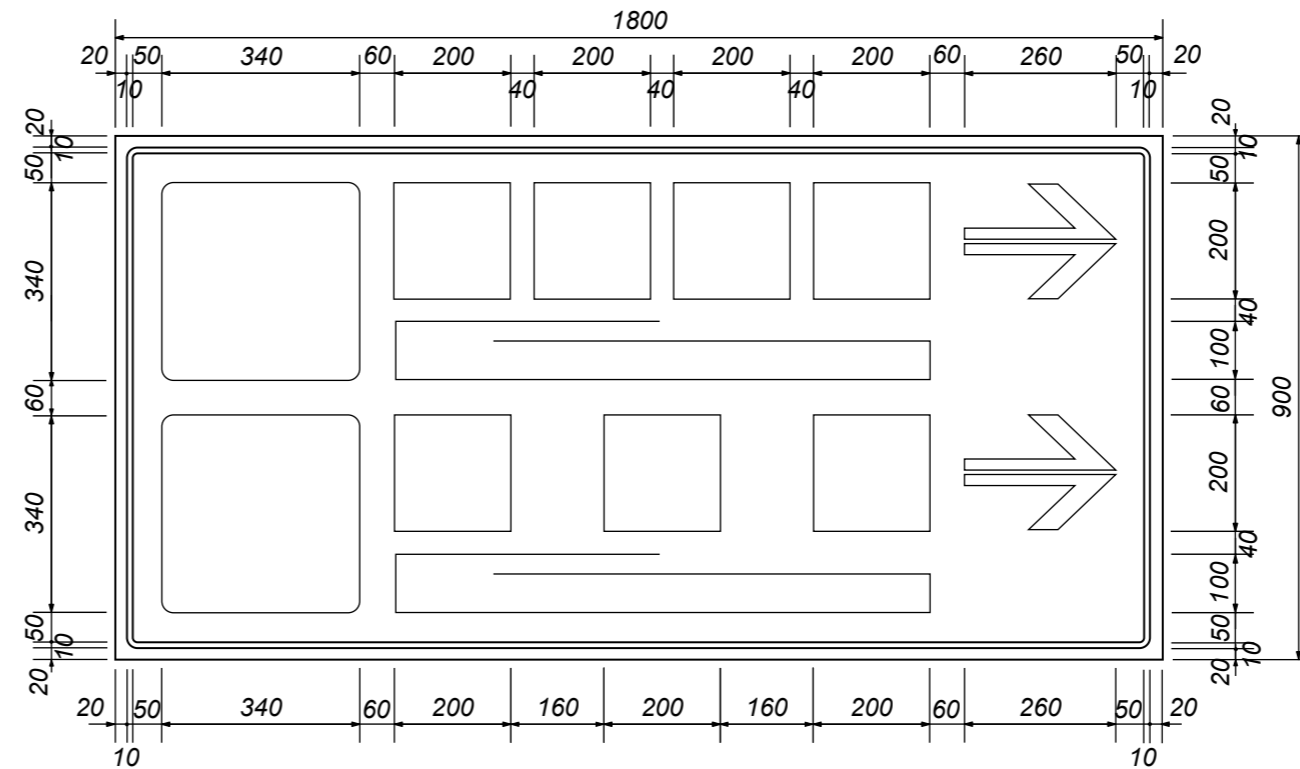
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-16**



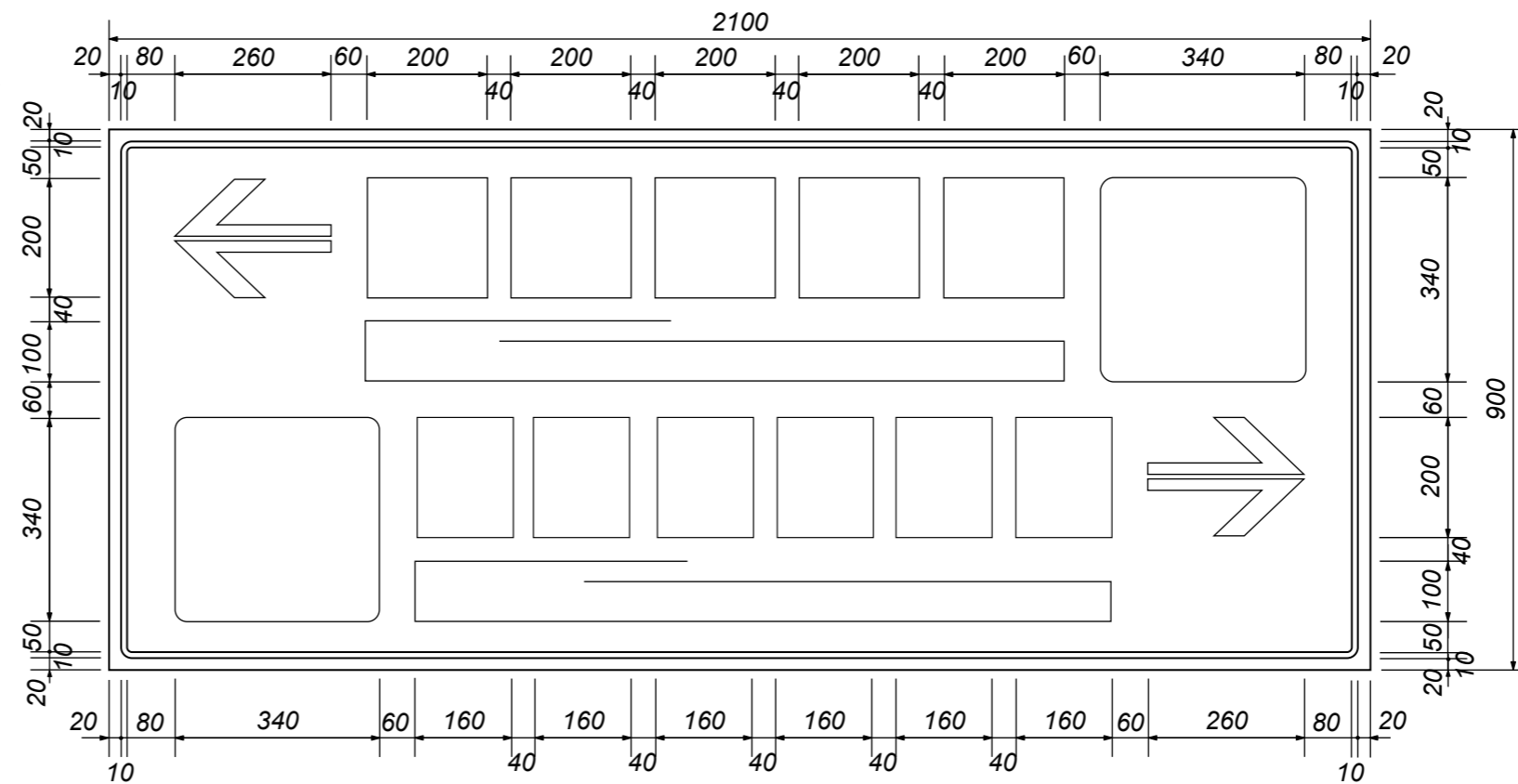
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-15**



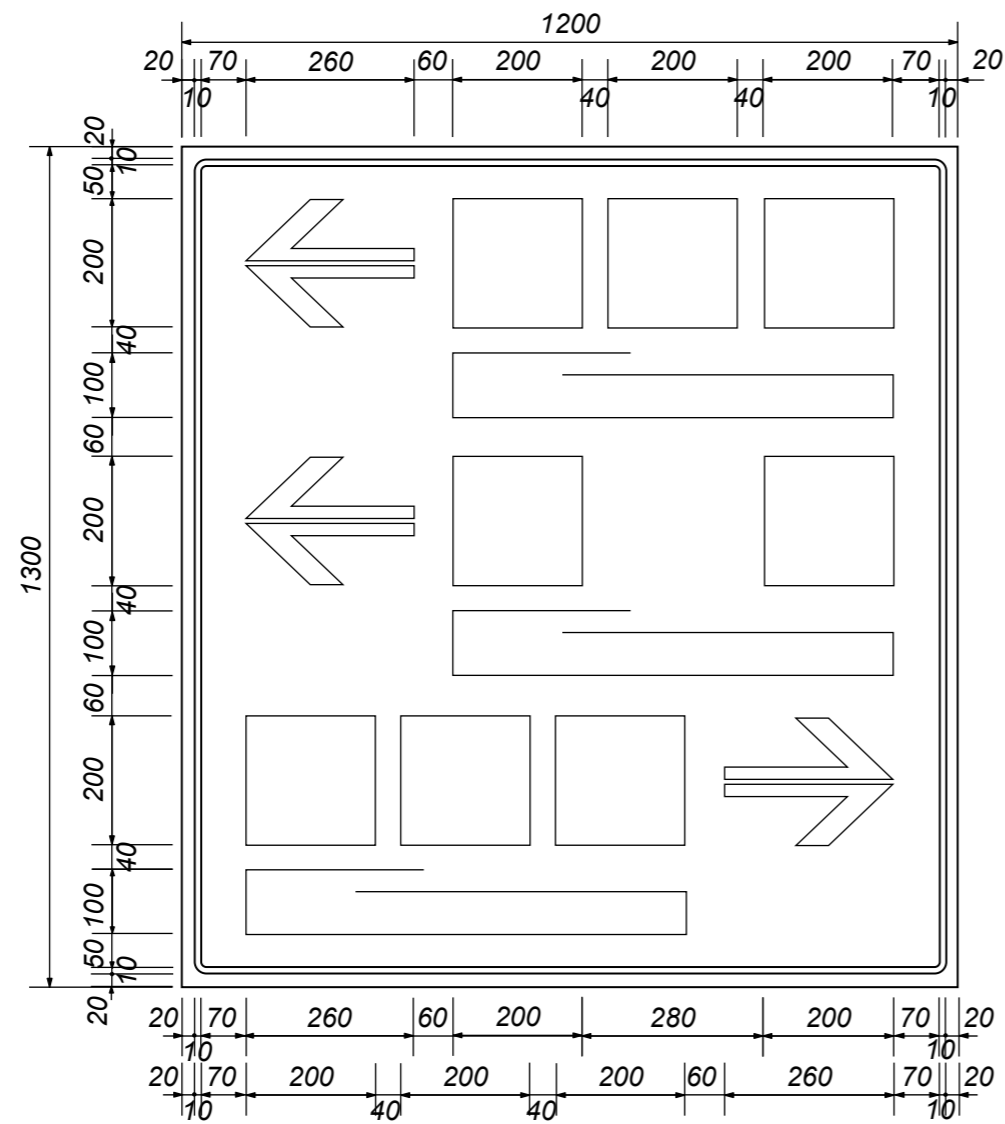
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-17**



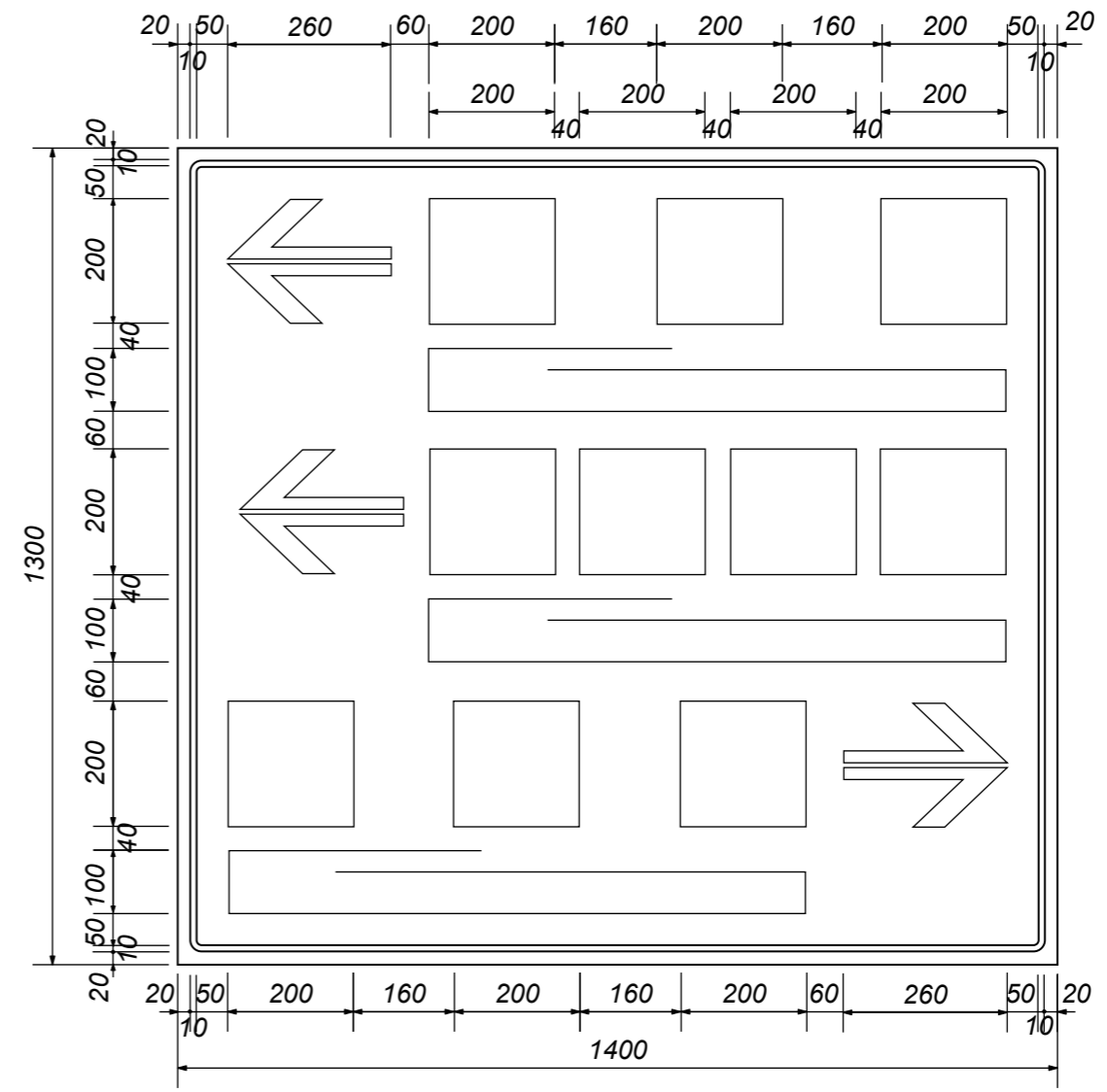
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-18**



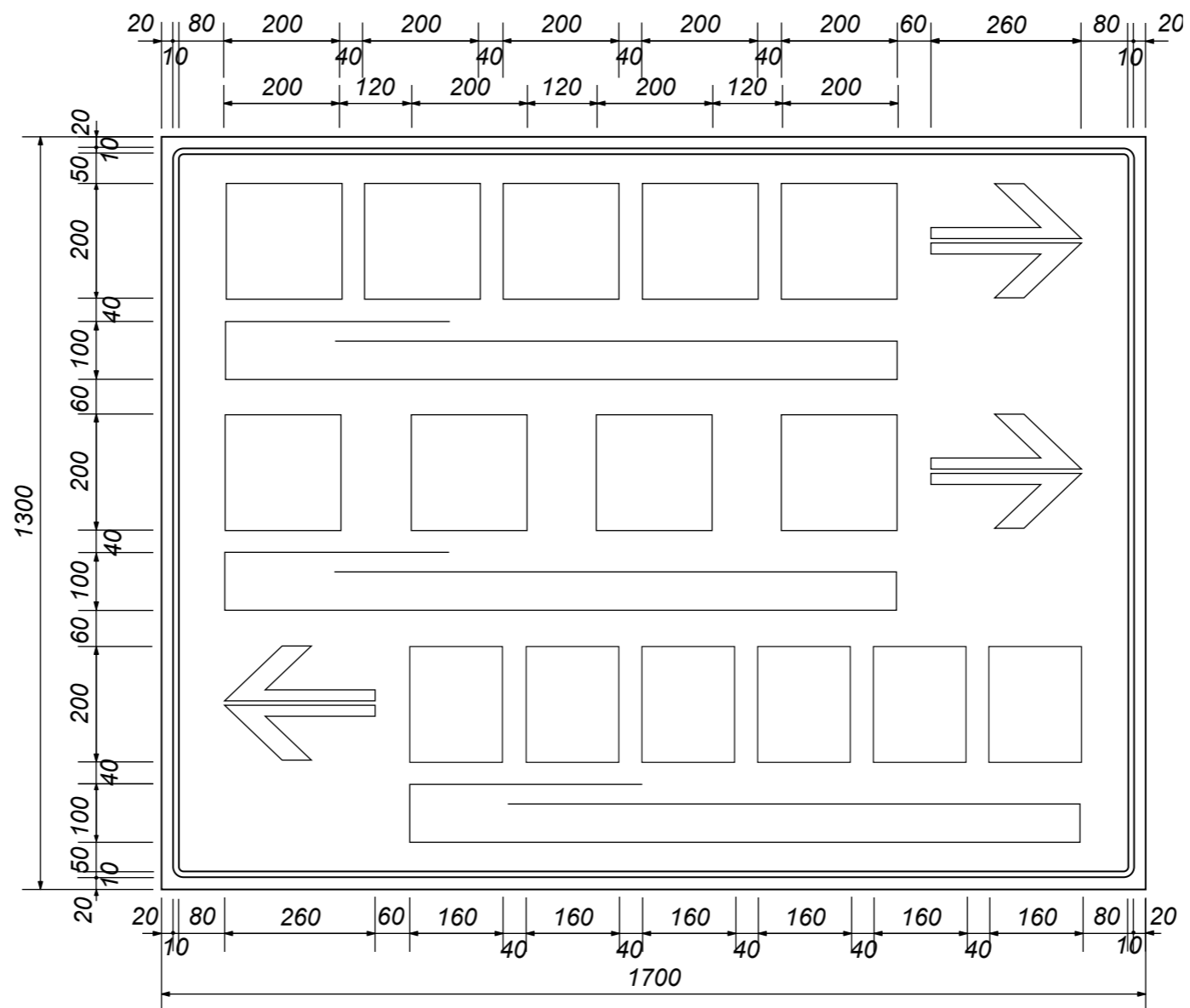
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-19**



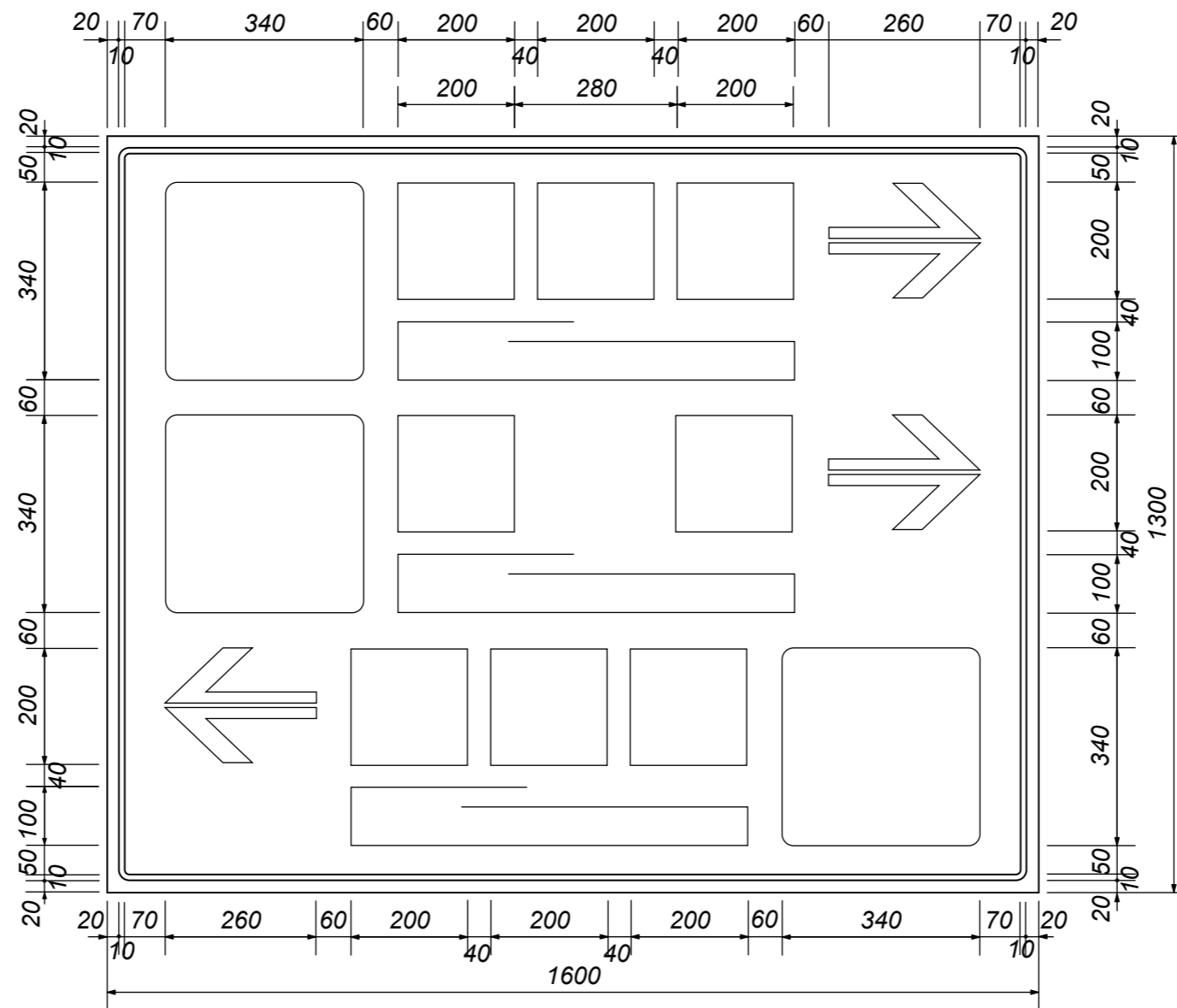
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-20**



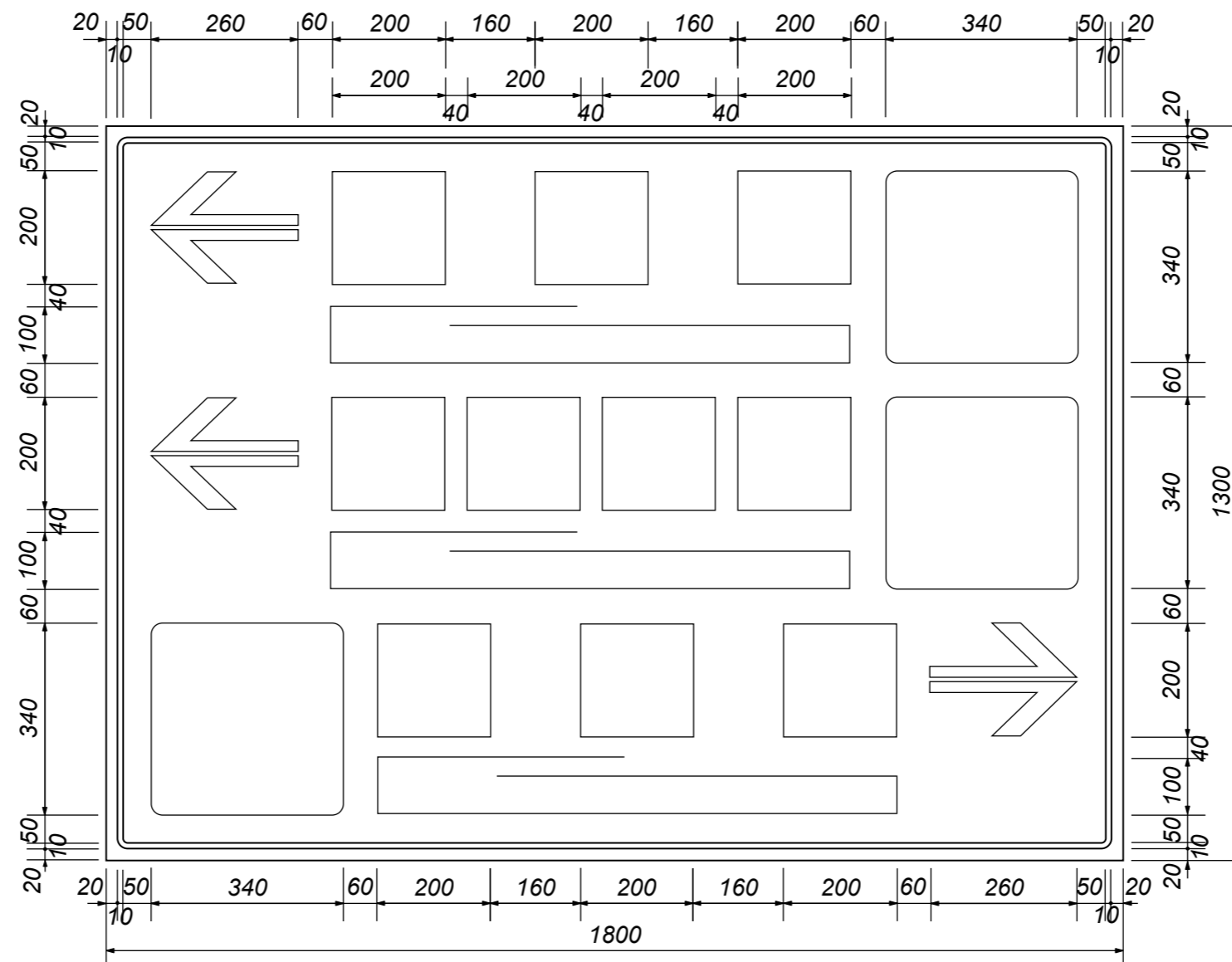
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-22**



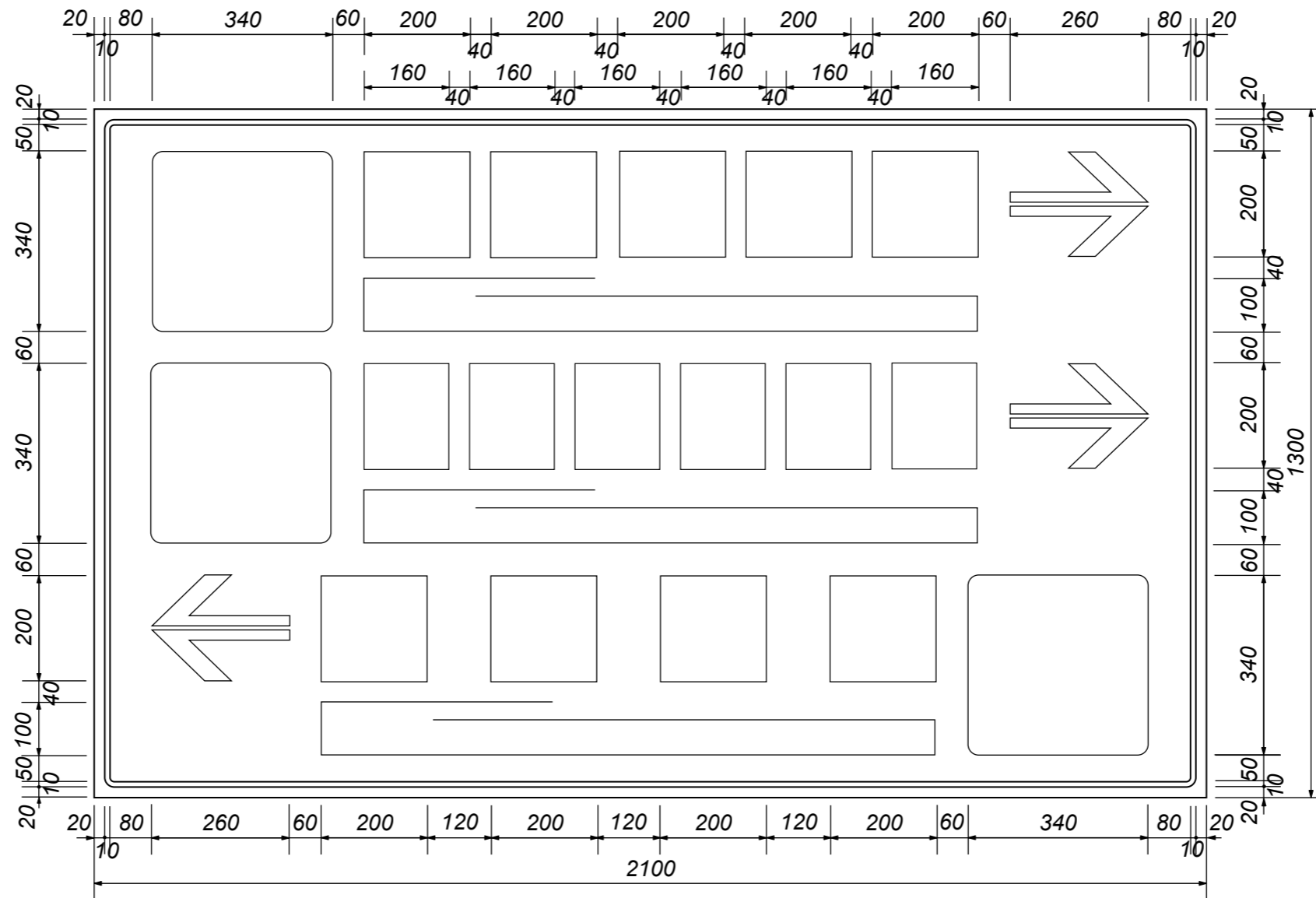
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-21**



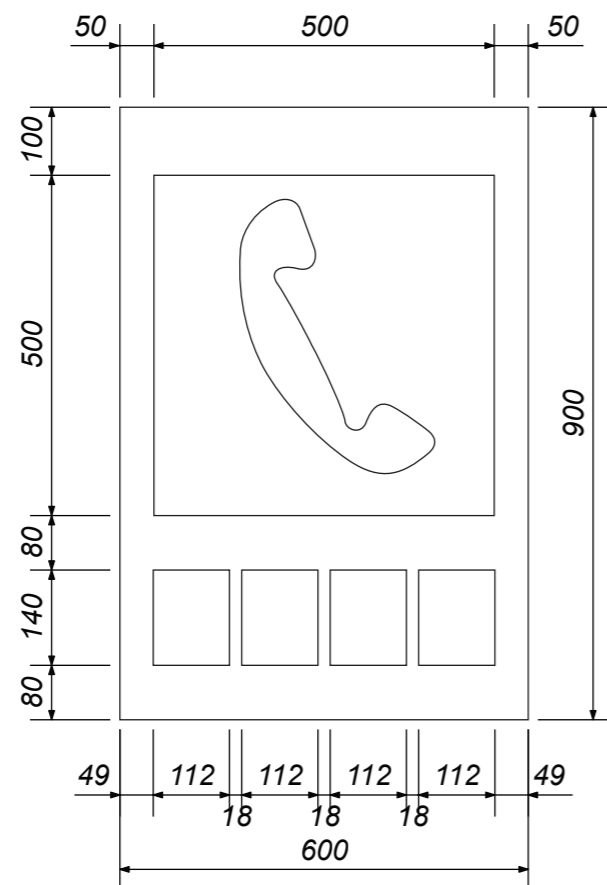
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-23**



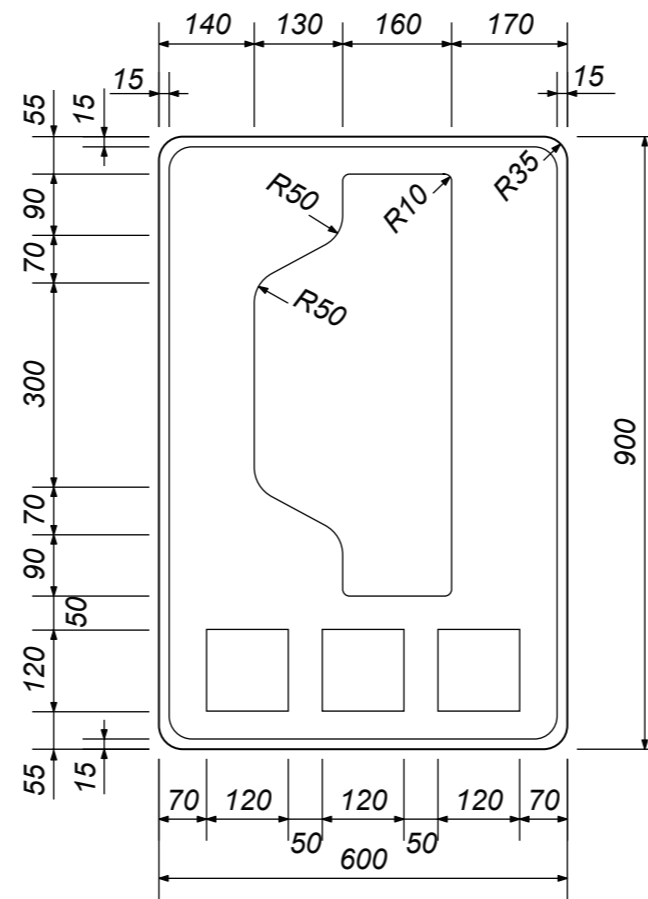
[路側式]
著名地点 (114-A) **A-24**



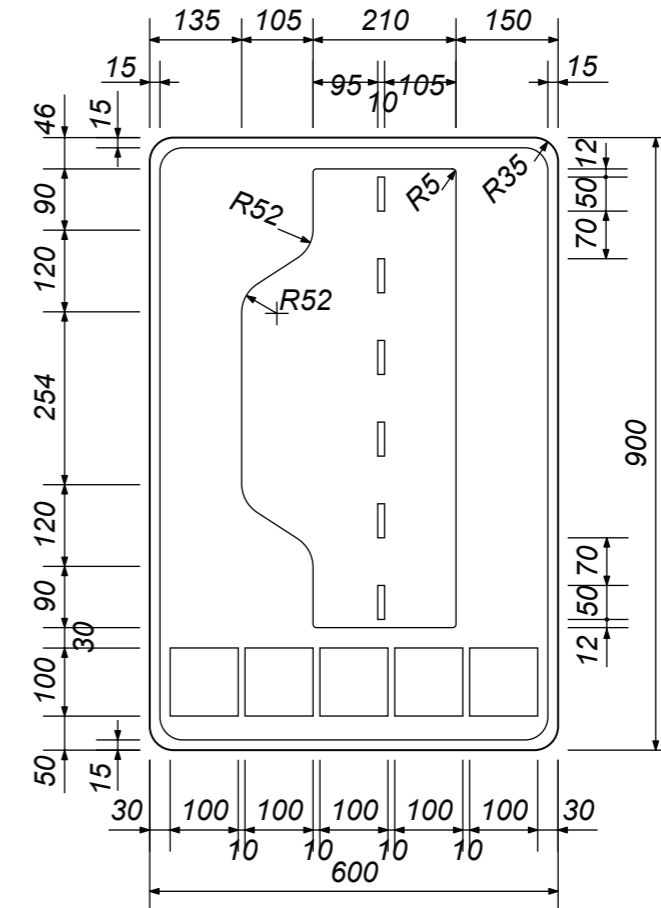
[路側式] 非常電話 (116の2) **A-42**



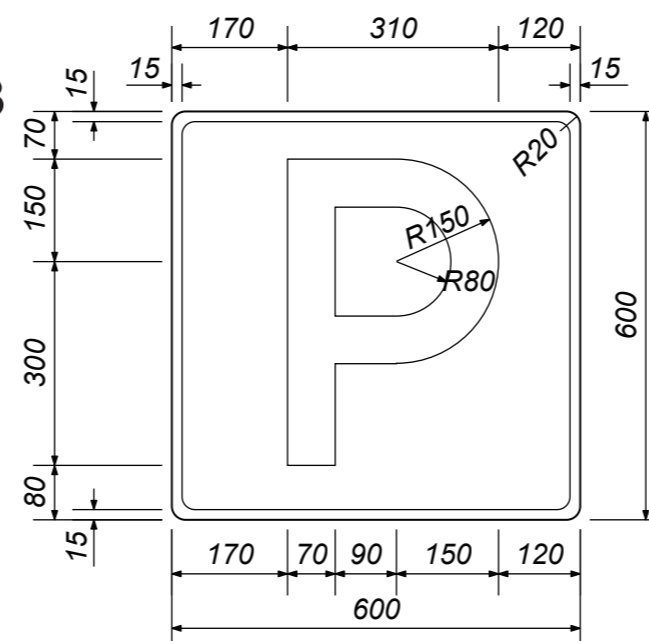
[路側式] 待避所 (116の3) **A-42**



[路側式] 非常駐車帯 (116の4) **A-42**

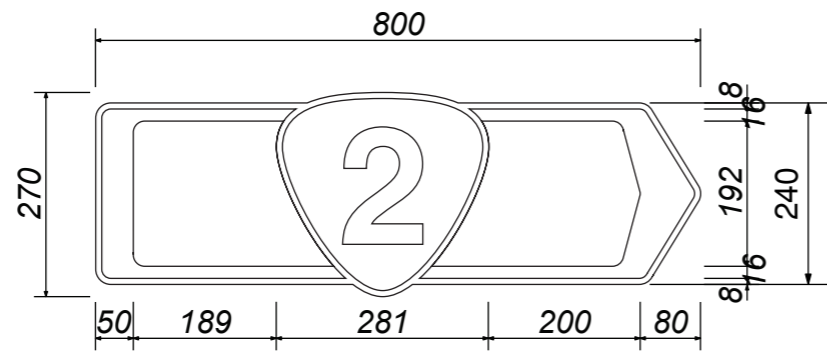


[路側式]
駐車場 (117-A) **A-43**

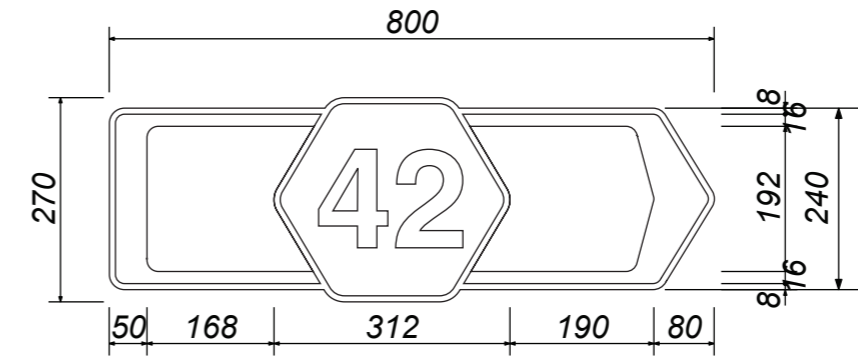


型 式	A-32 A-33 A-34 A-35
-----	---------------------

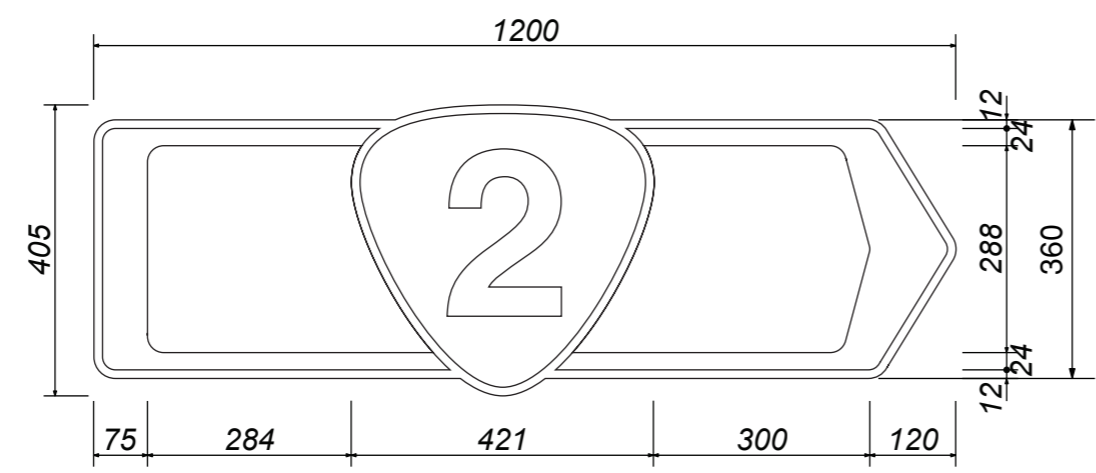
[路側式]
国道番号 (118-B) **A-32 A-33**



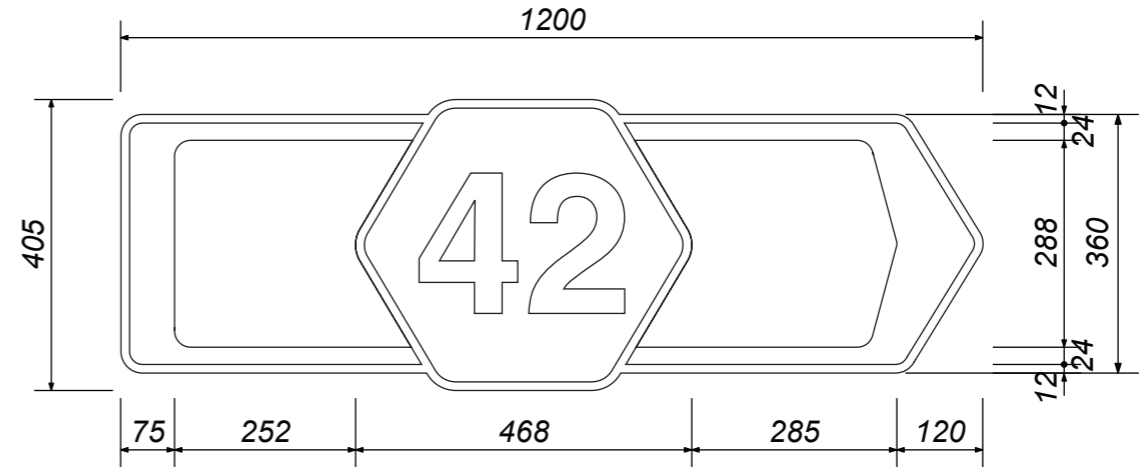
[路側式]
都道府県道番号 (118の2-B) **A-32 A-33**



[路側式]
国道番号 (118-B) **A-34 A-35**



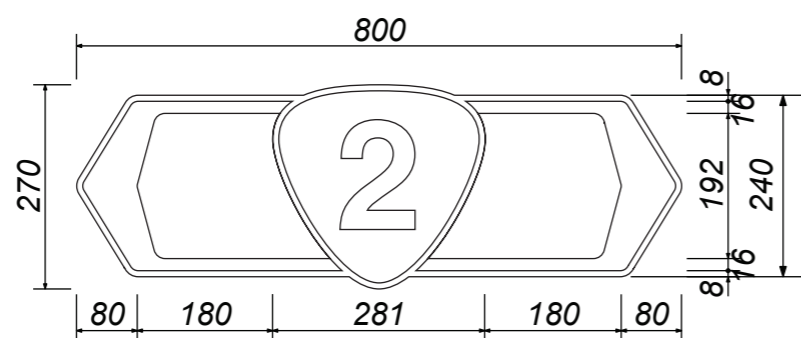
[路側式]
都道府県道番号 (118の2-B) **A-34 A-35**



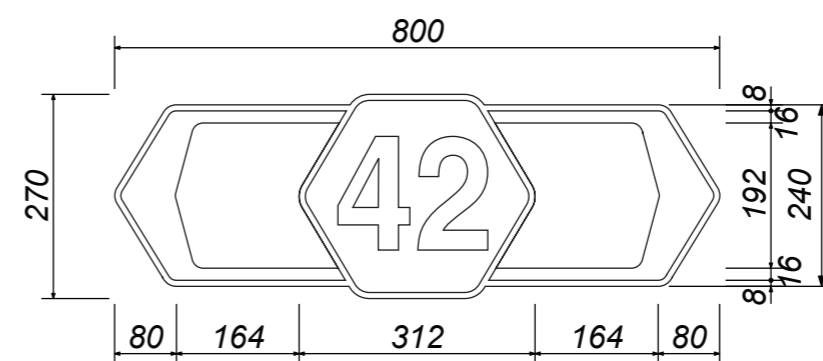
レイアウト図 (路側式)

型 式 A-32 A-33 A-34 A-35

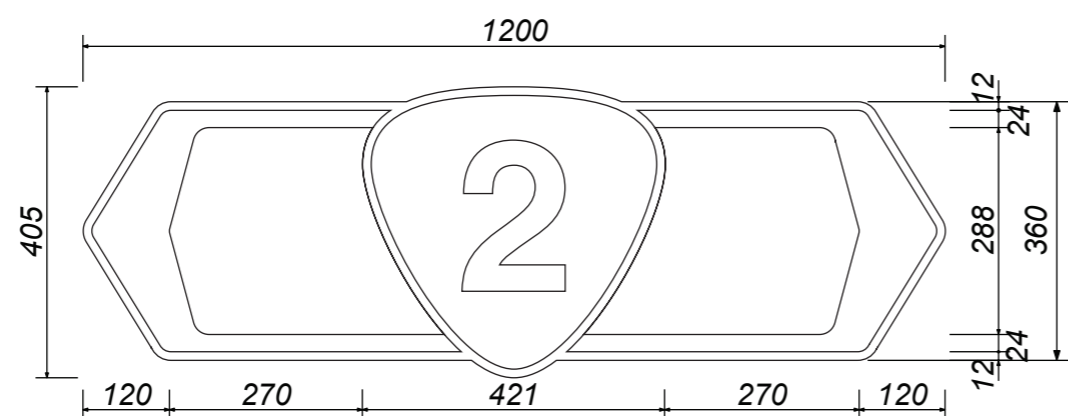
[路側式]
国道番号 (118-C) (一般国道) **A-32 A-33**



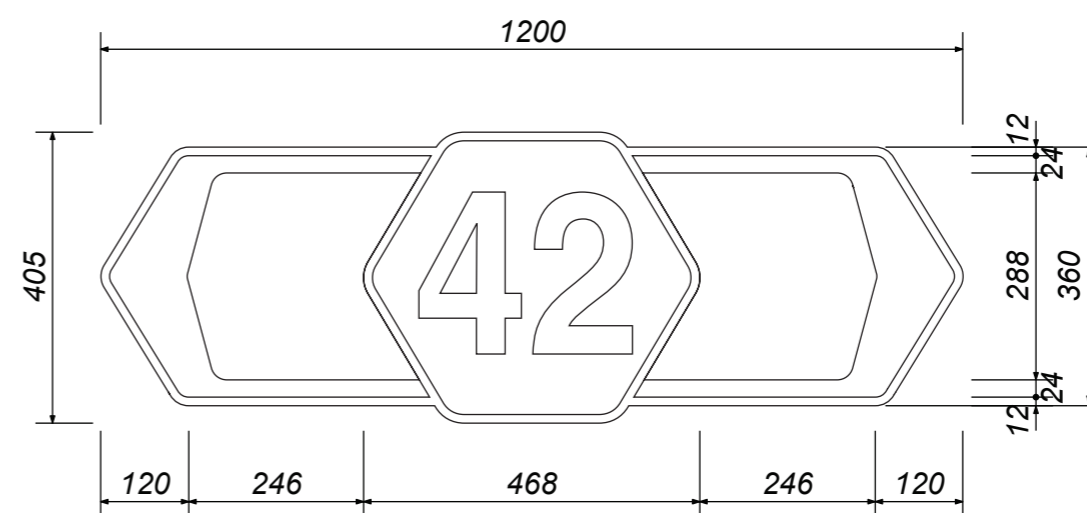
[路側式]
都道府県道番号 (118の2-C) (一般都道府県道) **A-32 A-33**



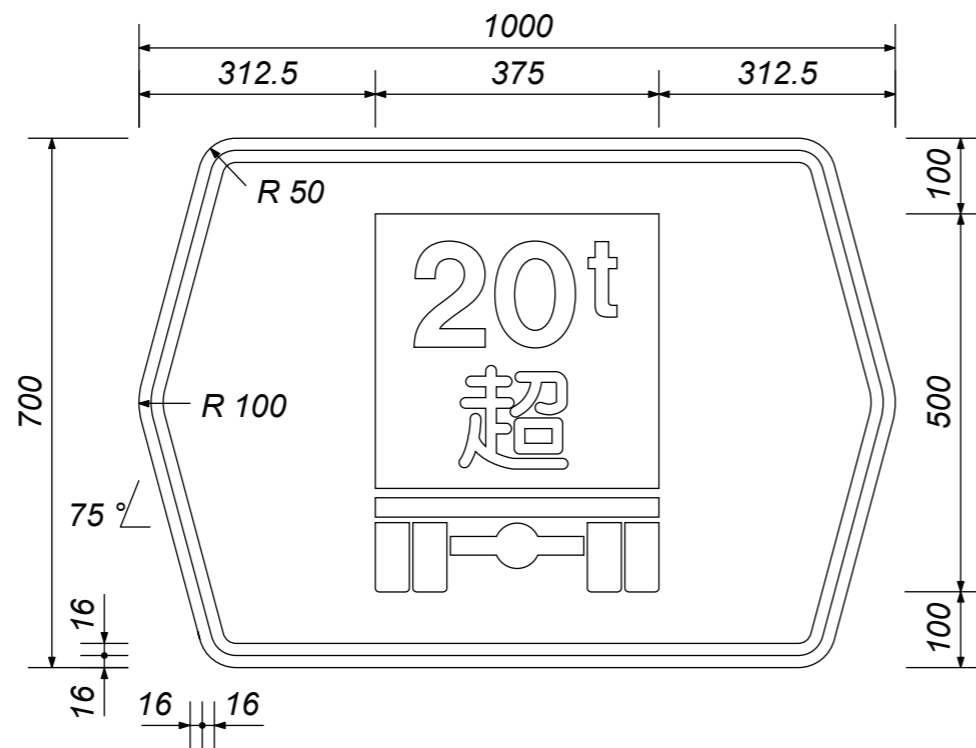
[路側式]
国道番号 (118-C) (一般国道) **A-34 A-35**



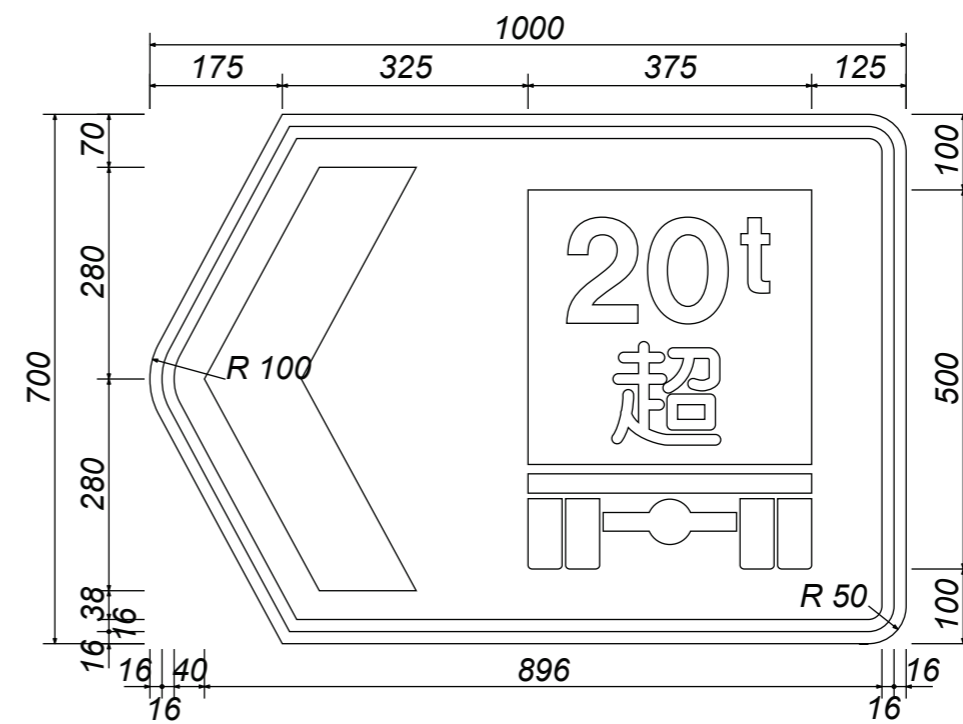
[路側式]
都道府県道番号 (118の2-C) (一般都道府県道) **A-34 A-35**



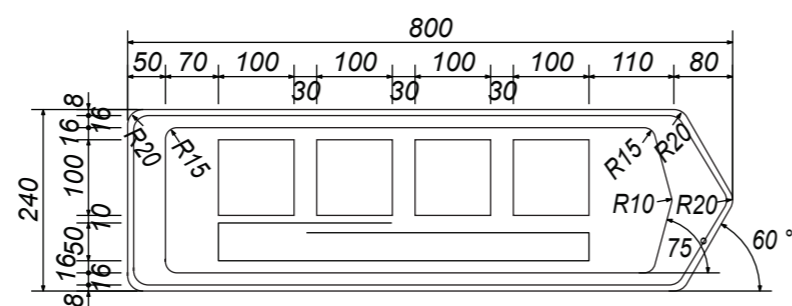
[路側式]
 総重量限度緩和指定道路 (118の3-A) **A-41**



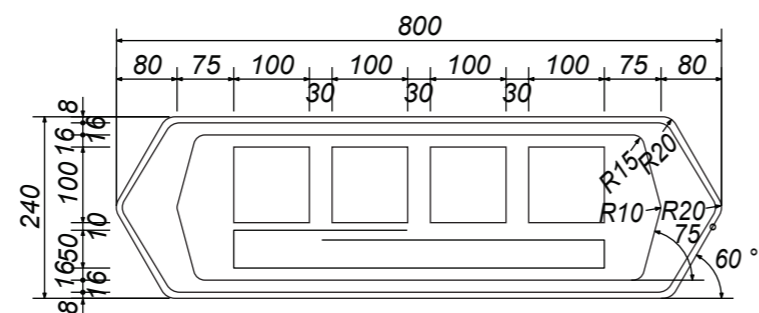
[路側式]
 総重量限度緩和指定道路 (118の3-B) **A-40**



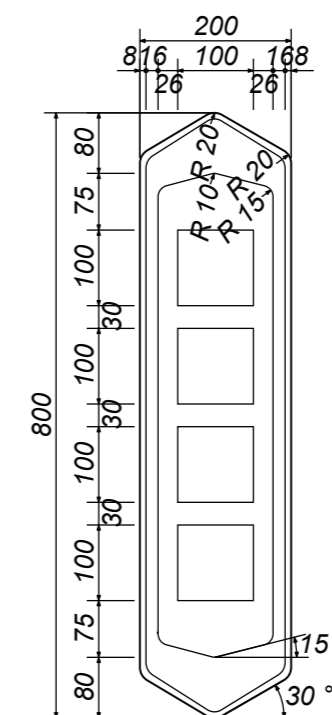
[路側式]
道路の通称名 (119-A) **A-36**



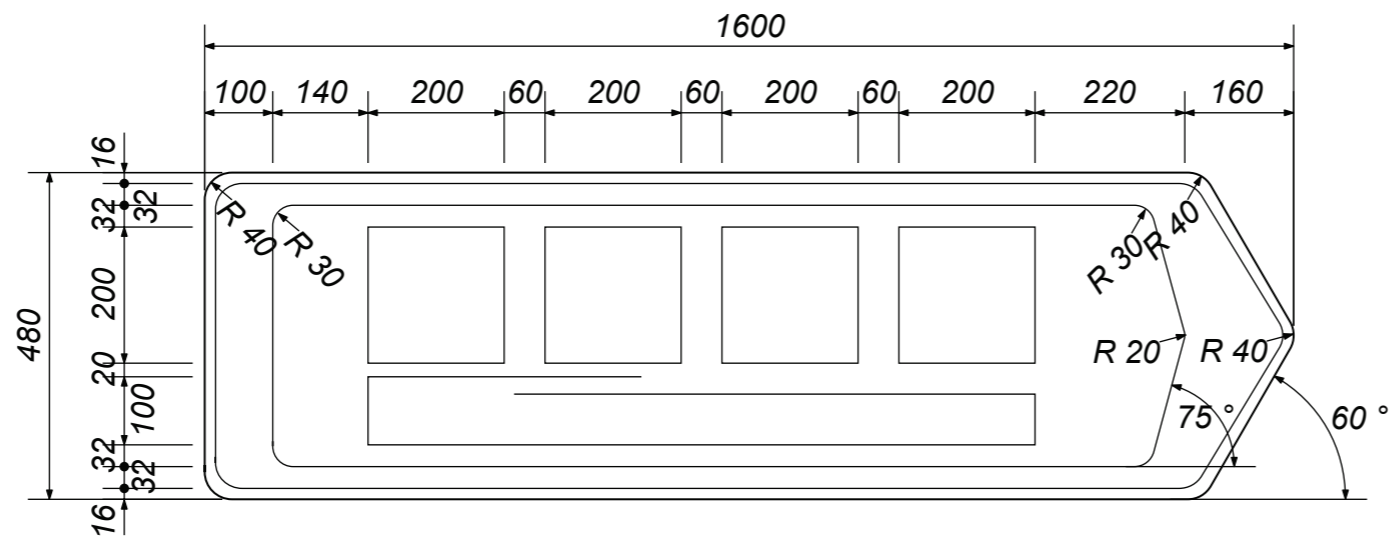
[路側式]
道路の通称名 (119-B) **A-36**



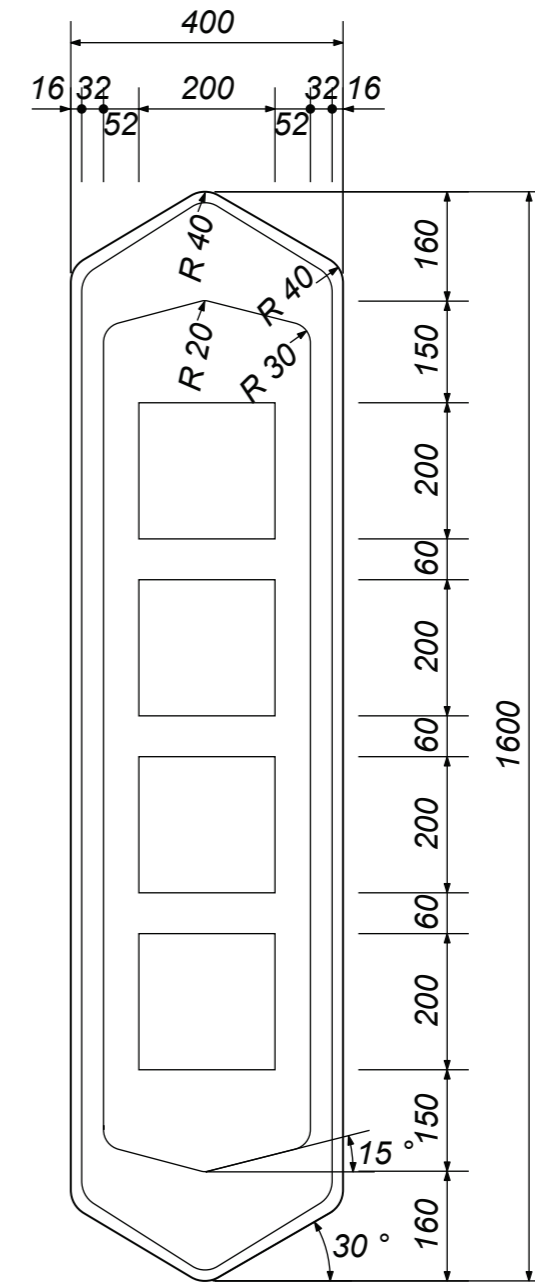
[路側式]
道路の通称名 (119-C) **A-38**



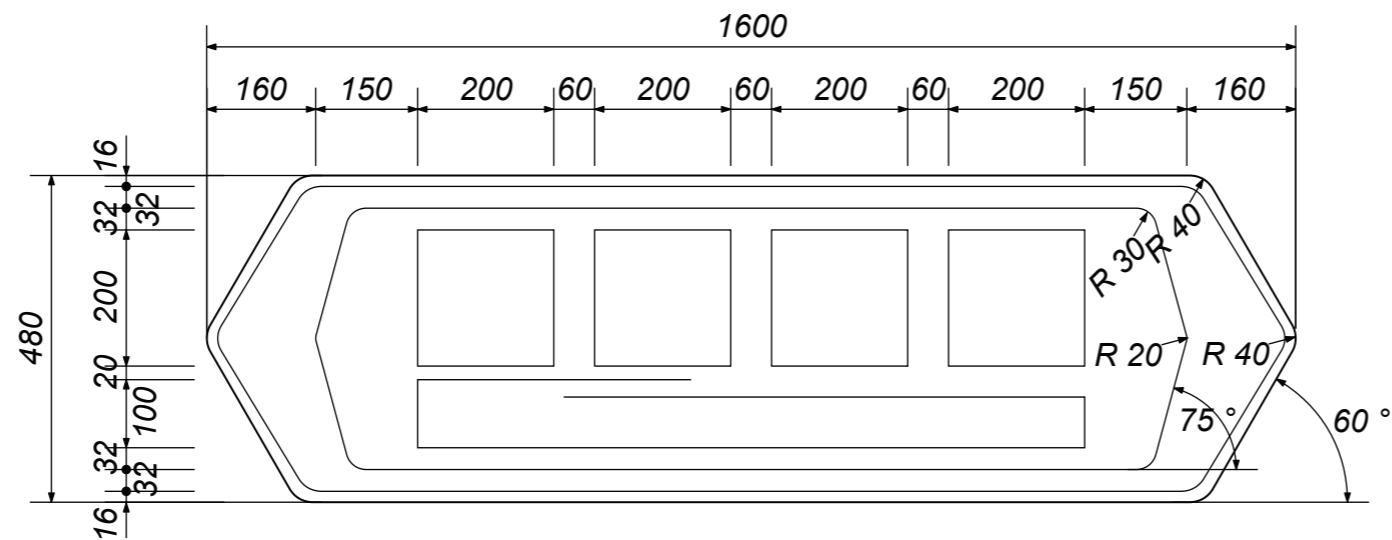
[路側式]
道路の通称名 (119-A) **A-37**



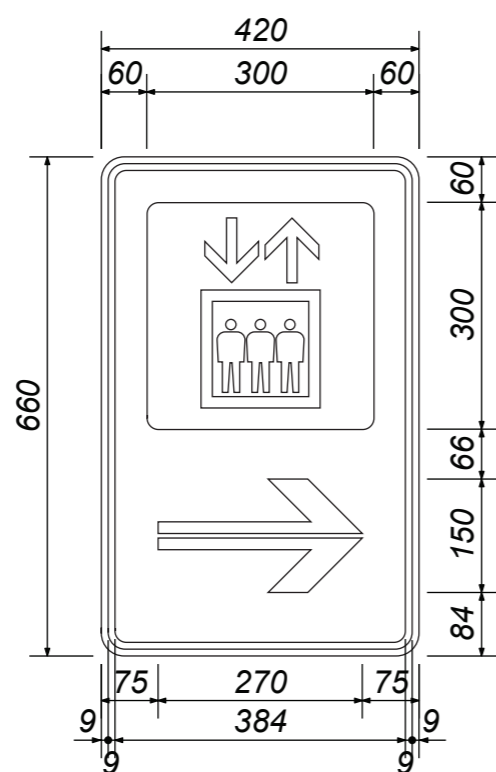
[路側式]
道路の通称名 (119-C) **A-39**



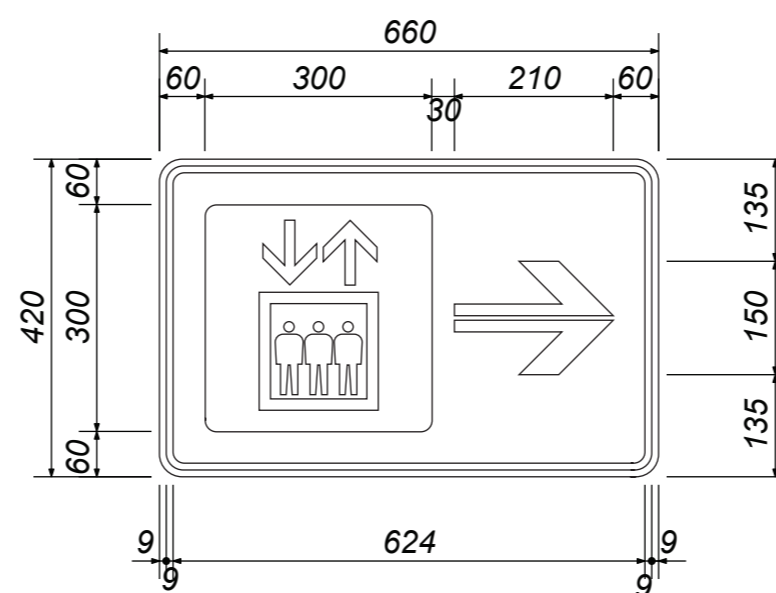
[路側式]
道路の通称名 (119-B) **A-37**



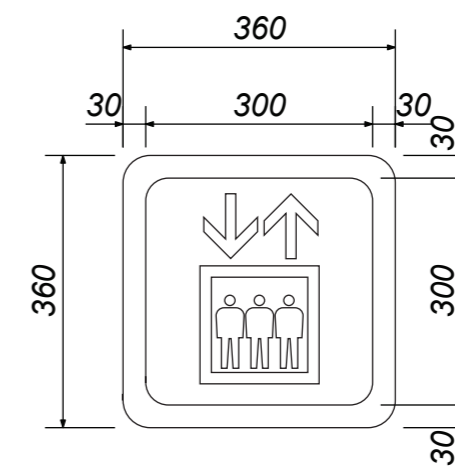
[路側式]
エレベーター (121-A) **A-49**



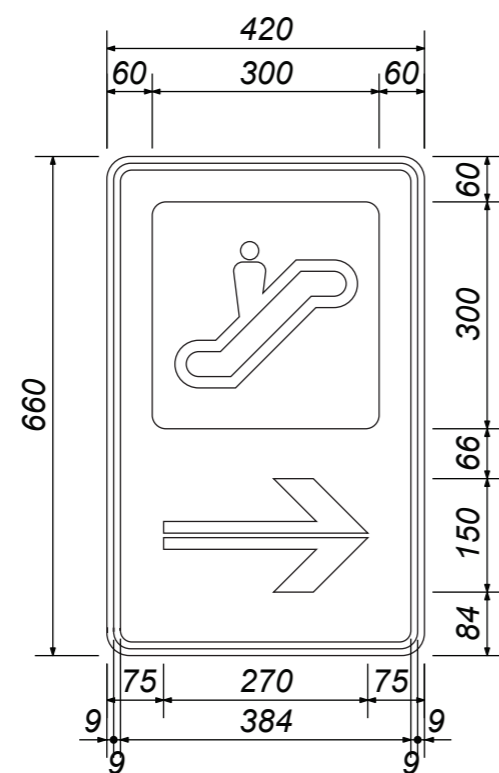
[路側式]
エレベーター (121-B) **A-50**



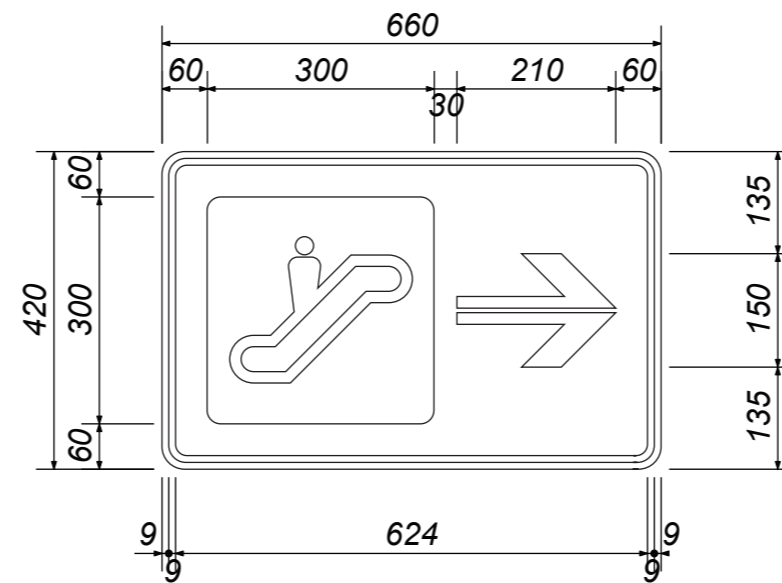
[路側式]
エレベーター (121-C) **A-51**



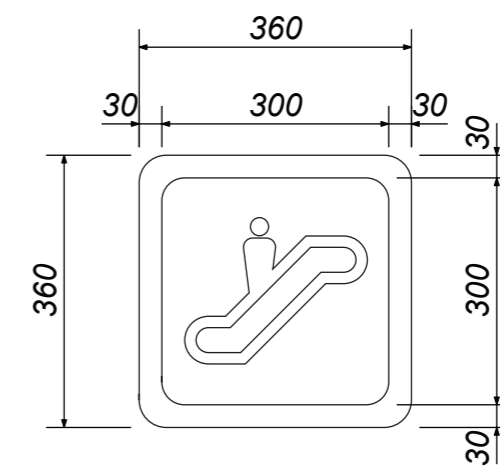
[路側式]
エスカレーター (122-A) **A-49**



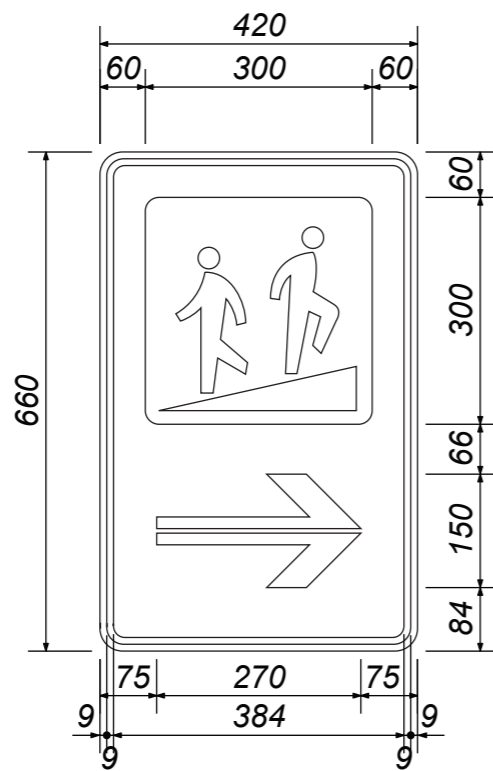
[路側式]
エスカレーター (122-B) **A-50**



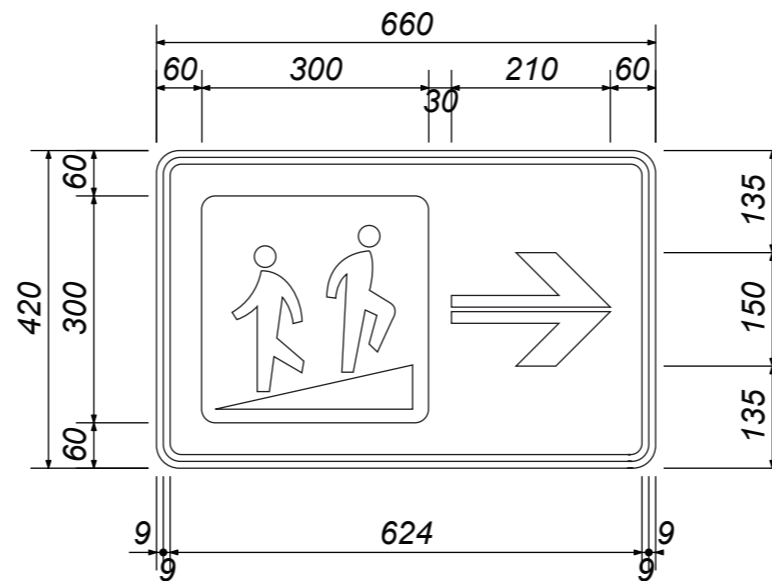
[路側式]
エスカレーター (122-C) **A-51**



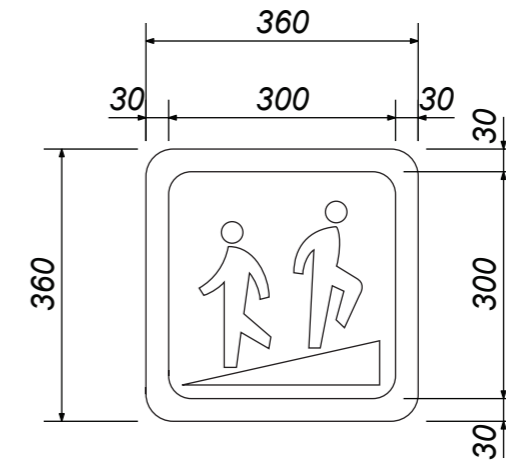
[路側式]
傾斜路 (123-A) **A-49**



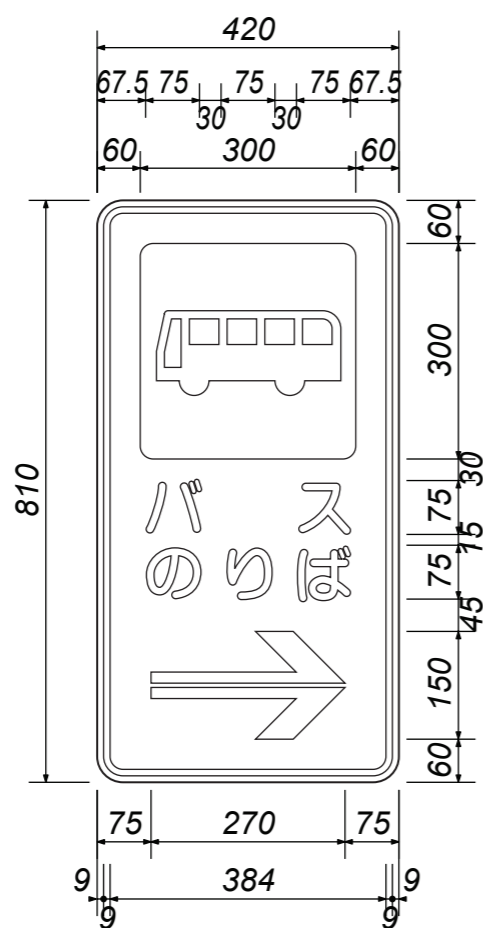
[路側式]
傾斜路 (123-B) **A-50**



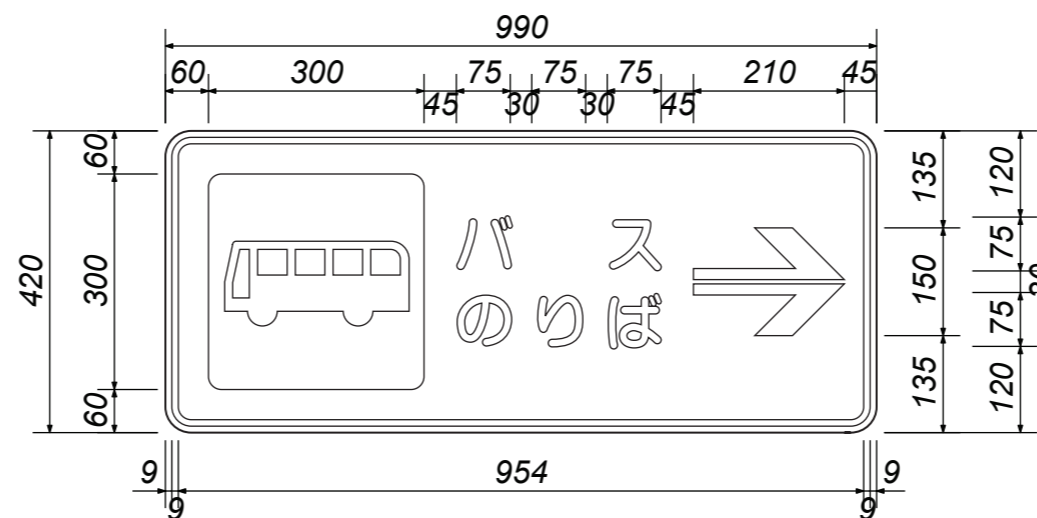
[路側式]
傾斜路 (123-C) **A-51**



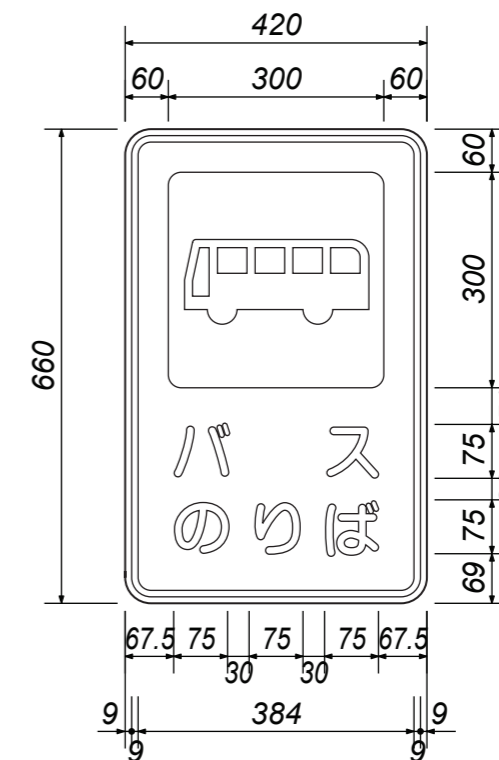
[路側式]
乗合自動車停留所 (124-A) **A-52**



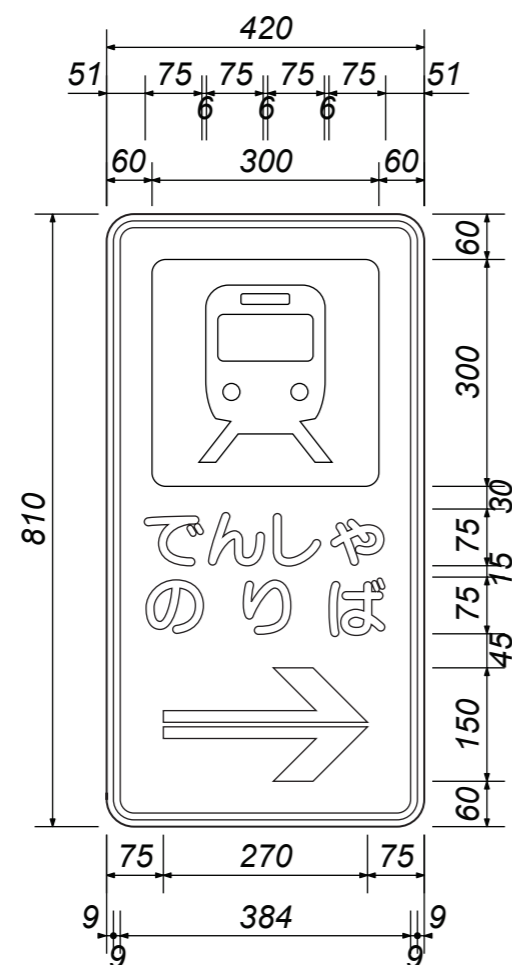
[路側式]
乗合自動車停留所 (124-B) **A-53**



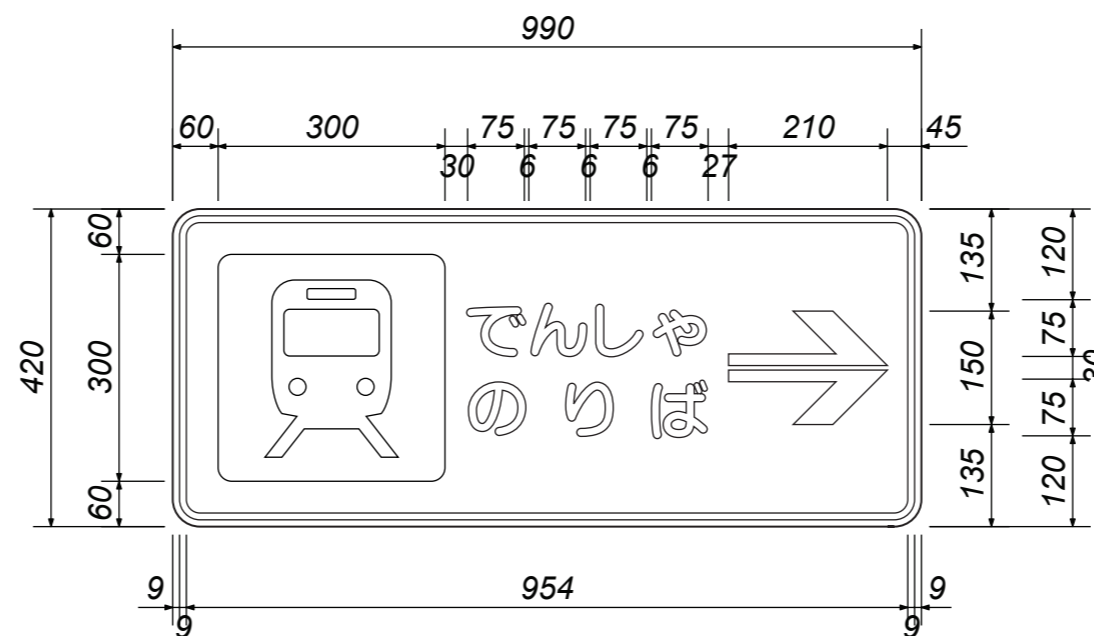
[路側式]
乗合自動車停留所 (124-C) **A-49**



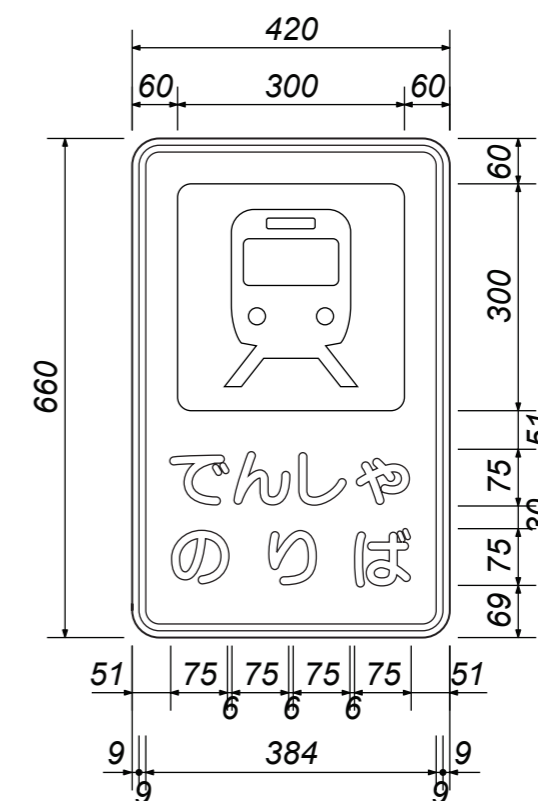
[路側式]
路面電車停留場 (125-A) **A-52**



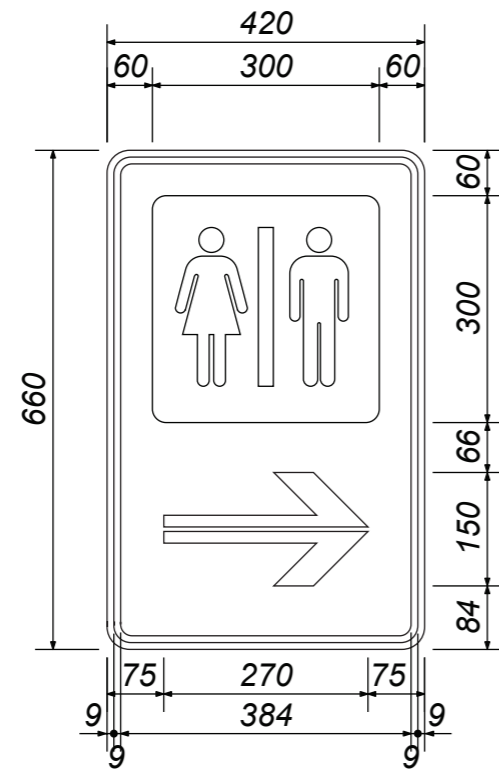
[路側式]
路面電車停留場 (125-B) **A-53**



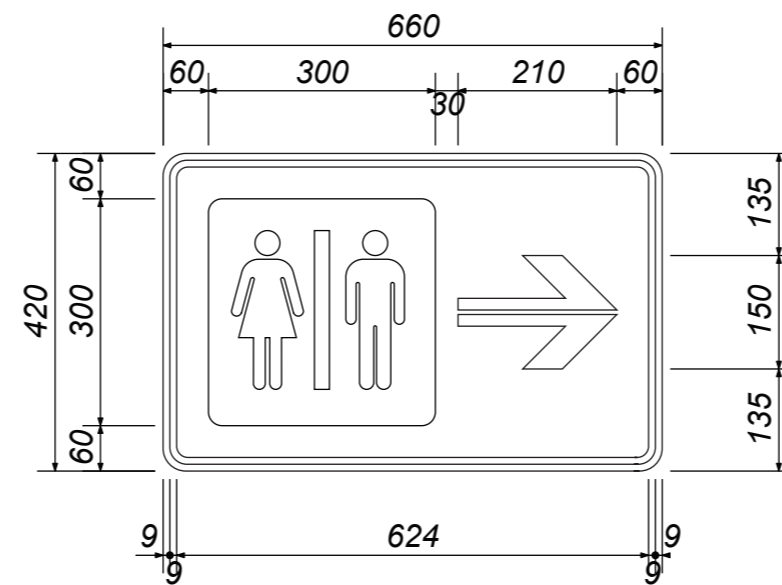
[路側式]
路面電車停留場 (125-C) **A-49**



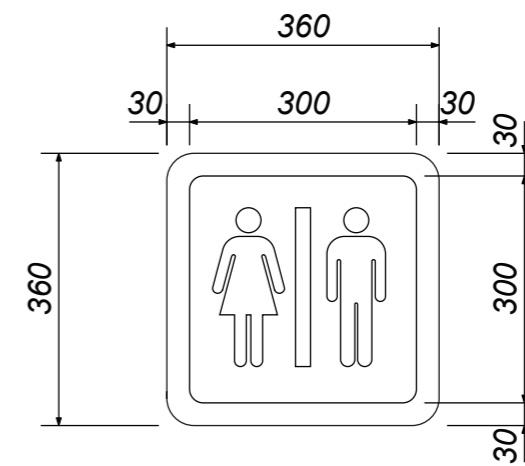
[路側式]
便所 (126-A) **A-49**



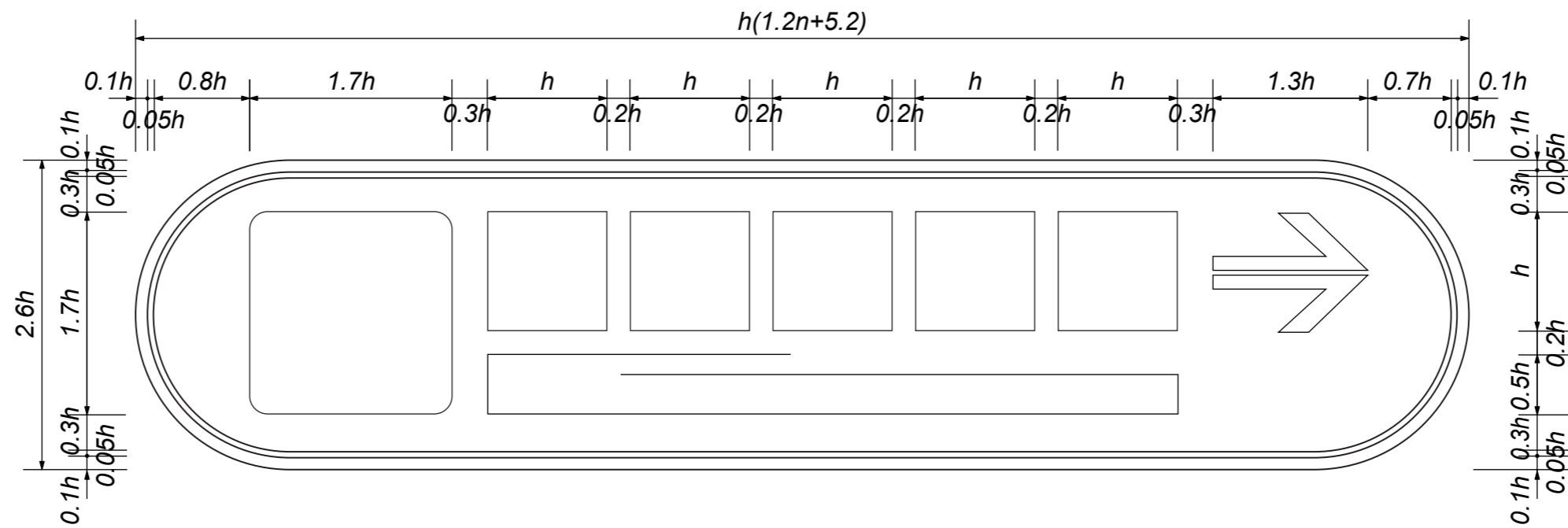
[路側式]
便所 (126-B) **A-50**



[路側式]
便所 (126-C) **A-51**

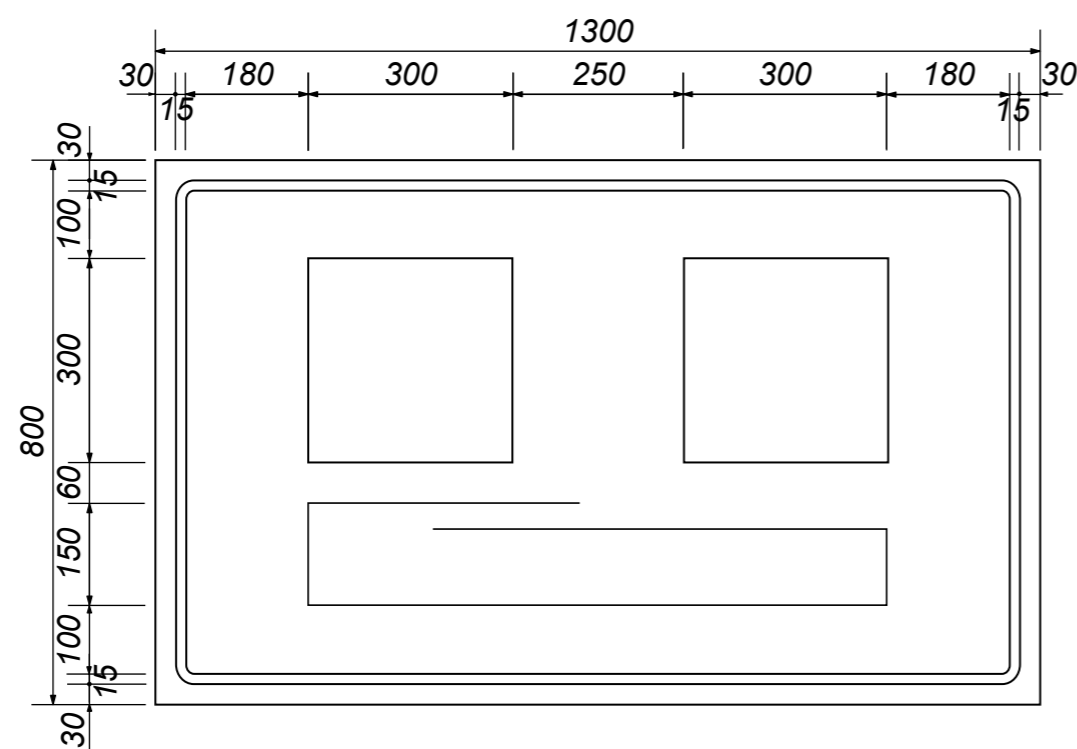


[路側式]
著名地点 (114-B)

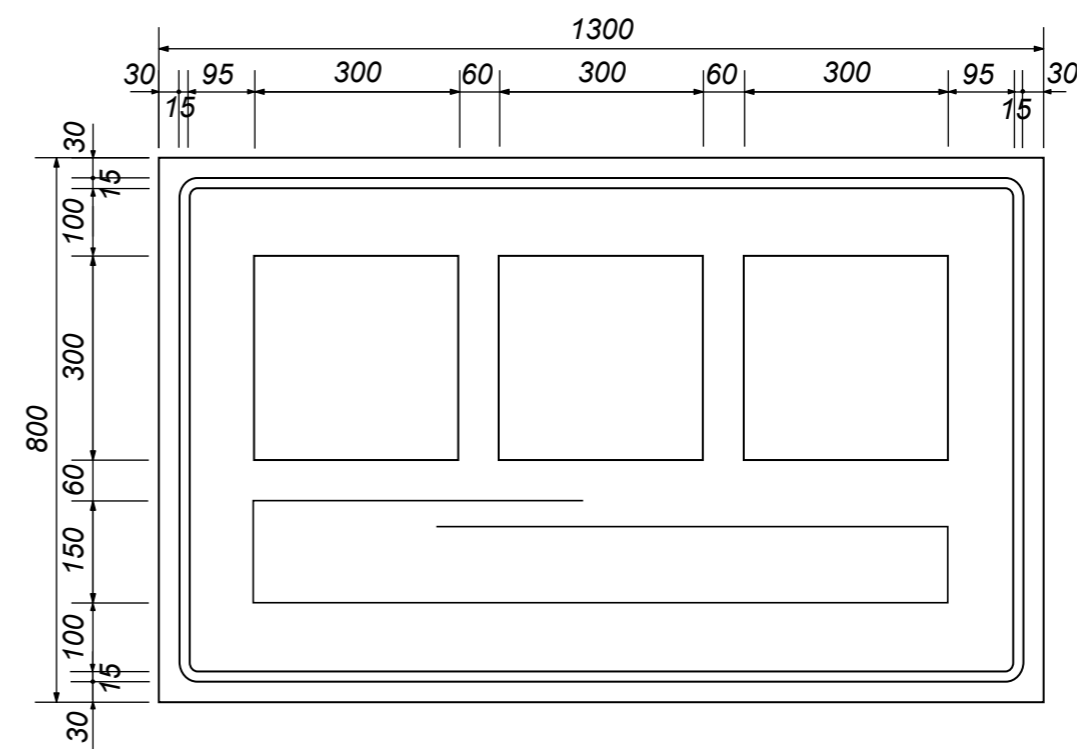


文字高 h	縦寸法 $2.6h$	横 寸 法 $h(1.2n+5.2)$									
		3文字	4文字	5文字	6文字	7文字	8文字	9文字	10文字	11文字	12文字
100	260	880	1000	1120	1240	1360	1480	1600	1720	1840	1960
200	520	1760	2000	2240	2480	2720	2960	3200	3440	3680	3920

[オーバーハング式] 著名地点 (114-A)
 [オーバーヘッド式] 主要地点 (114の2-A) **B-1 B-13**

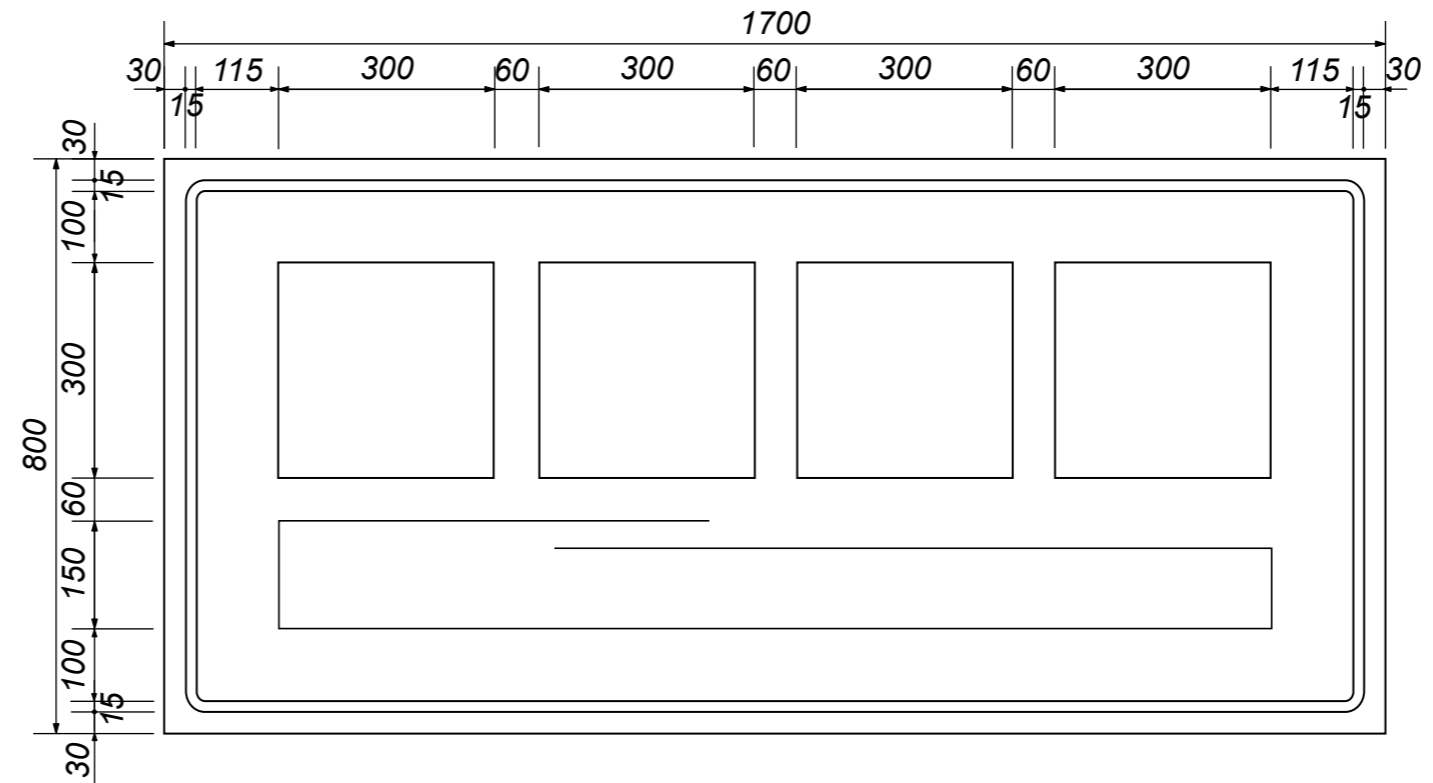


[オーバーハング式] 著名地点 (114-A)
 [オーバーヘッド式] 主要地点 (114の2-A) **B-1 B-13**

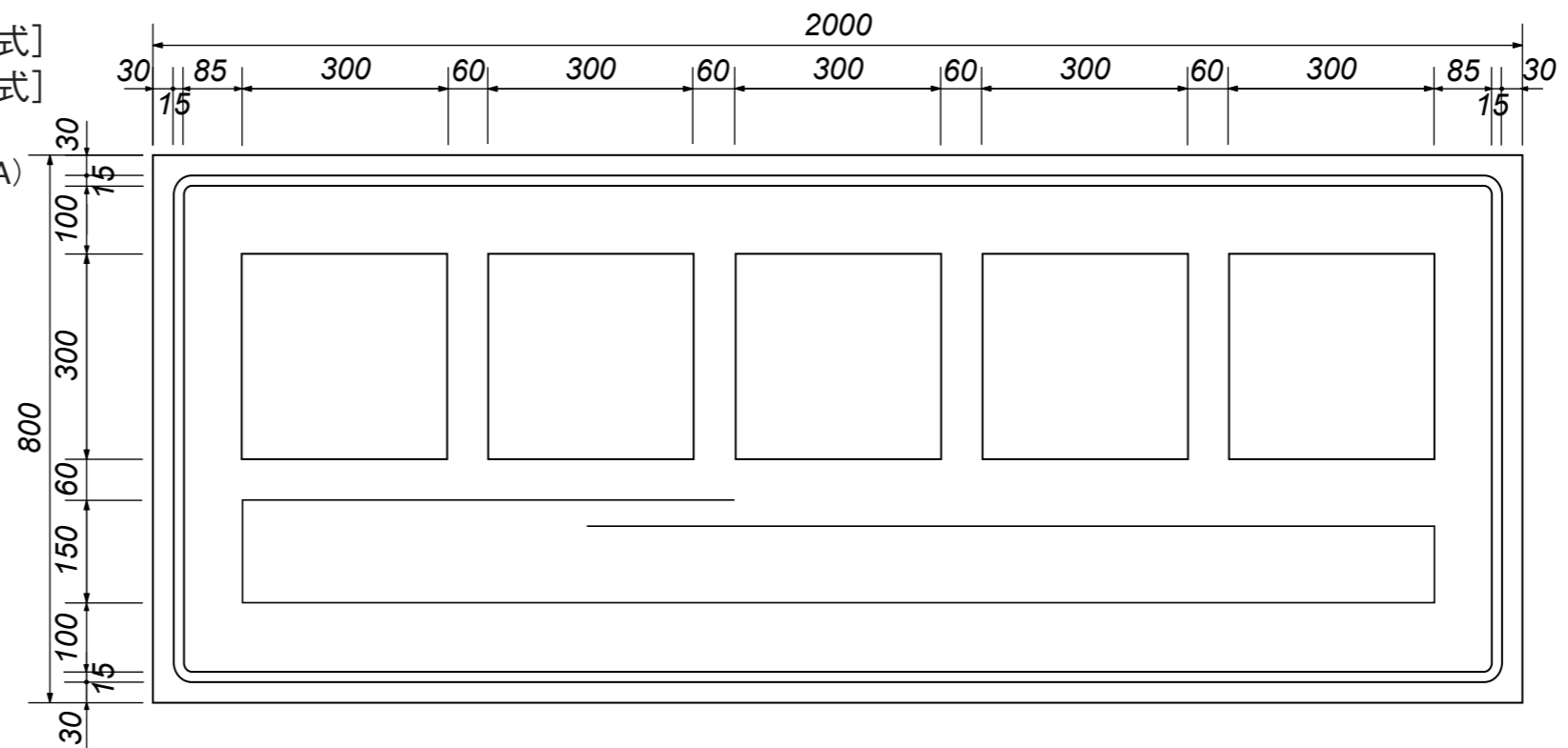


レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	B-2 B-14 B-5 B-16

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式]
 著名地点 (114-A)
 主要地点 (114の2-A)
B-2 B-14



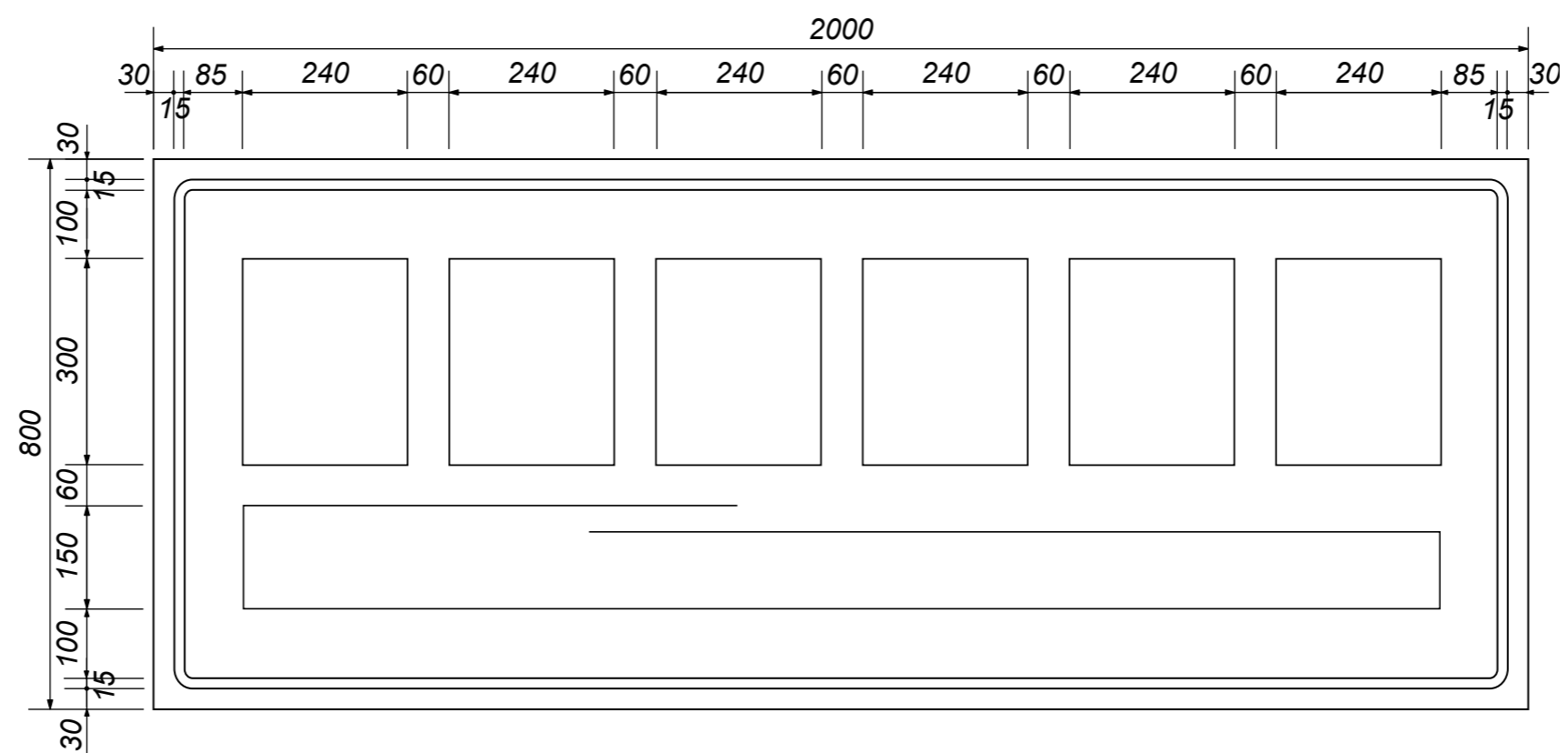
[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式]
 著名地点 (114-A)
 主要地点 (114の2-A)
B-5 B-16



レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)

型 式 B-5 B-16

[オーバーハング式] 著名地点 (114-A)
[オーバーヘッド式] 主要地点 (114の2-A) **B-5 B-16**

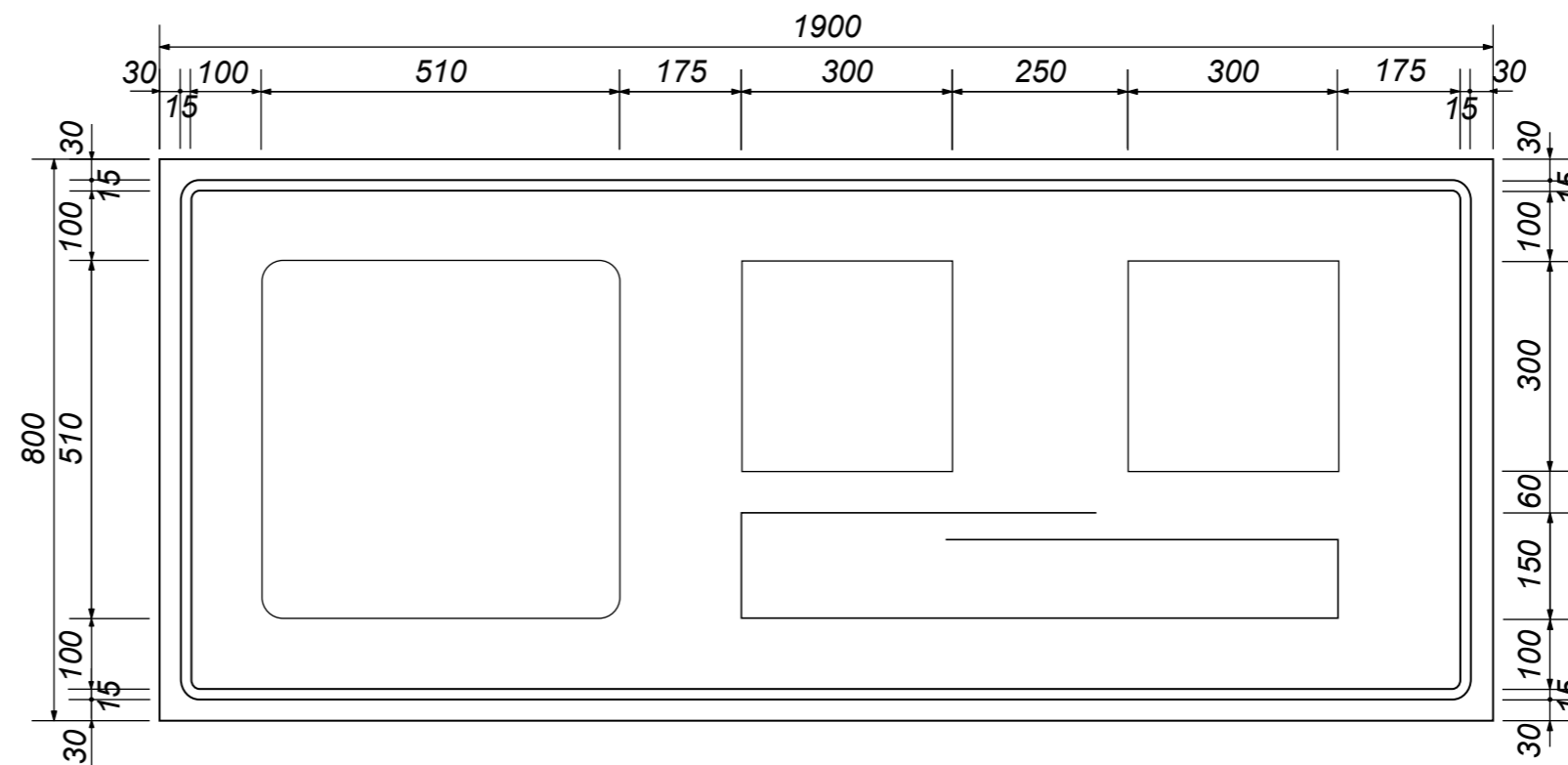


レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-4 B-16

[オーバーハング式]
[オーバーヘッド式]

市町村 (101)
都府県 (102-A)
著名地点 (114-A)

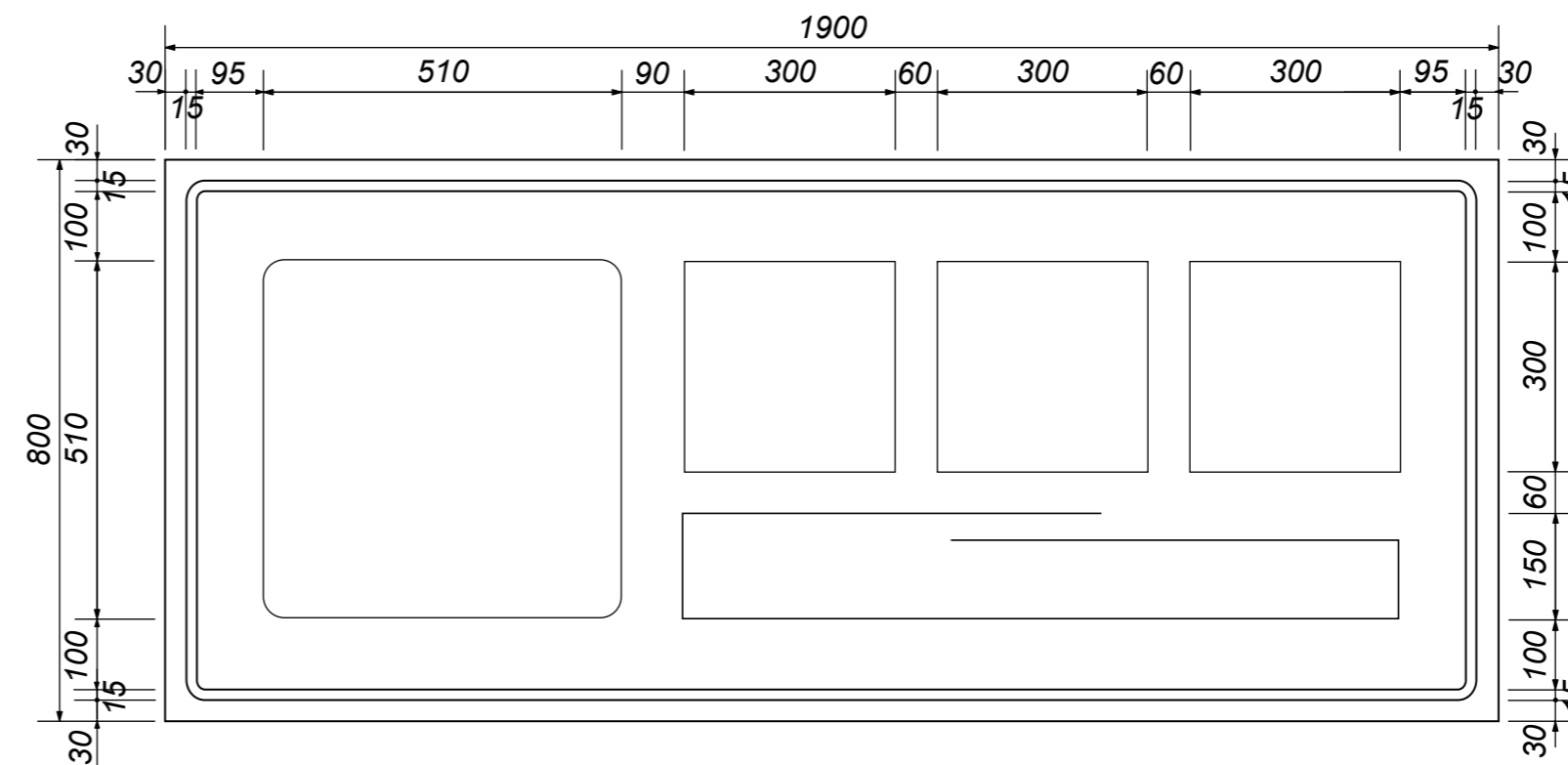
B-4 B-15



[オーバーハング式]
[オーバーヘッド式]

市町村 (101)
都府県 (102-A)
著名地点 (114-A)

B-4 B-15



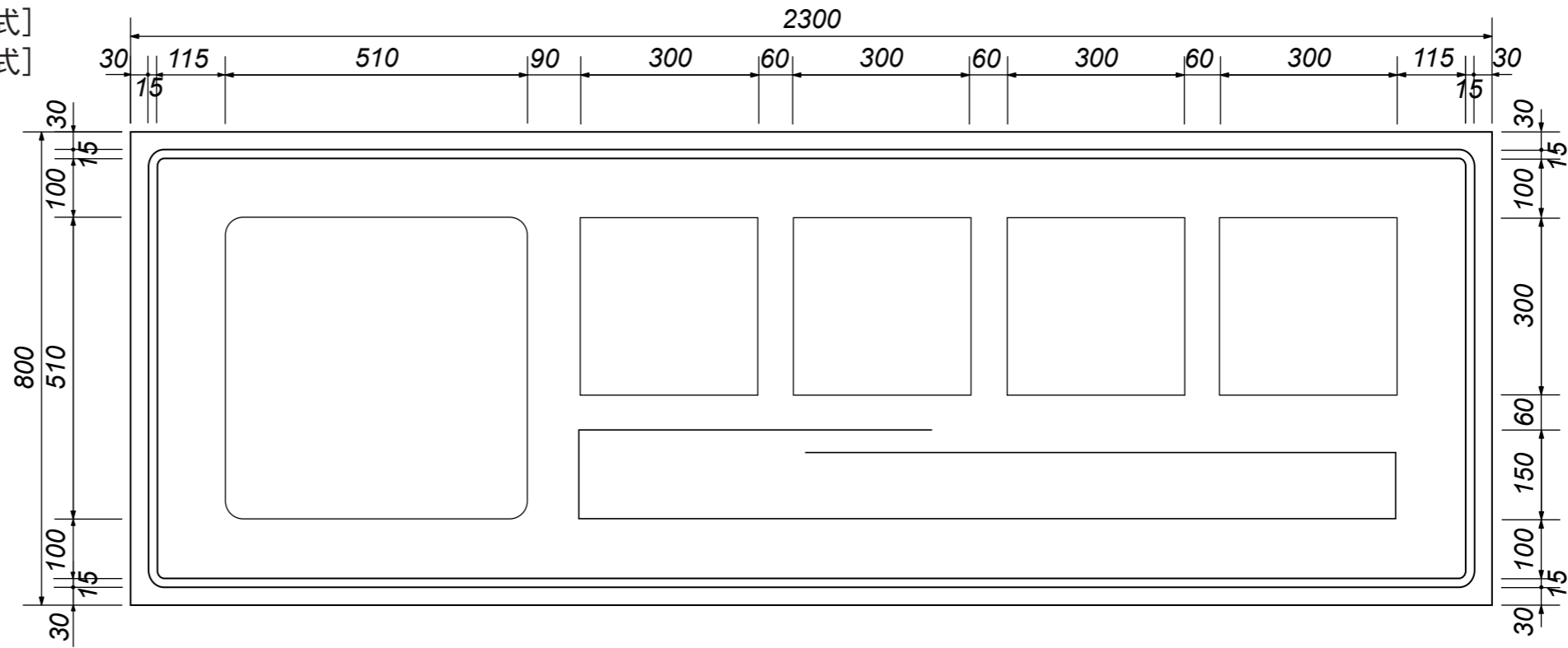
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	B-7 B-17 B-10 B-18

[オーバーハング式]

[オーバーヘッド式]

市町村 (101)
都府県 (102-A)
著名地点 (114-A)

B-7 B-17

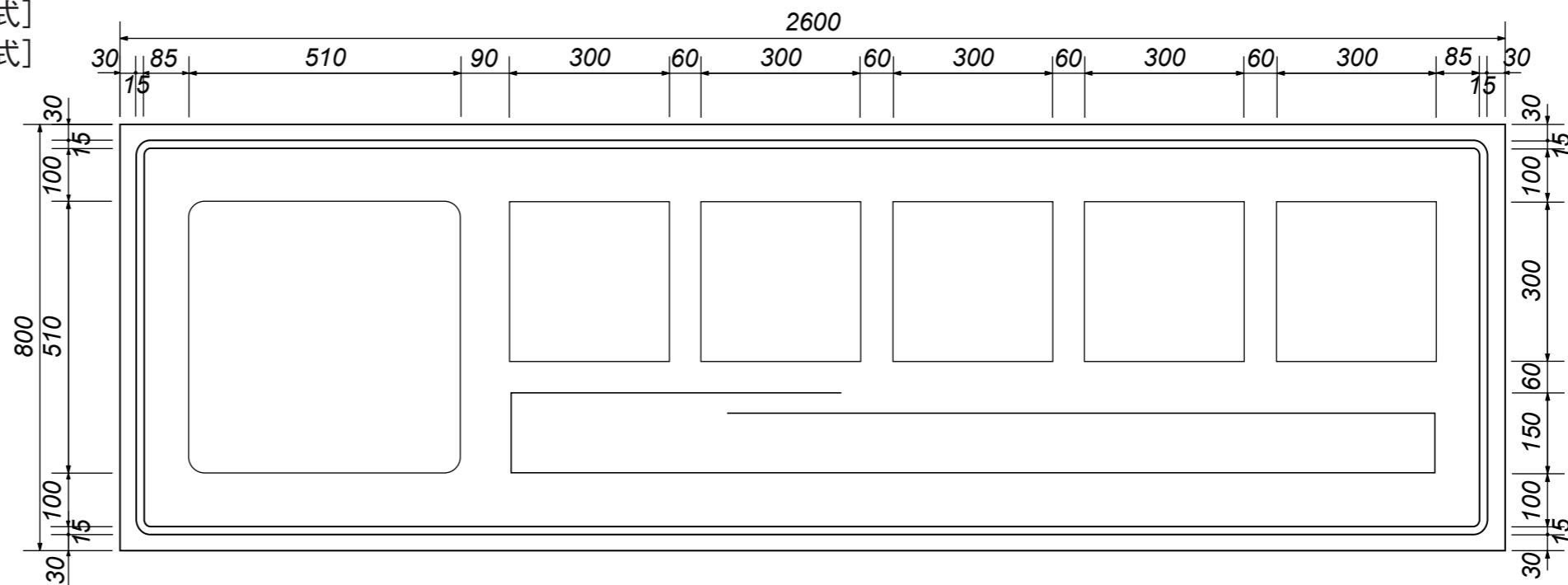


[オーバーハング式]

[オーバーヘッド式]

市町村 (101)
都府県 (102-A)
著名地点 (114-A)

B-10 B-18

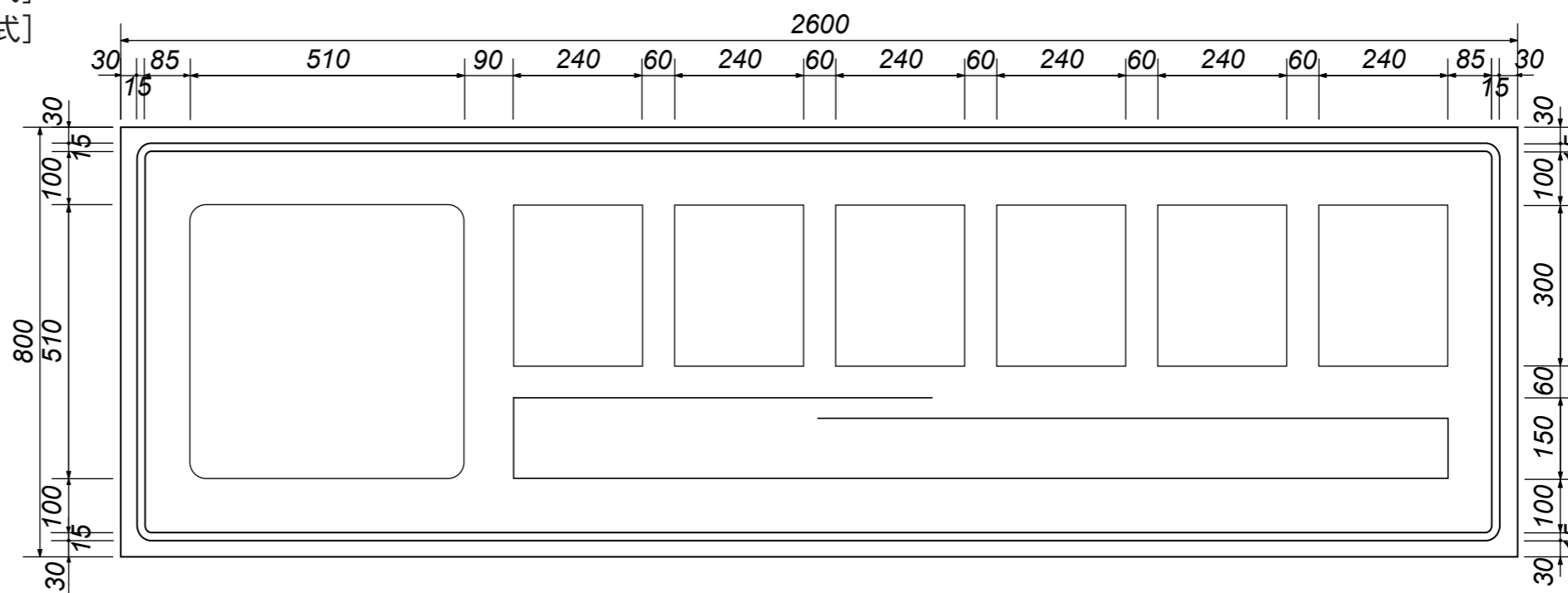


レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	B-10 B-18

[オーバーハング式]
[オーバーヘッド式]

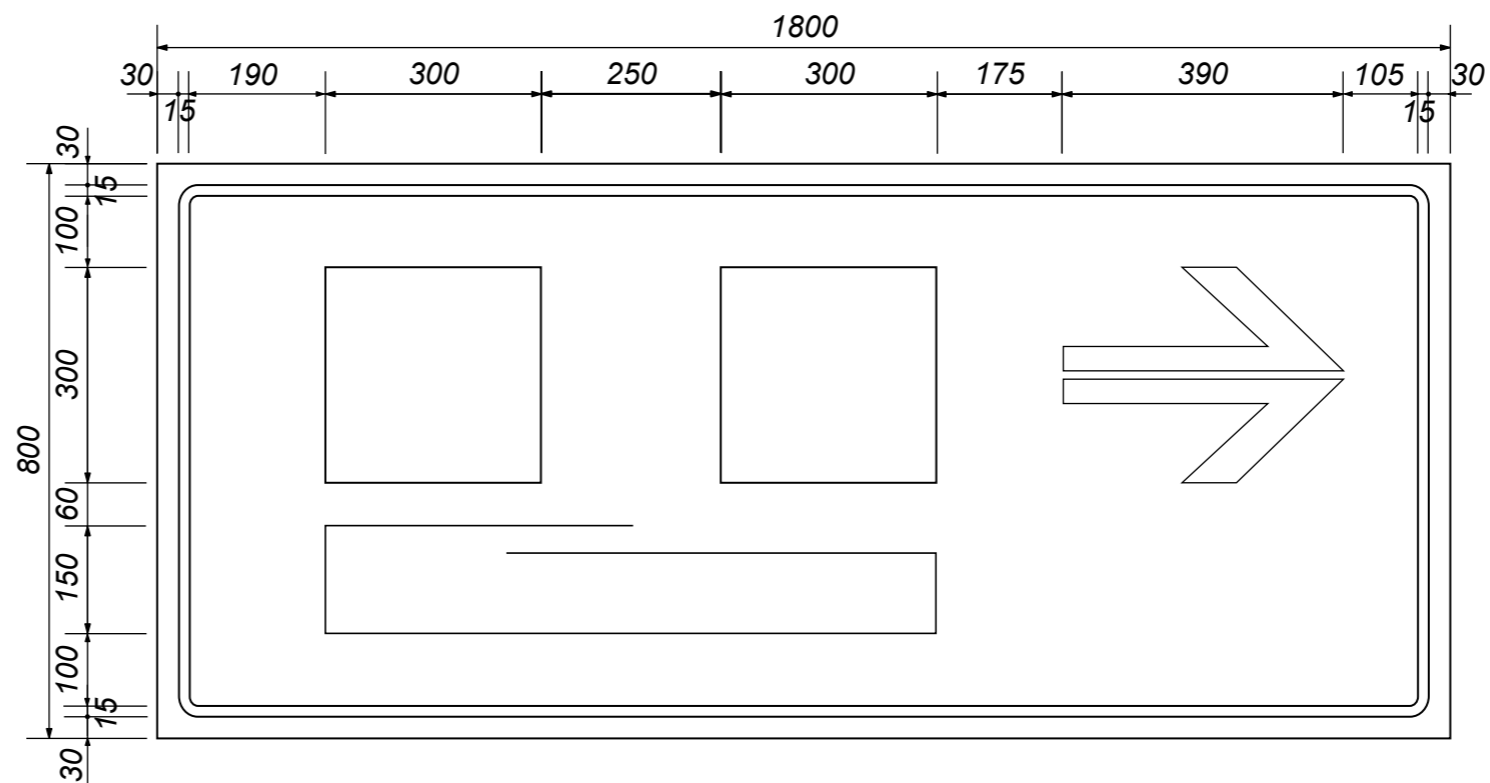
市町村 (101)
都府県 (102-A)
著名地点 (114-A)

B-10 B-18

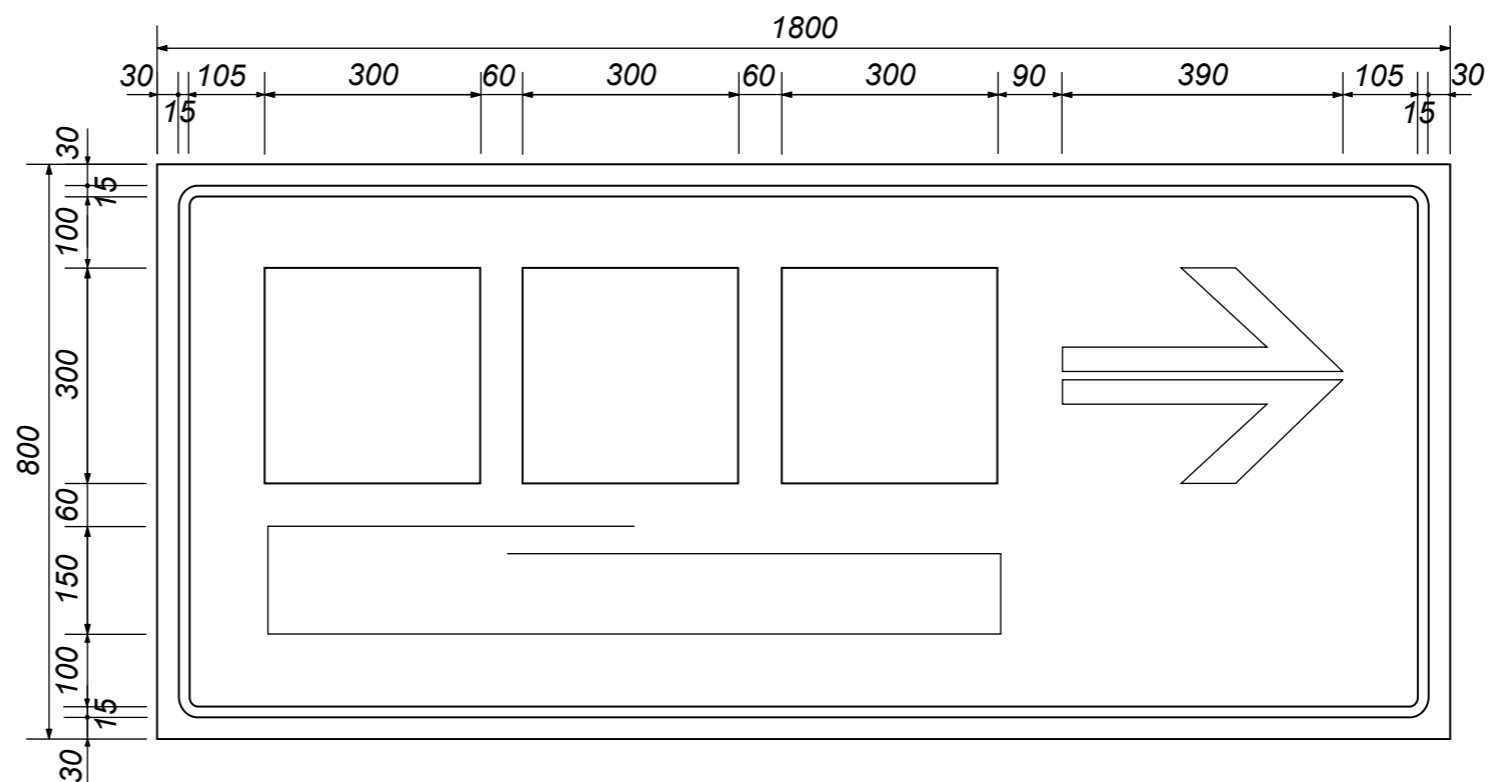


レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-3

[オーバーハング式]
[オーバーヘッド式]
著名地点 (114-A)
B-3

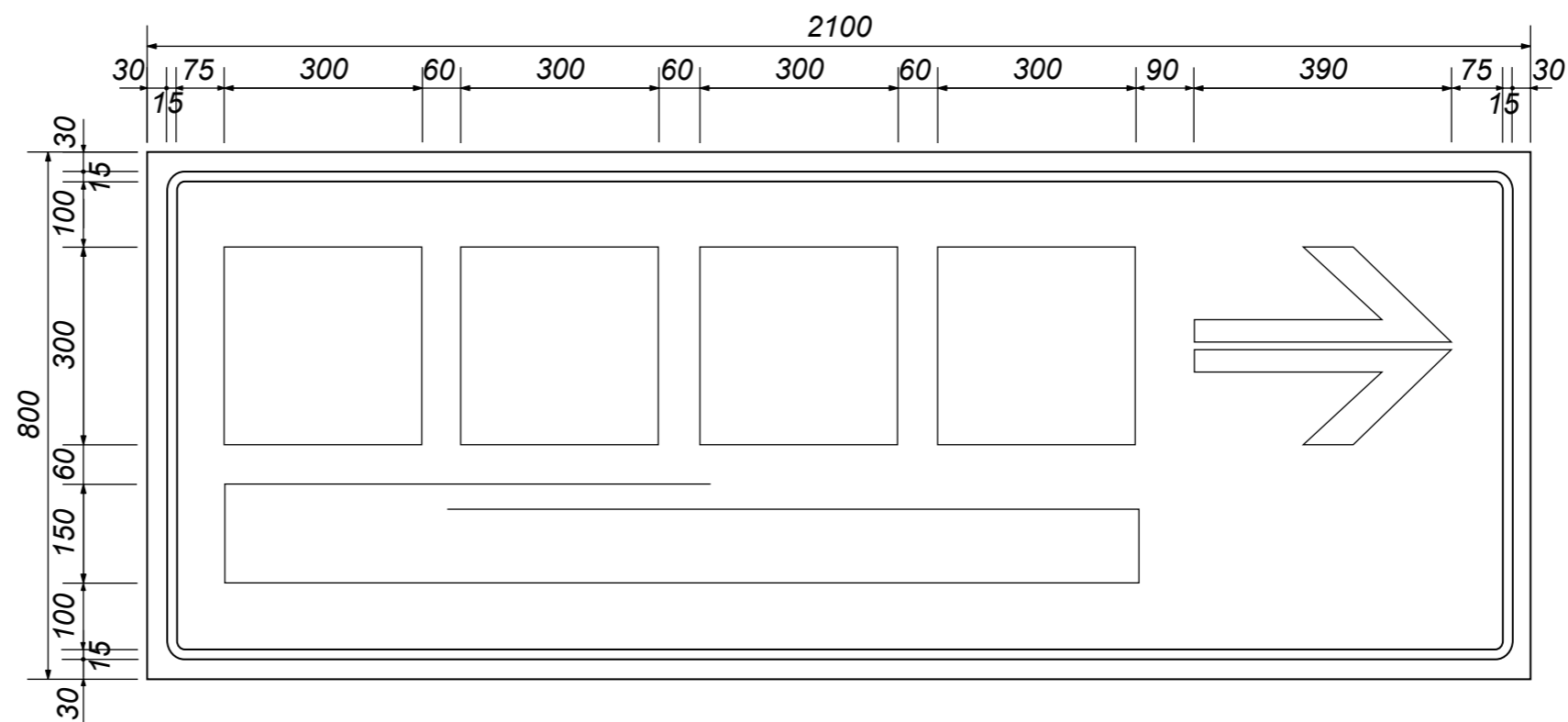


[オーバーハング式]
[オーバーヘッド式]
著名地点 (114-A)
B-3

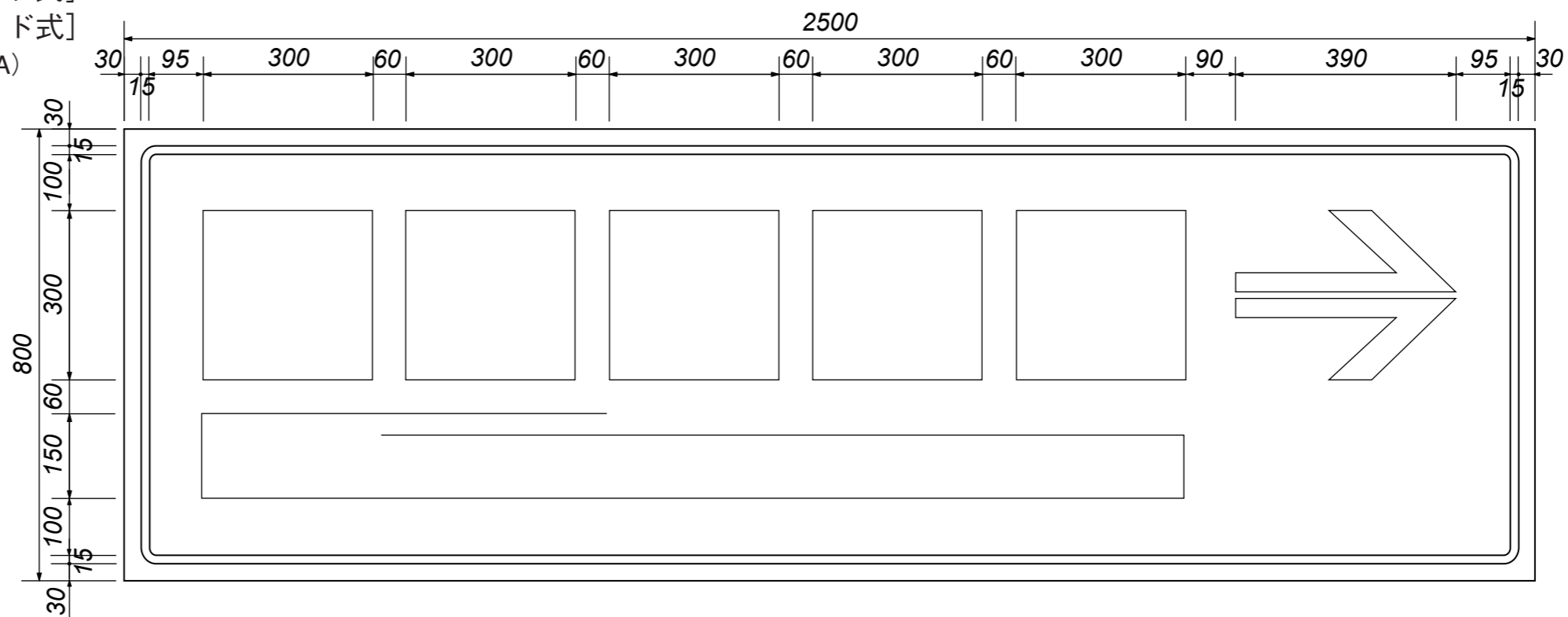


レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-6 B-9

[オーバーハング式]
[オーバーヘッド式]
著名地点 (114-A)
B-6



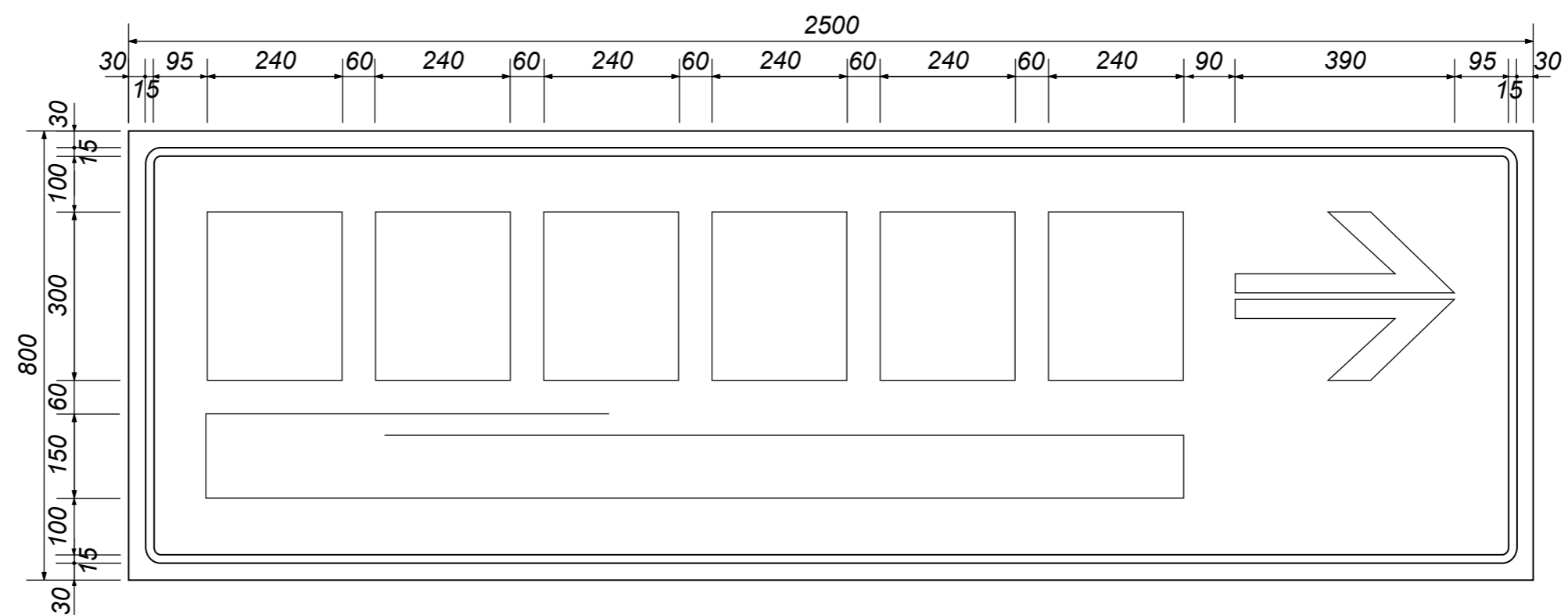
[オーバーハング式]
[オーバーヘッド式]
著名地点 (114-A)
B-9



[オーバーハング式]

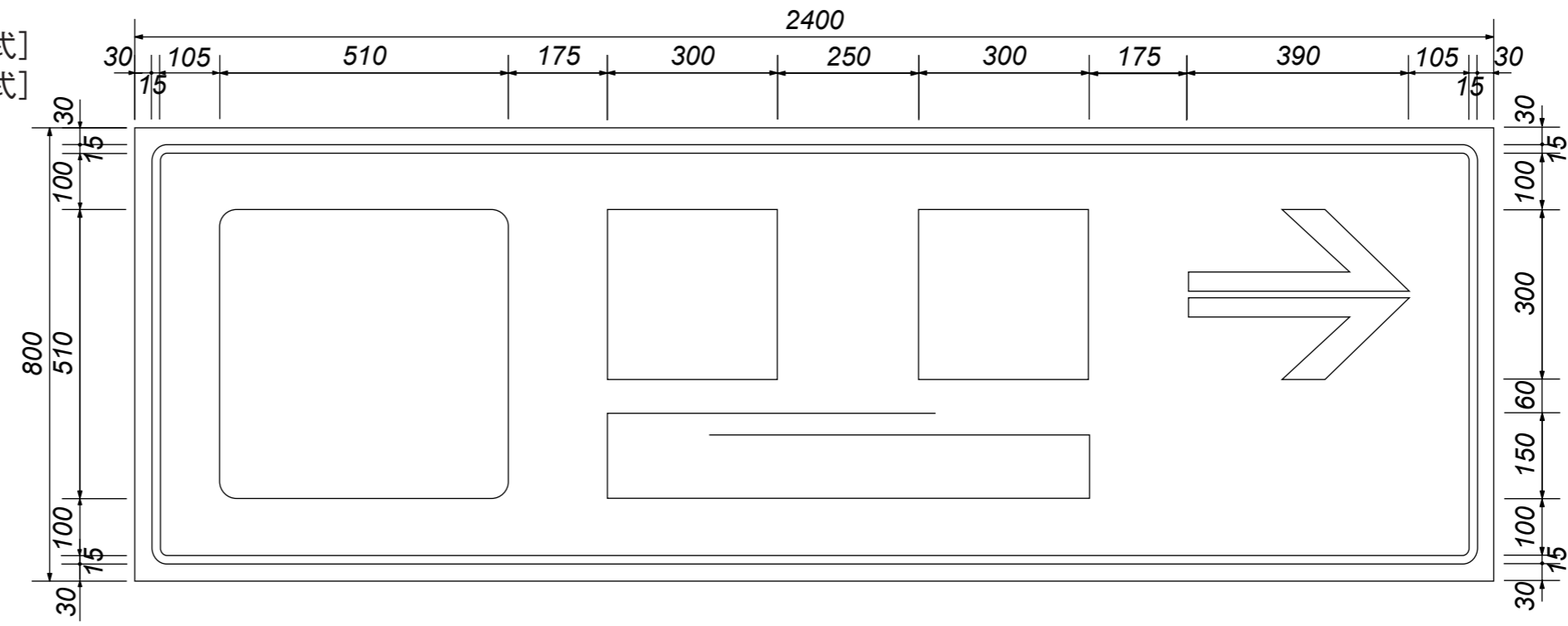
[オーバーヘッド式]

著名地点 (114-A)

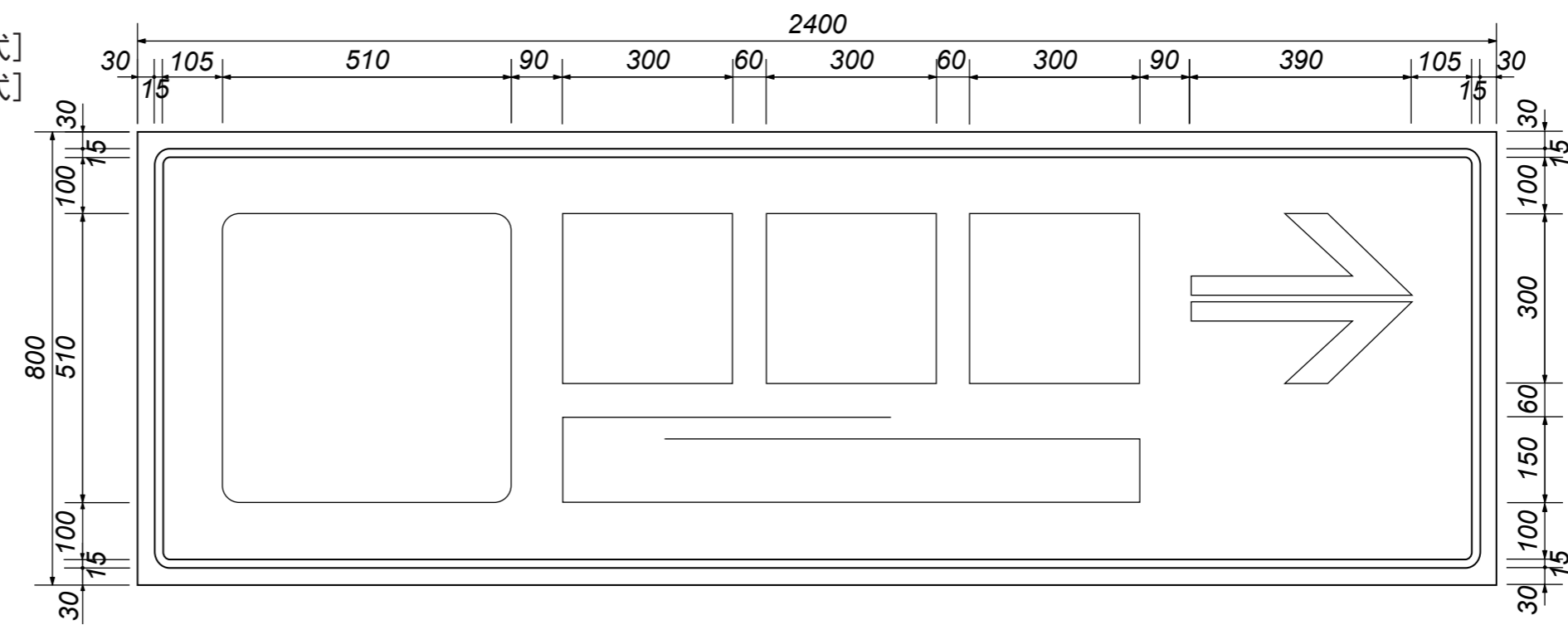
B-9

レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-8

[オーバーハング式]
[オーバーヘッド式]
著名地点 (114-A)
B-8



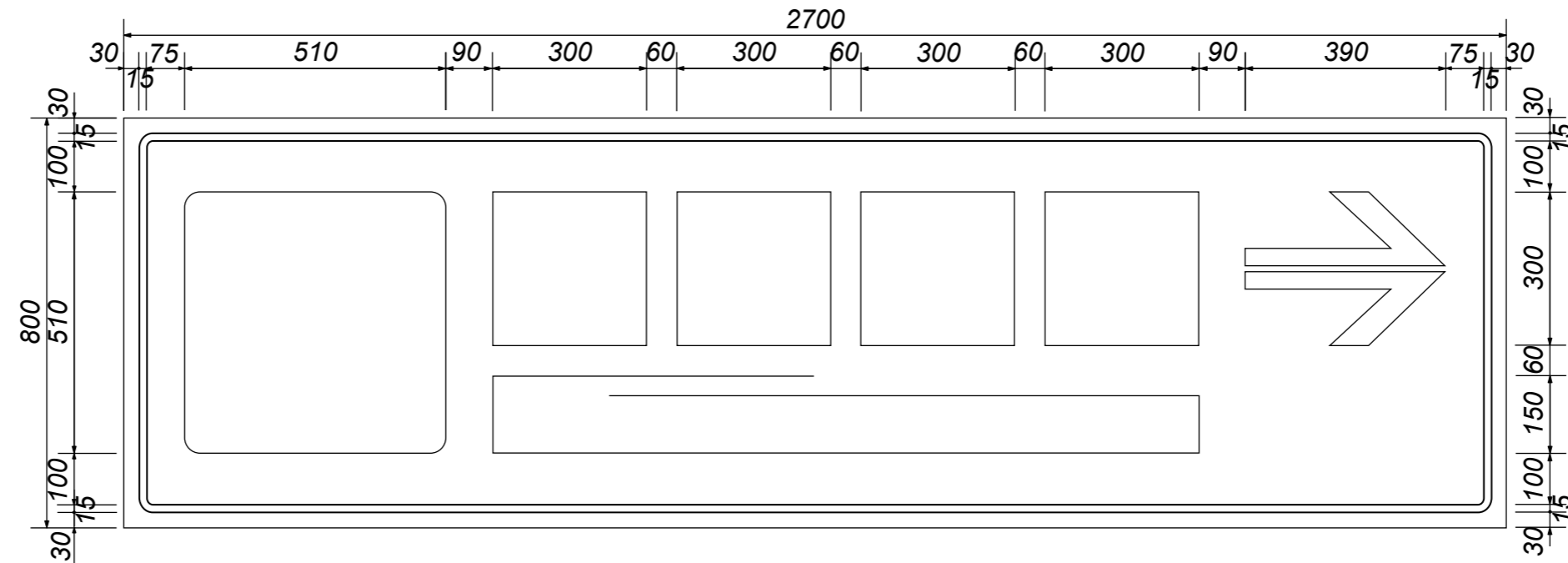
[オーバーハング式]
[オーバーヘッド式]
著名地点 (114-A)
B-8



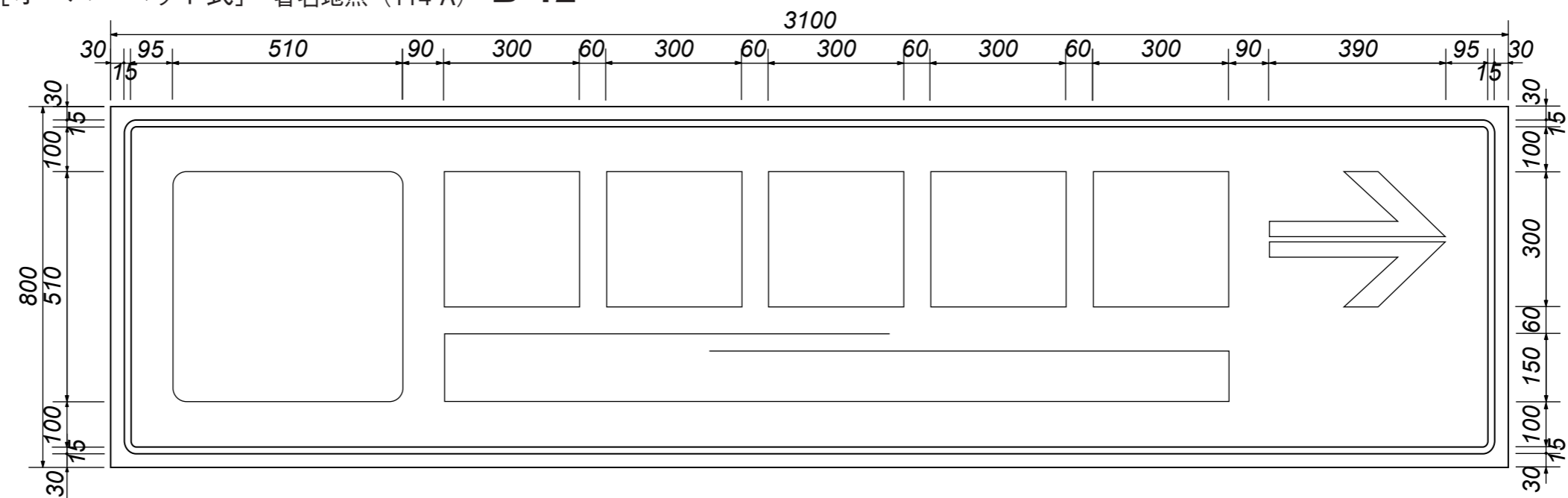
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)

型式 B-11 B-12

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 著名地点 (114-A) **B-11**

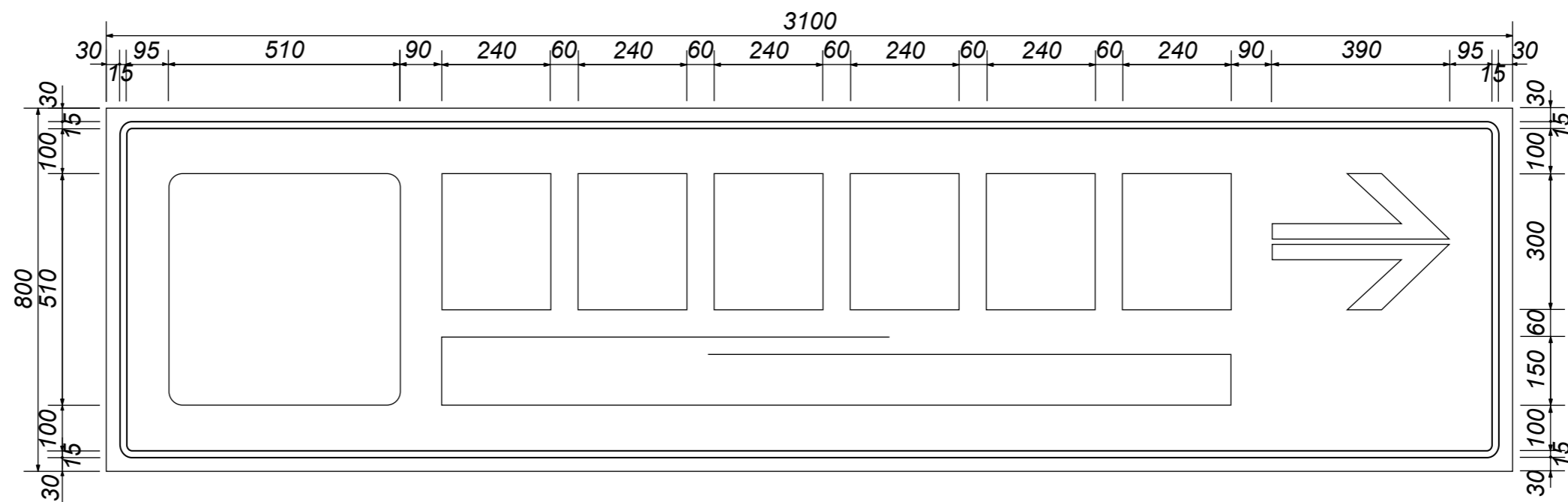


[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 著名地点 (114-A) **B-12**



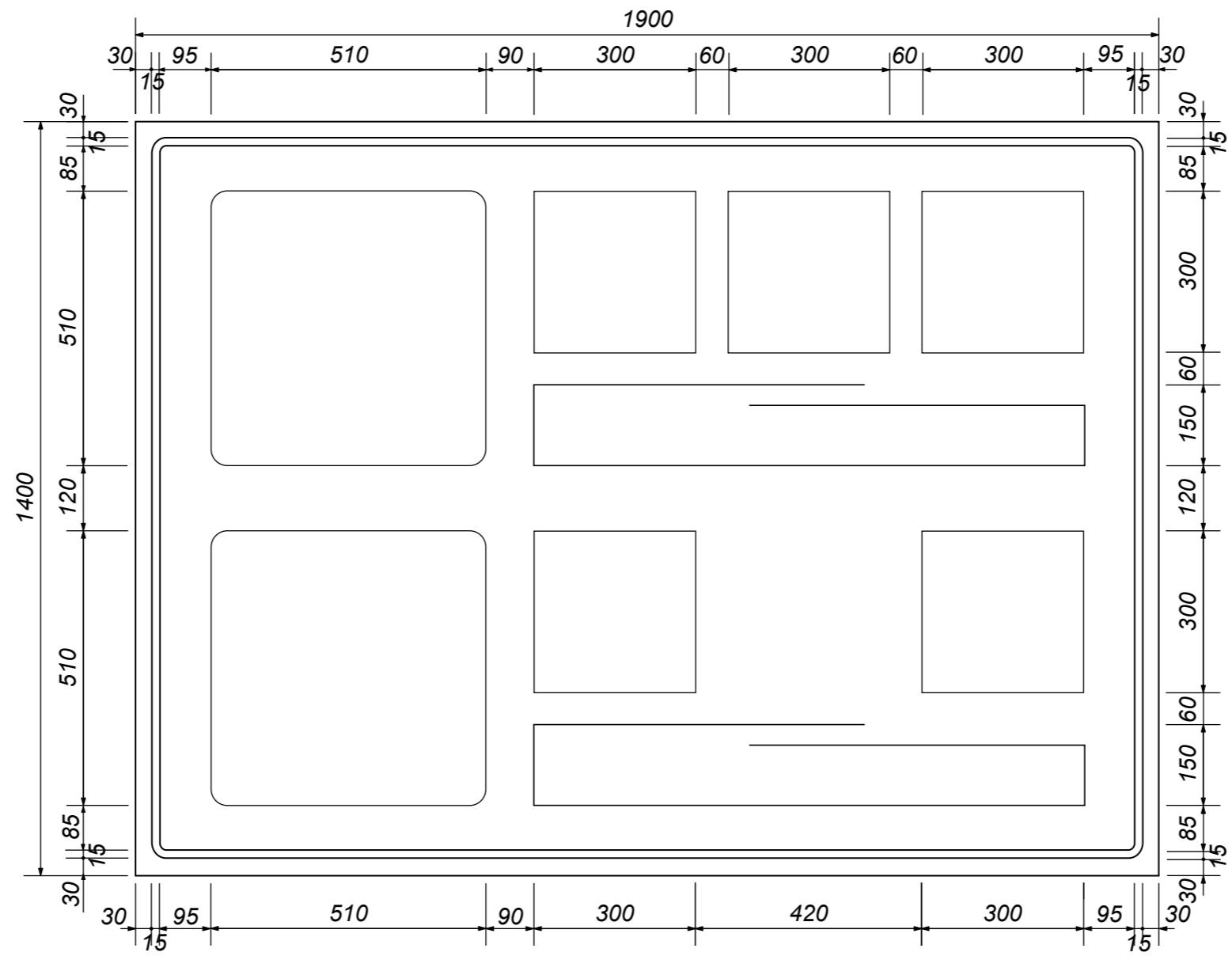
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	B-12

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 著名地点 (114-A) **B-12**



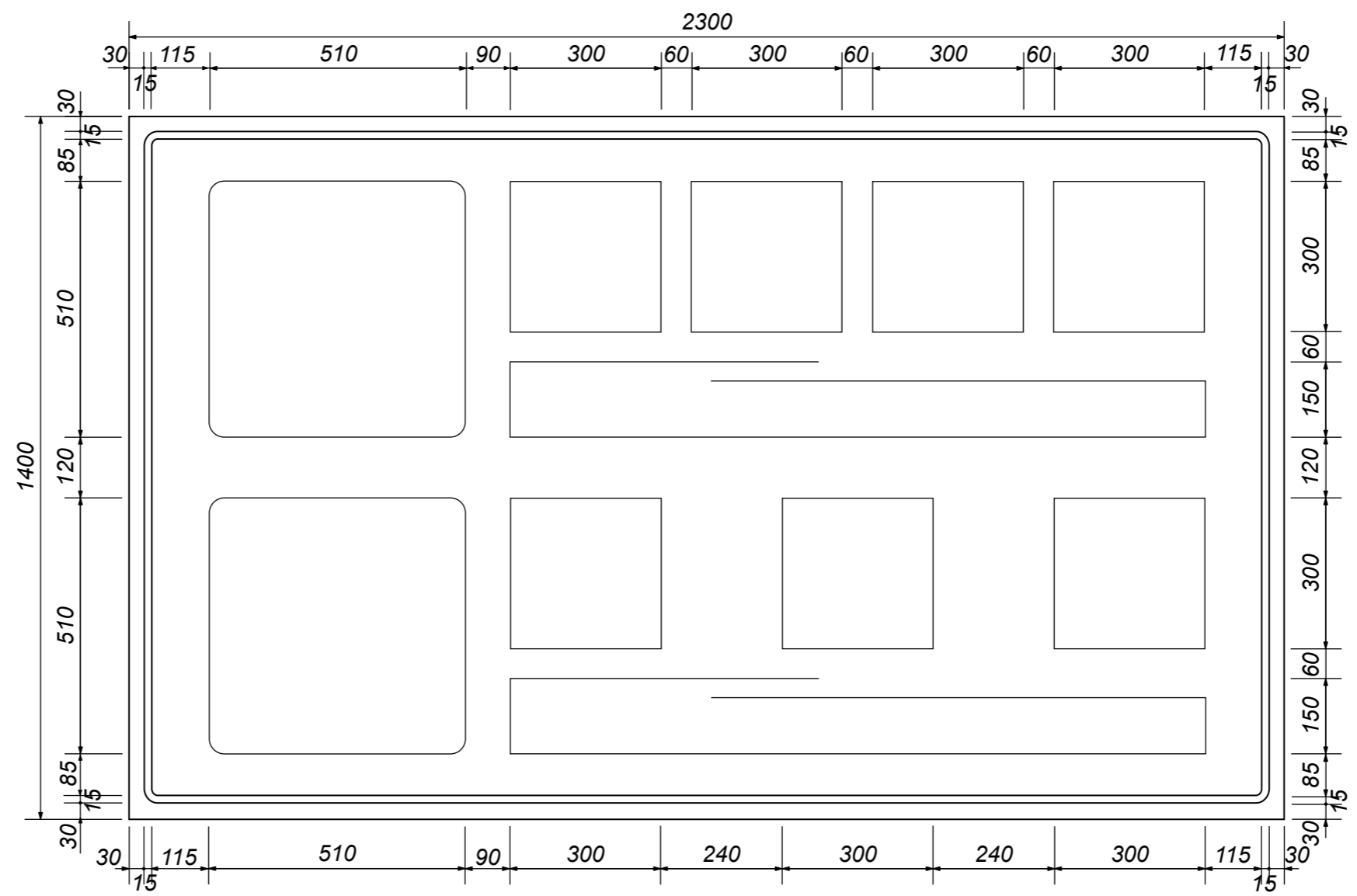
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-20

市町村 (101)
 [オーバーハング式] 都道府県 (102-A)
 [オーバーヘッド式] 著名地点 (114-A) **B-20**



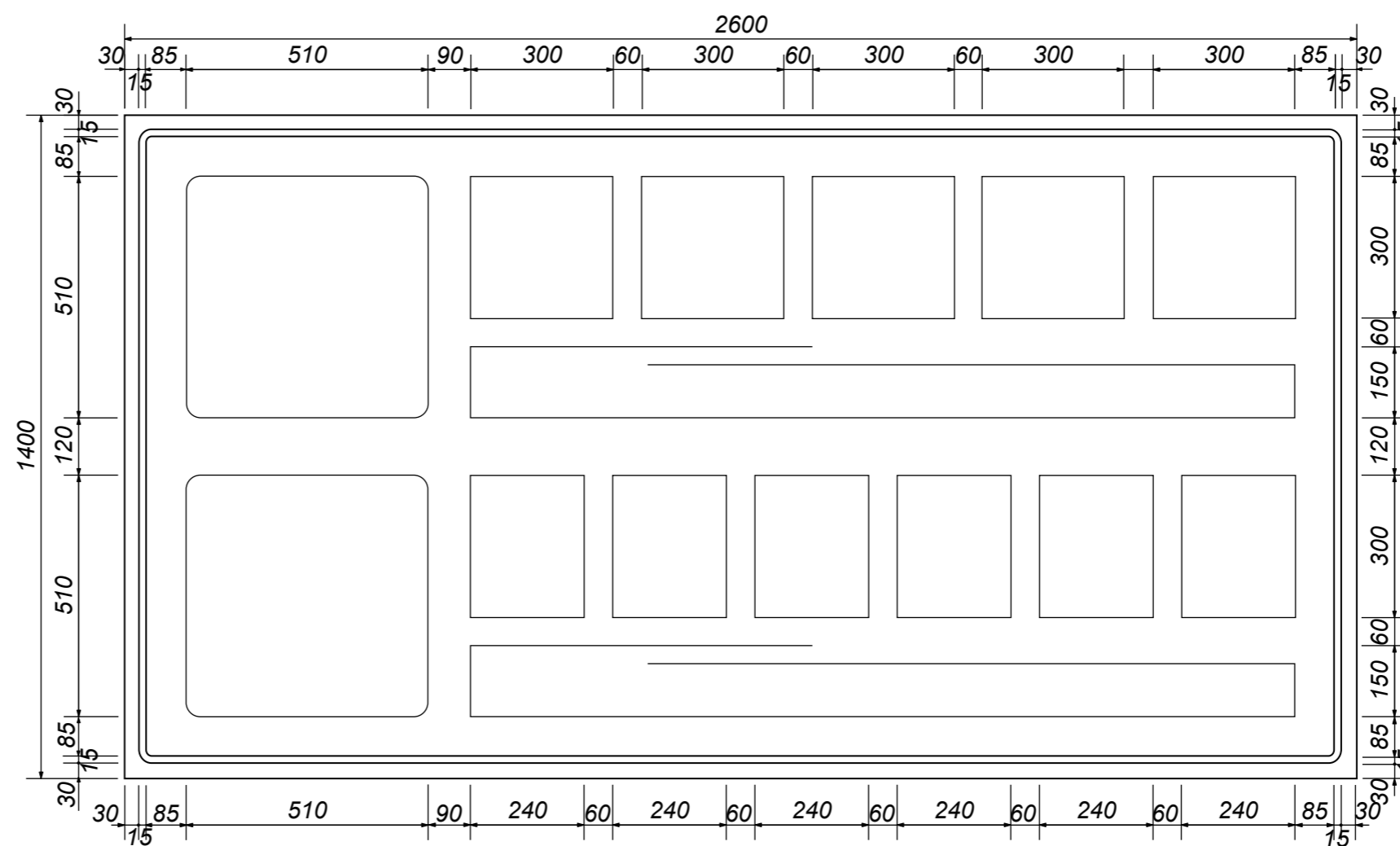
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-23

市町村 (101)
 [オーバーハング式] 都道府県 (102-A)
 [オーバーヘッド式] 著名地点 (114-A) **B-23**



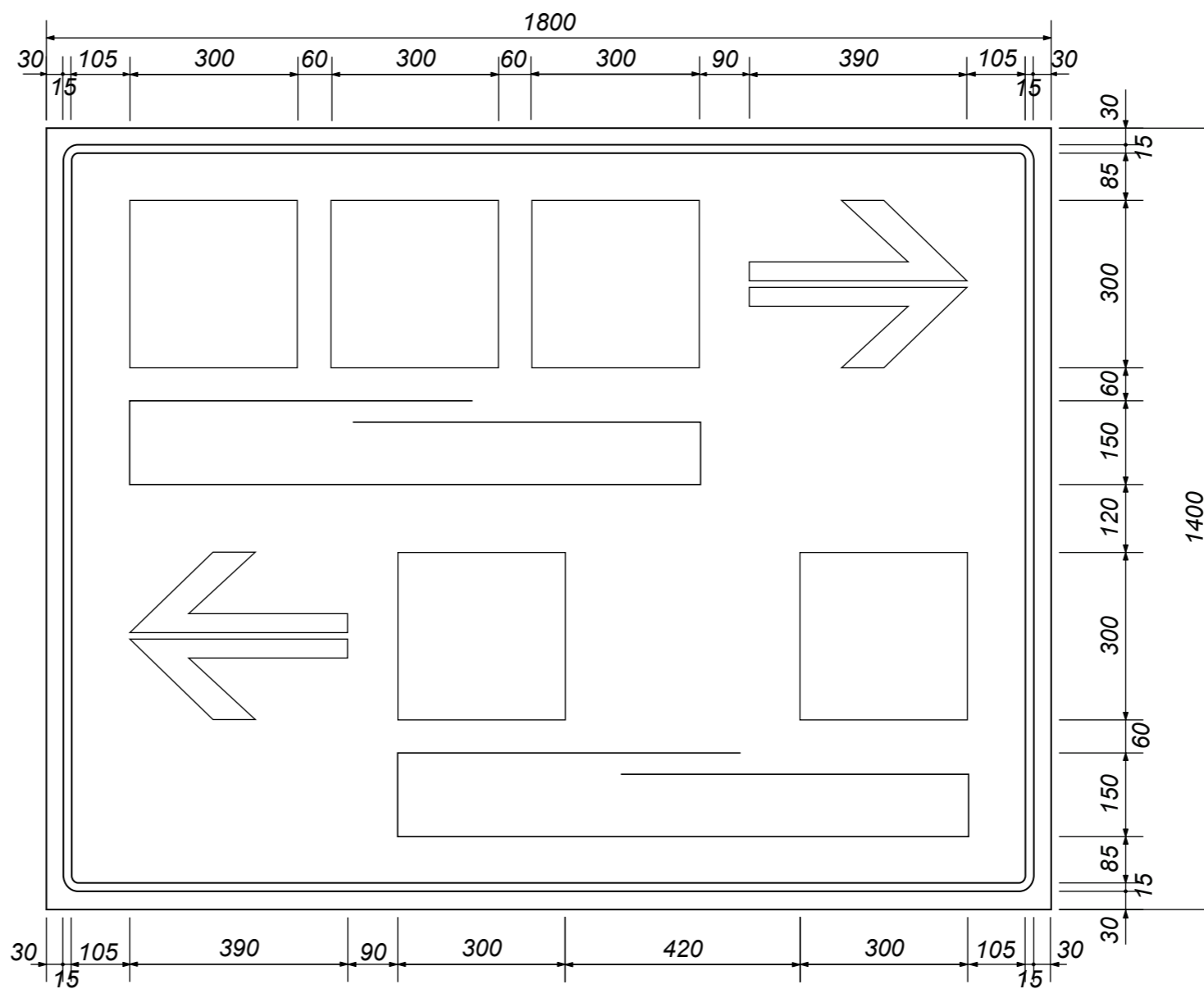
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	B-26

市町村 (101)
 [オーバーハング式] 都道府県 (102-A)
 [オーバーヘッド式] 著名地点 (114-A) **B-26**



レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-19

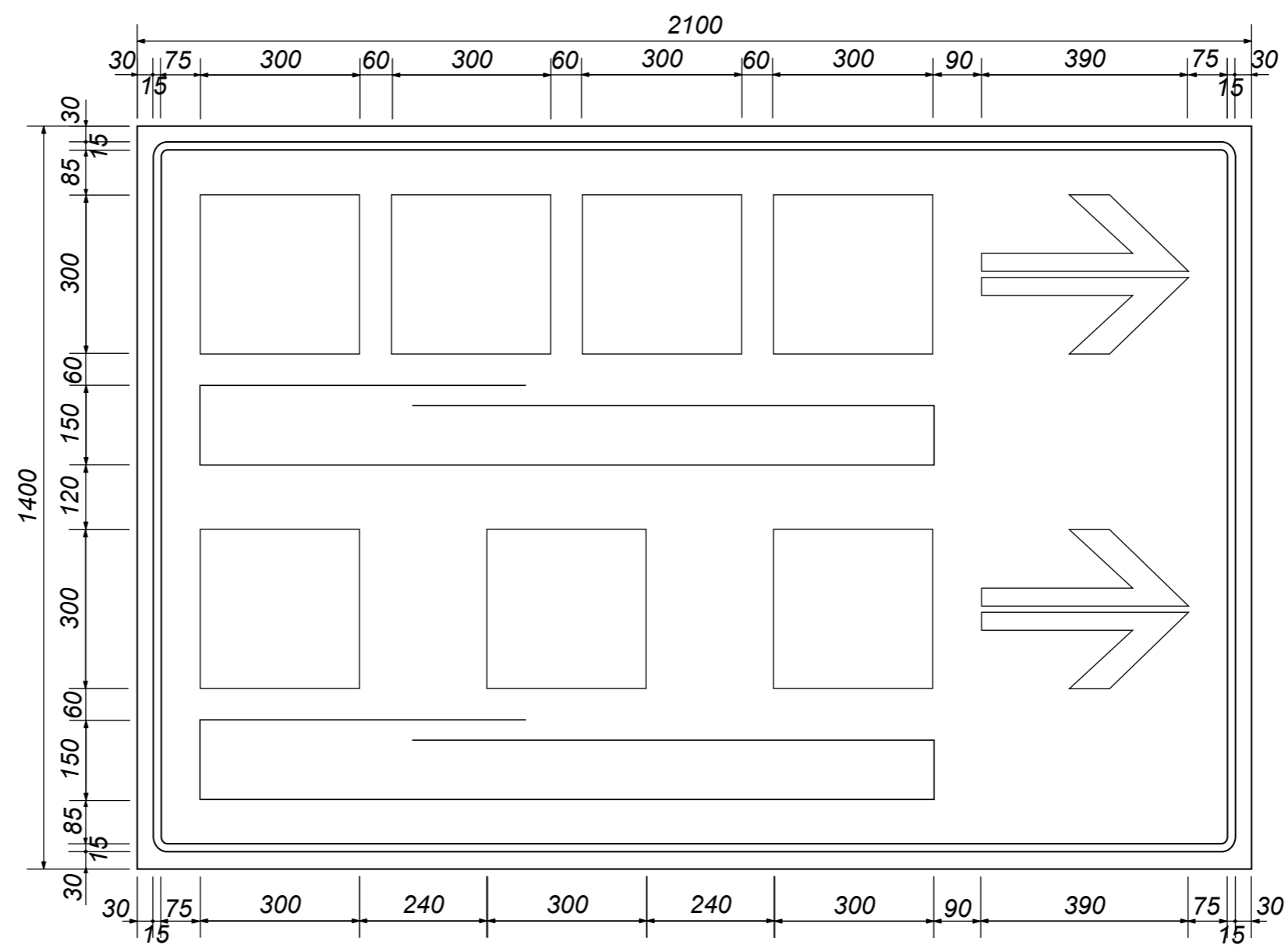
[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 著名地点 (114-A) **B-19**



レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)

型 式 B-21

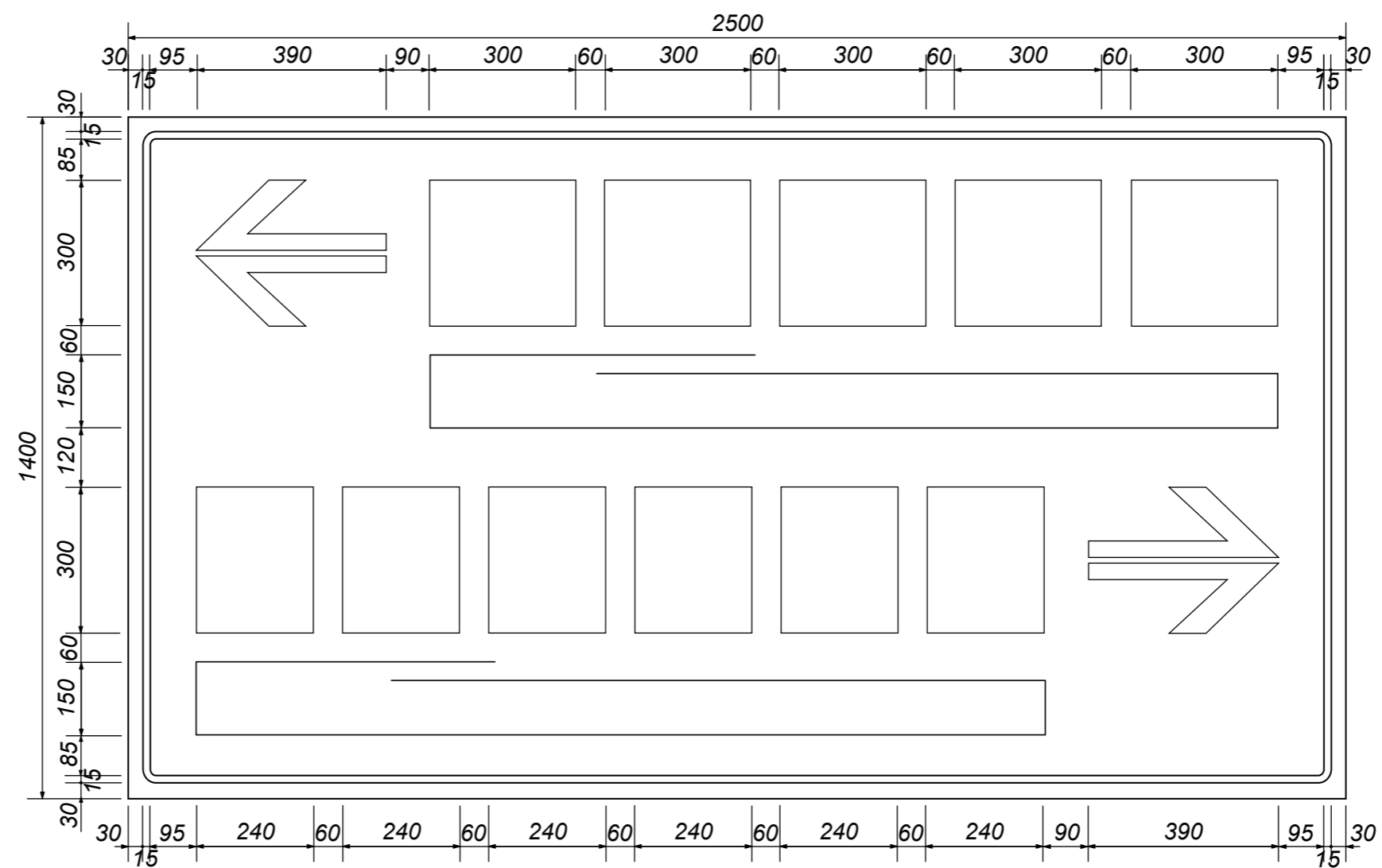
[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 著名地点 (114-A) **B-21**



レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)

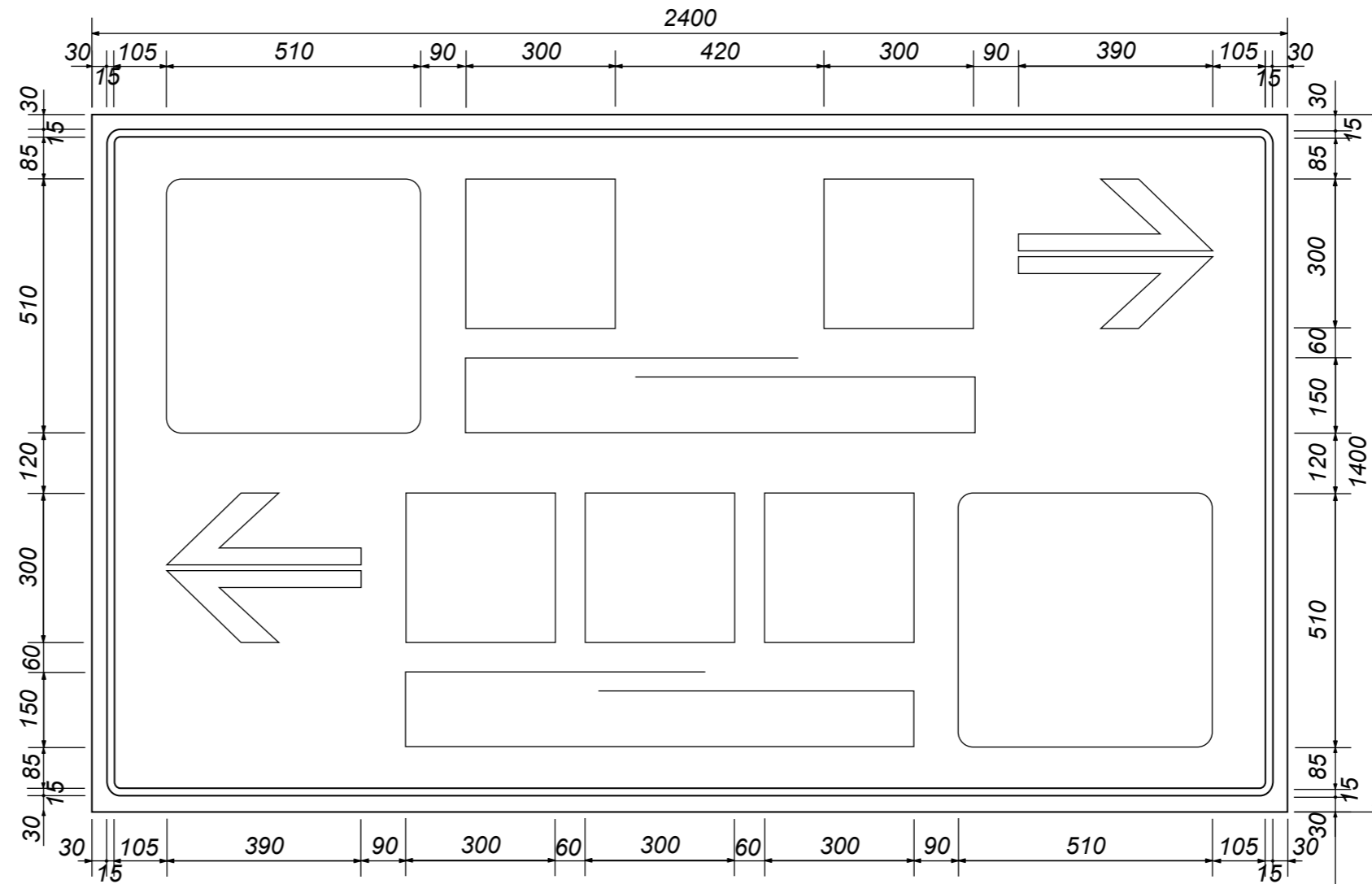
型式 B-25

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 著名地点 (114-A) **B-25**



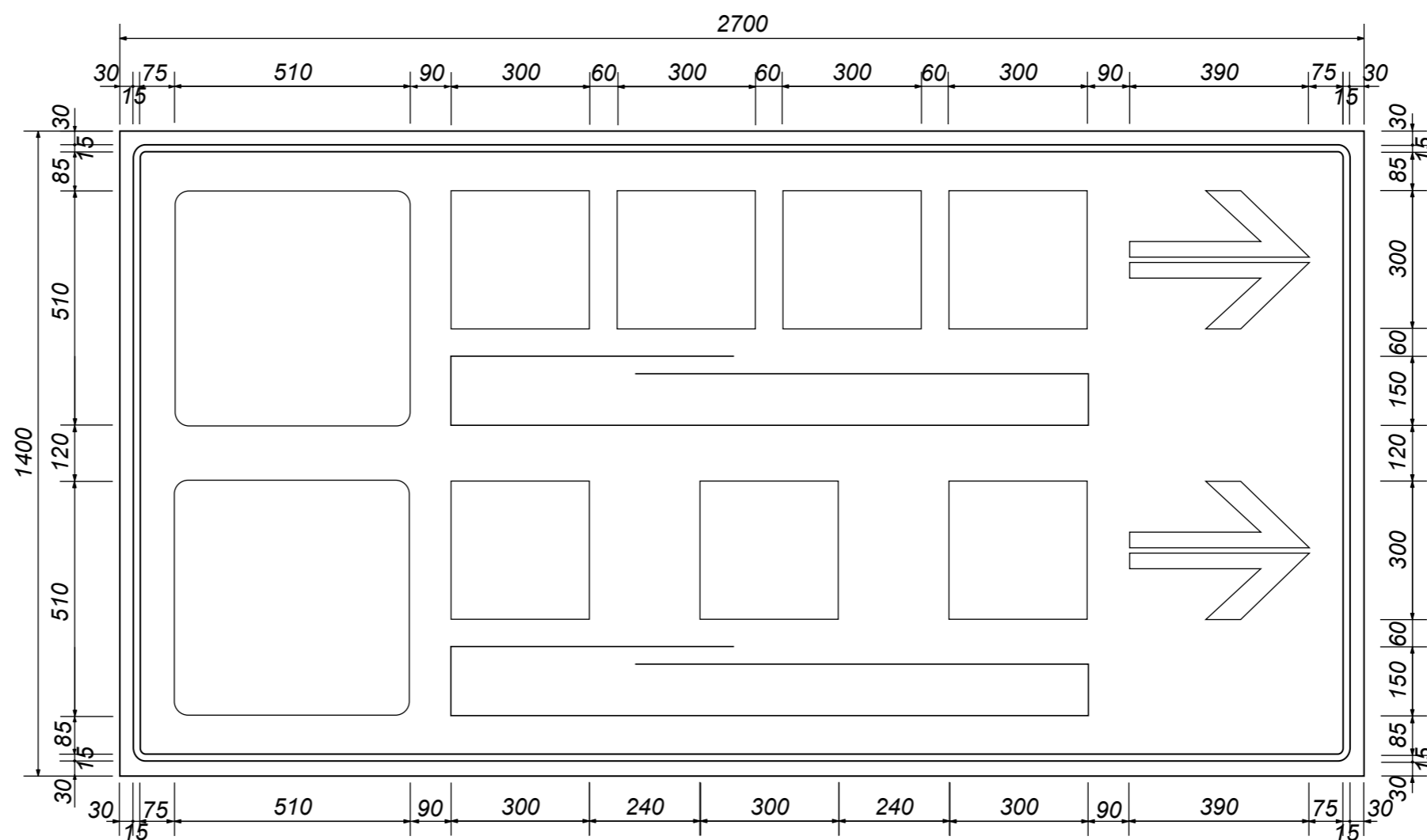
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-24

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 著名地点 (114-A) **B-24**



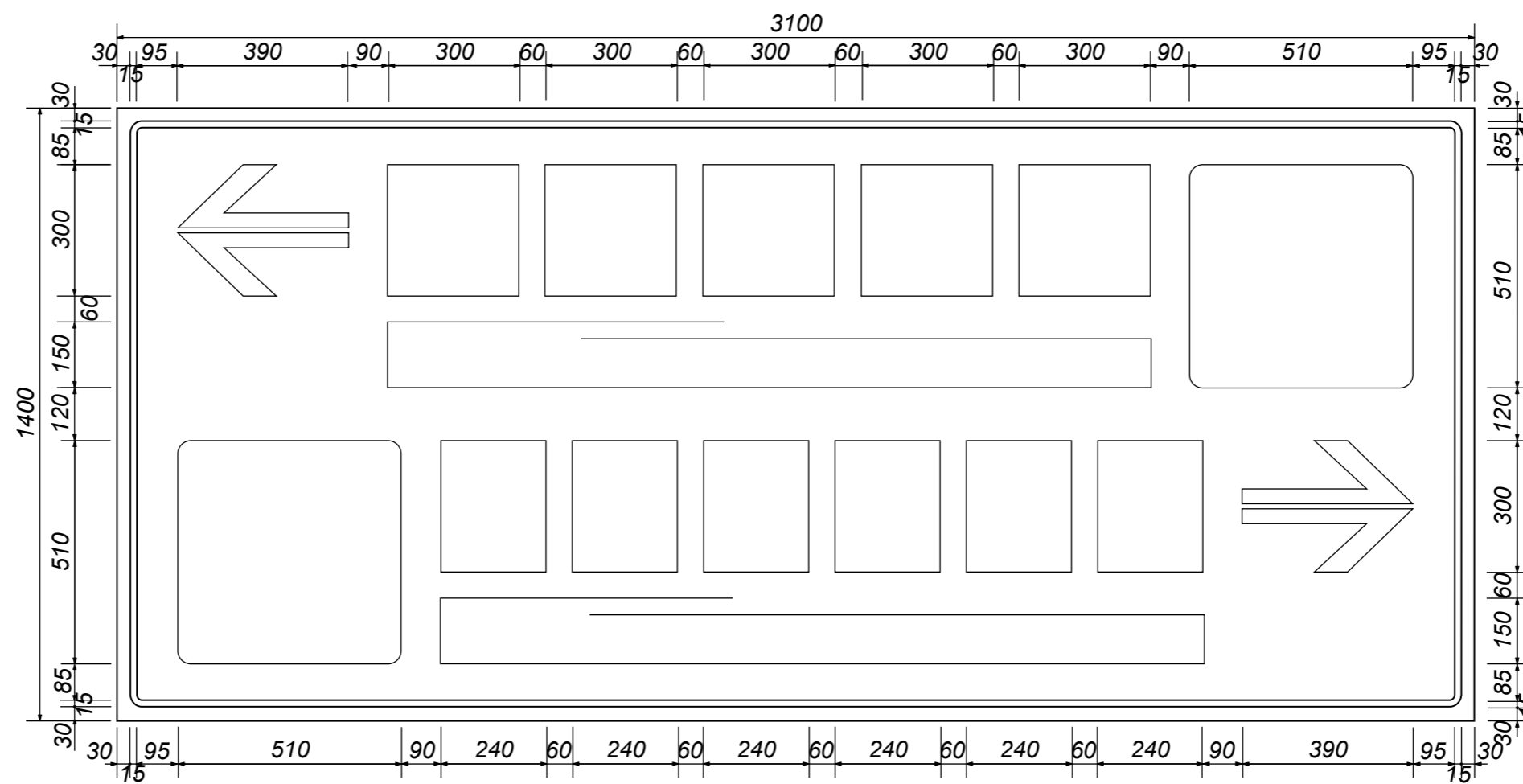
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-27

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 著名地点 (114-A) **B-27**



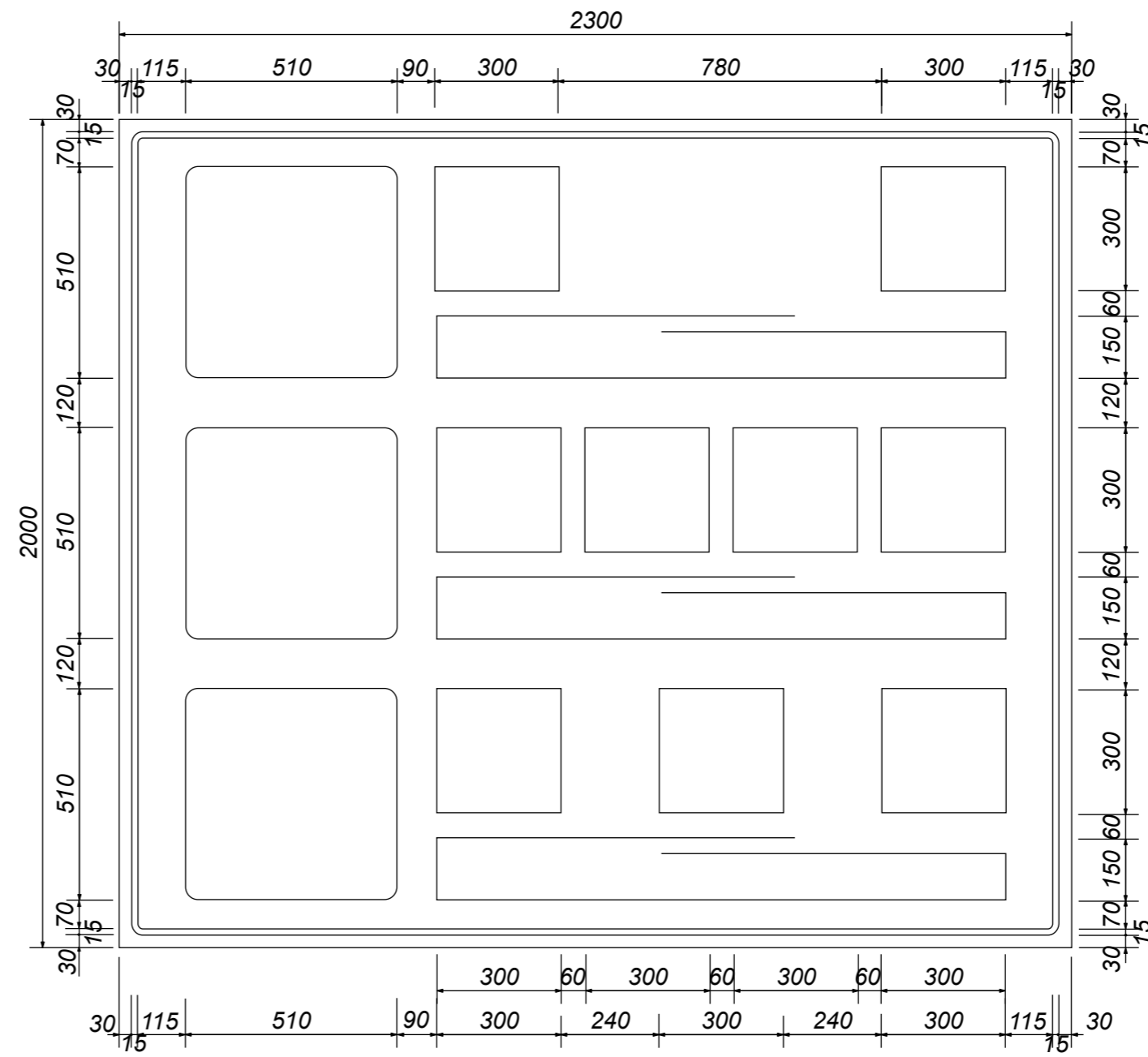
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	B-29

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 著名地点 (114-A) **B-29**



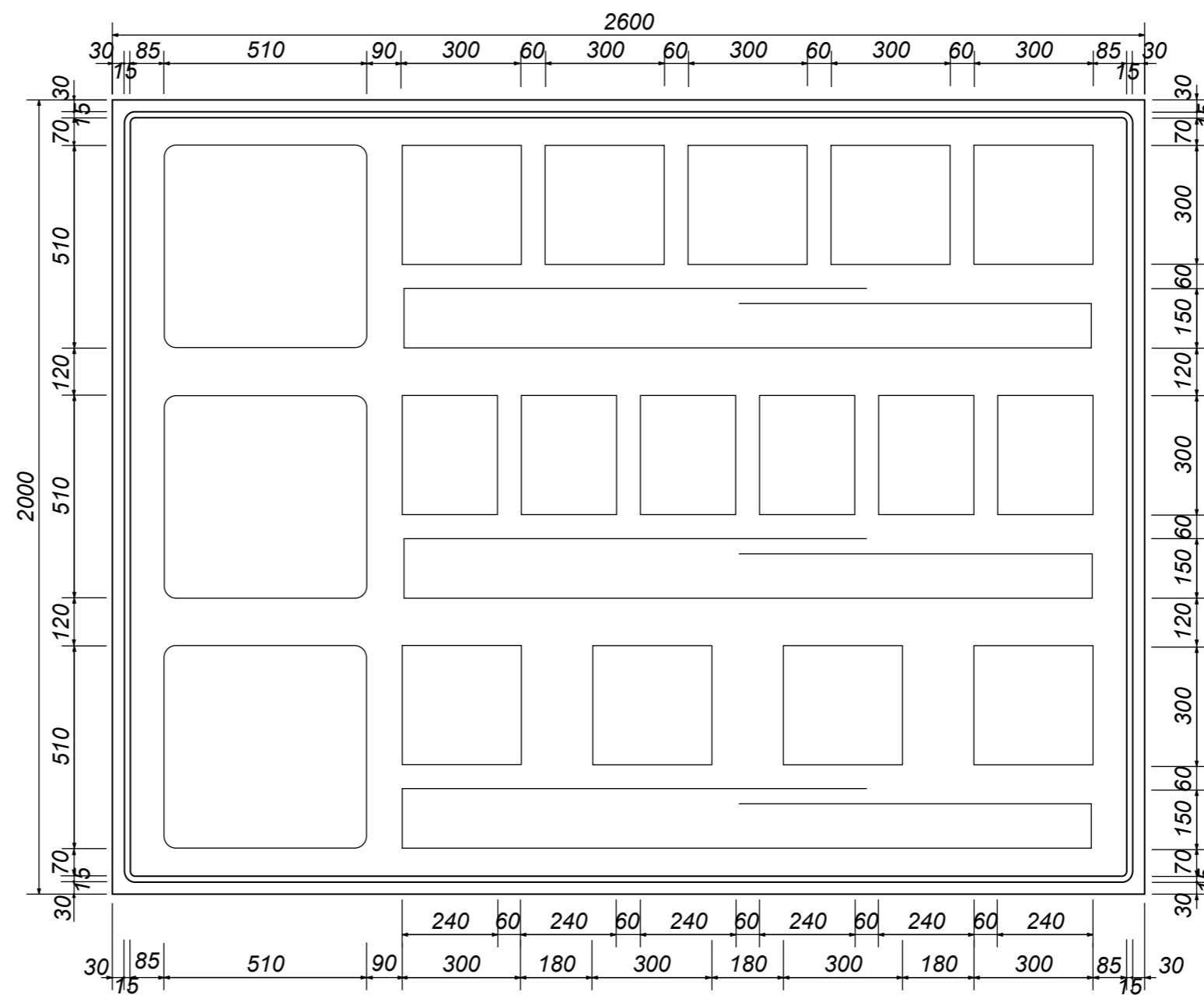
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	B-32

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 著名地点 (114-A) **B-32**

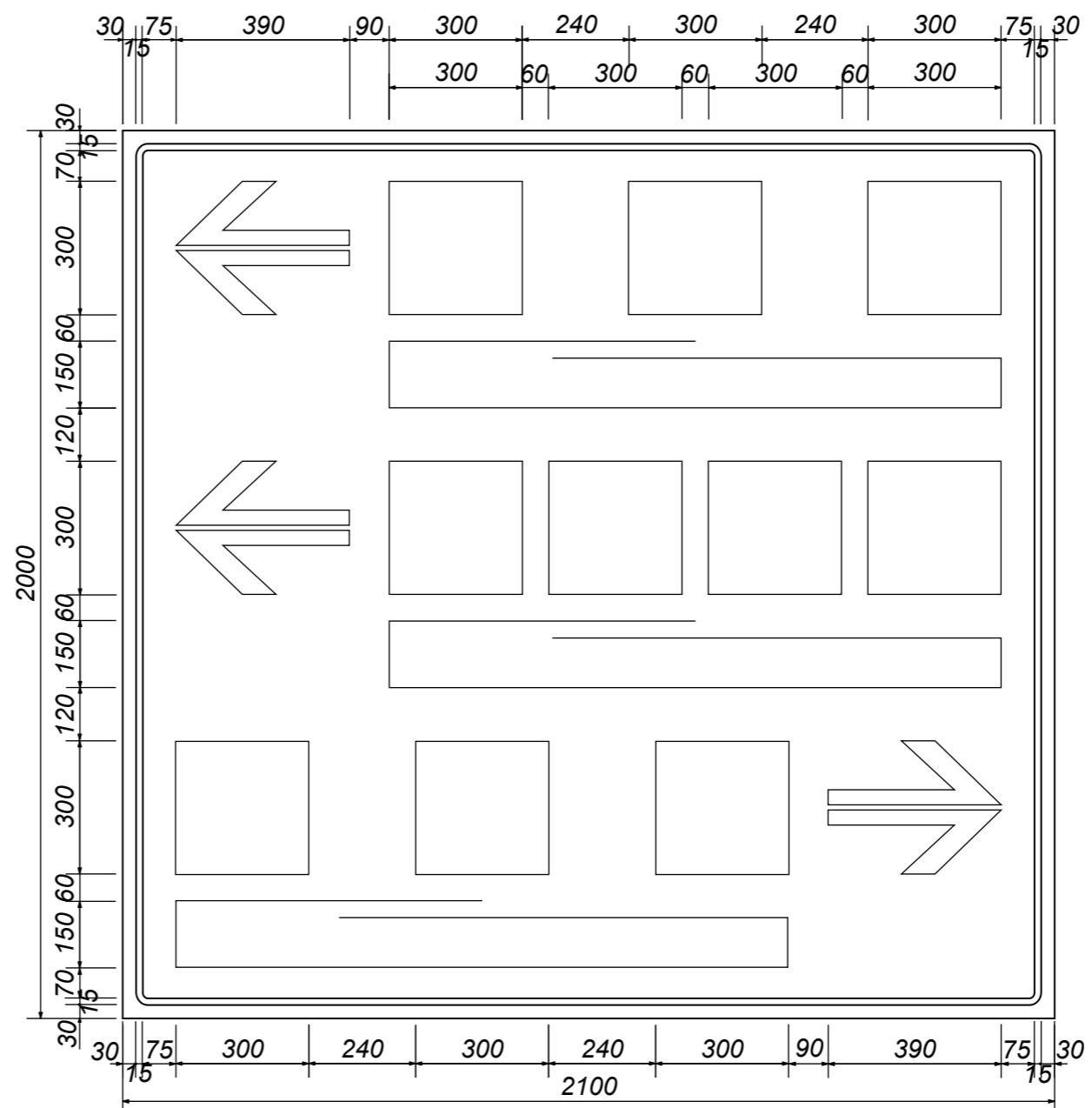


レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-35

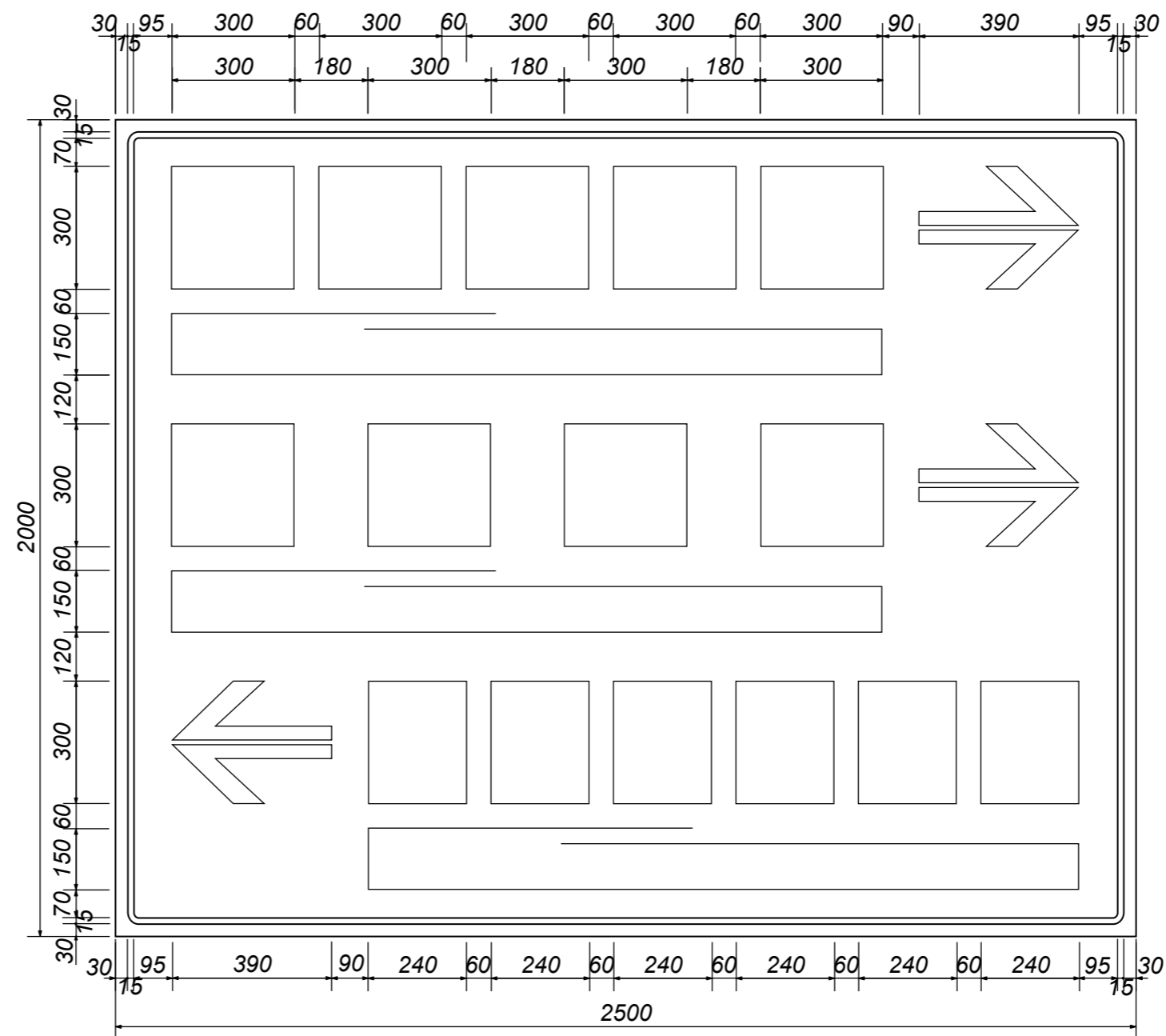
[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 著名地点 (114-A) **B-35**



[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 著名地点 (114-A) **B-30**

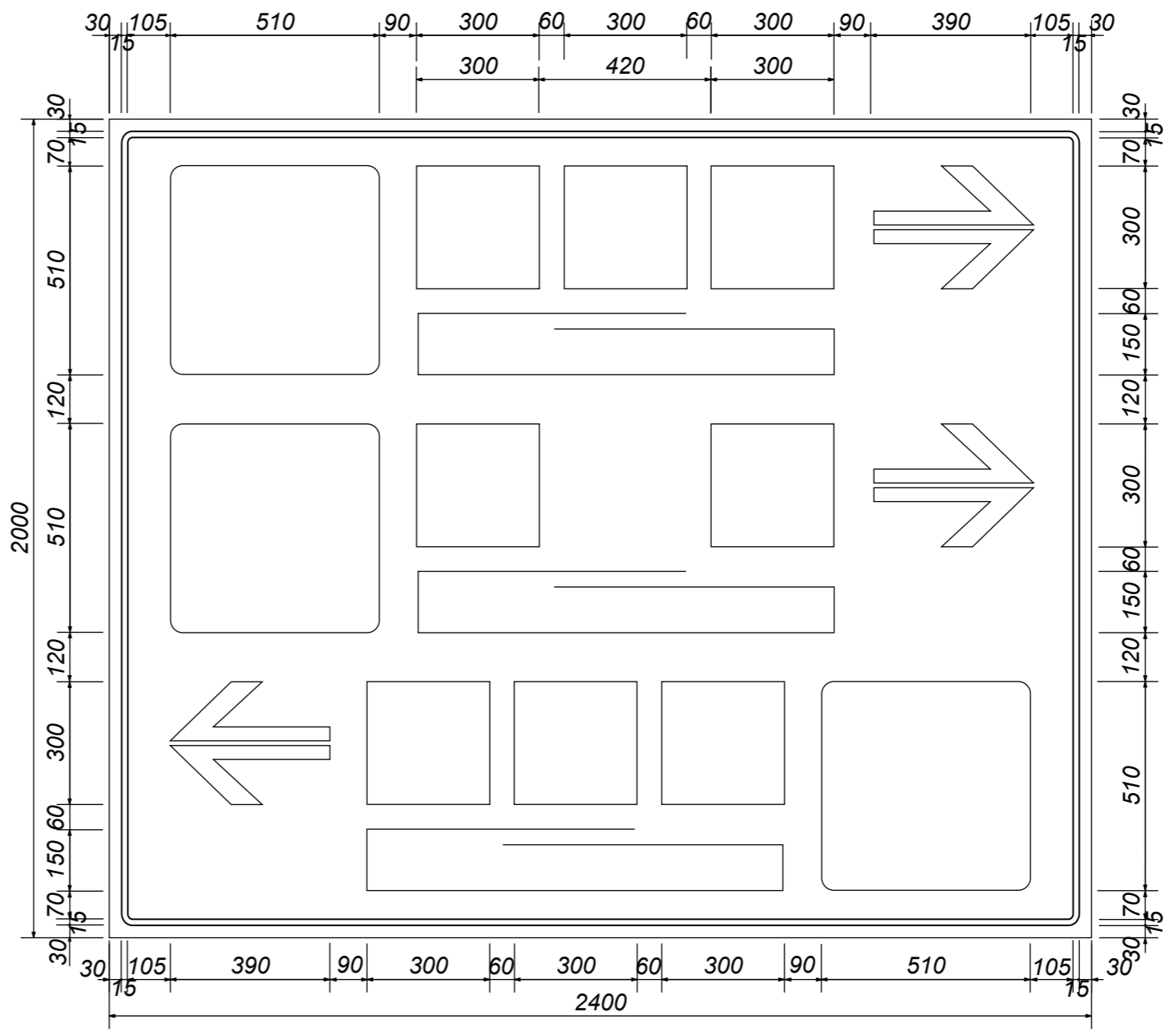


[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 著名地点 (114-A) **B-34**



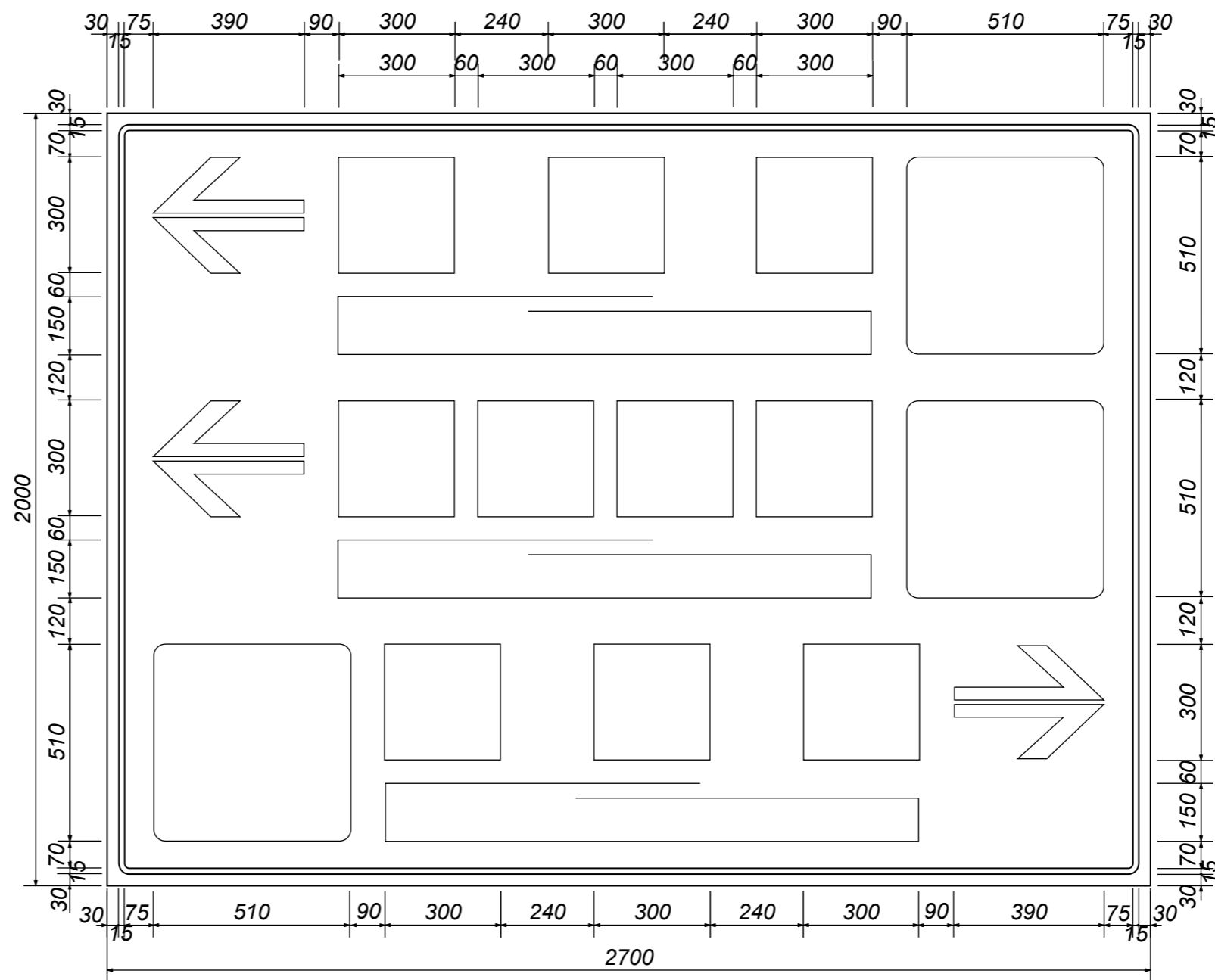
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-33

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 著名地点 (114-A) **B-33**



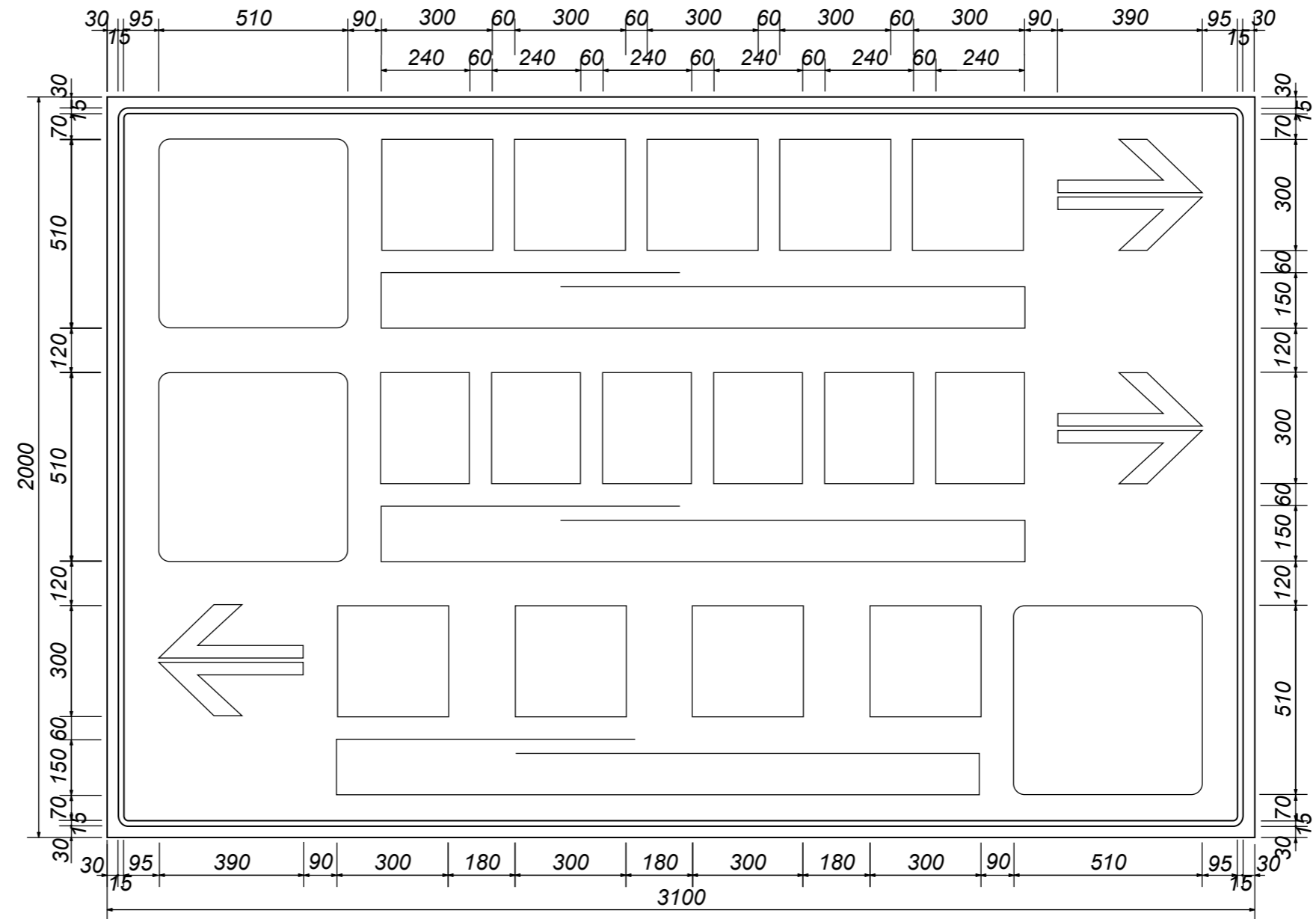
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-36

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 著名地点 (114-A) **B-36**



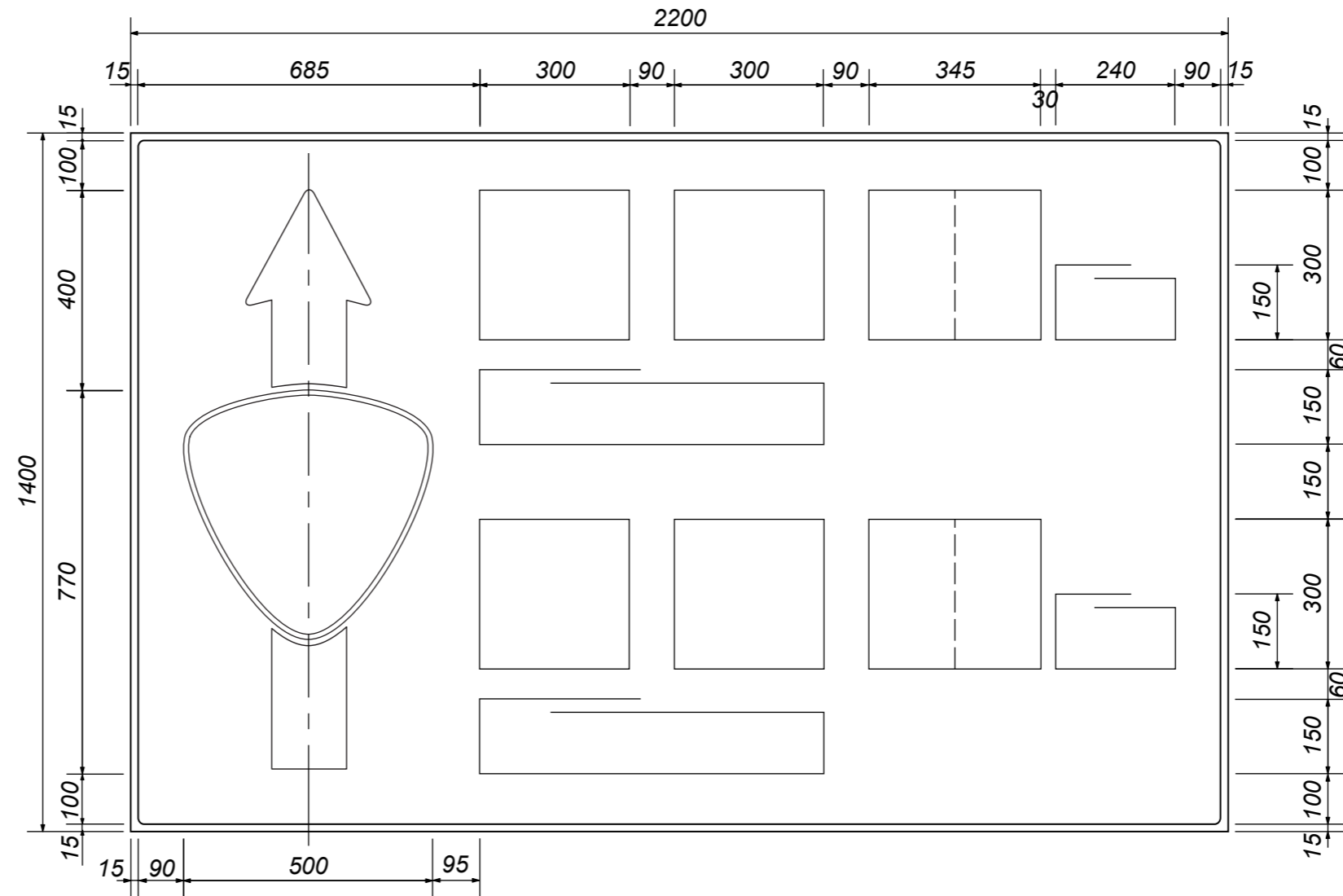
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-39

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 著名地点 (114-A) **B-39**



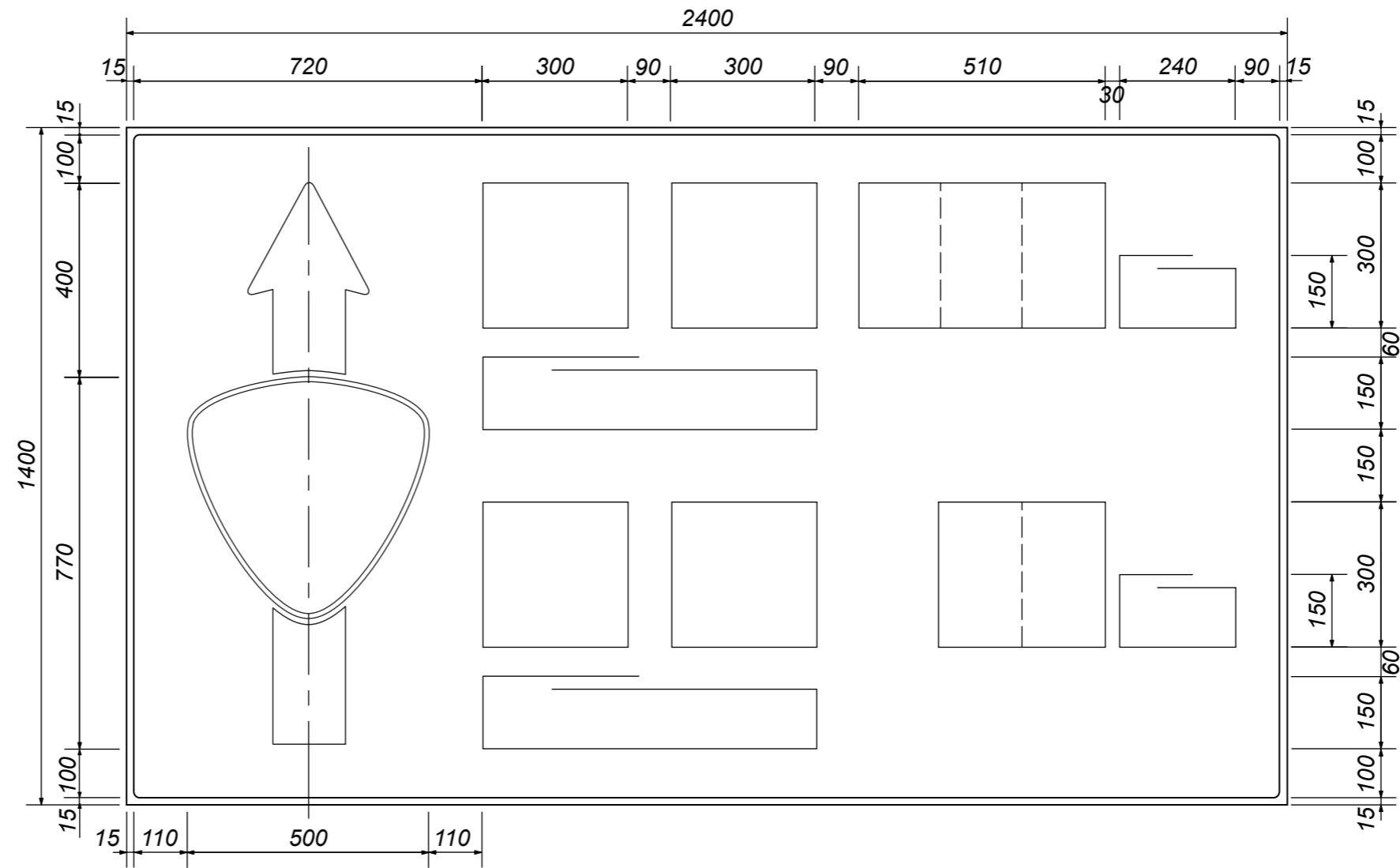
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	B-22

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び距離 (106-A) **B-22**



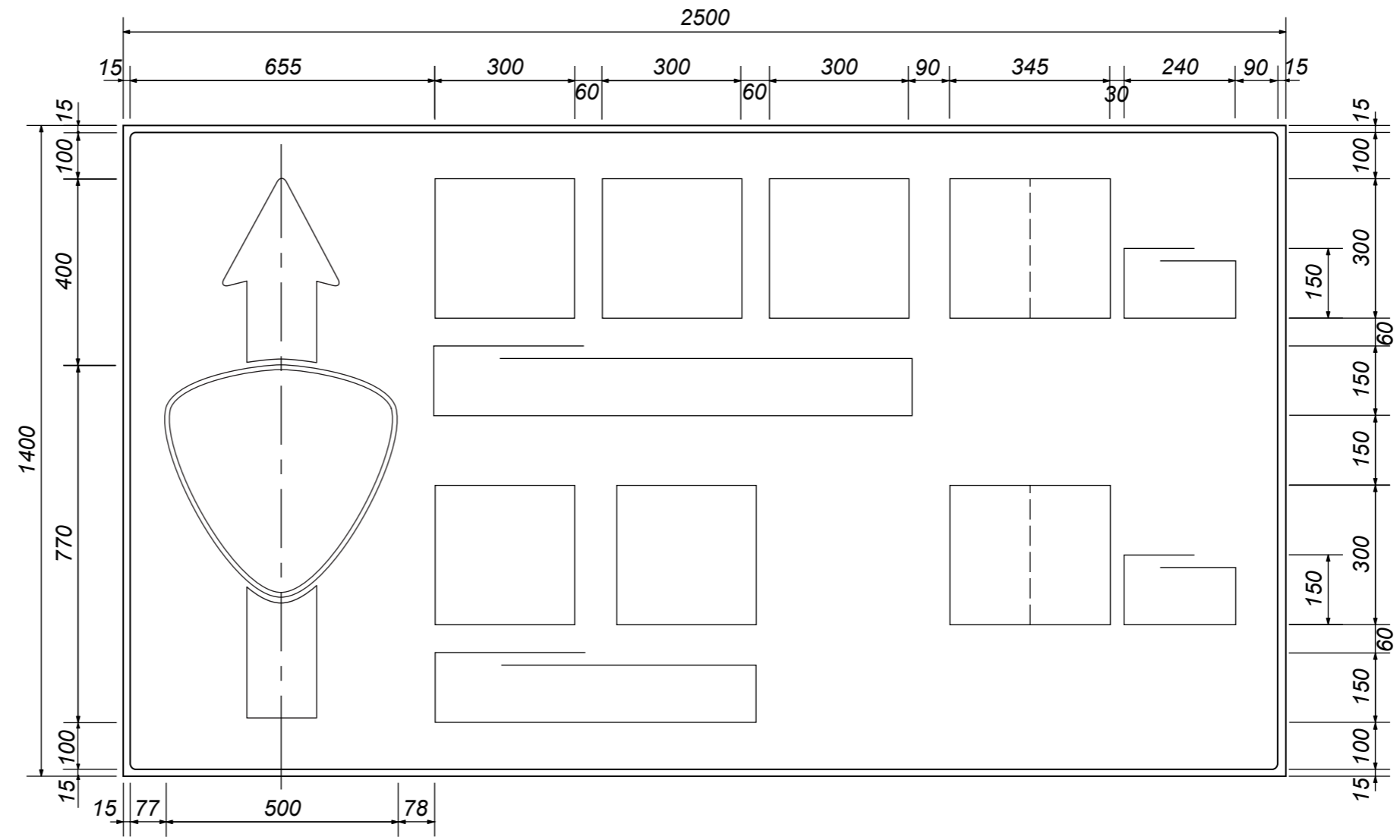
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	B-24

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び距離 (106-A) **B-24**



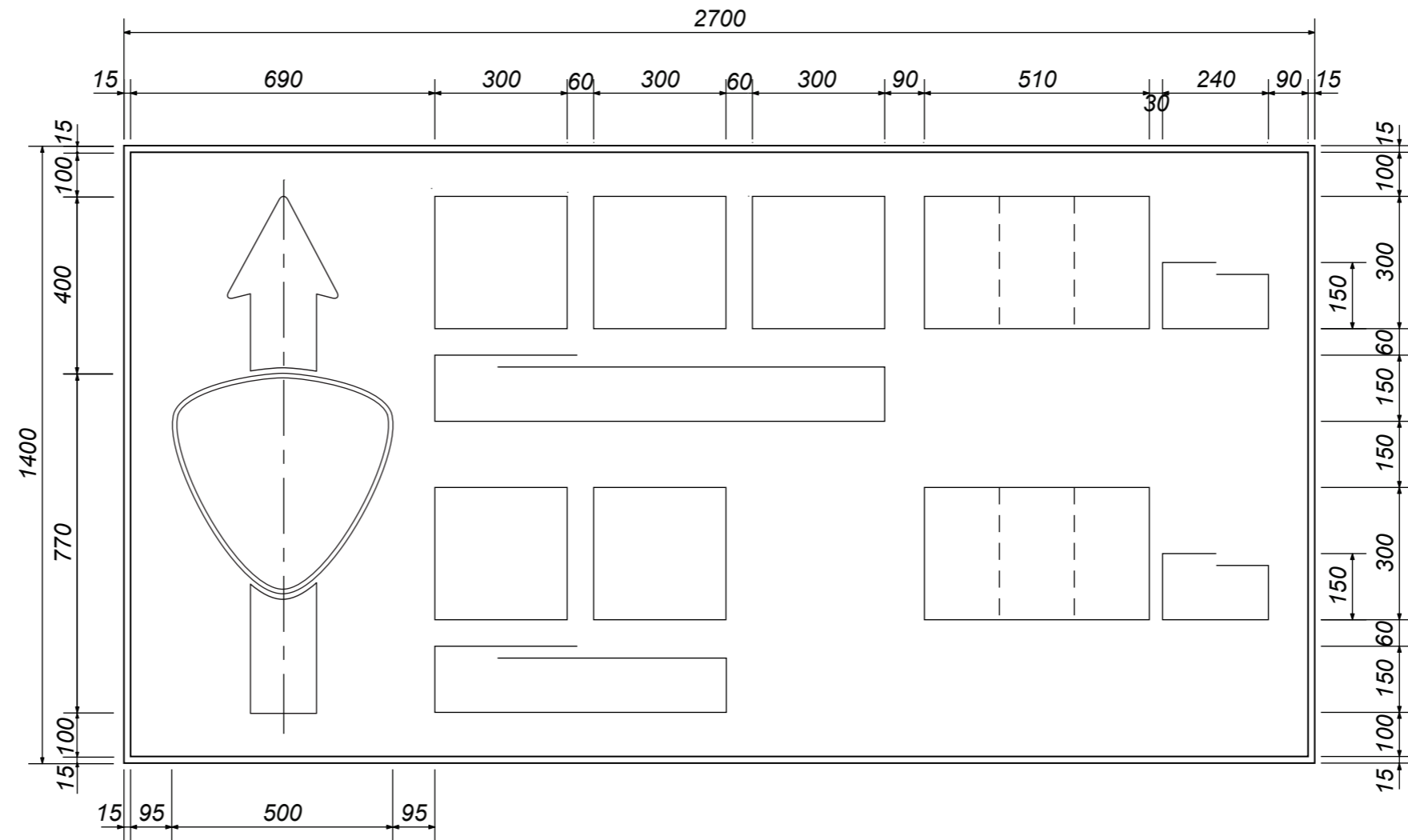
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	B-25

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び距離 (106-A) **B-25**



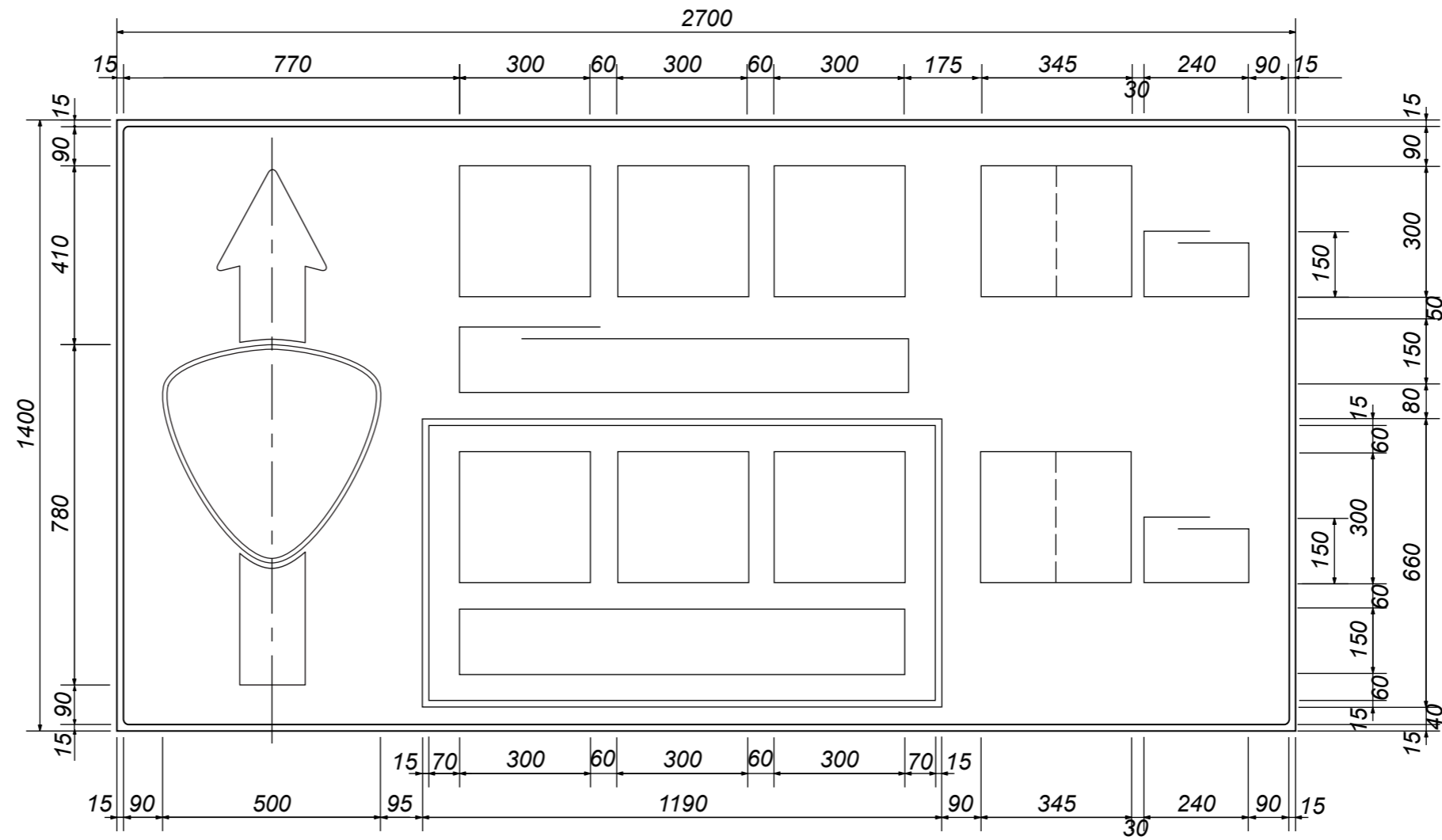
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	B-27

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び距離 (106-A) **B-27**



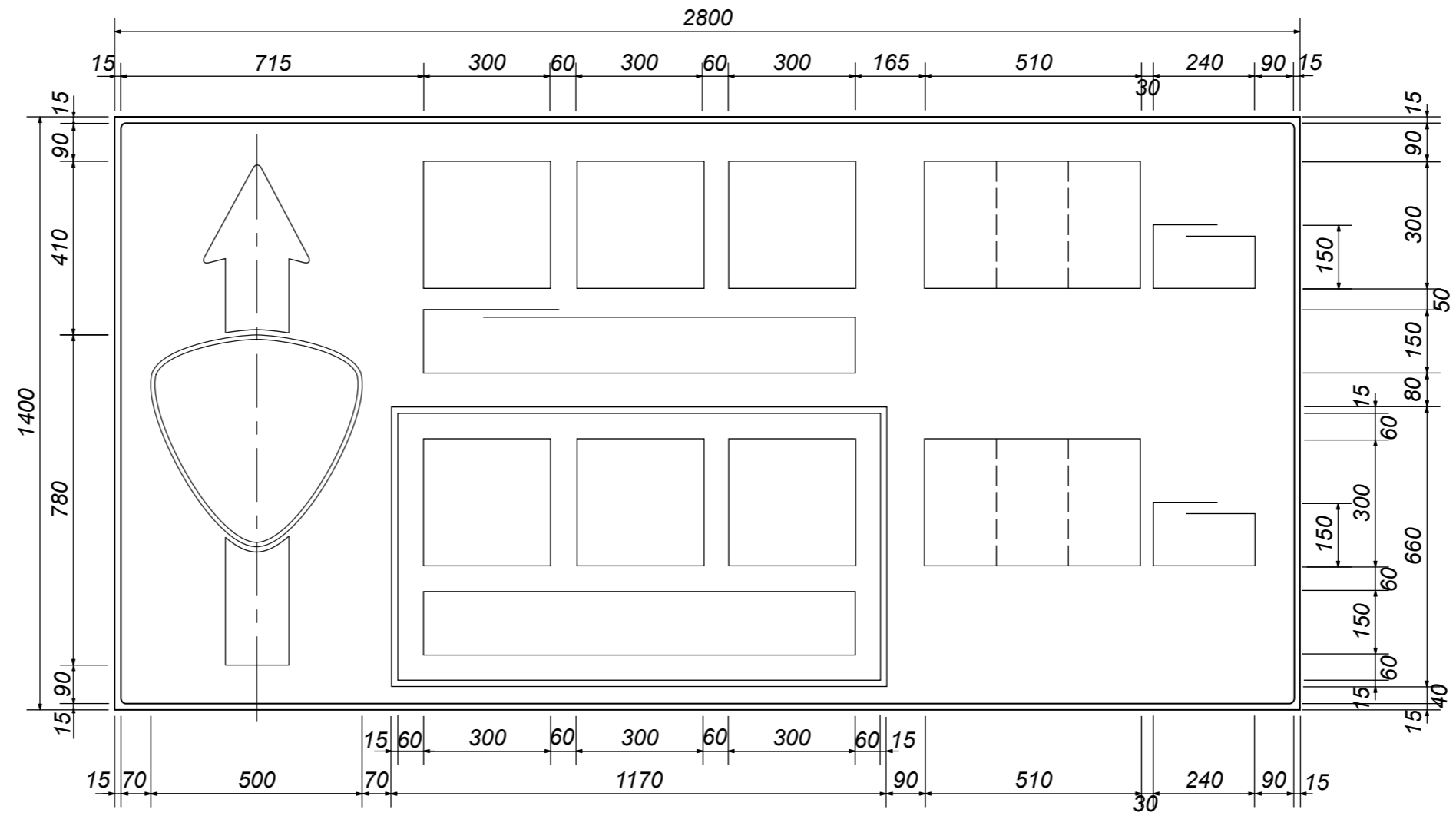
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-27

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び距離 (106-A) **B-27**



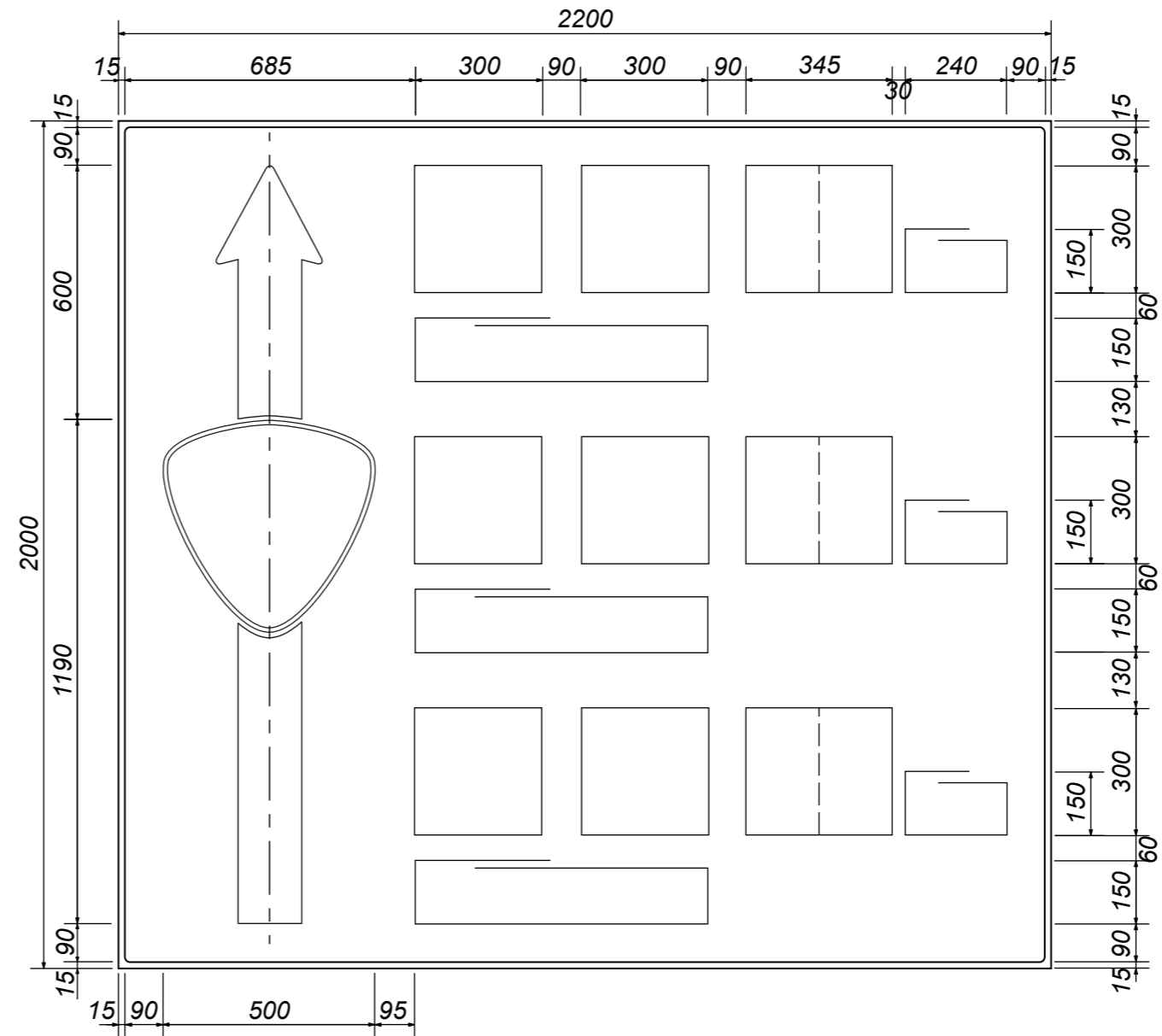
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-28

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び距離 (106-A) **B-28**



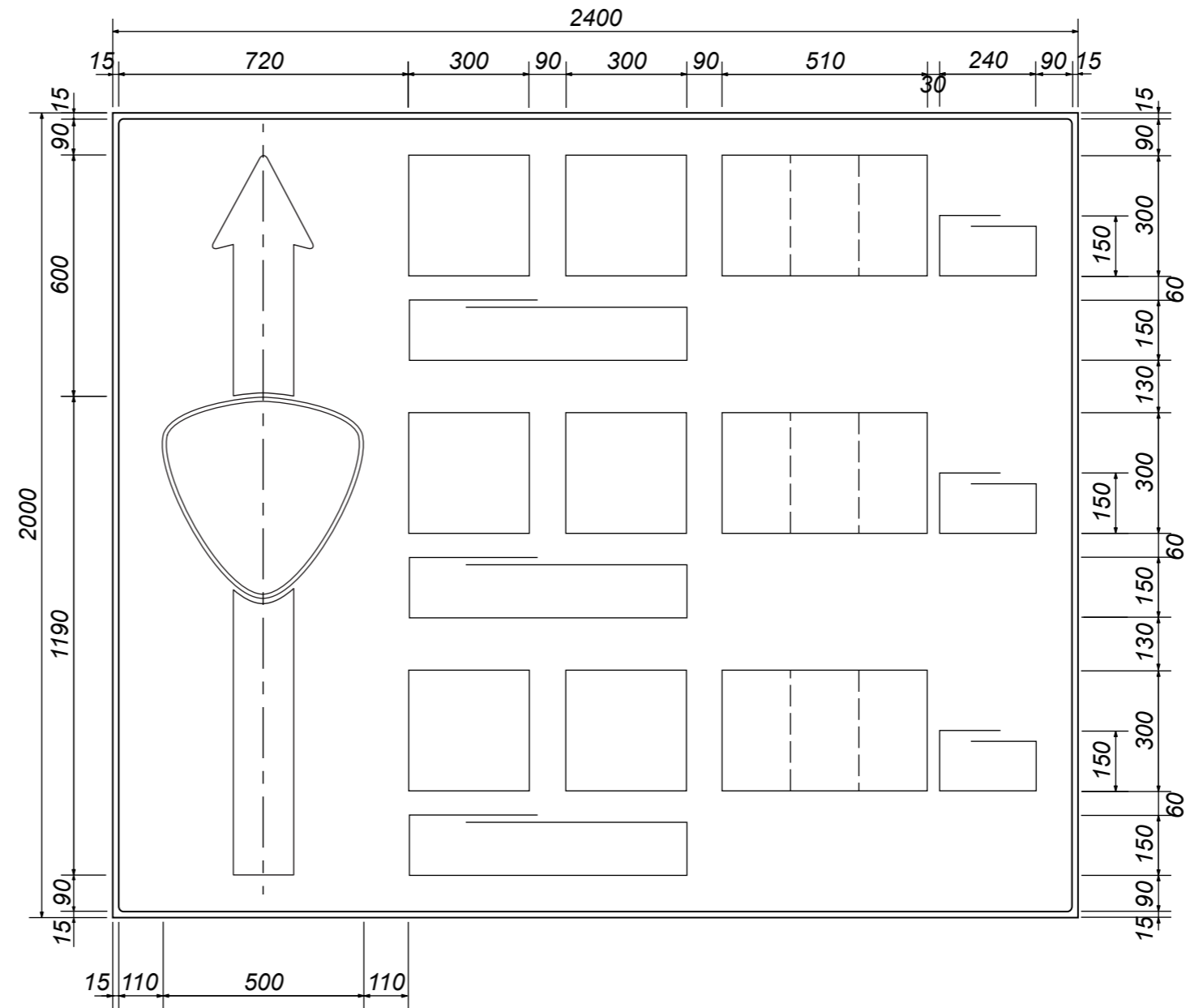
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-31

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び距離 (106-A) **B-31**



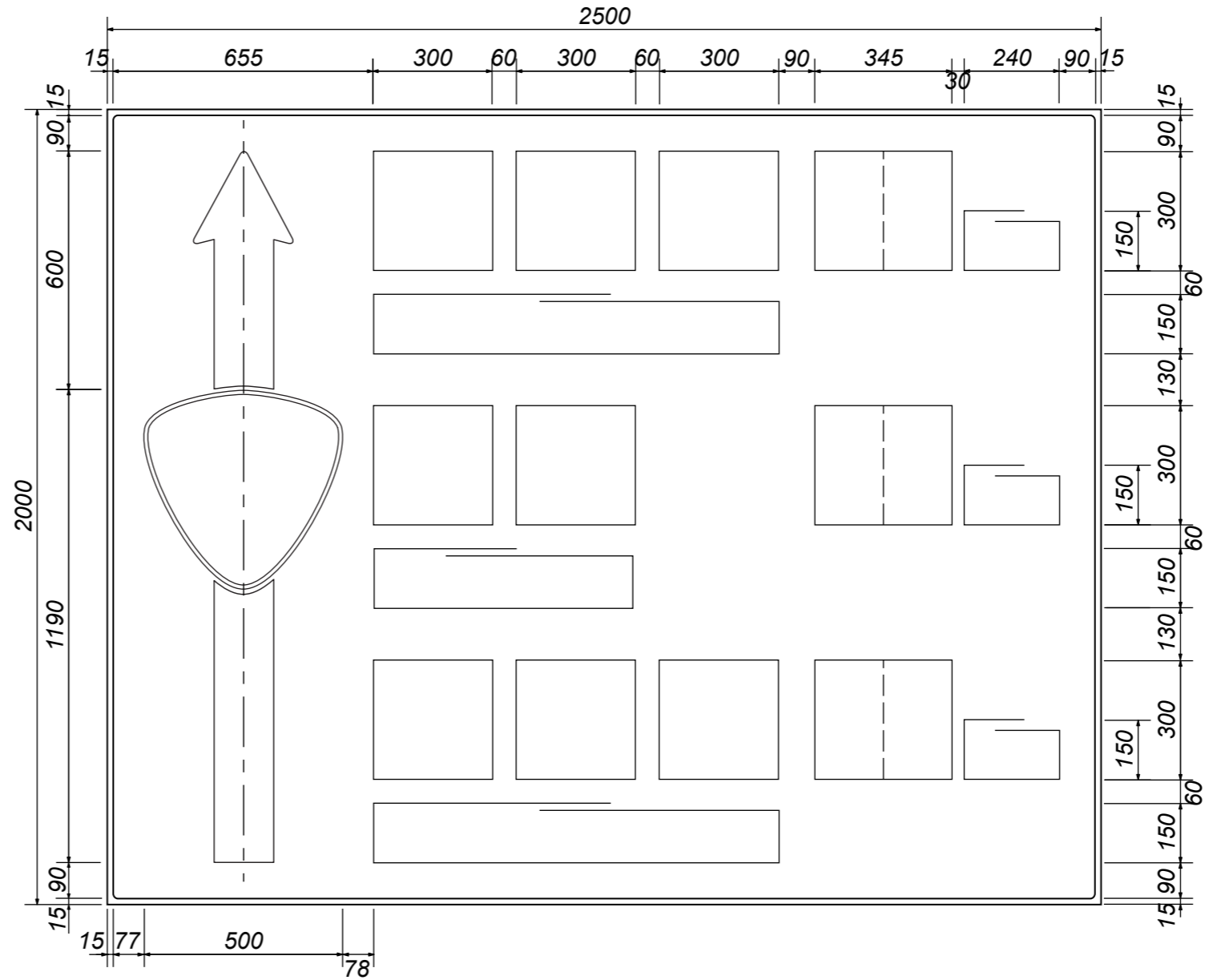
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-33

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び距離 (106-A) **B-33**



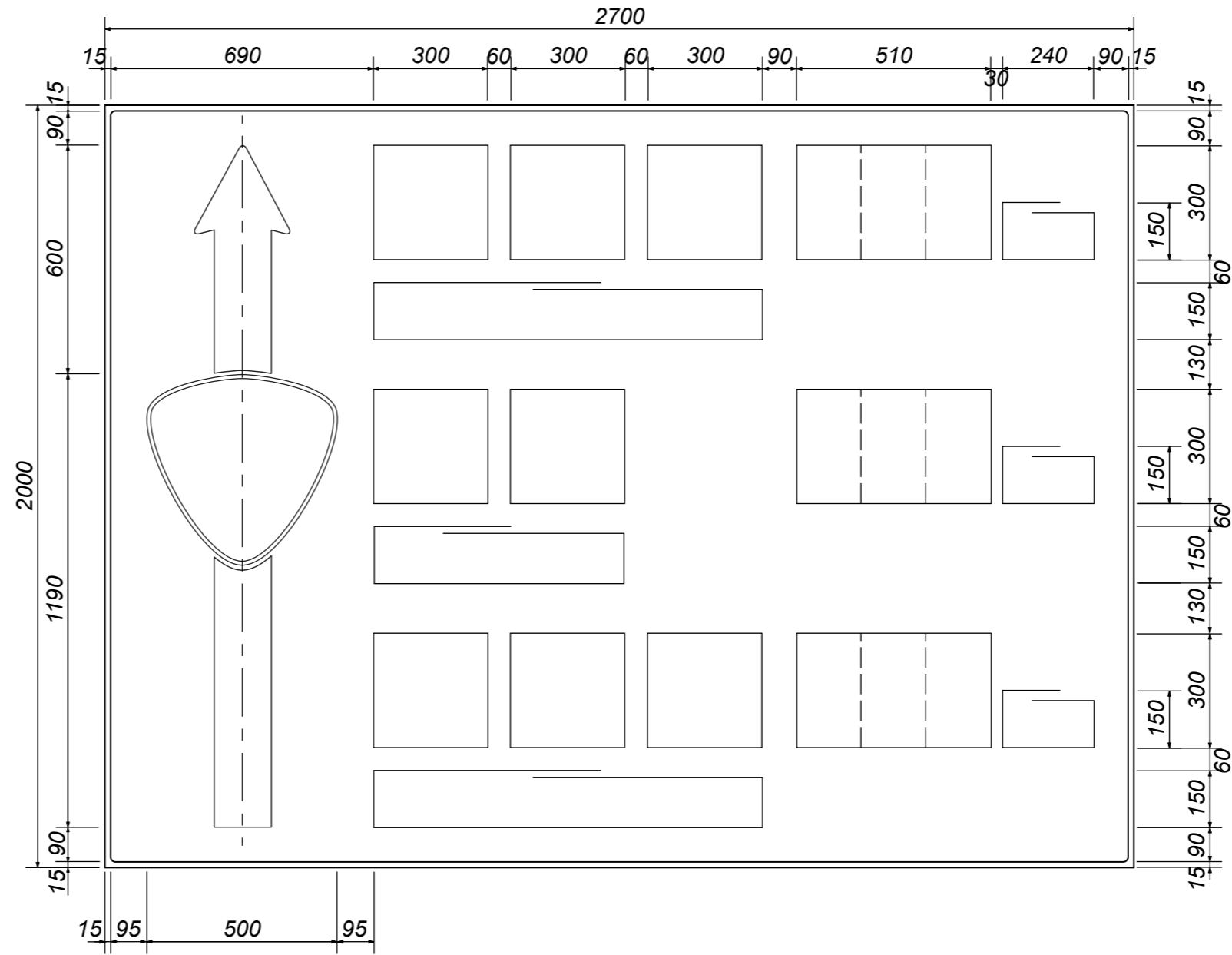
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-34

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び距離 (106-A) **B-34**



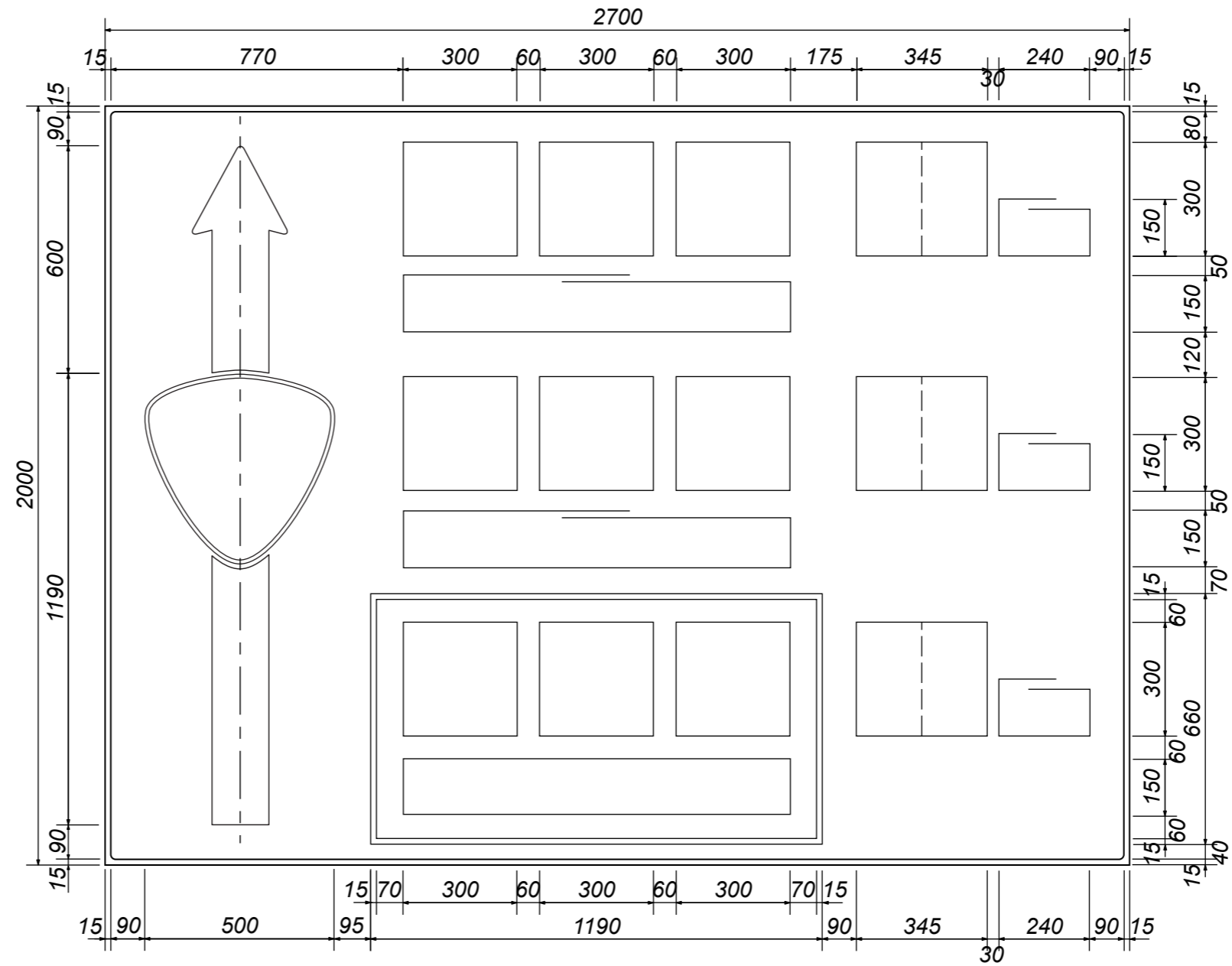
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-36

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び距離 (106-A) **B-36**



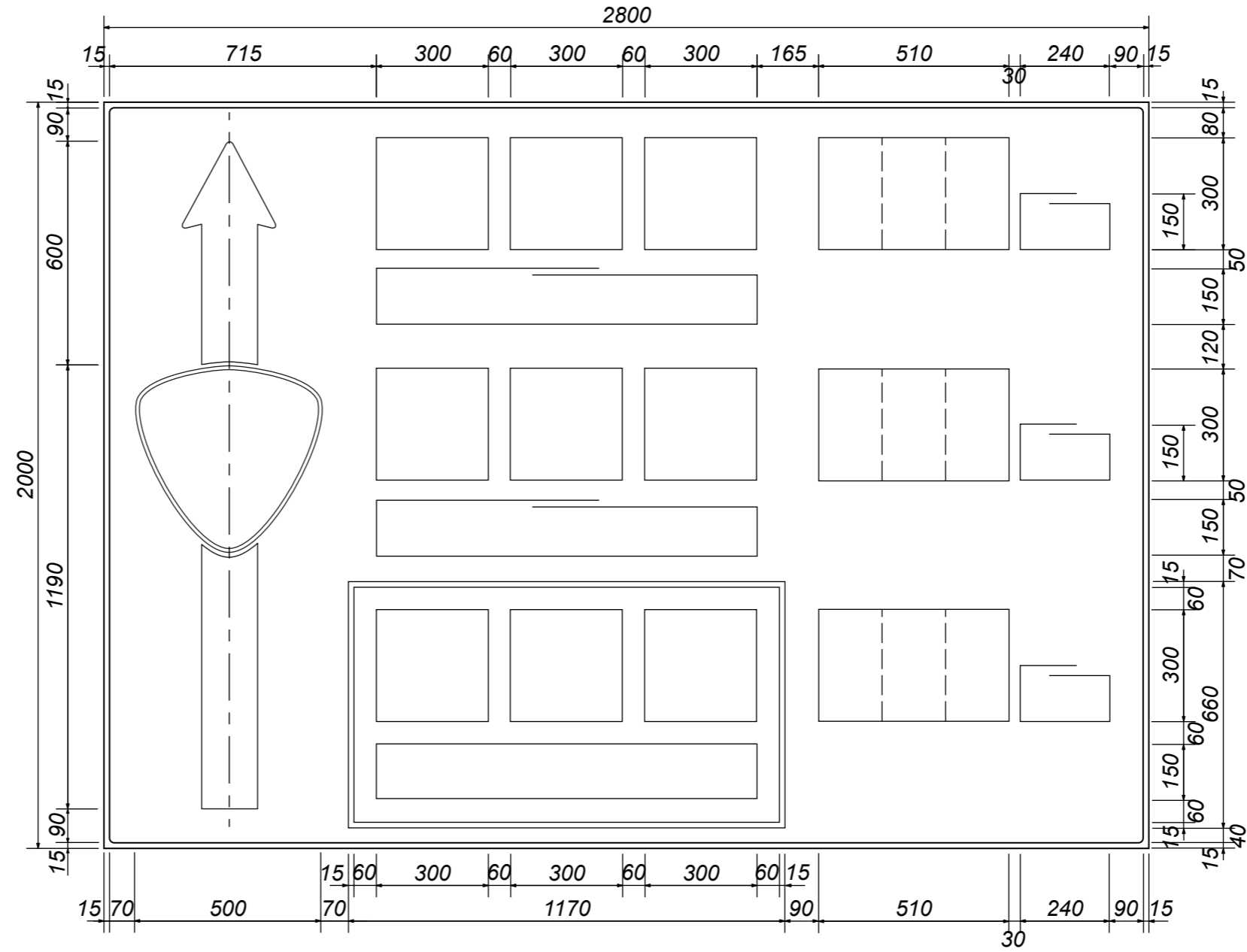
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-36

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び距離 (106-A) **B-36**



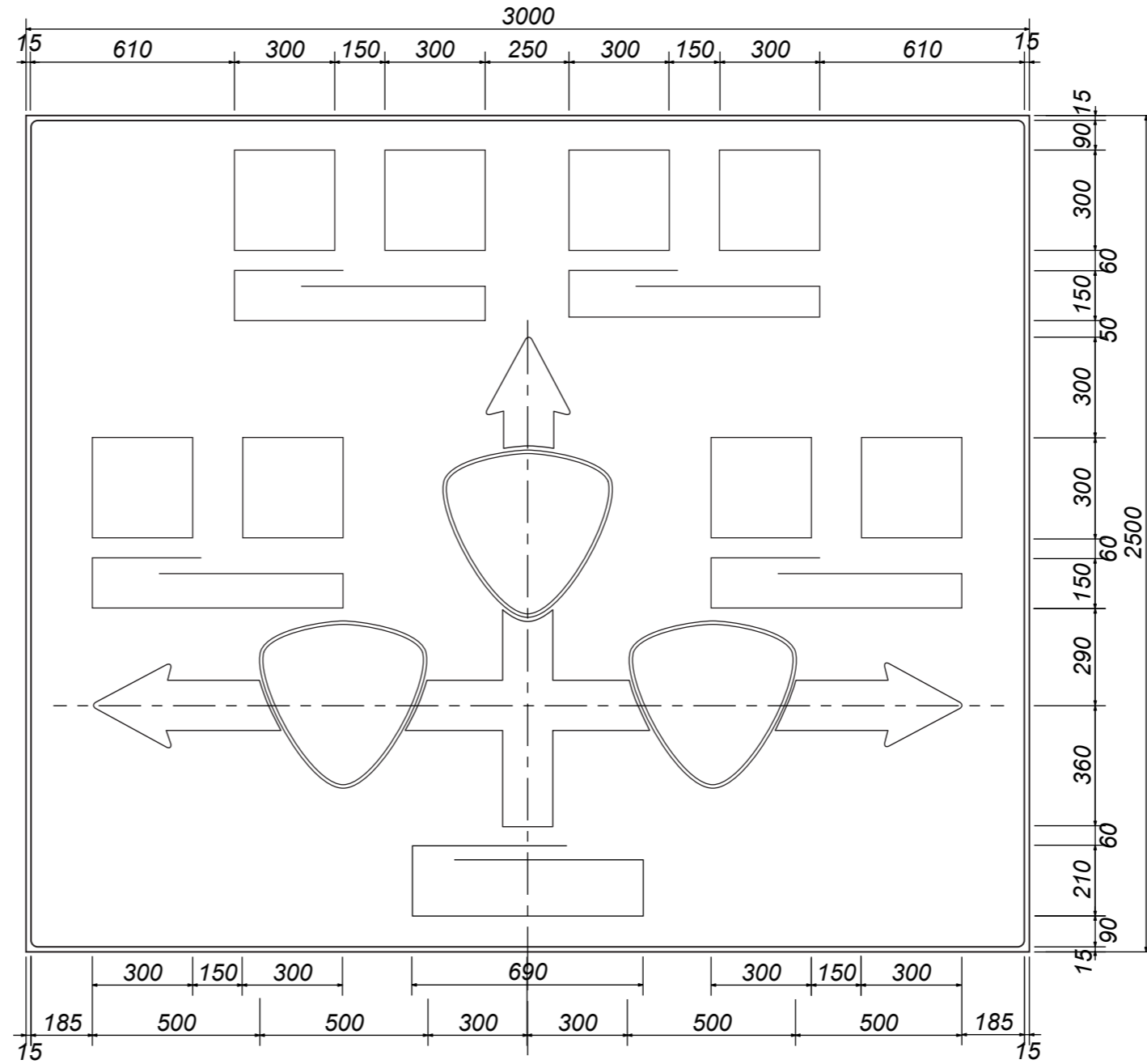
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-37

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び距離 (106-A) **B-37**



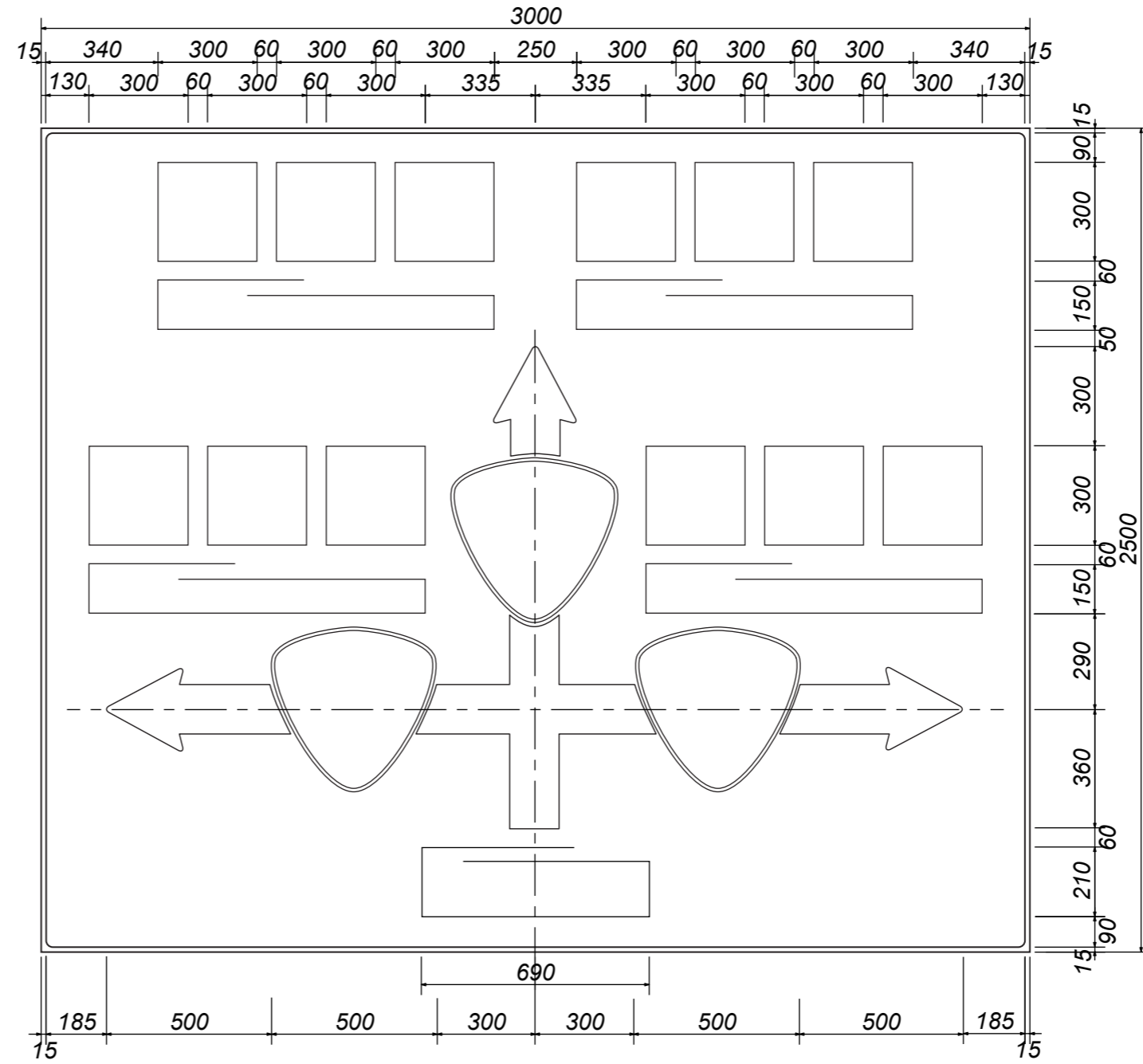
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-45

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向の予告 (108-A) **B-45**



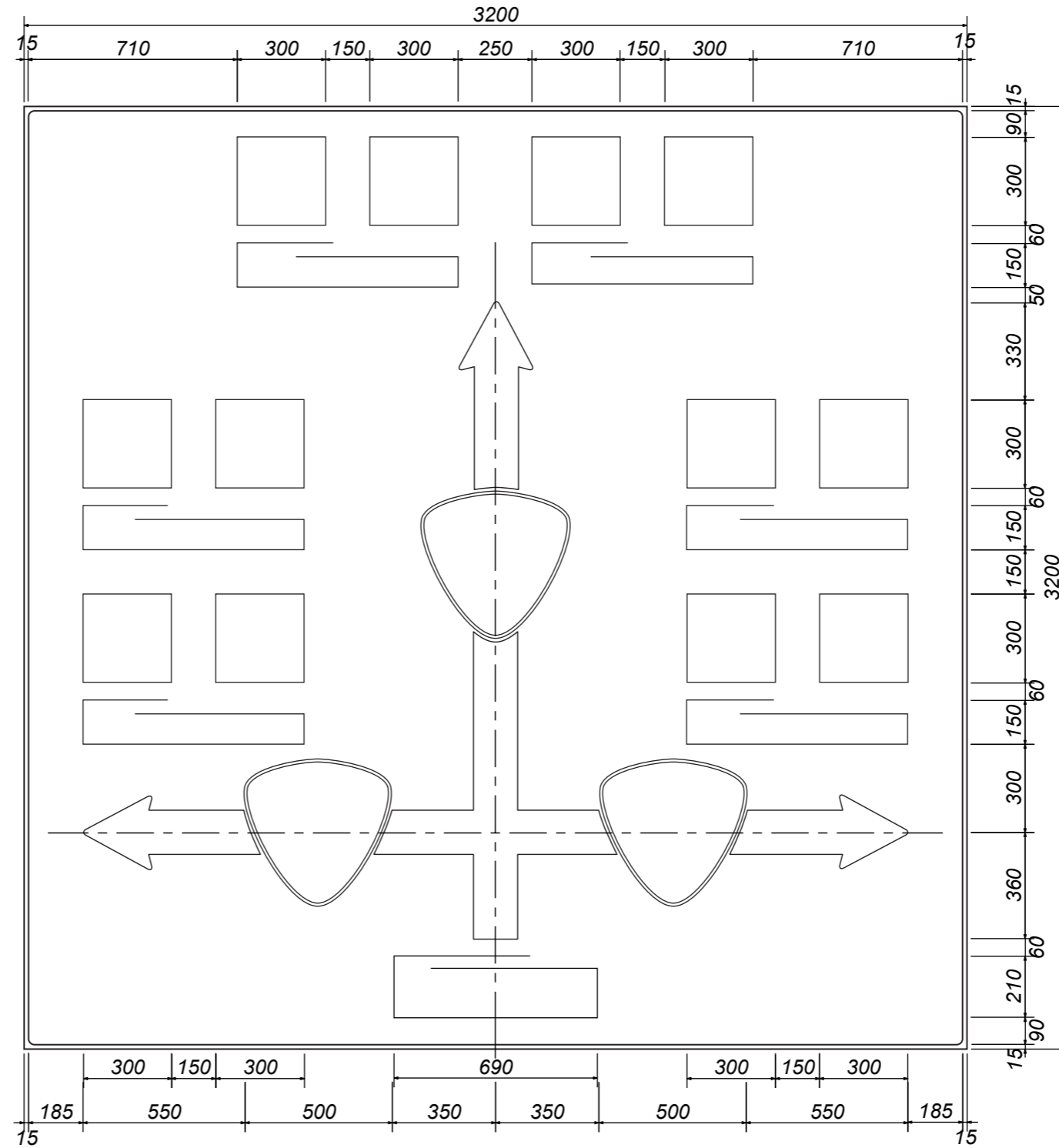
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-46

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向の予告 (108-A) **B-45**



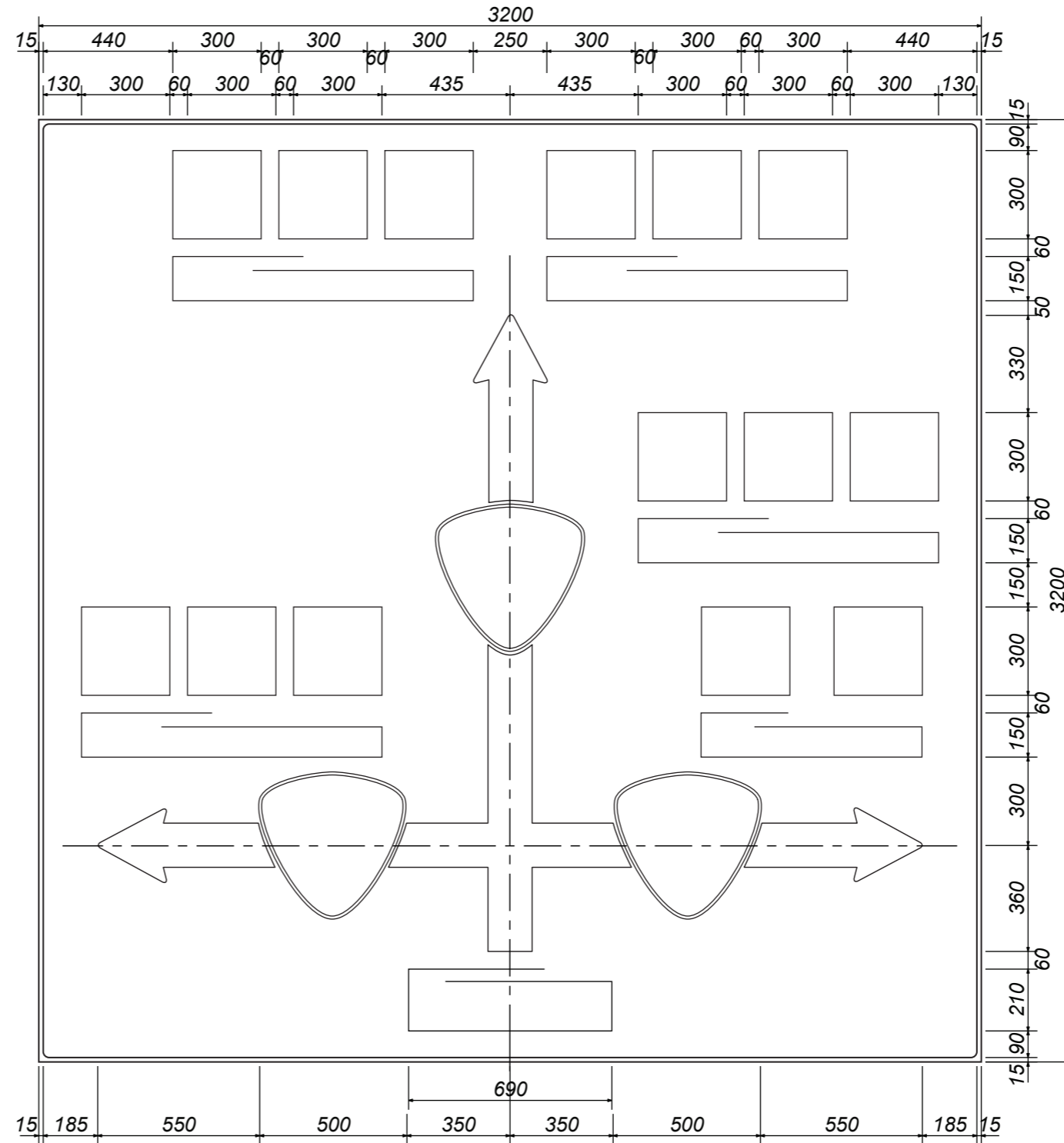
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-51

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向の予告 (108-A) **B-51**



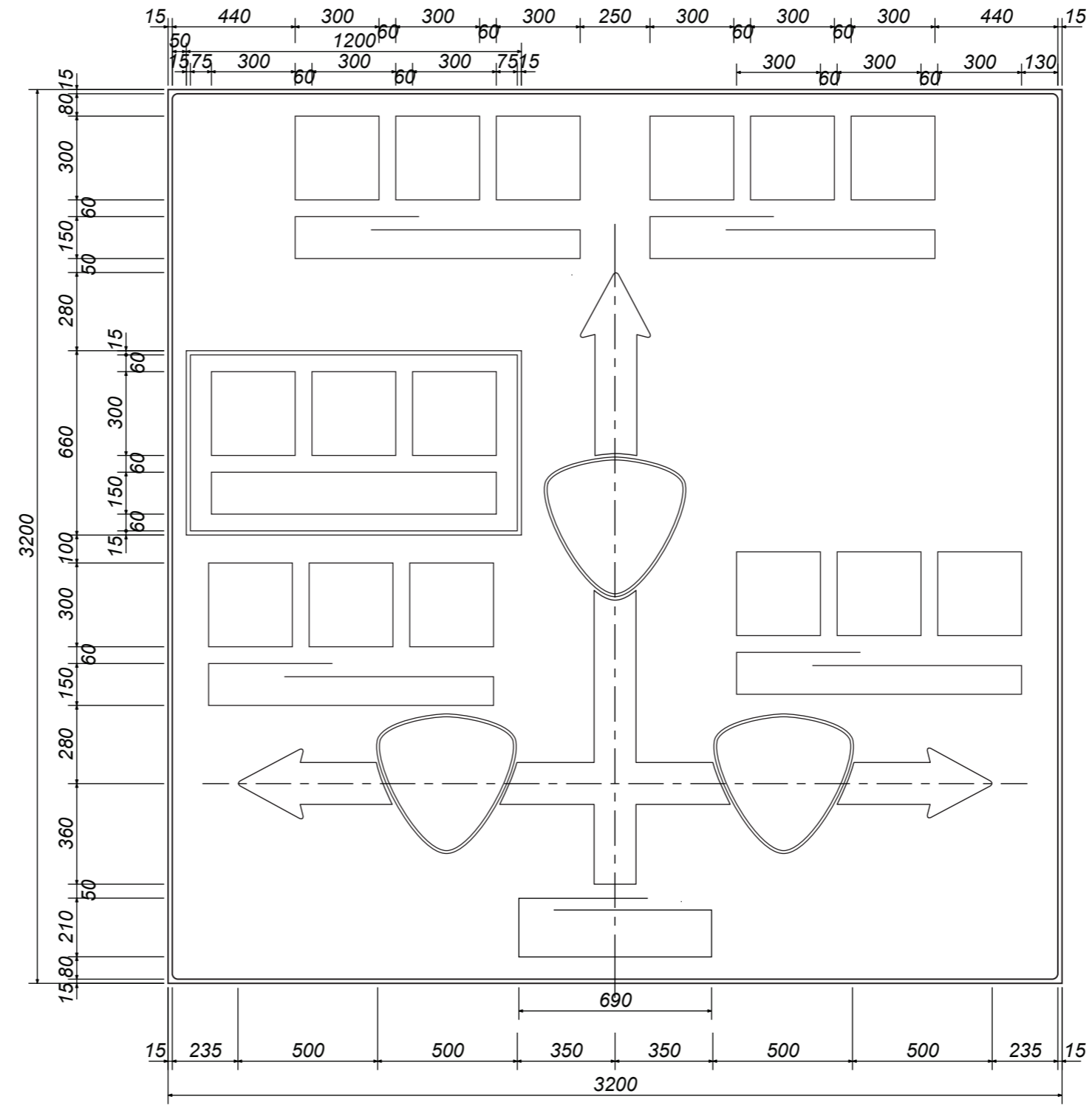
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-51

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向の予告 (108-A) **B-51**



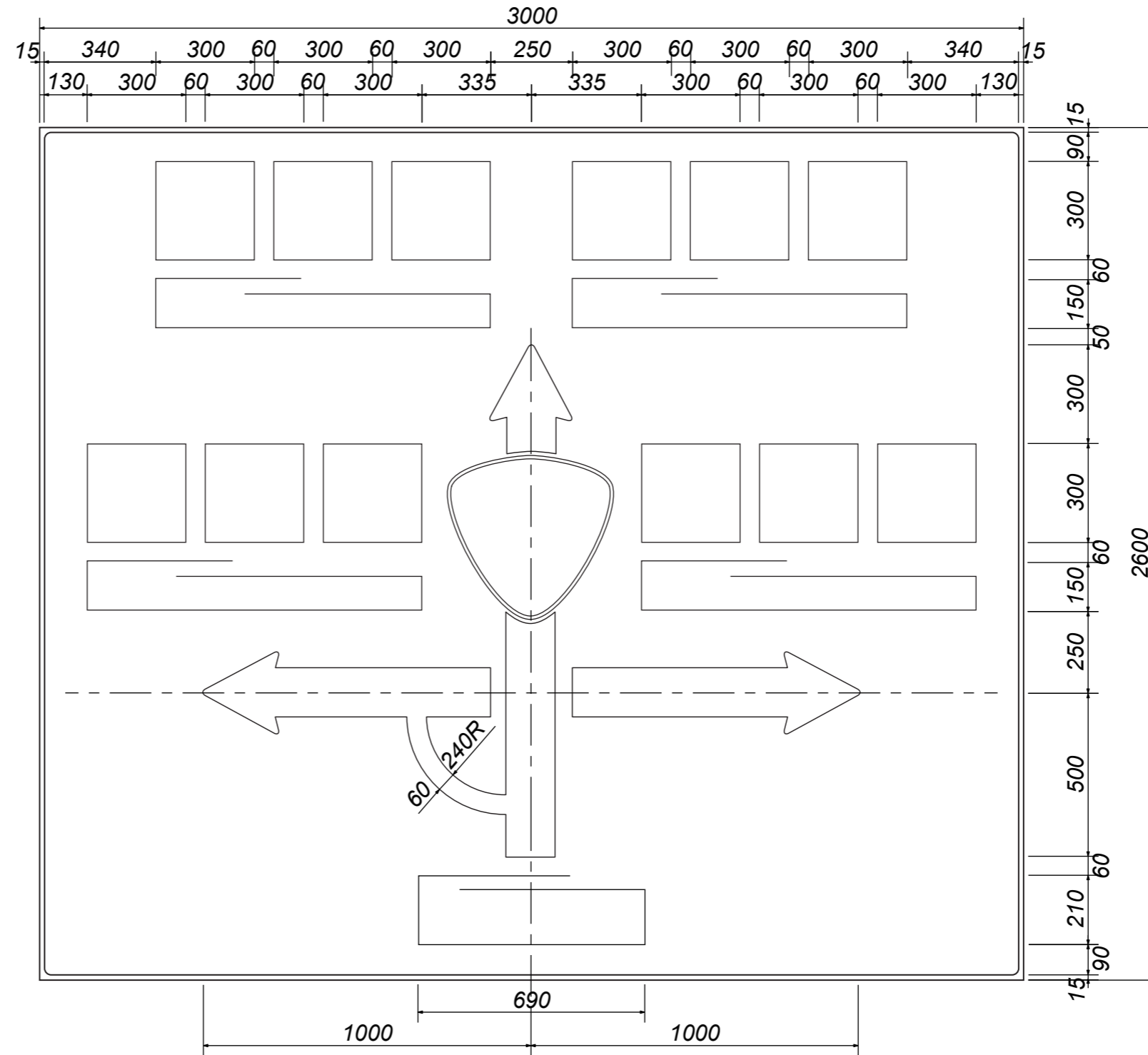
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	B-51

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向の予告 (108-A) **B-51**



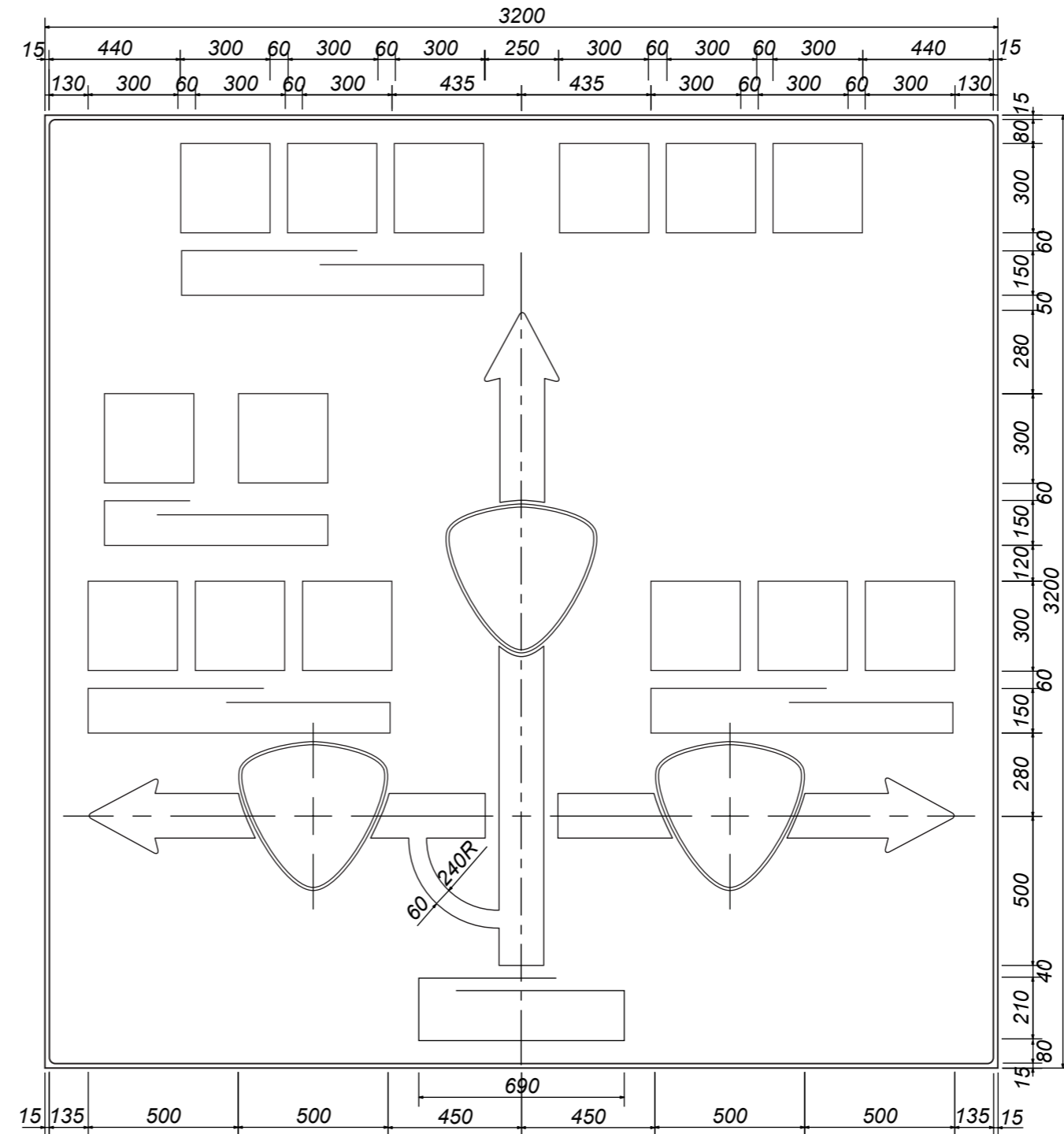
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-48

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向の予告 (108-A) **B-46**



レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-51

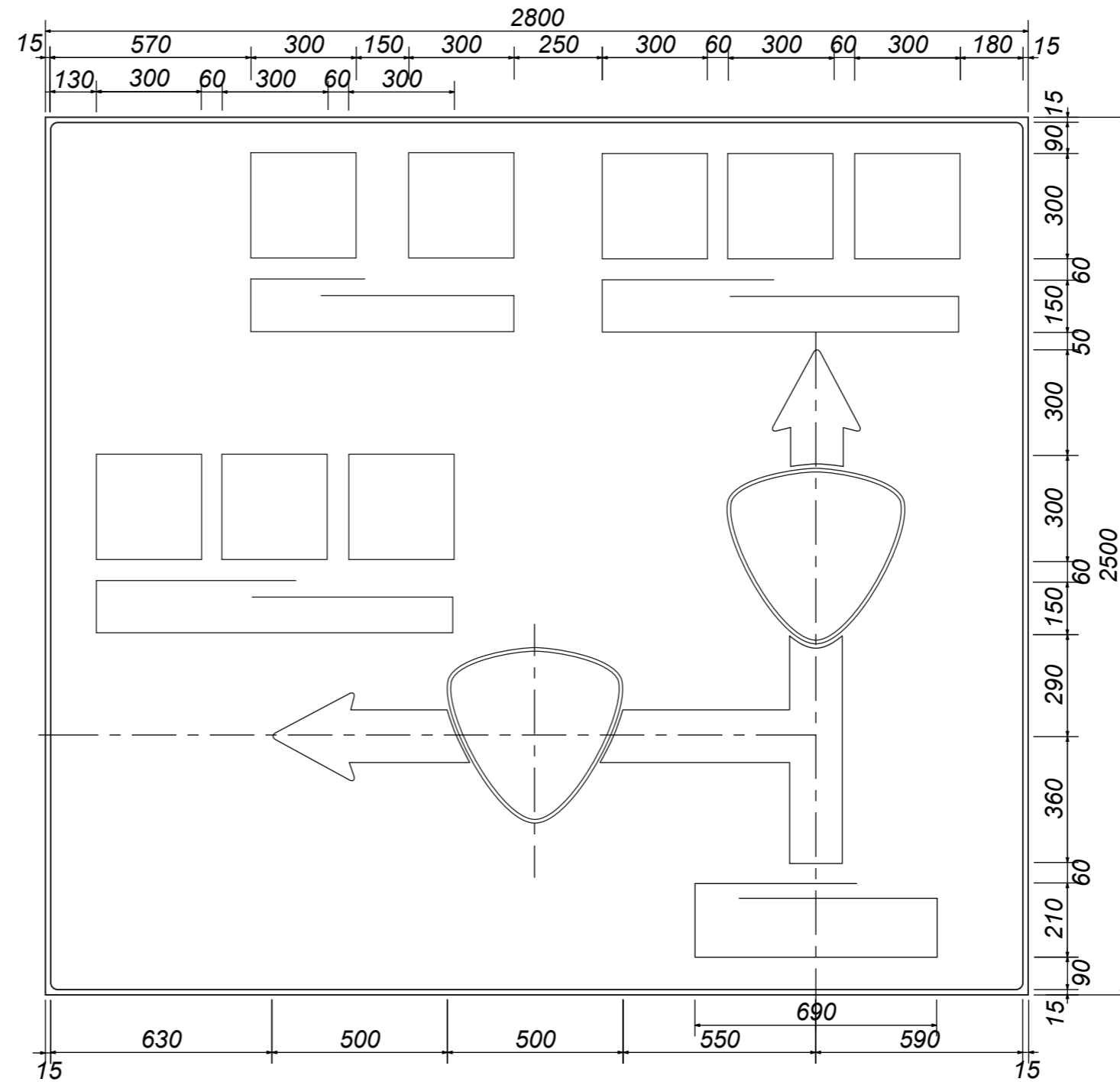
[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向の予告 (108-A) **B-51**



レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-44

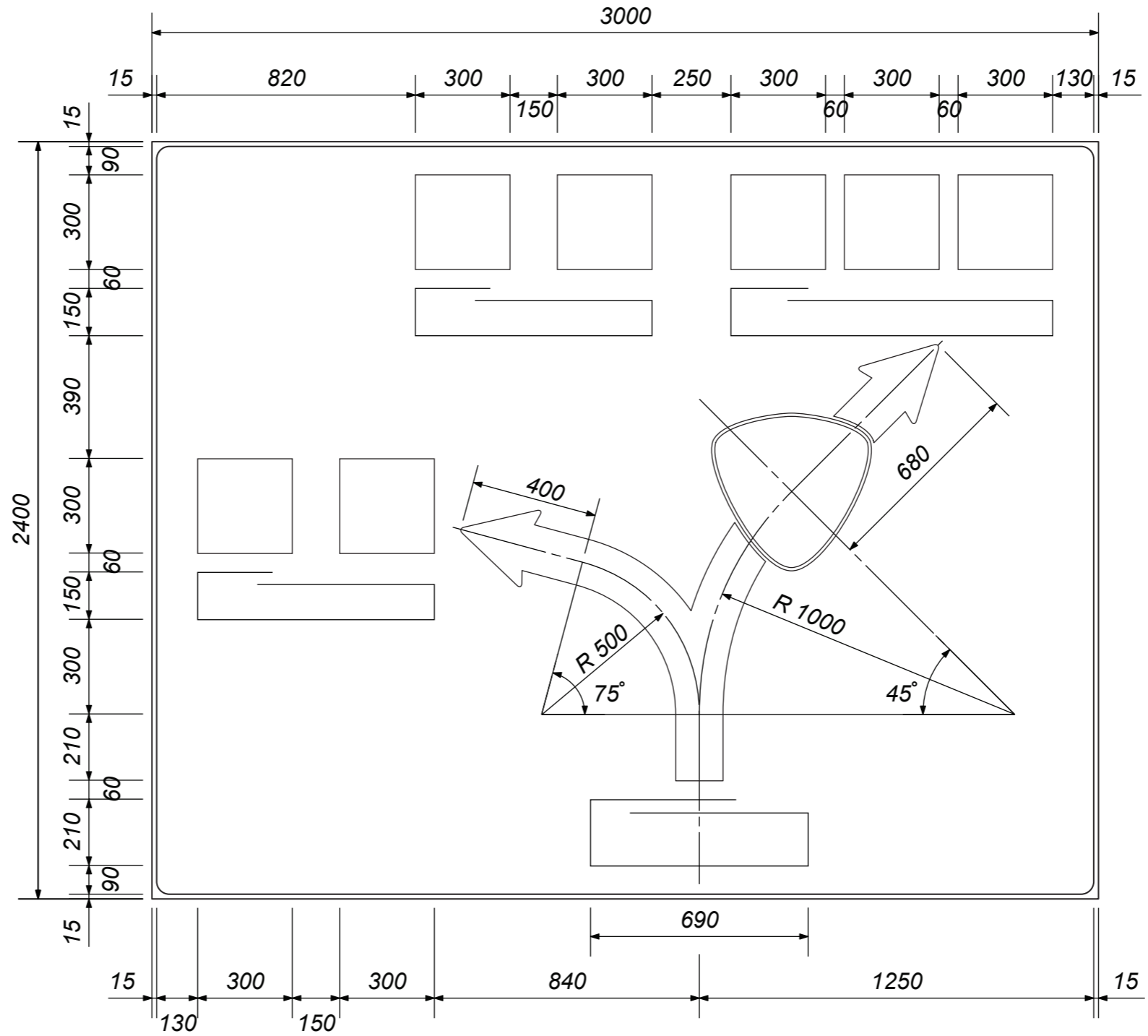
[オーバーハング式] 方面及び方向の予告 (108-A)
 [オーバーヘッド式]

B-44



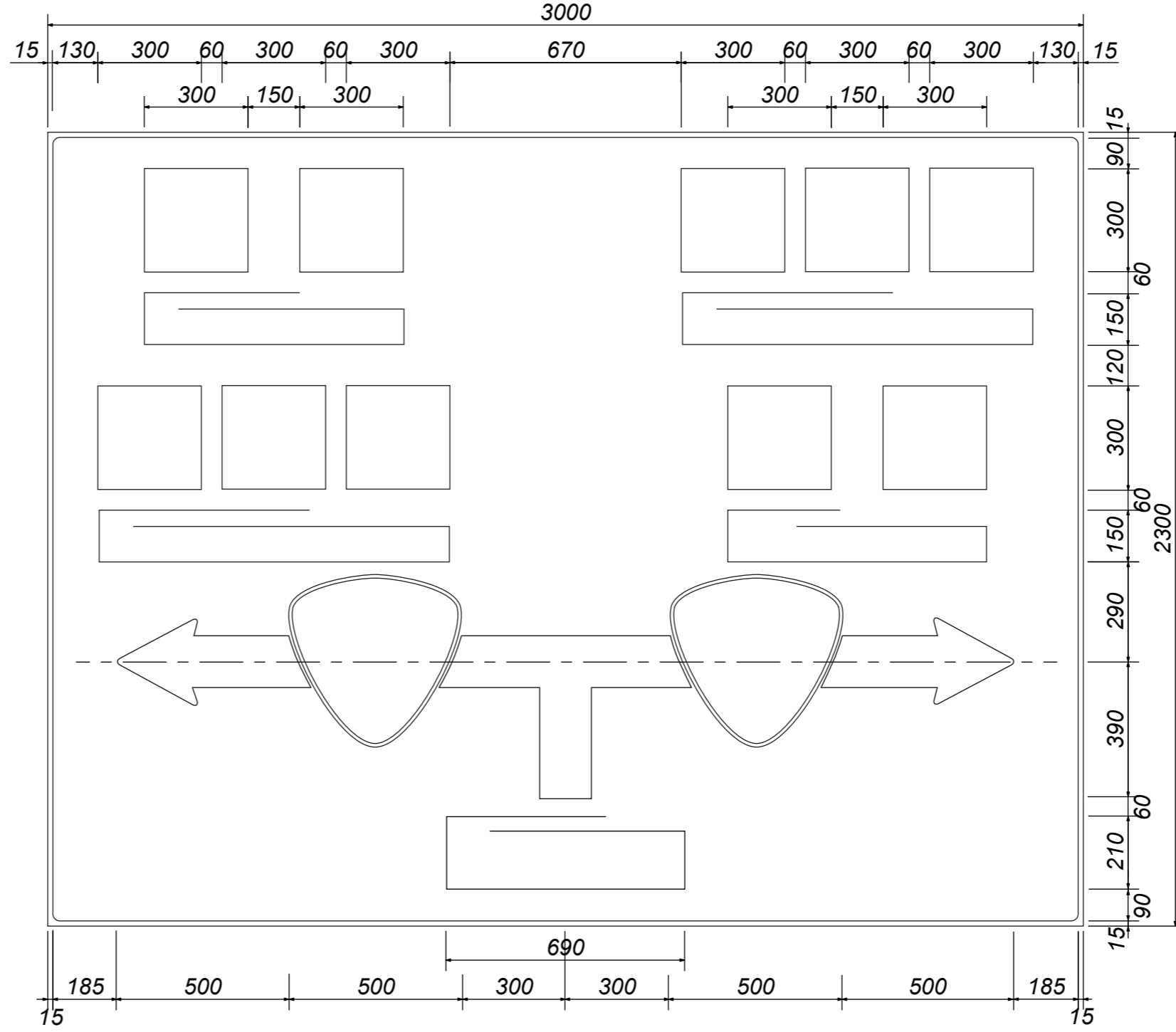
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-43

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向の予告 (108-A) **B-43**



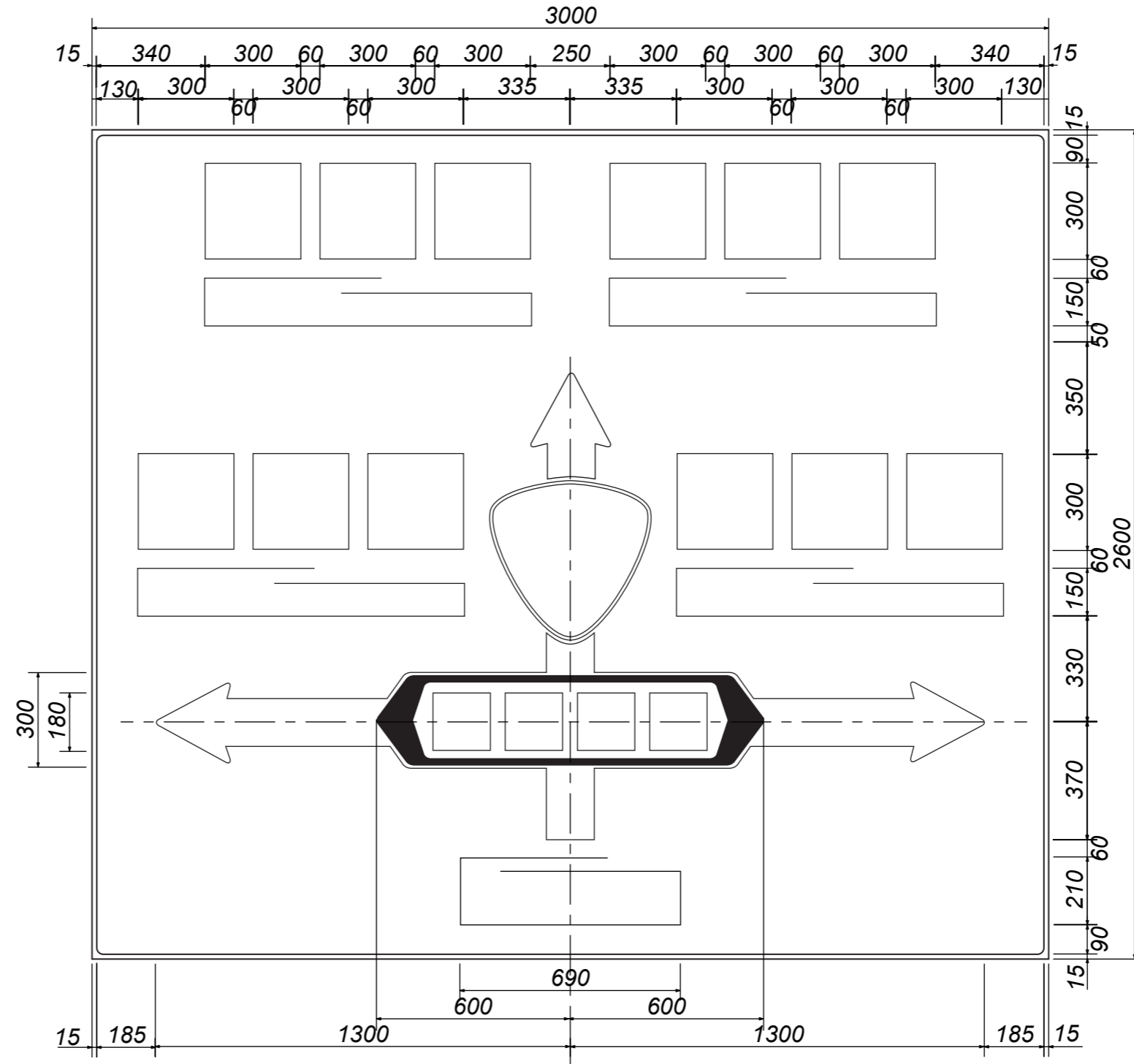
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-42

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向の予告 (108-A) **B-42**



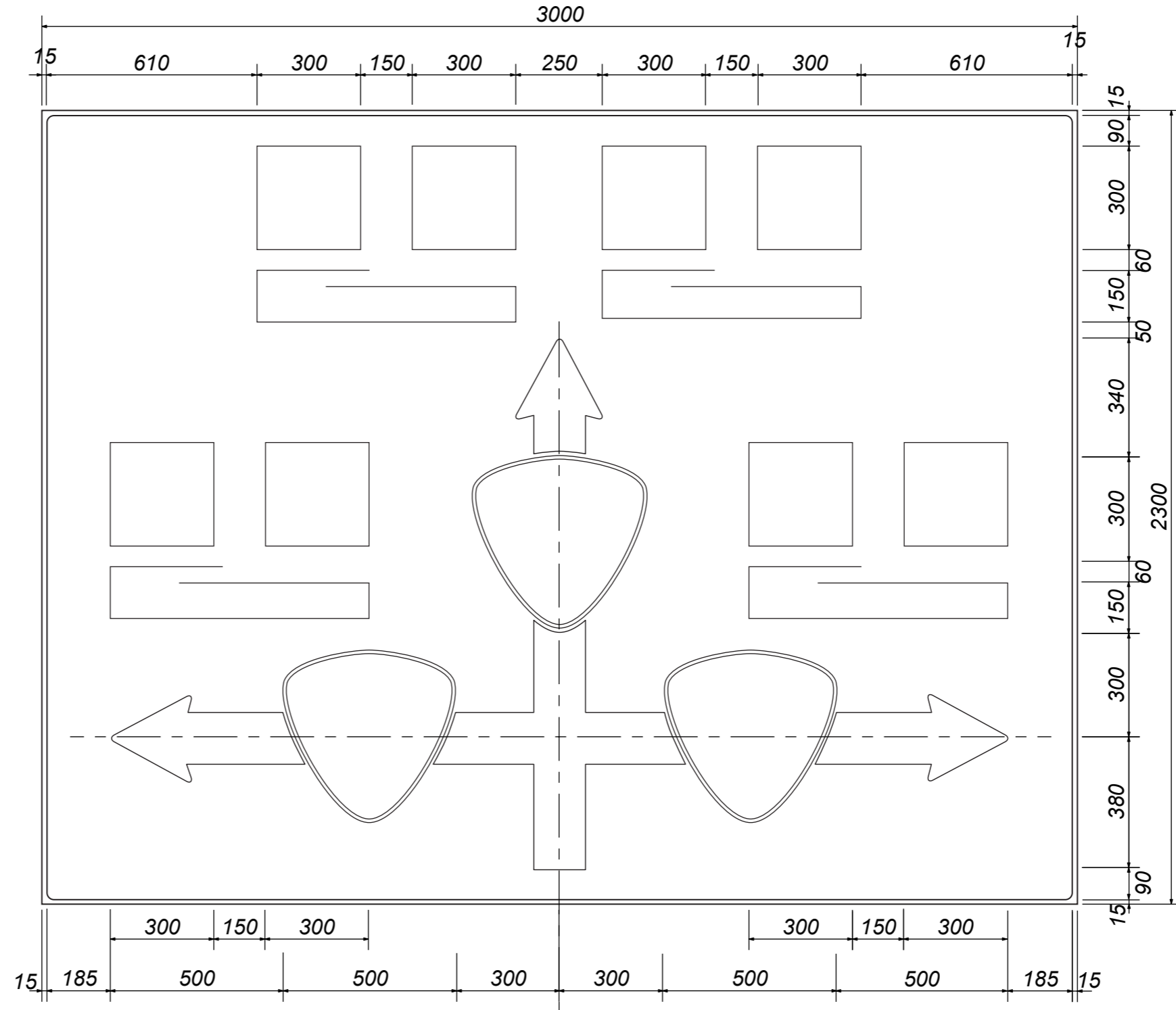
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-46

[オーバーハング式] 方面,方向及び
 [オーバーヘッド式] 道路の通称名の予告 (108の3) **B-46**



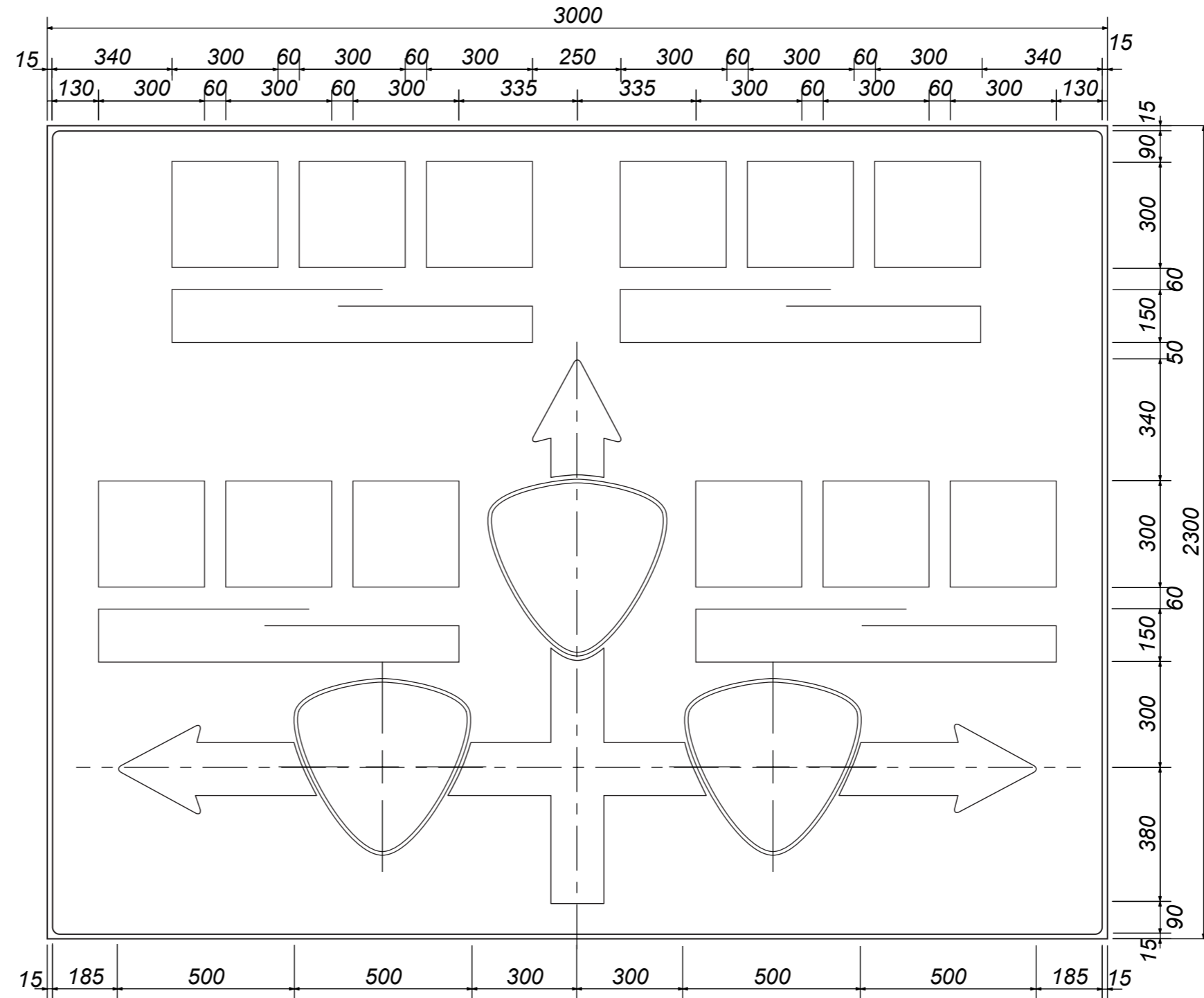
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	B-42

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-A) **B-42**



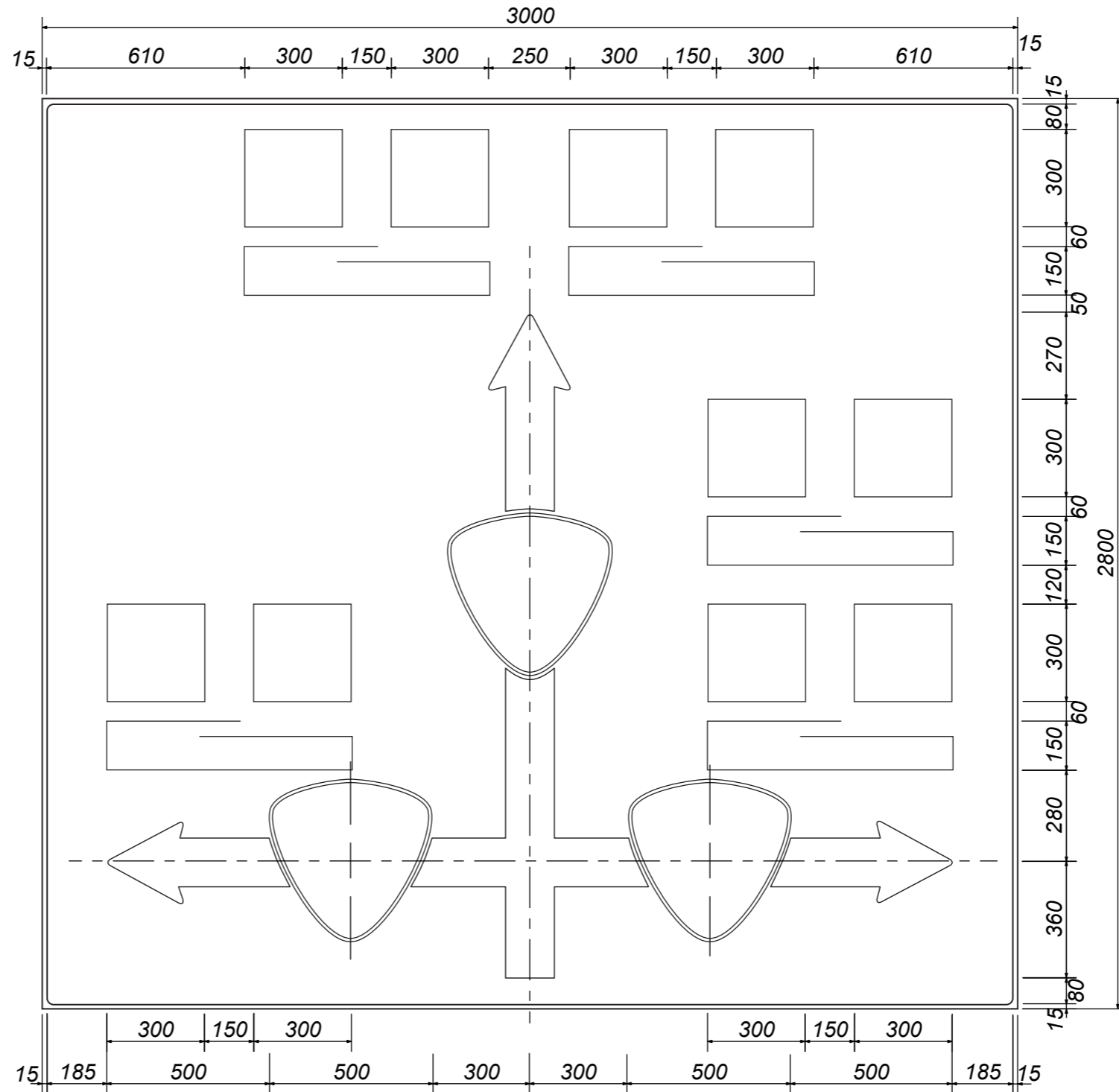
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-42

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-A) **B-42**



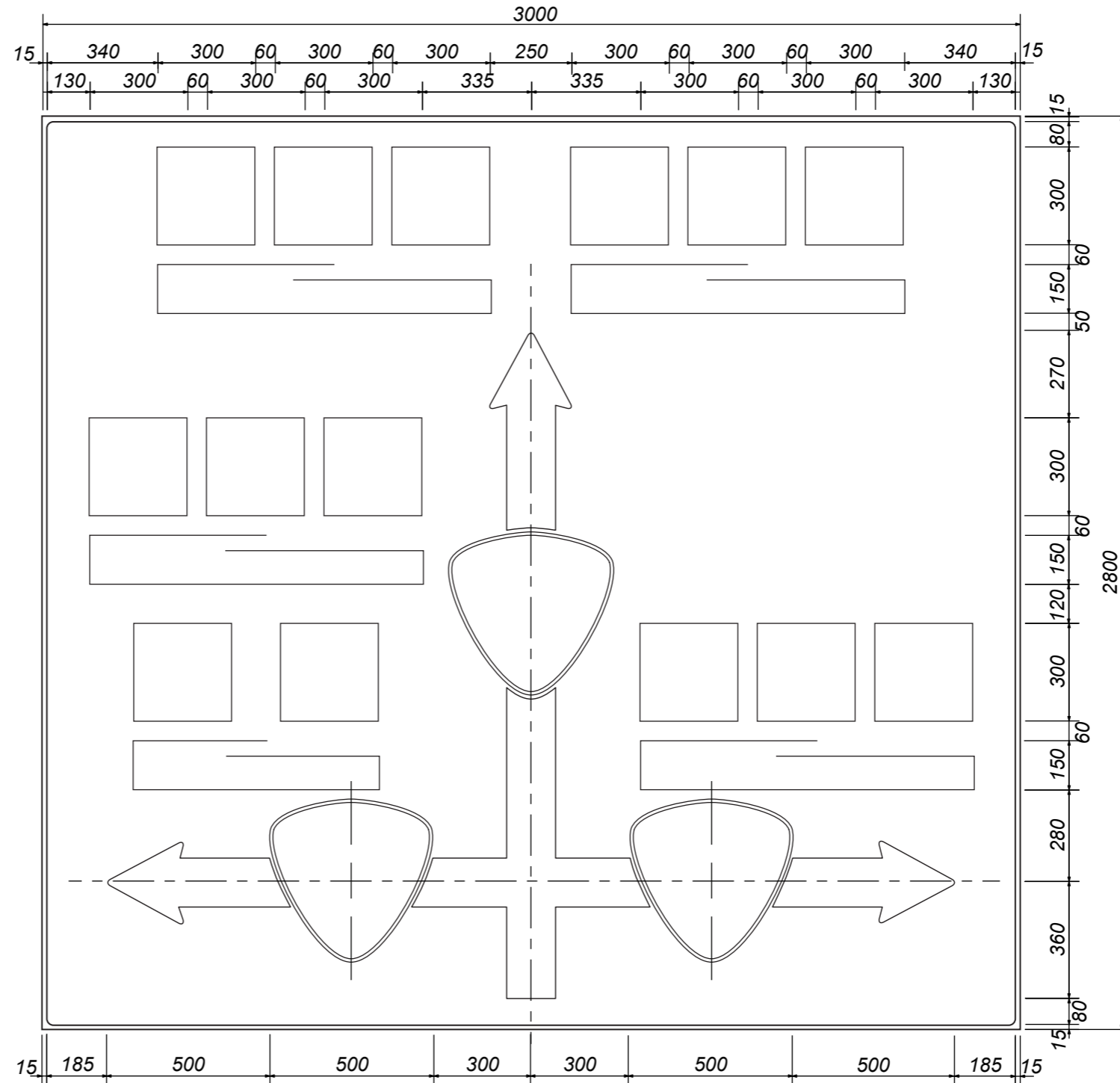
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-48

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-A) **B-48**



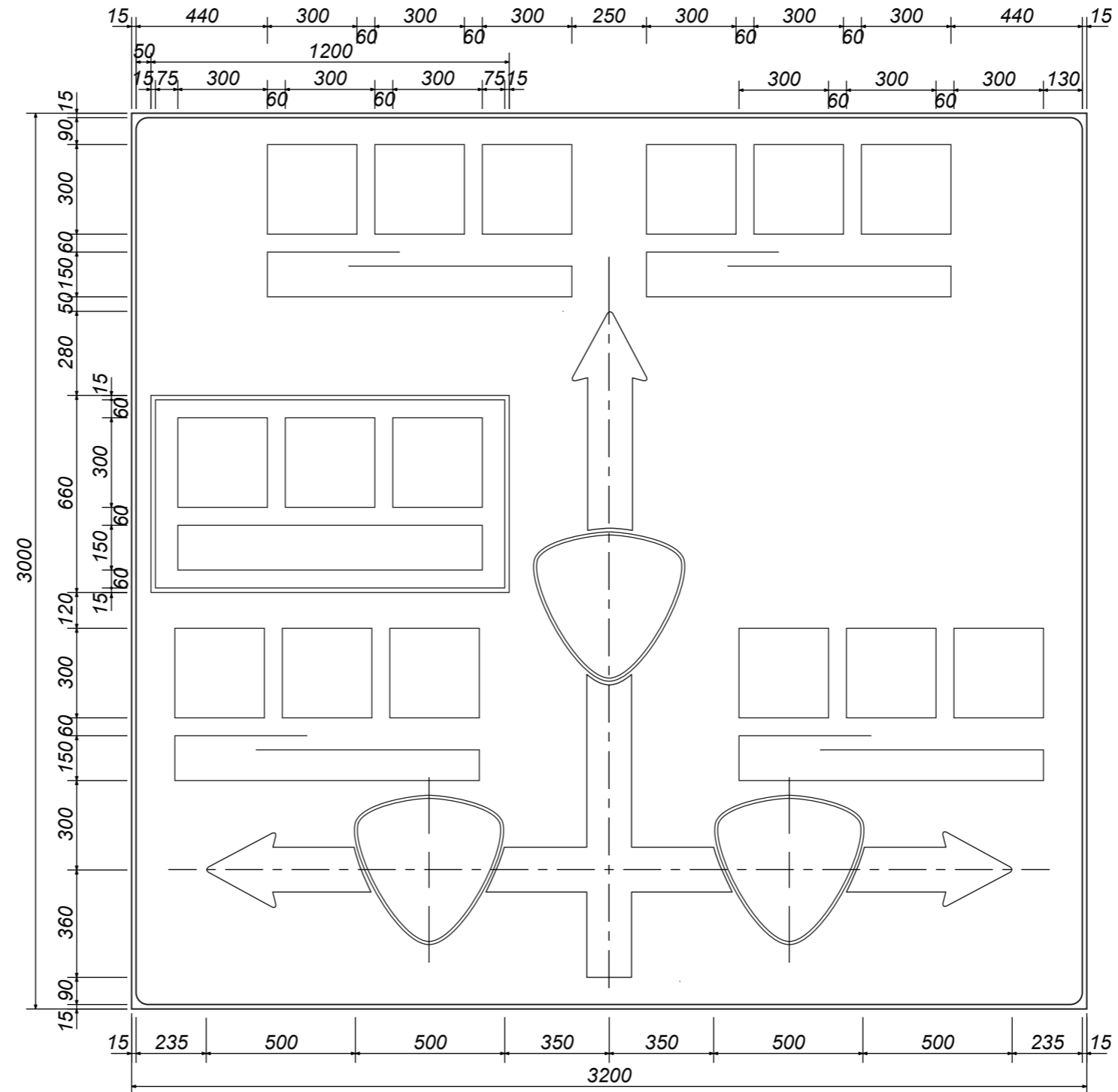
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-48

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-A) **B-48**



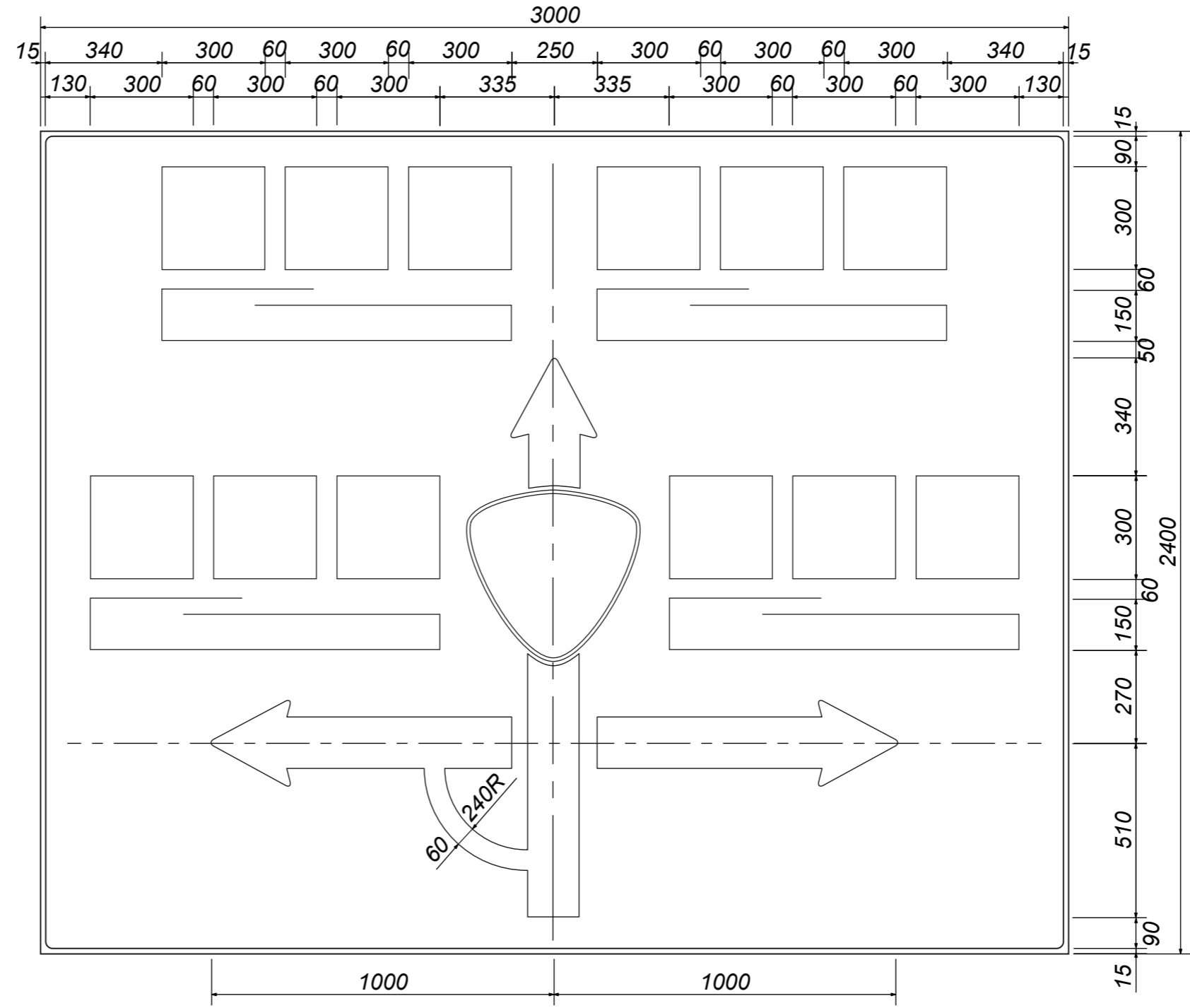
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	B-50

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-A) **B-50**



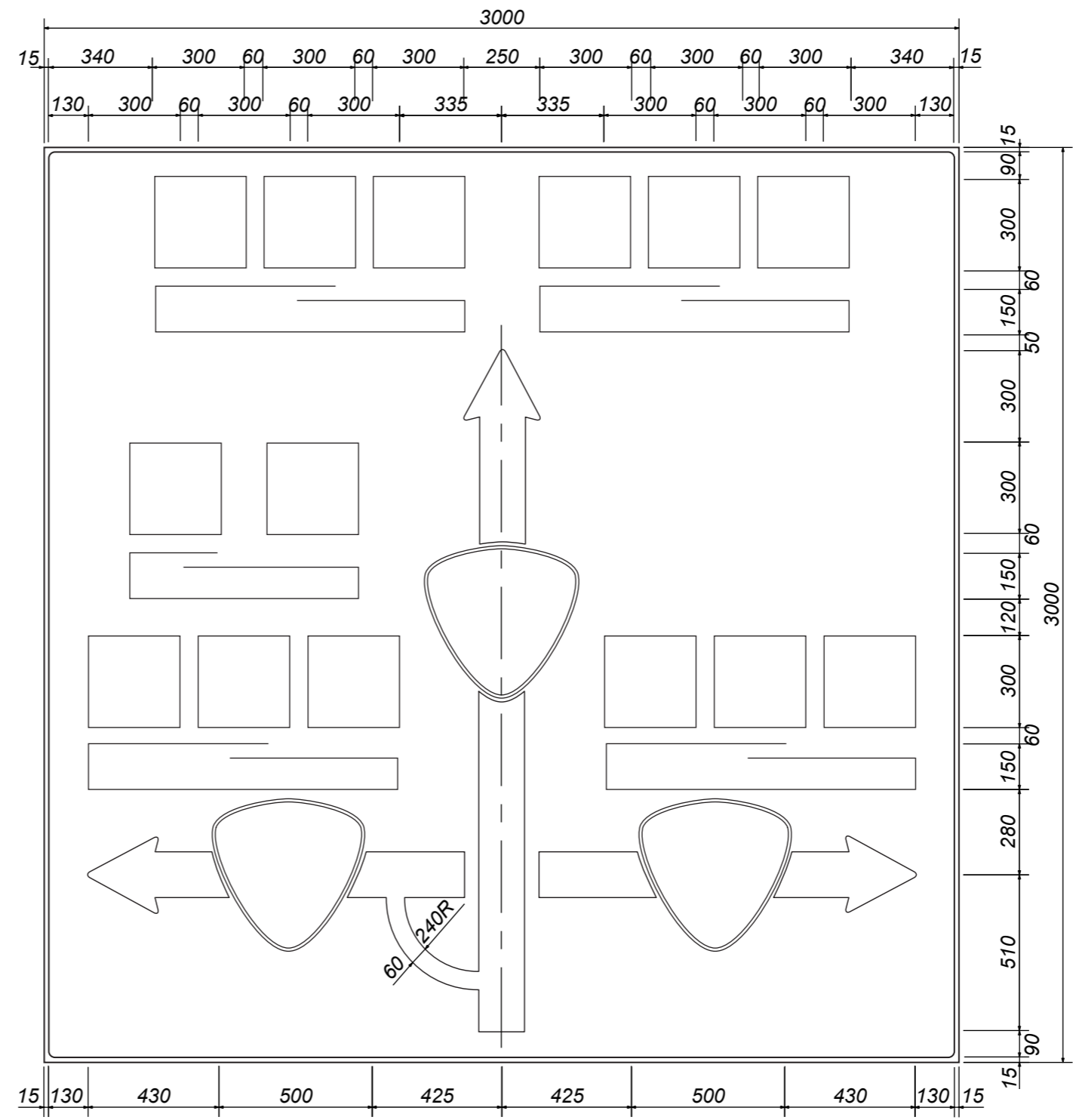
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-43

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-A) **B-43**



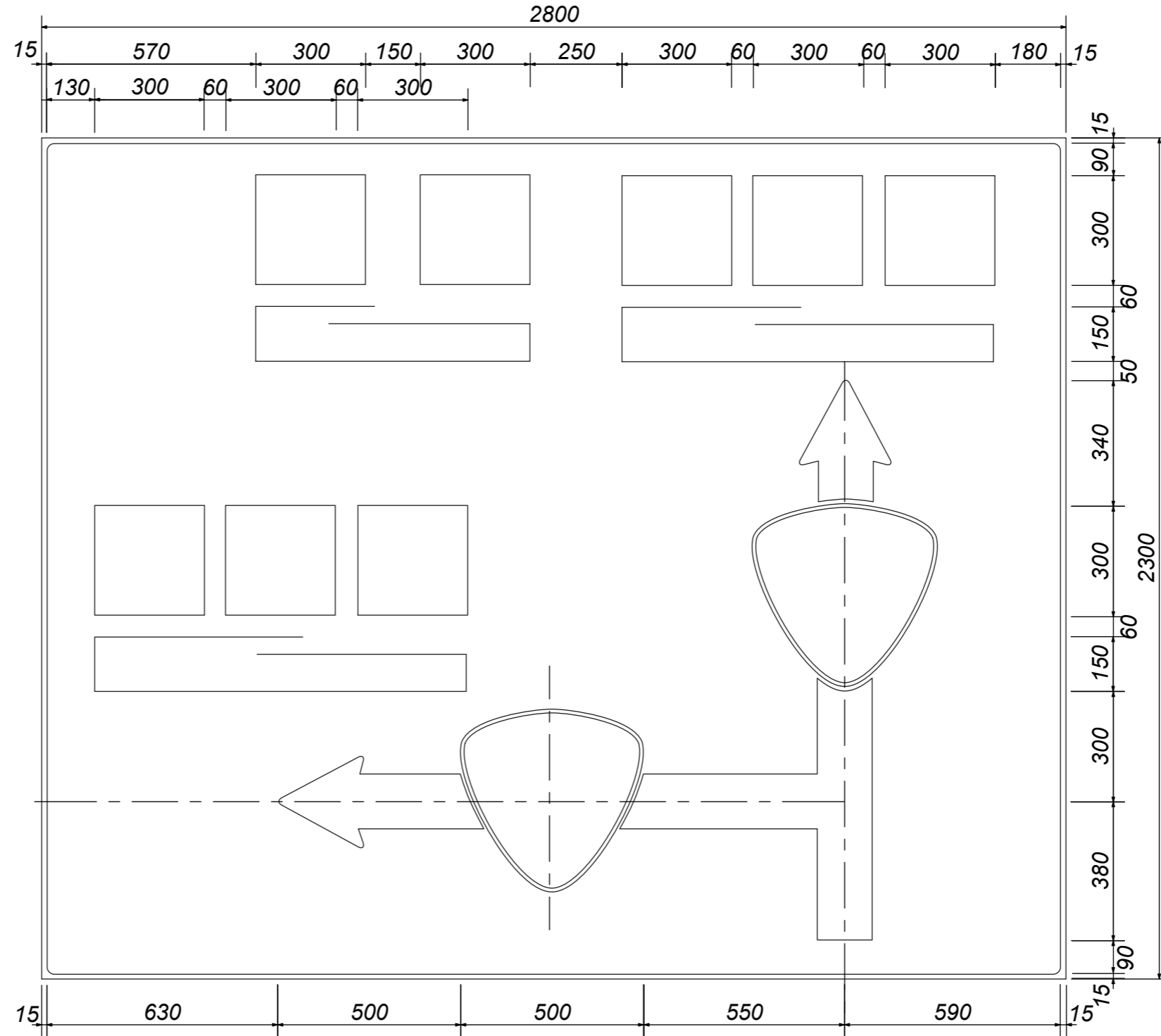
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-49

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-A) **B-49**



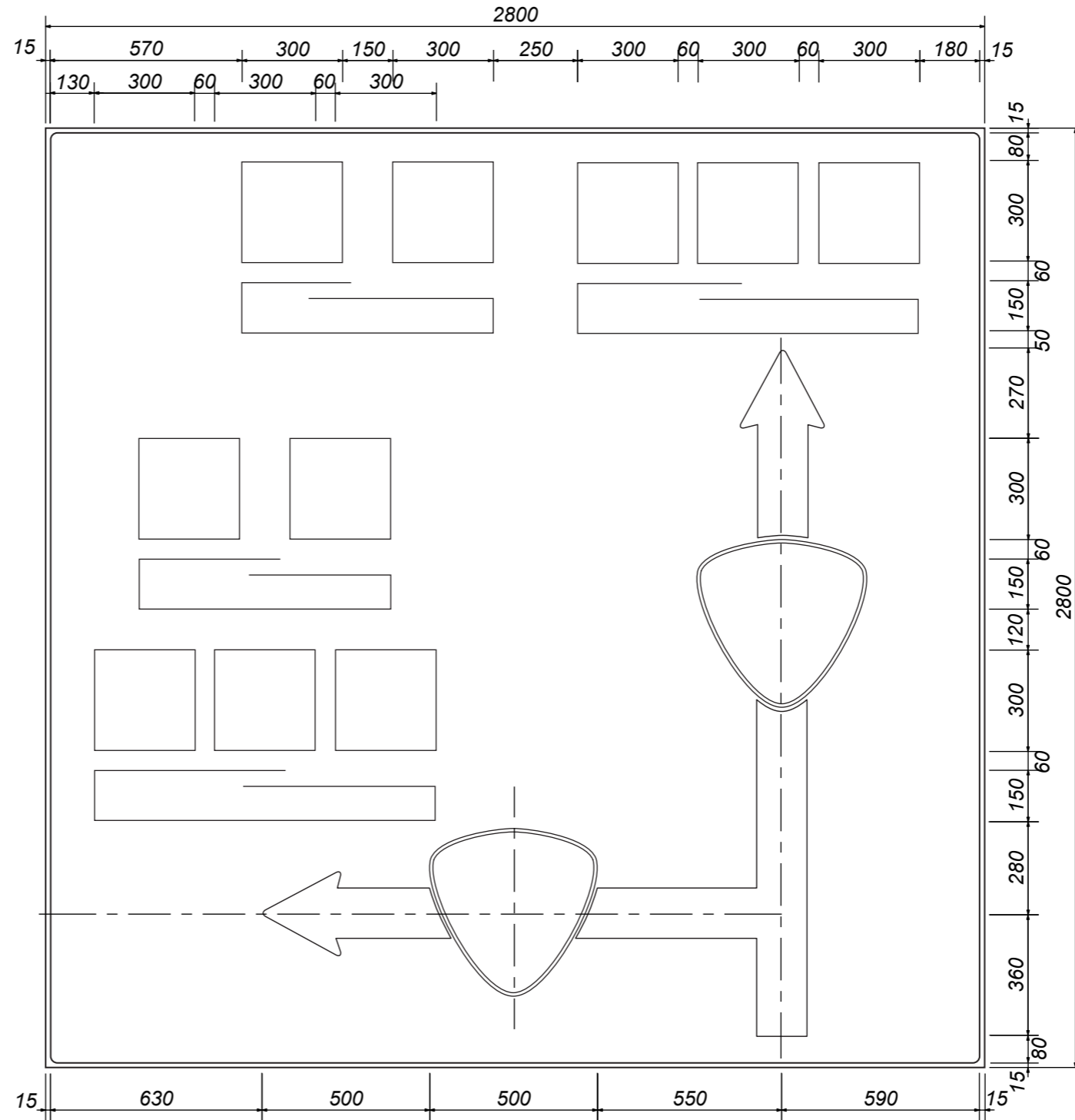
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-41

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-A) **B-41**



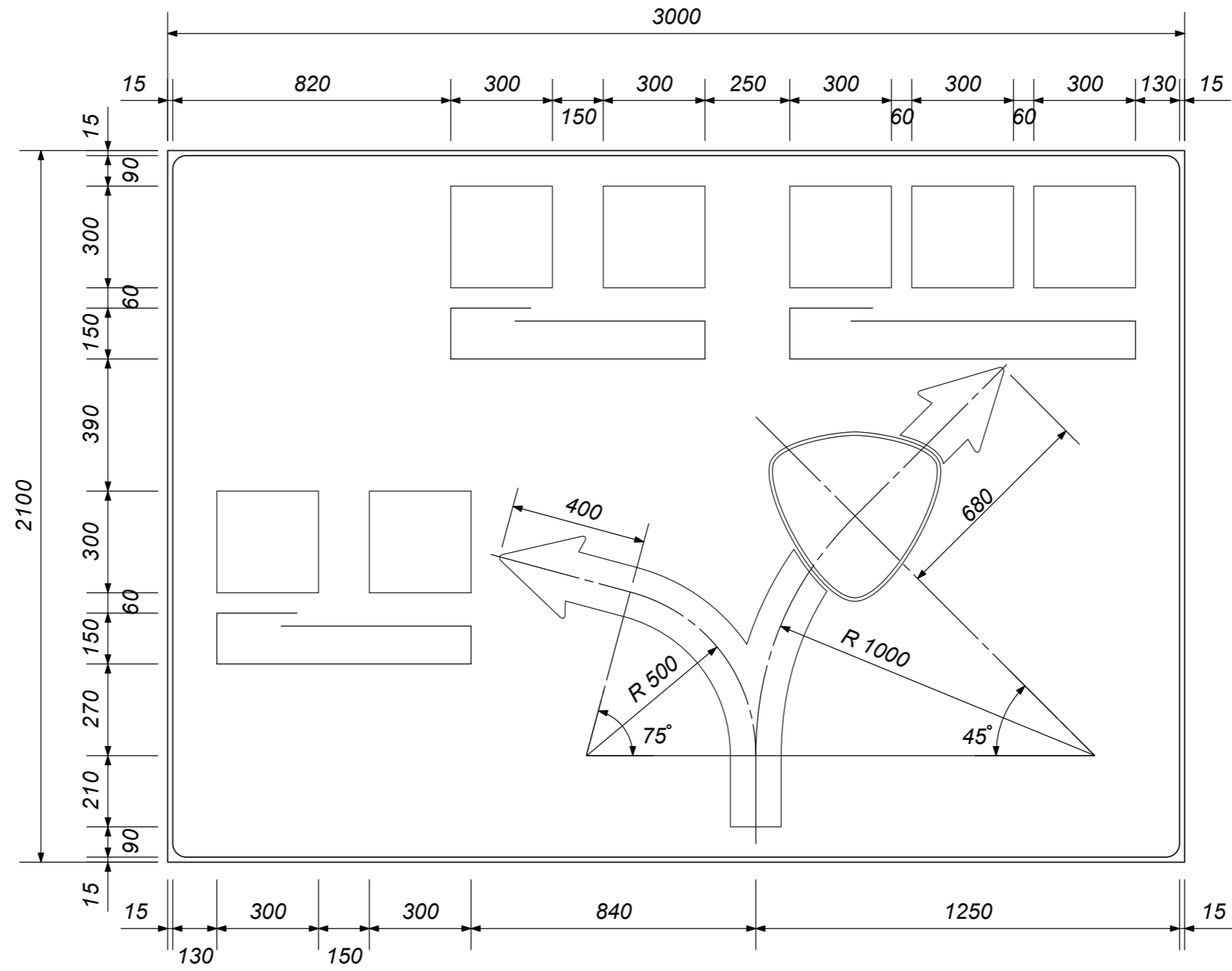
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	B-47

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-A) **B-47**



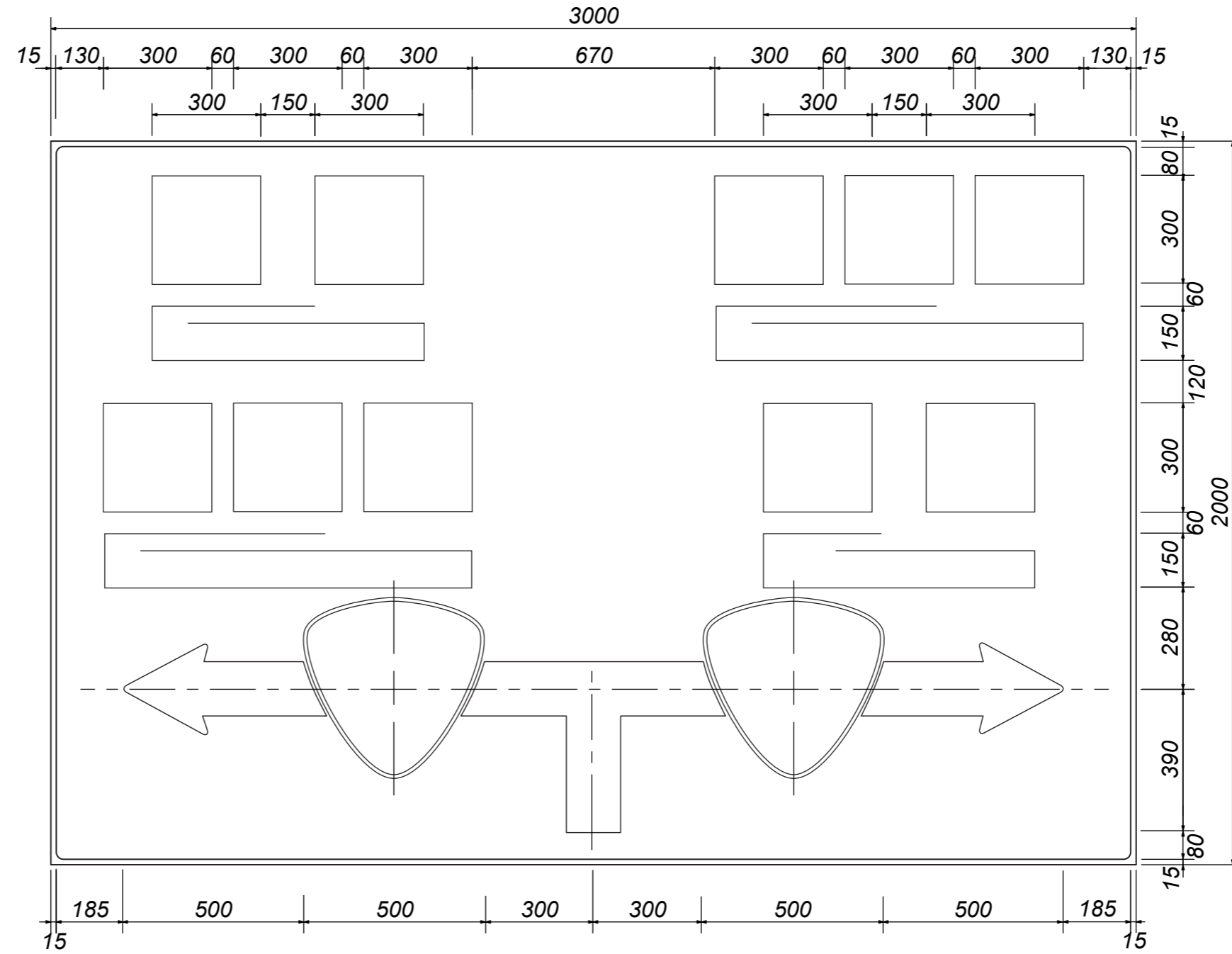
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-40

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-A) **B-40**



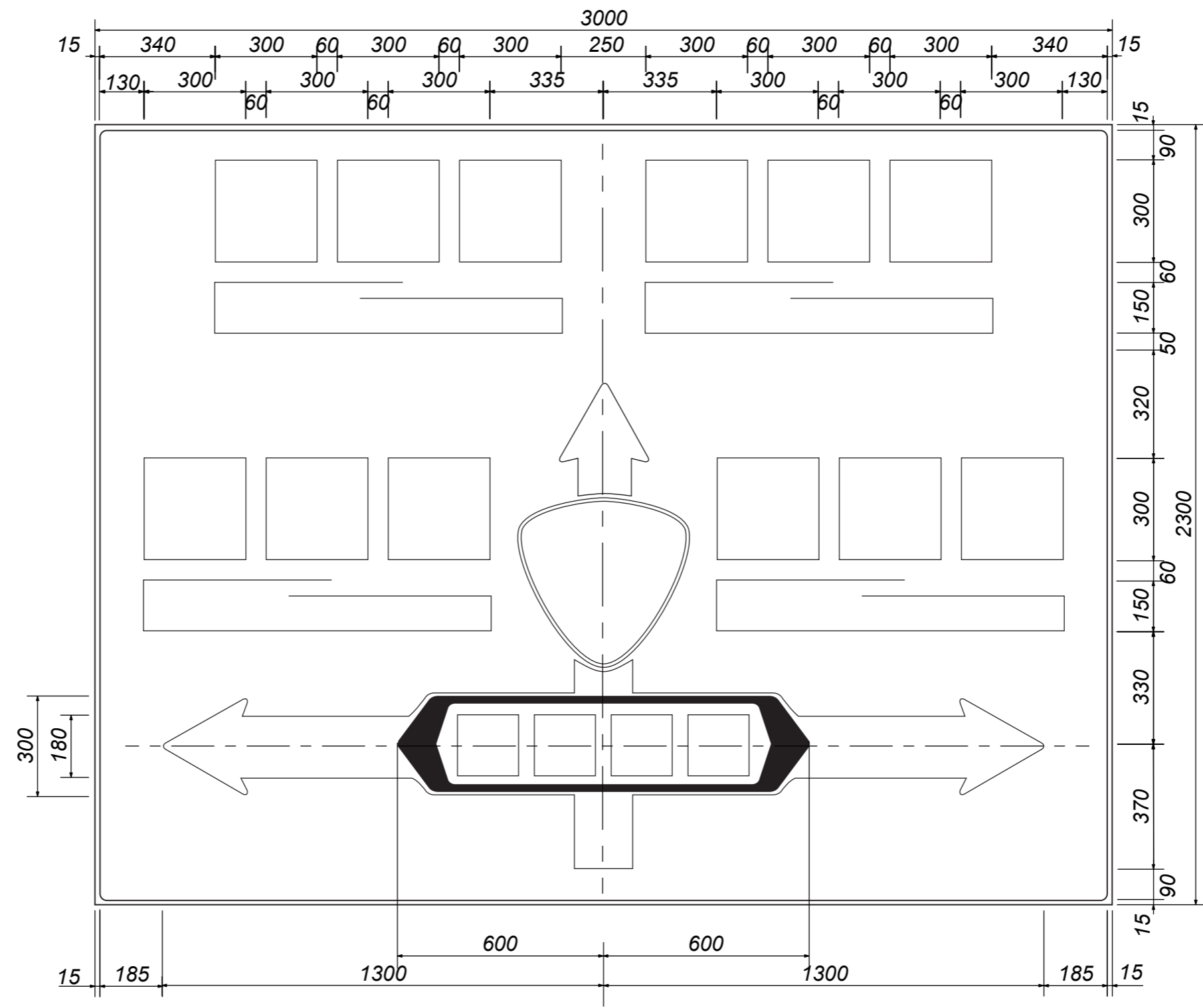
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-38

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-A) **B-38**



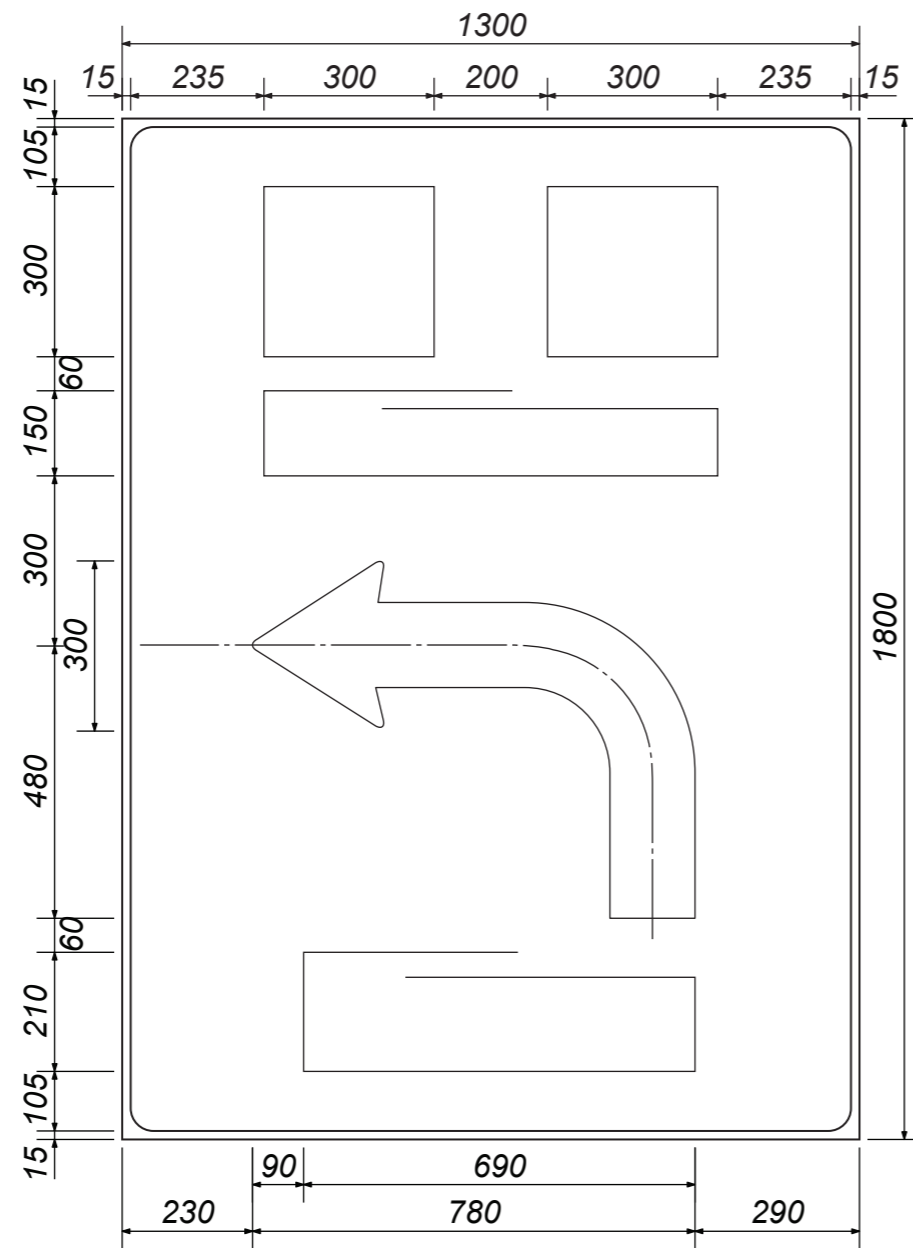
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-42

[オーバーハング式] 方面,方向及び
 [オーバーヘッド式] 道路の通称名 (108の4) **B-42**

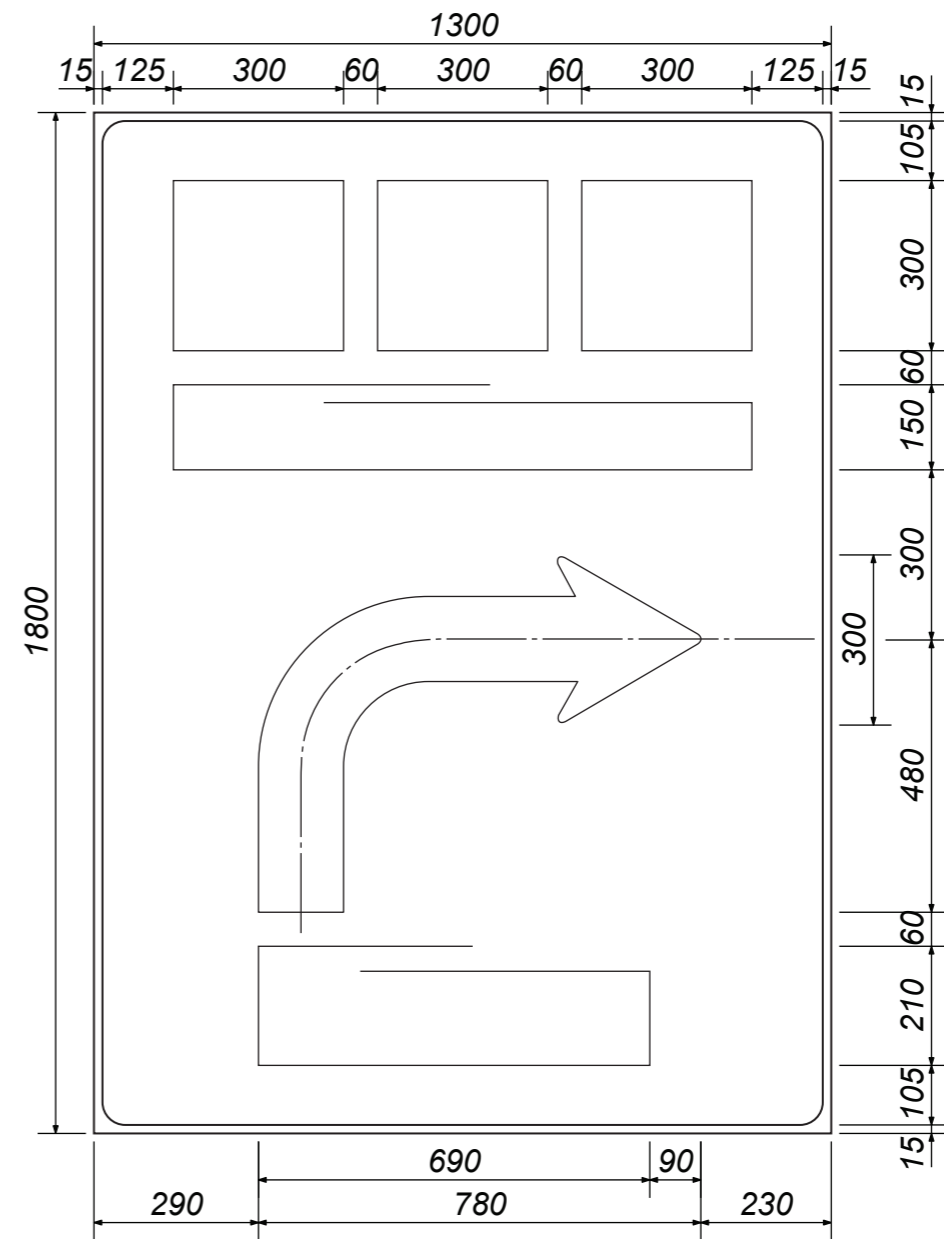


レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向の予告 (108-B)

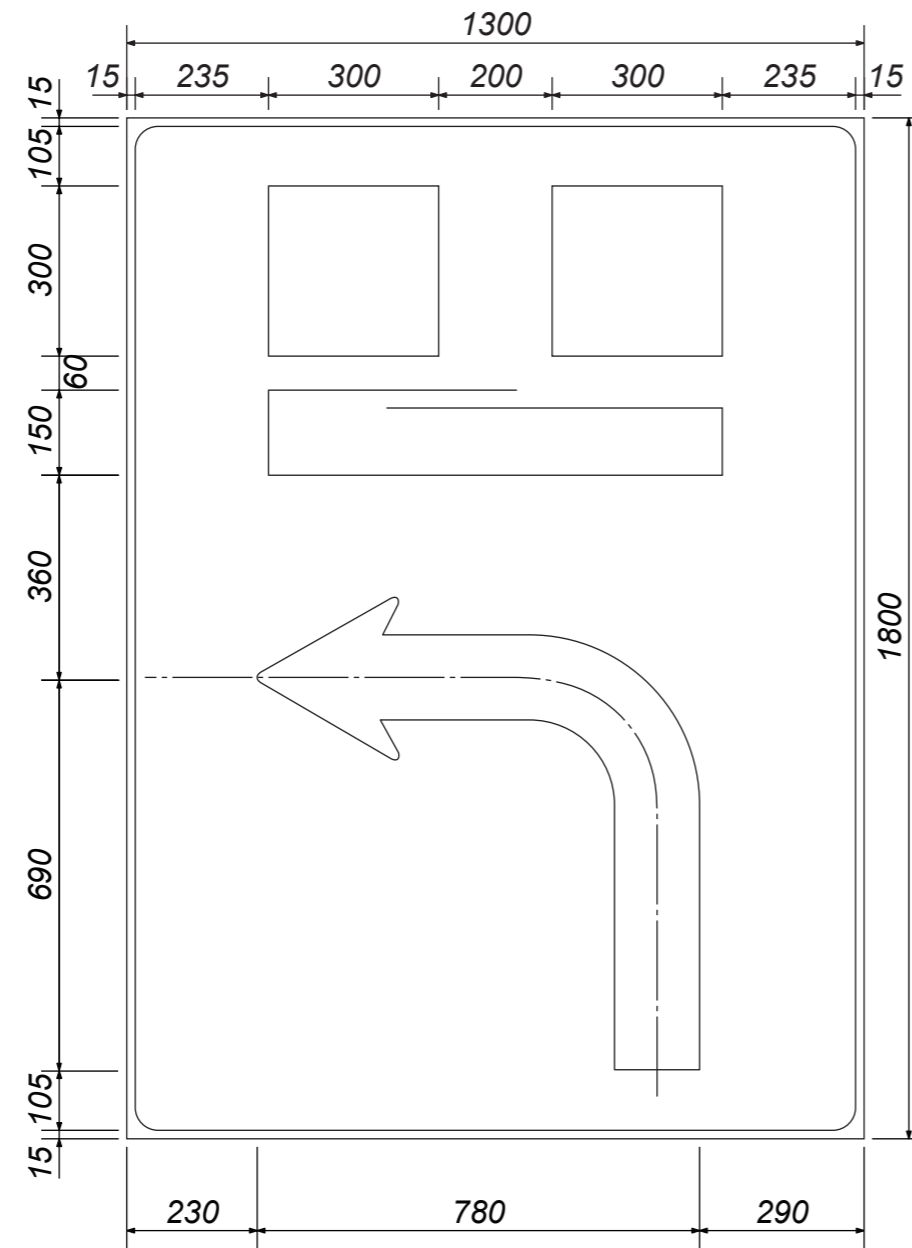


[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向の予告 (108-B)

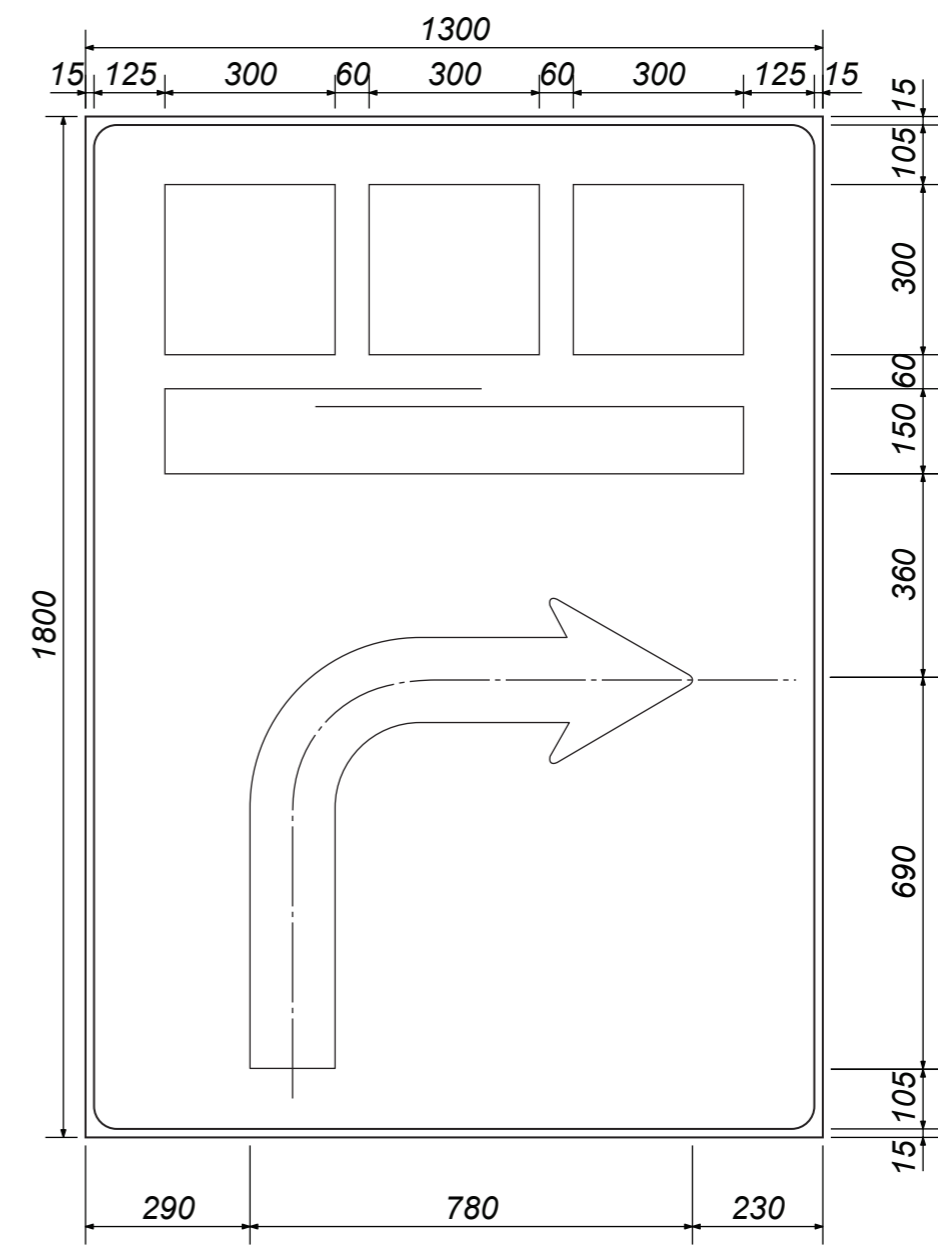


レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	

[オーバーハング式]
[オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-B)

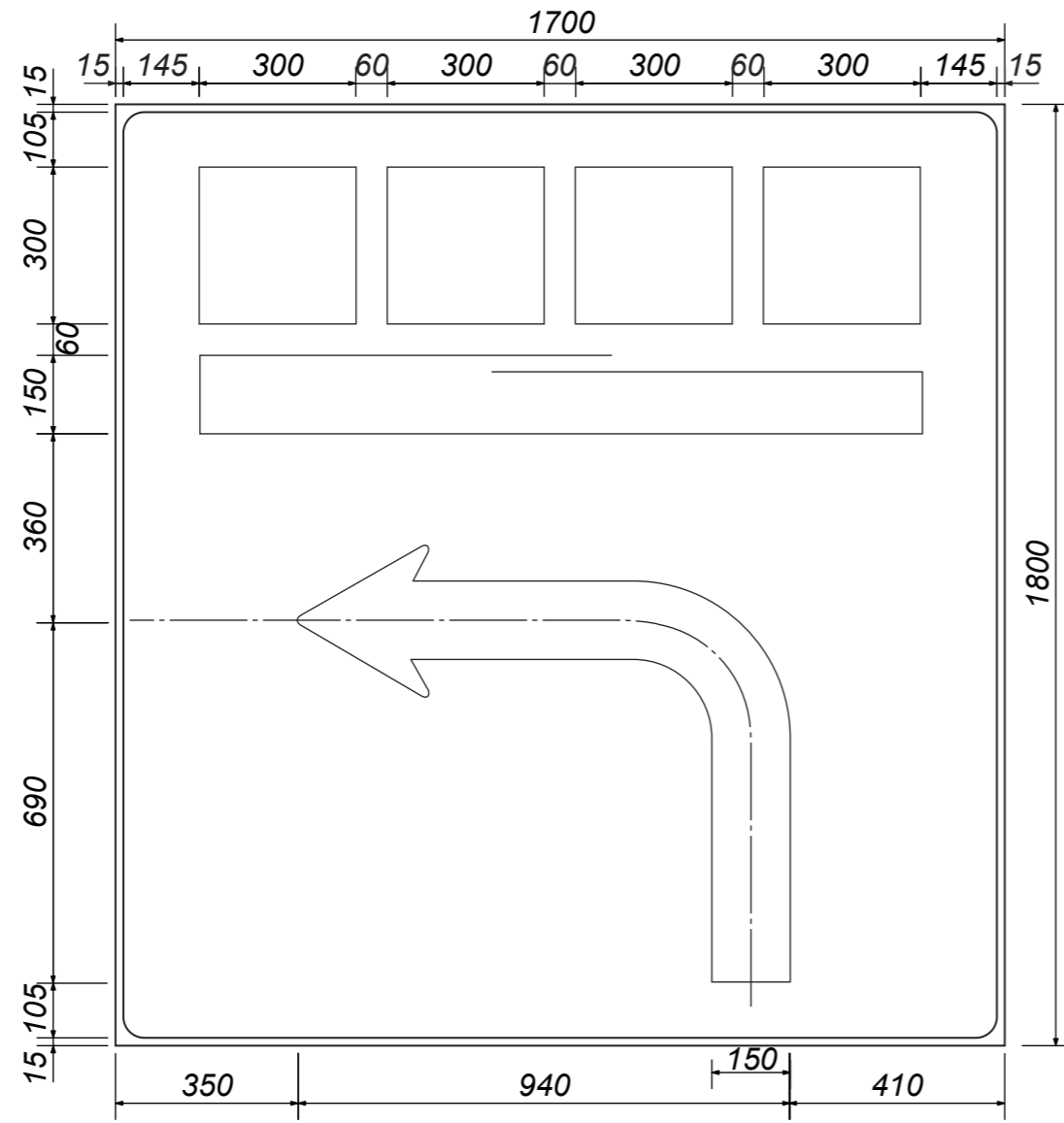


[オーバーハング式]
[オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-B)

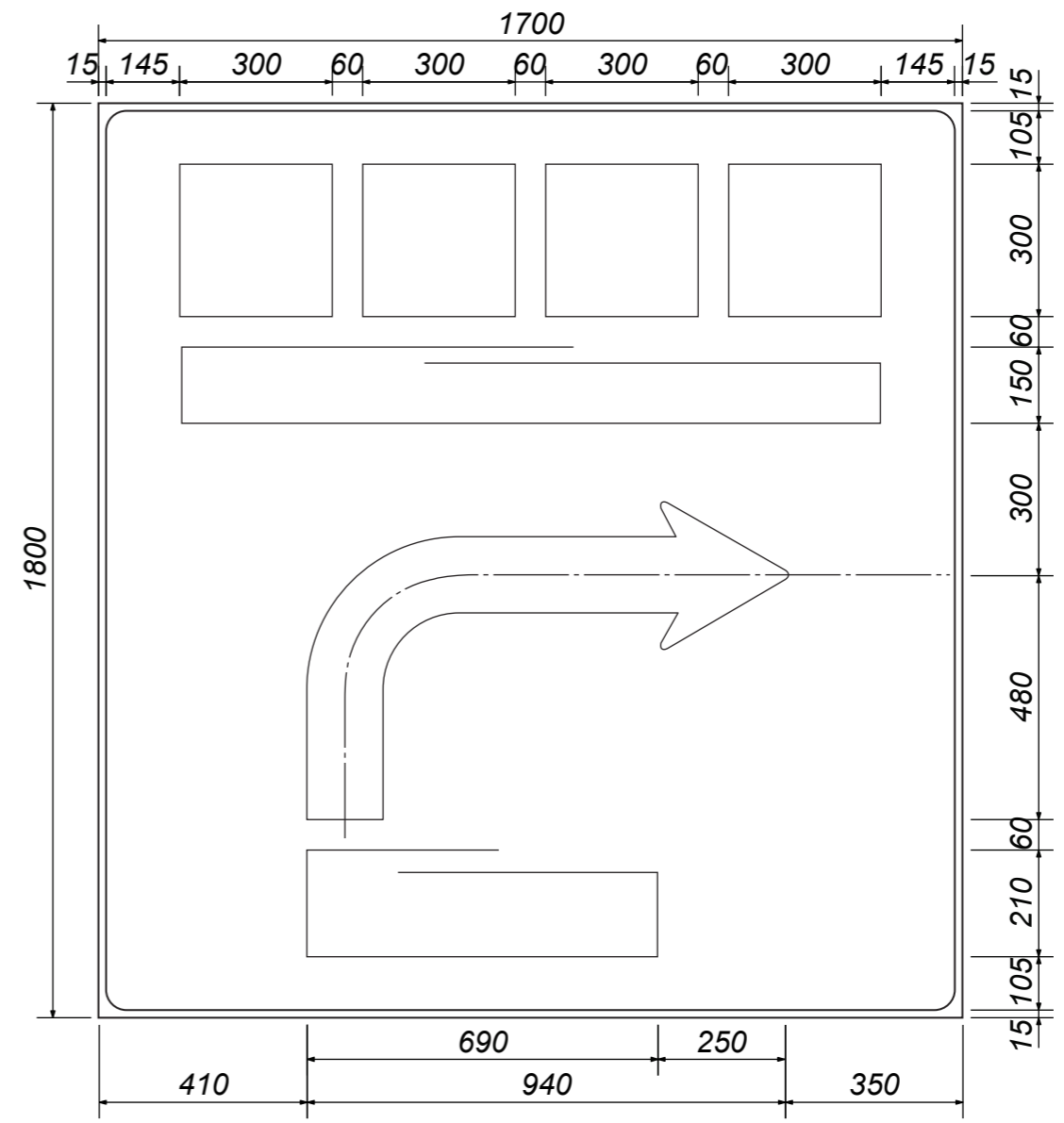


レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	

[オーバーハング式]
[オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-B)

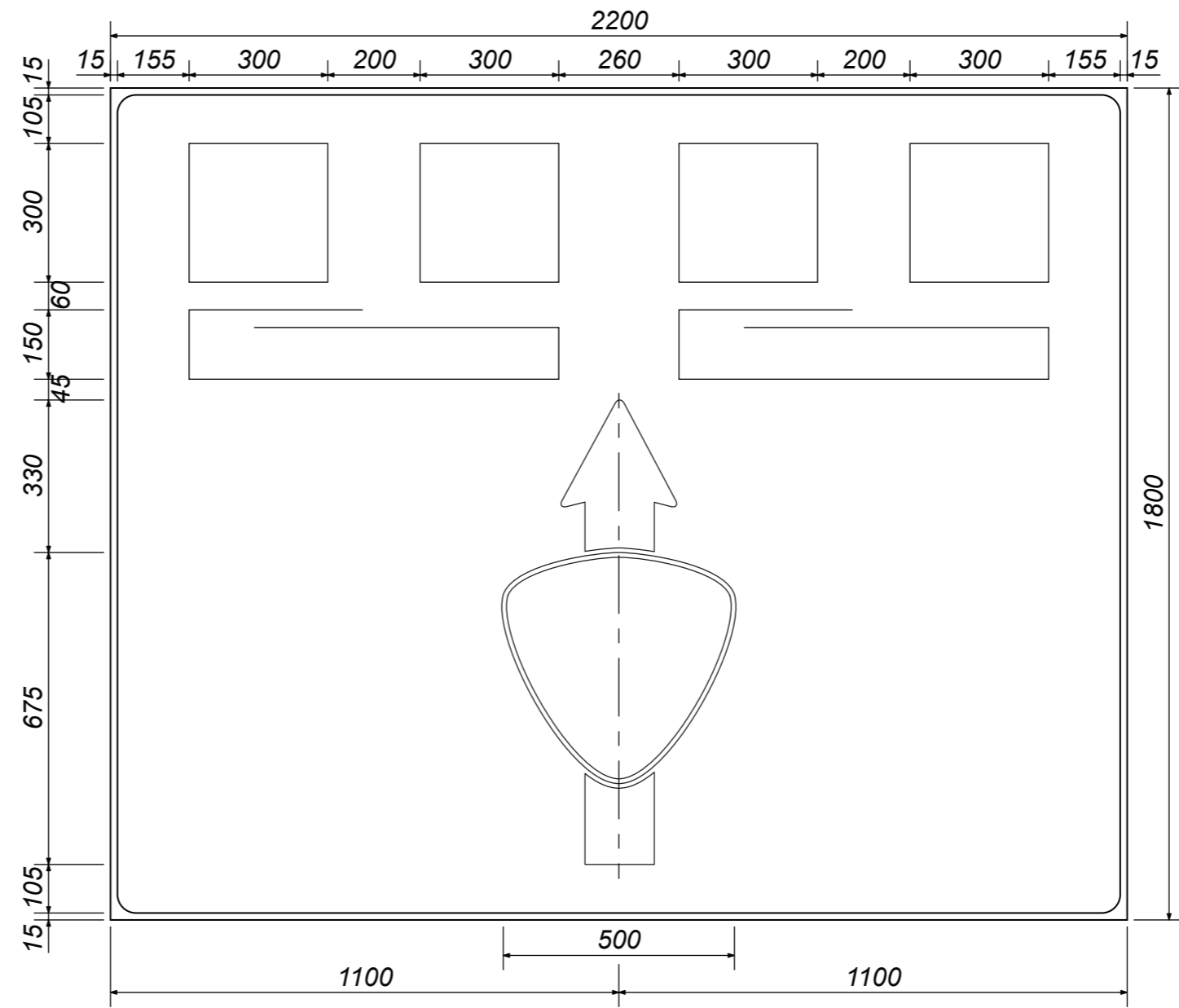


[オーバーハング式]
[オーバーヘッド式] 方面及び方向の予告 (108-B)



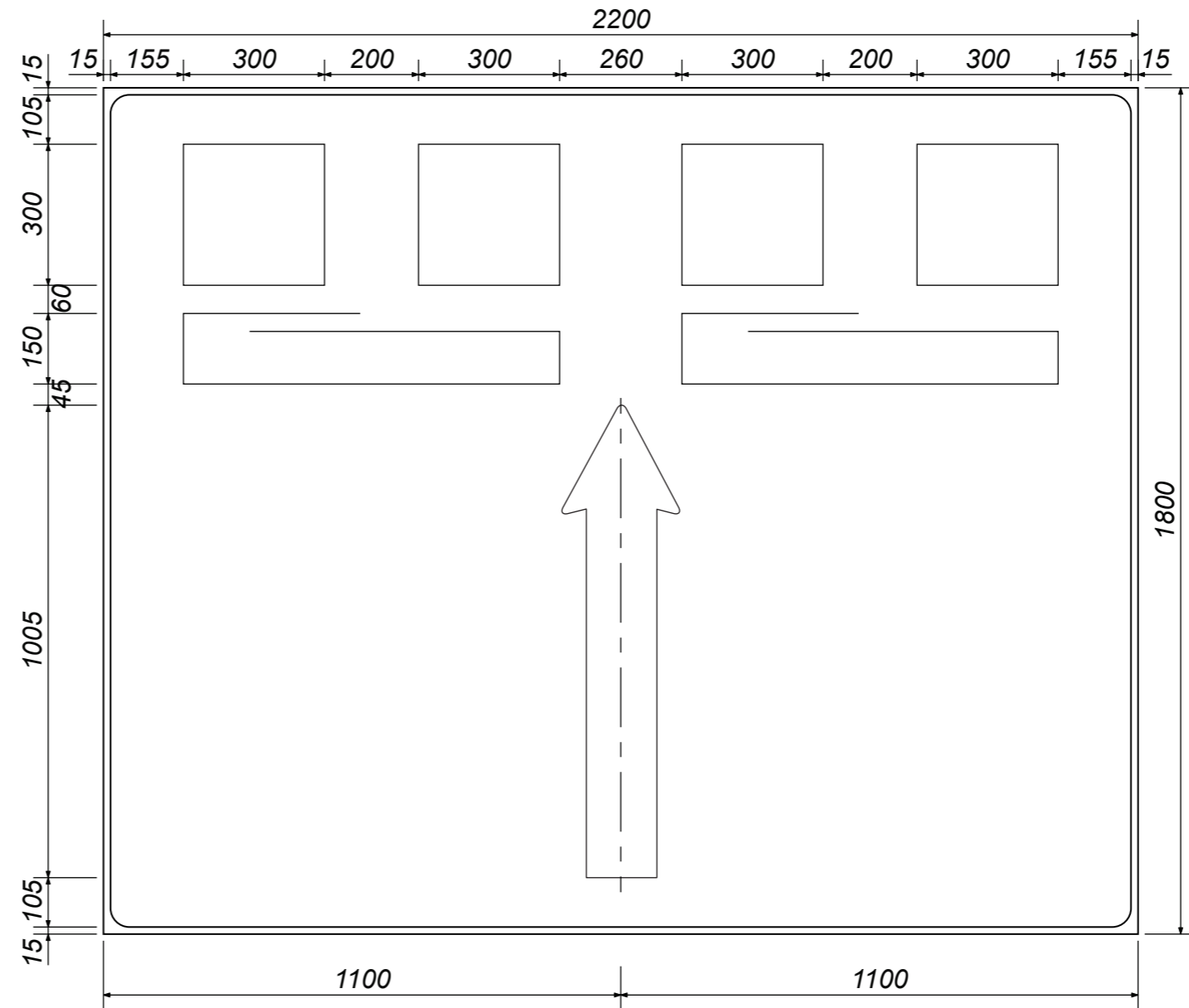
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-B)



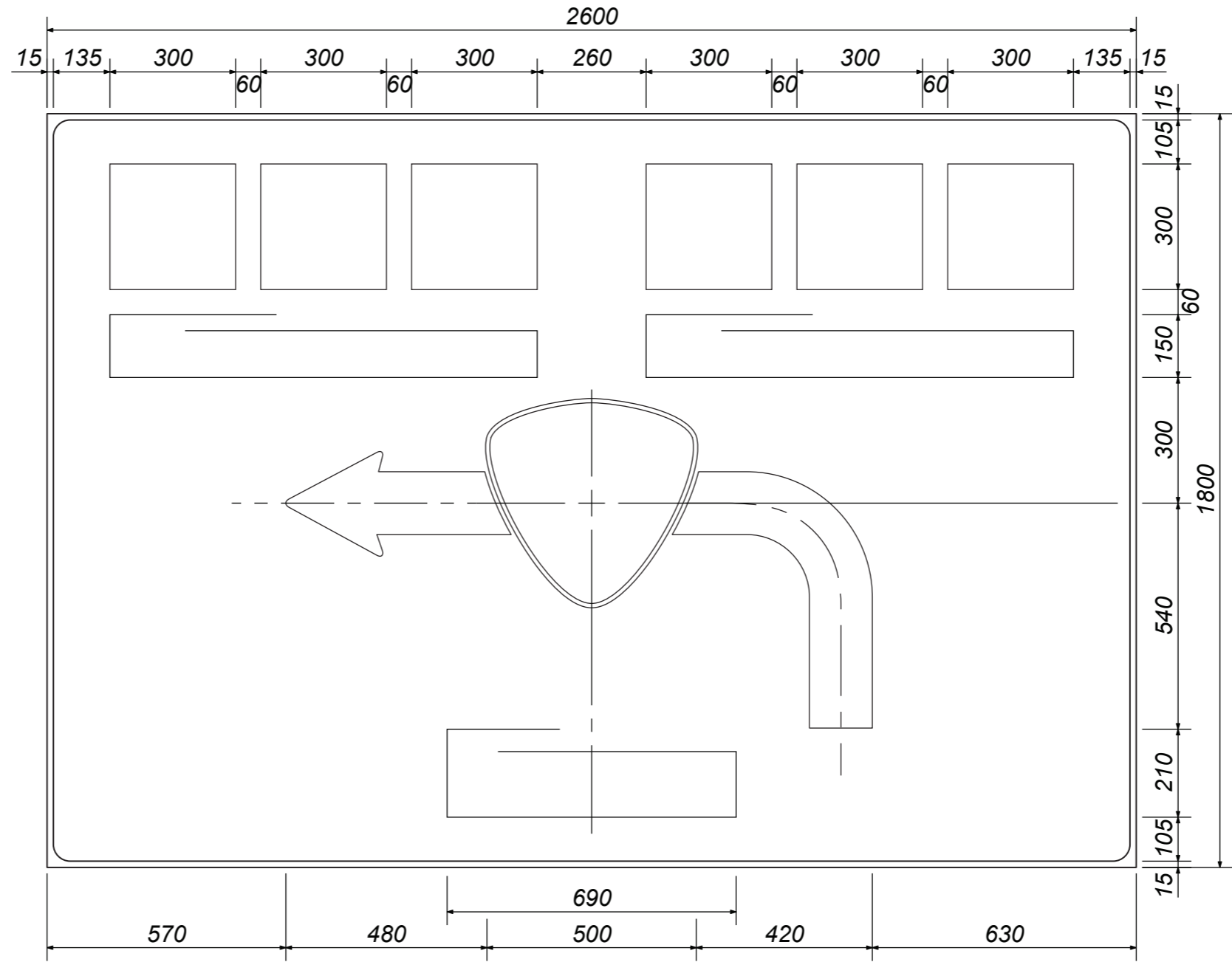
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-B)



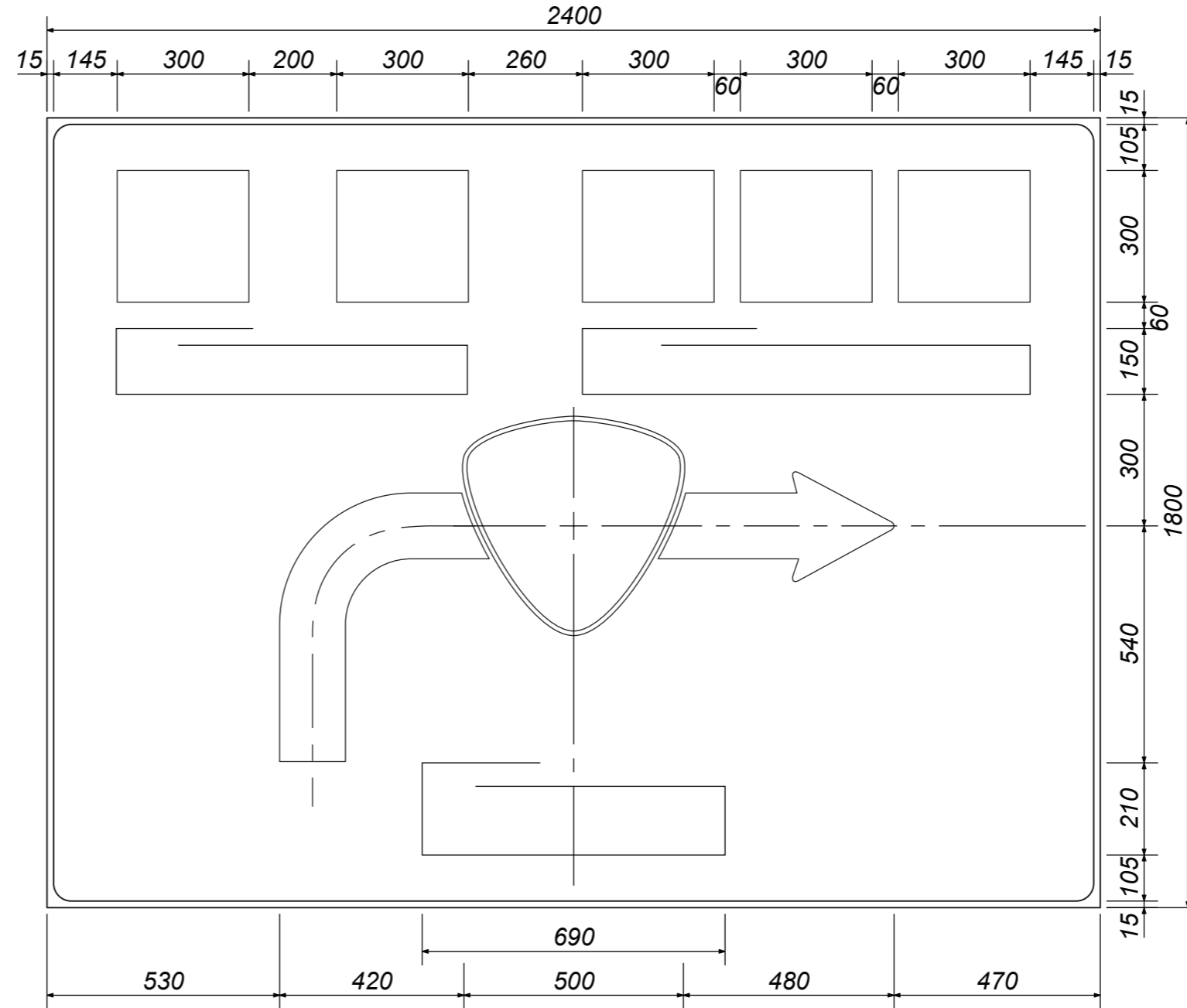
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向の予告 (108-B)



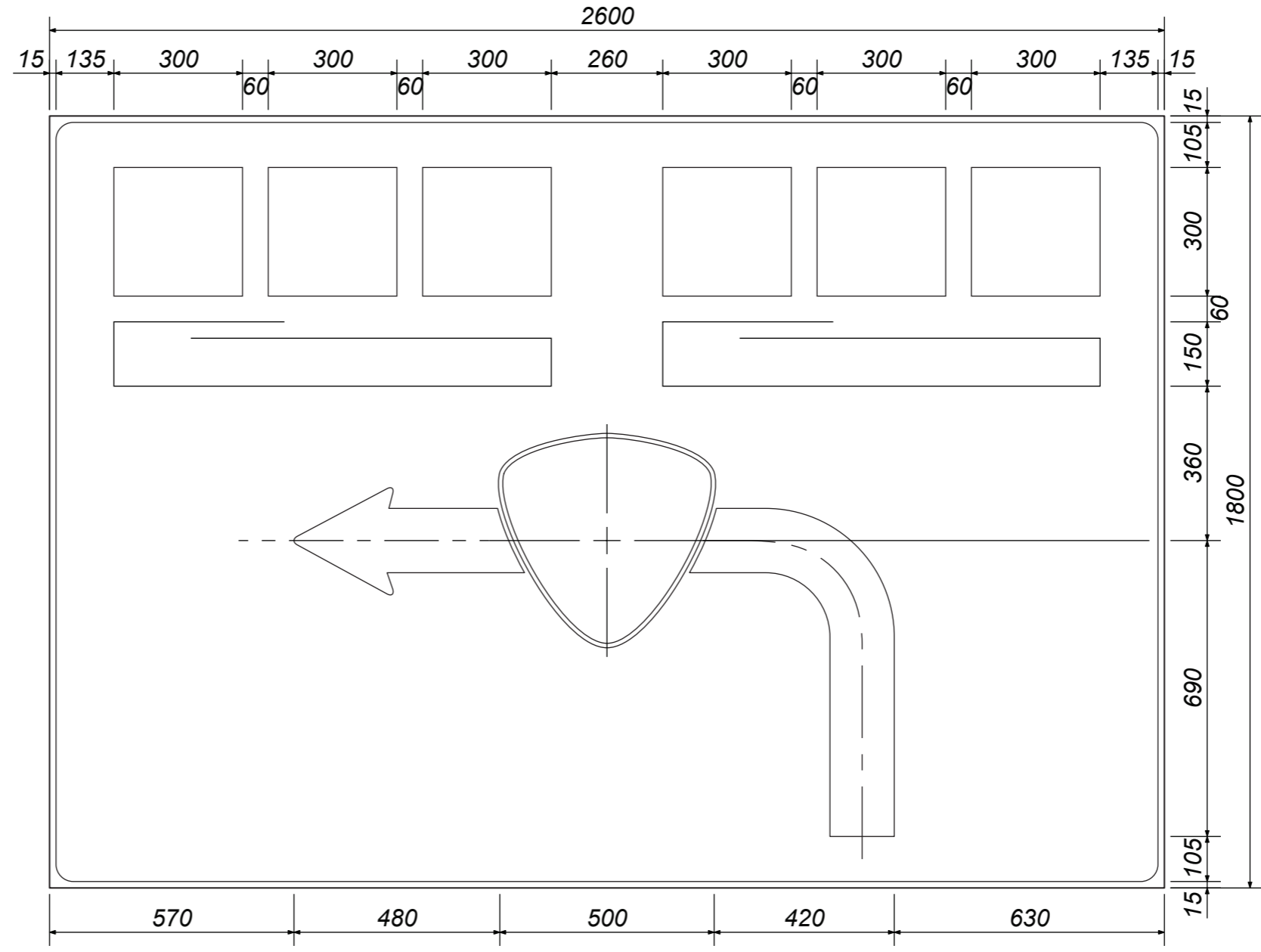
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向の予告 (108-B)



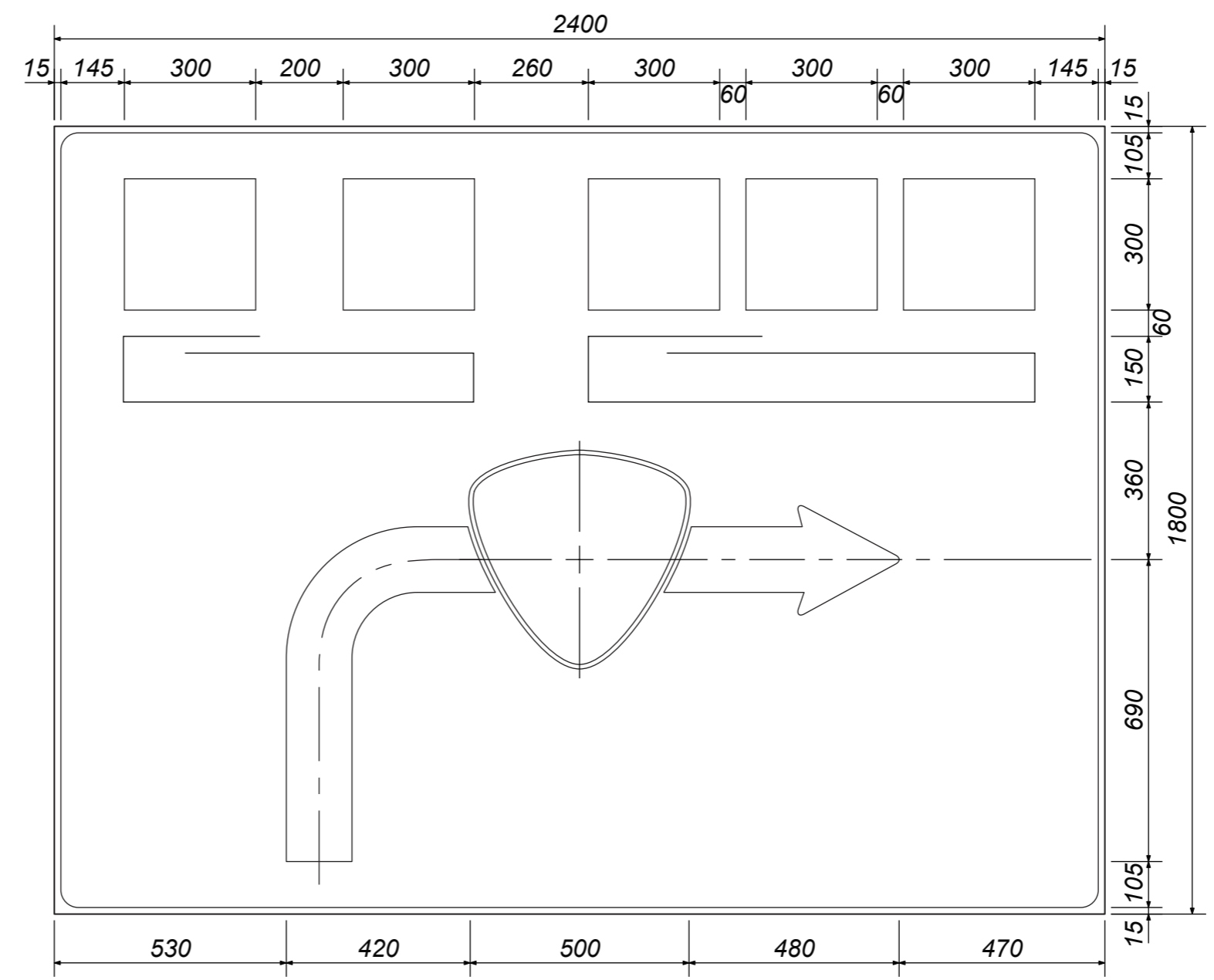
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-B)



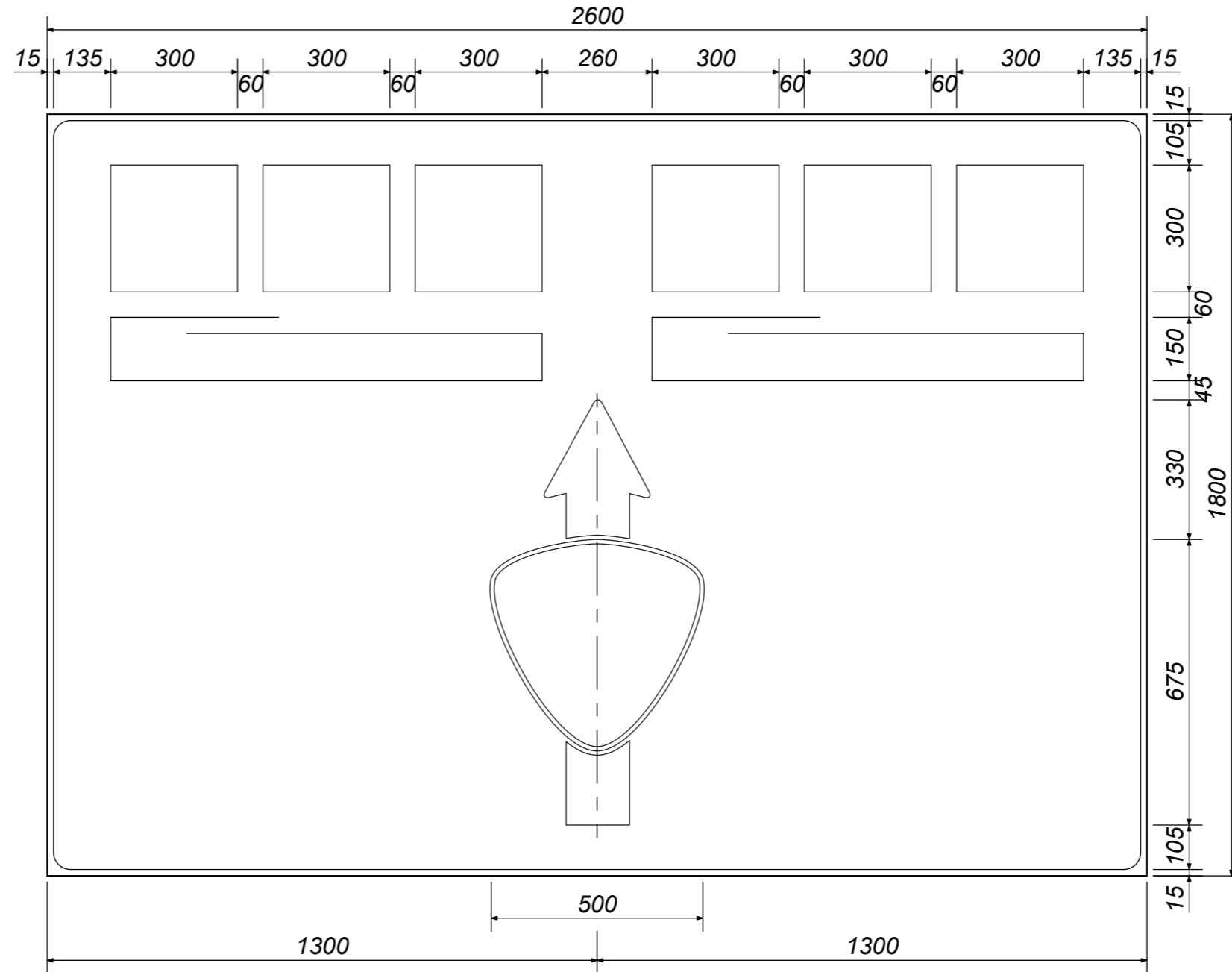
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-B)



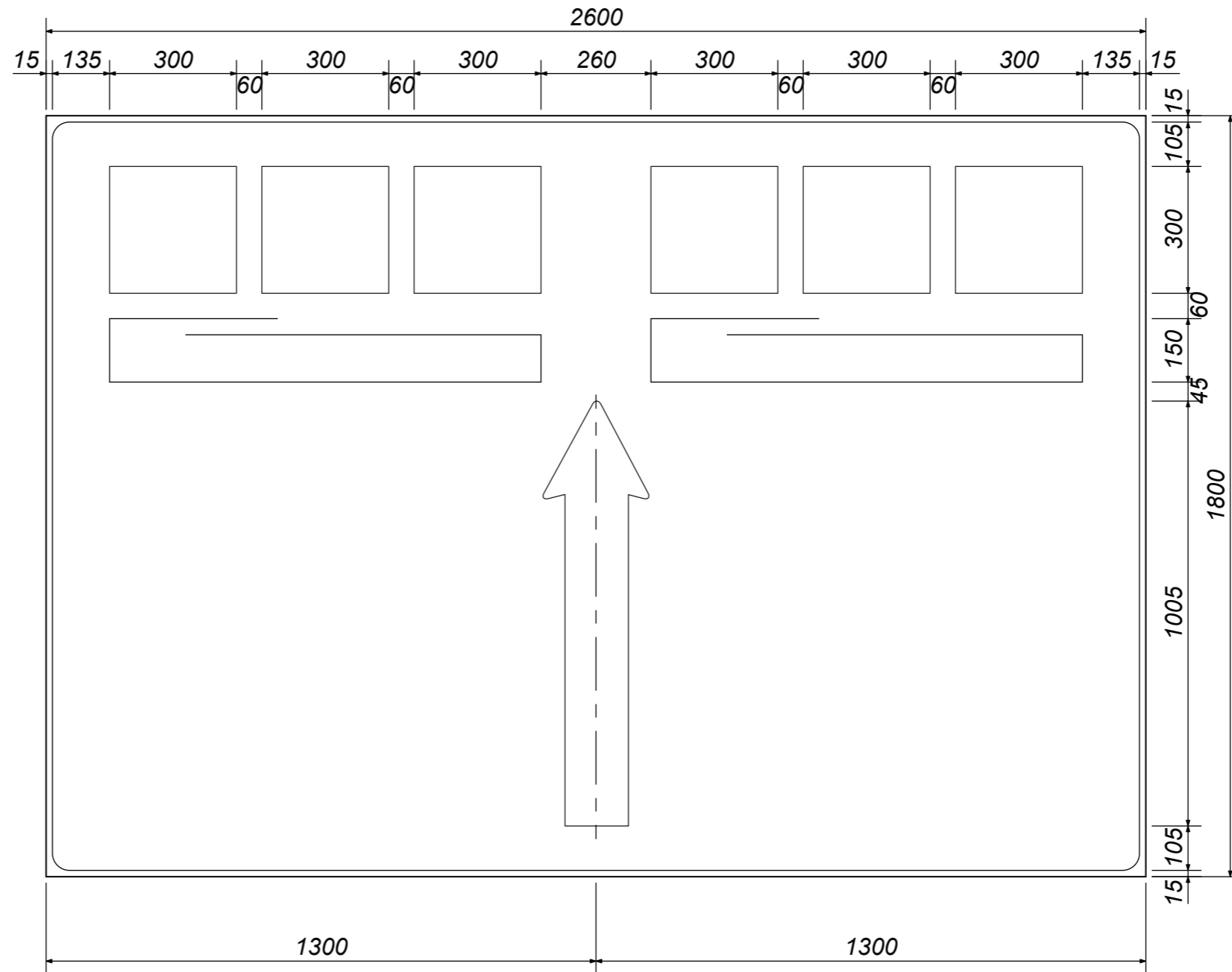
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-B)



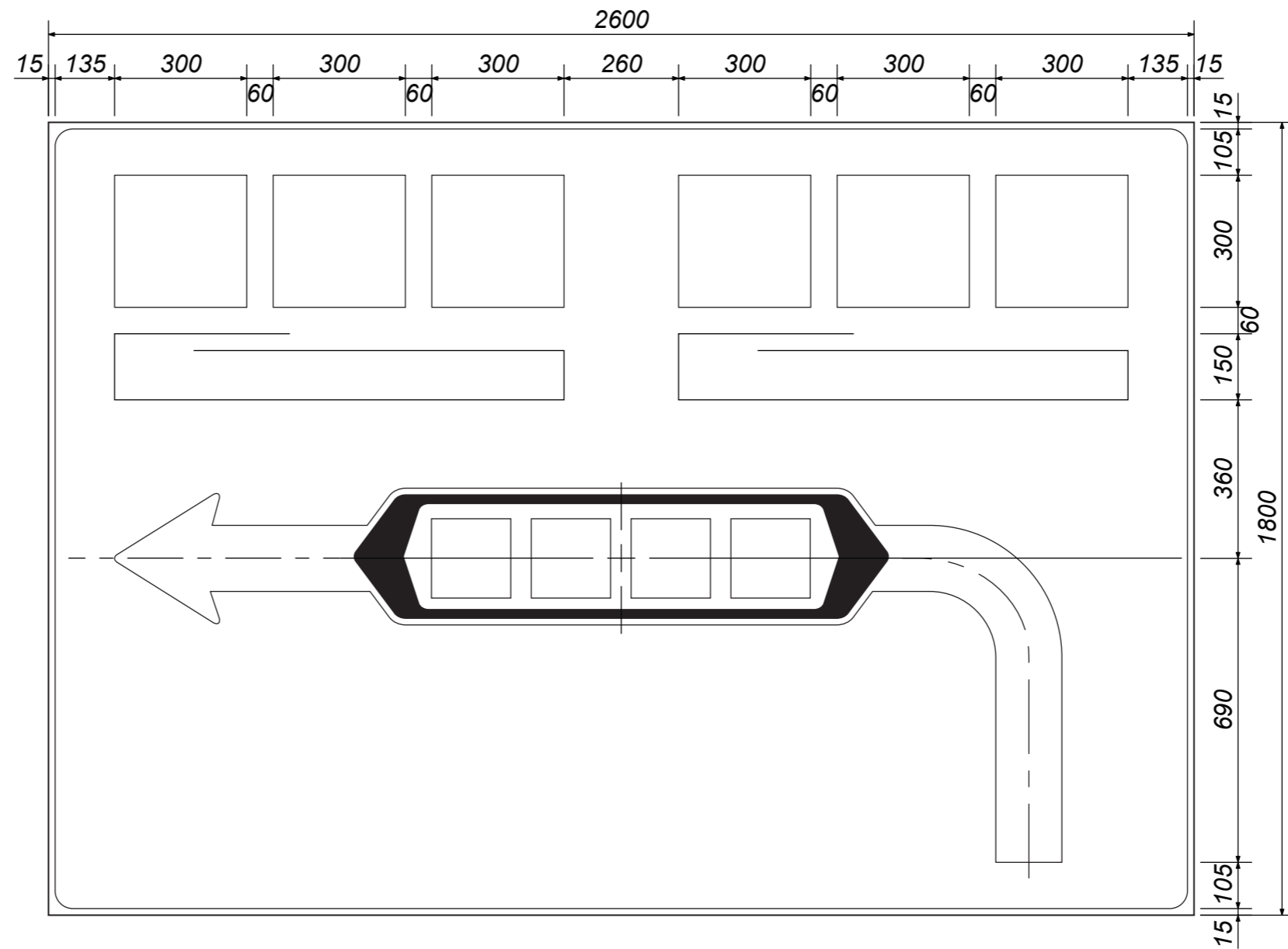
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-B)



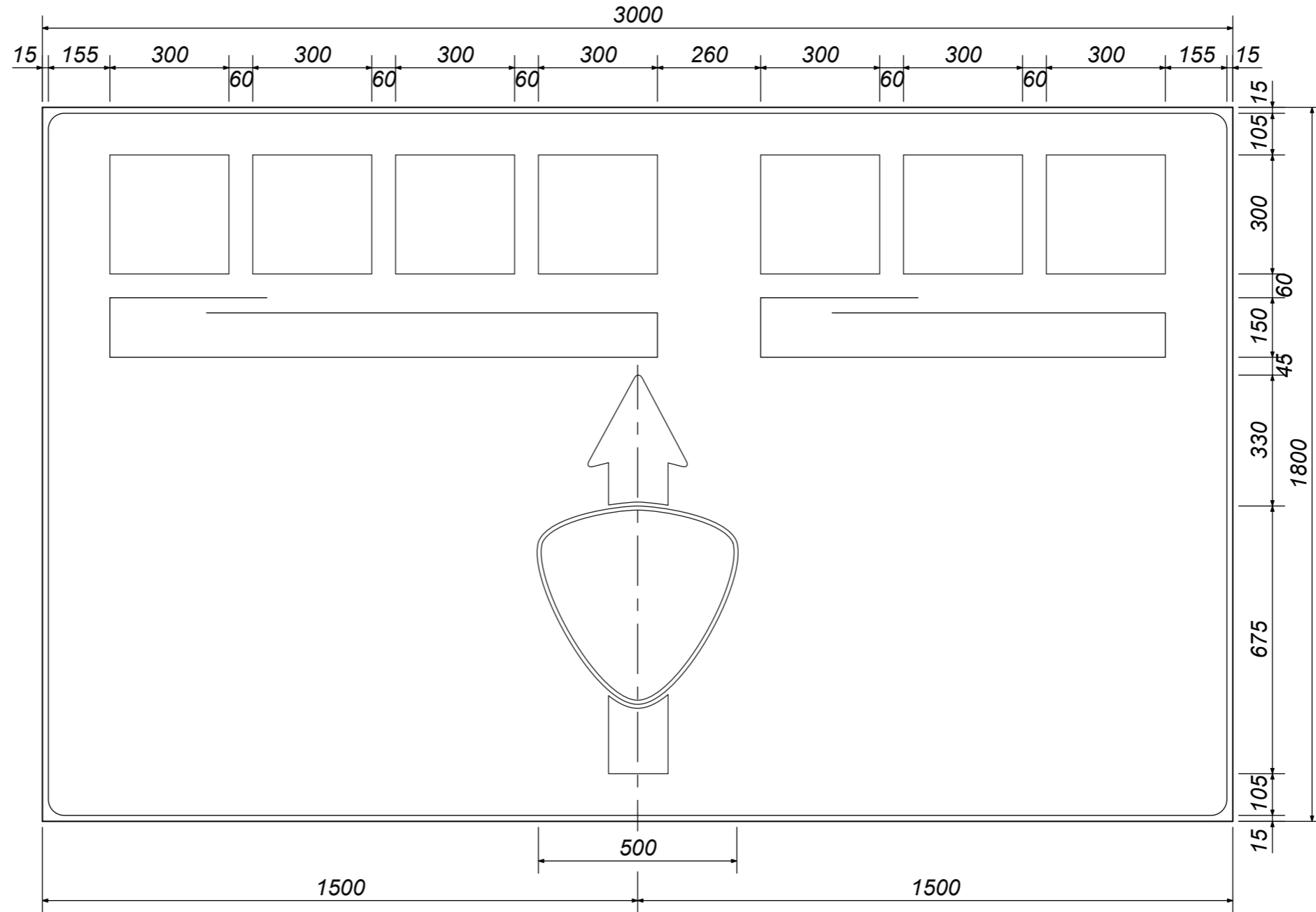
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-B)



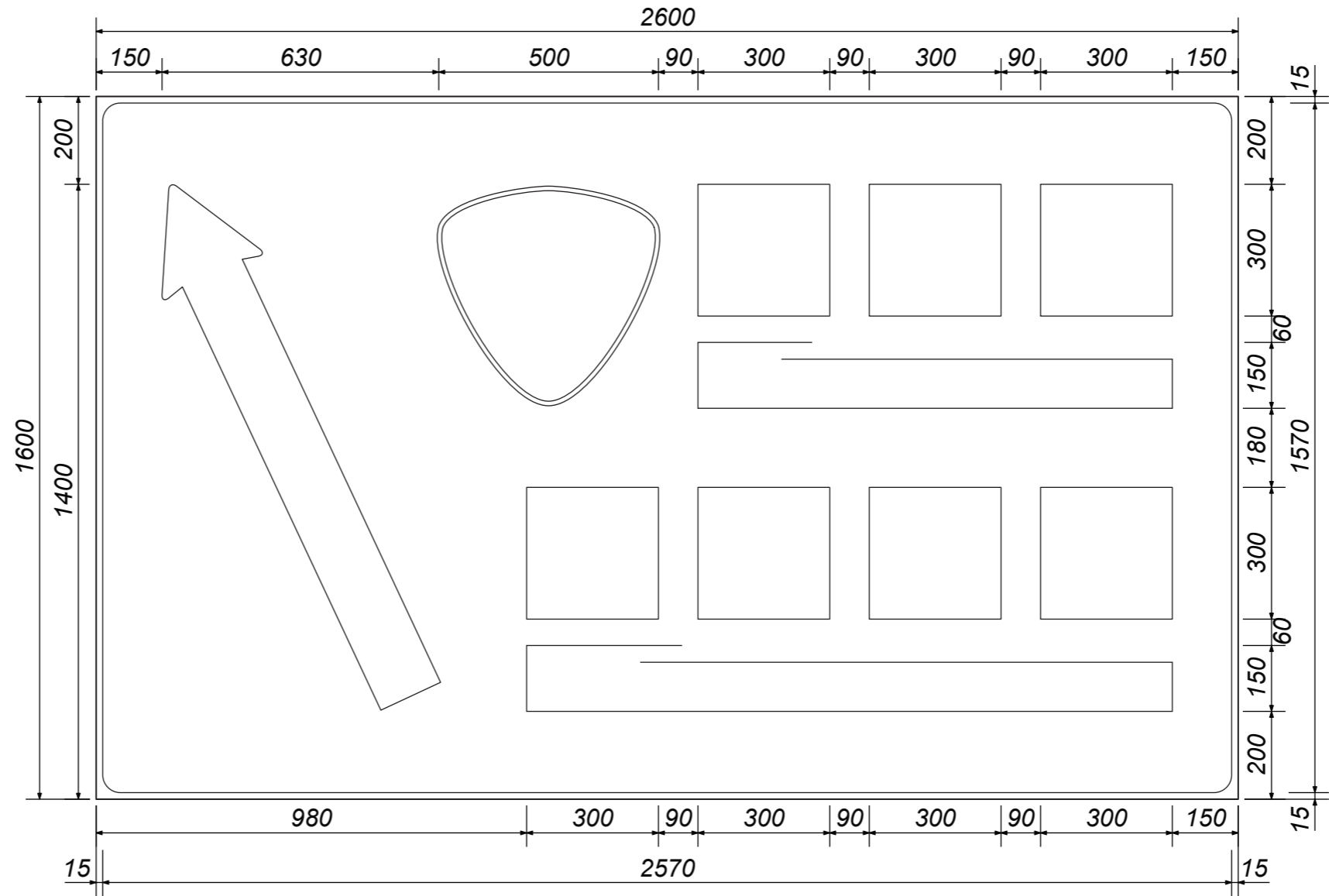
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型 式	

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-B)



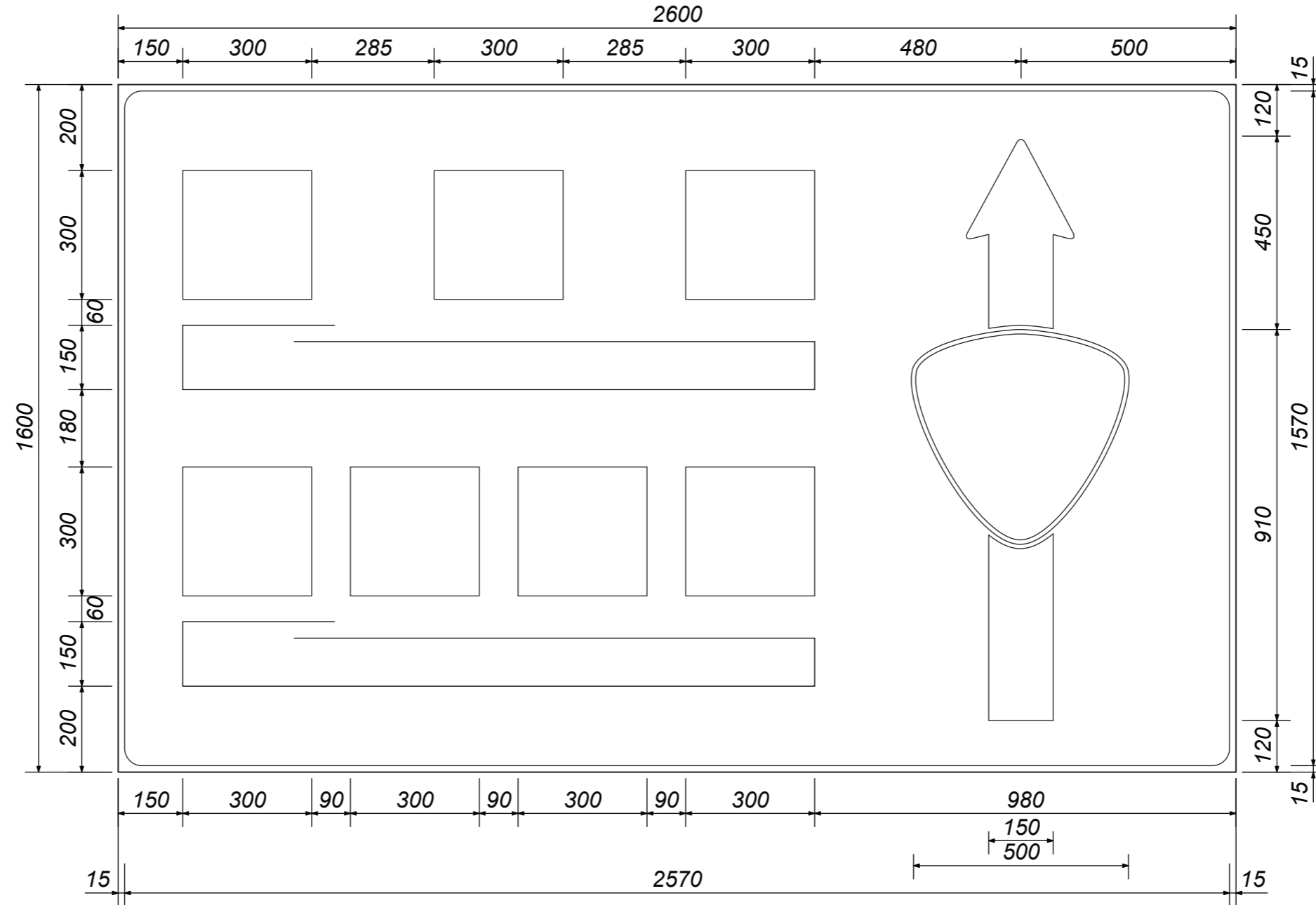
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-53

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-B) **B-53**



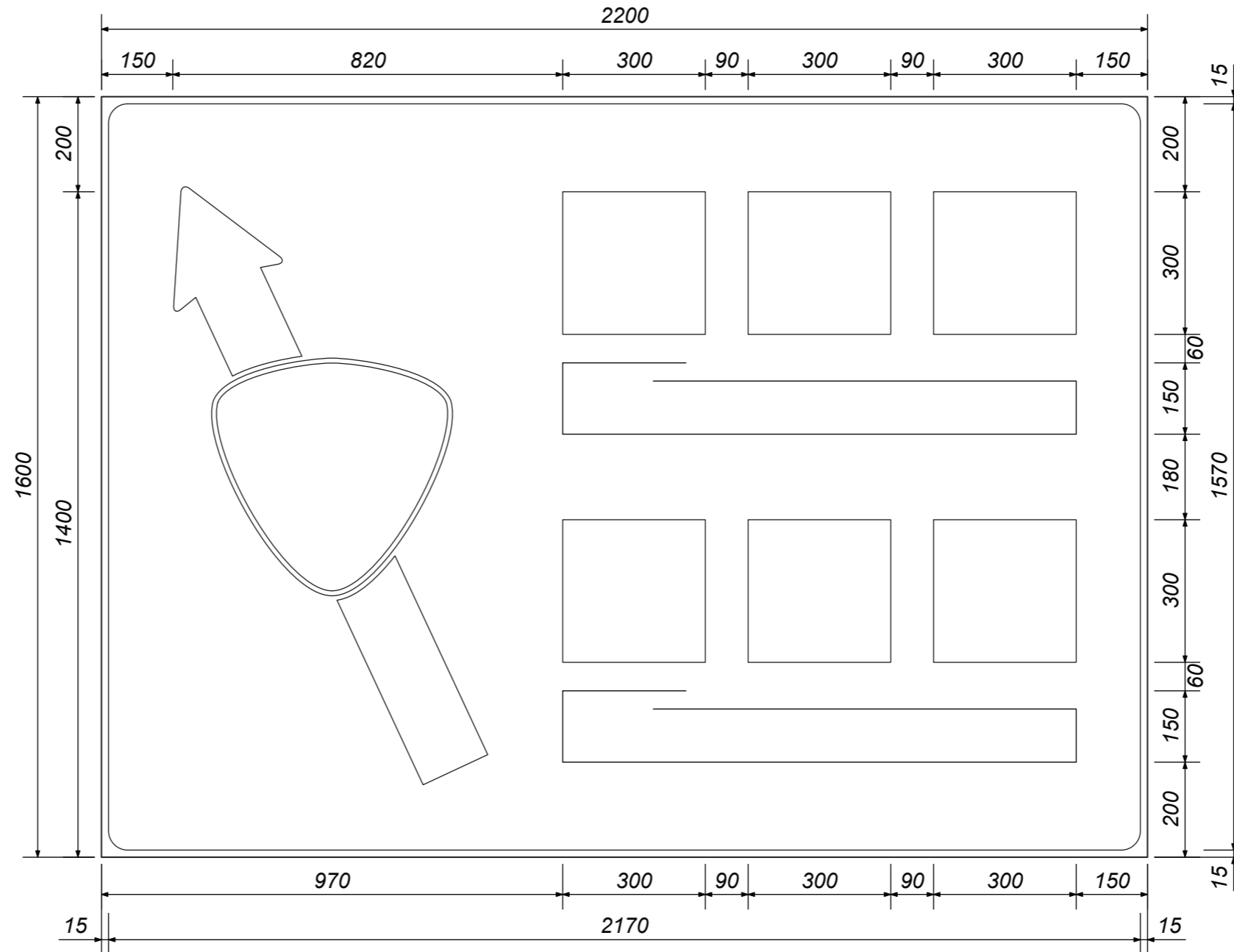
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-53

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-B) **B-53**



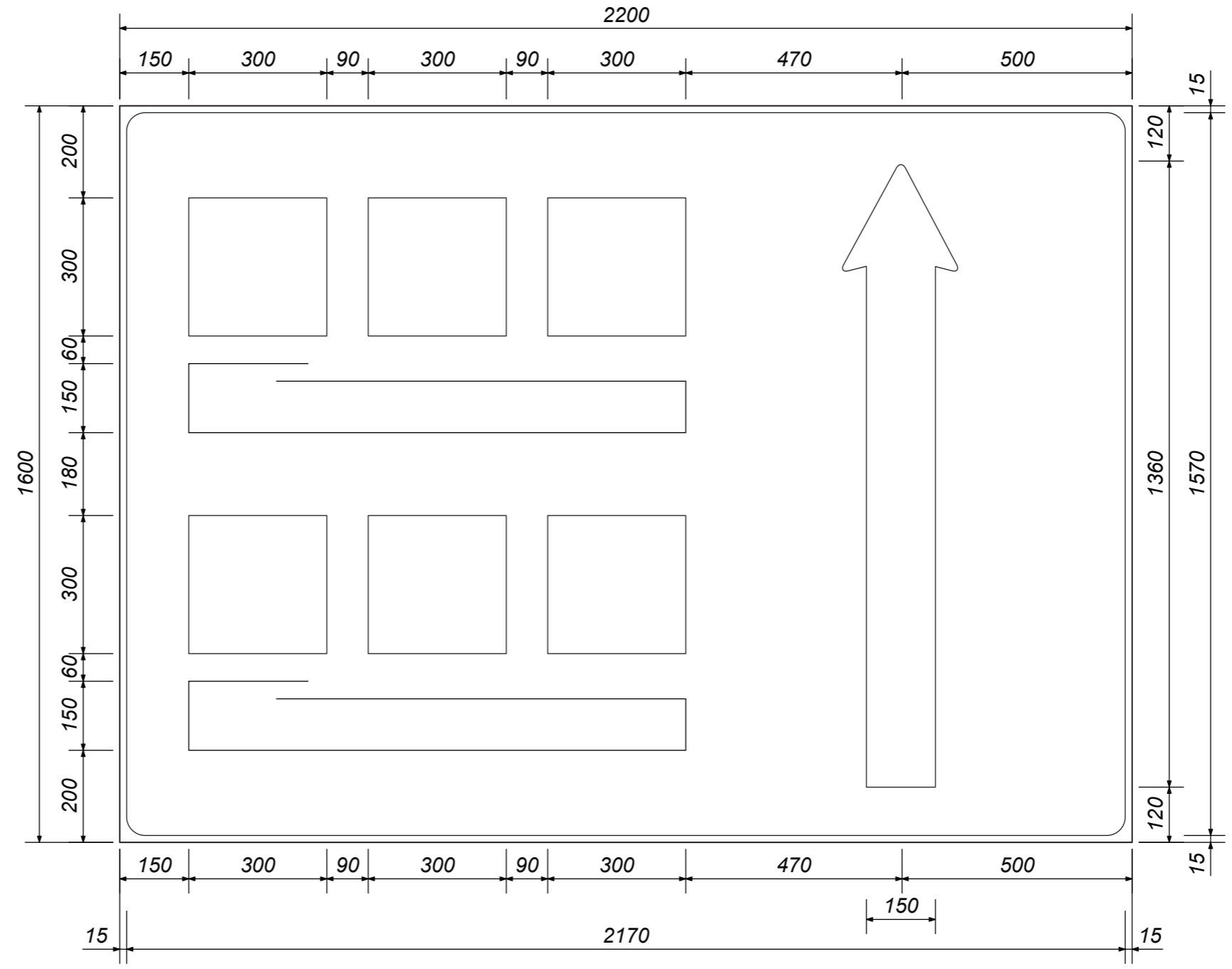
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-52

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-B) **B-52**



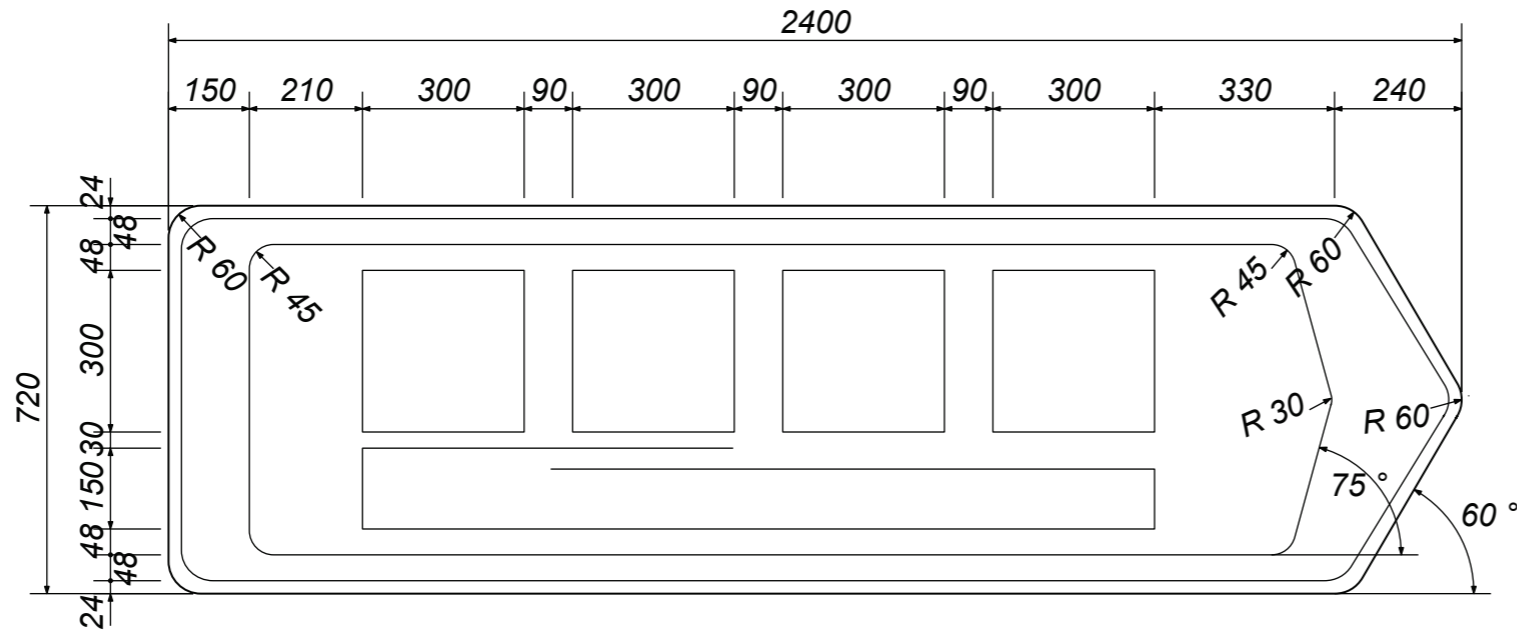
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-52

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 方面及び方向 (108の2-B) **B-52**

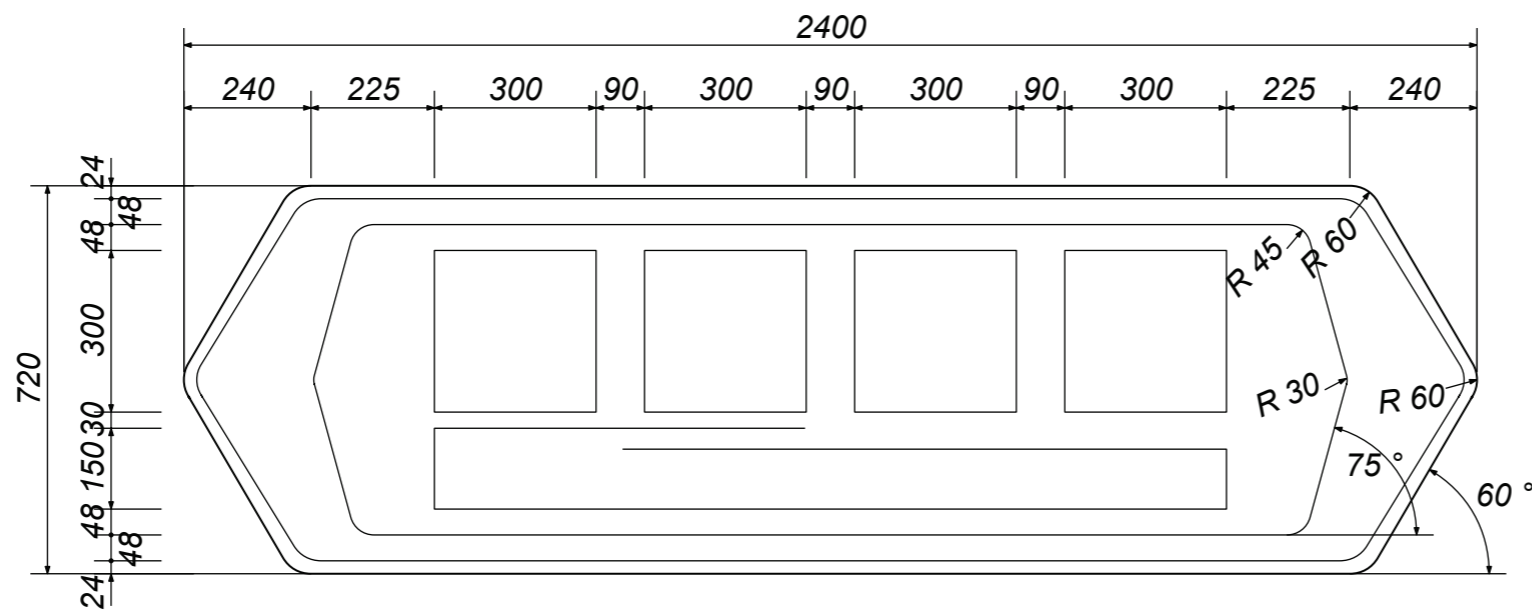


型 式	
-----	--

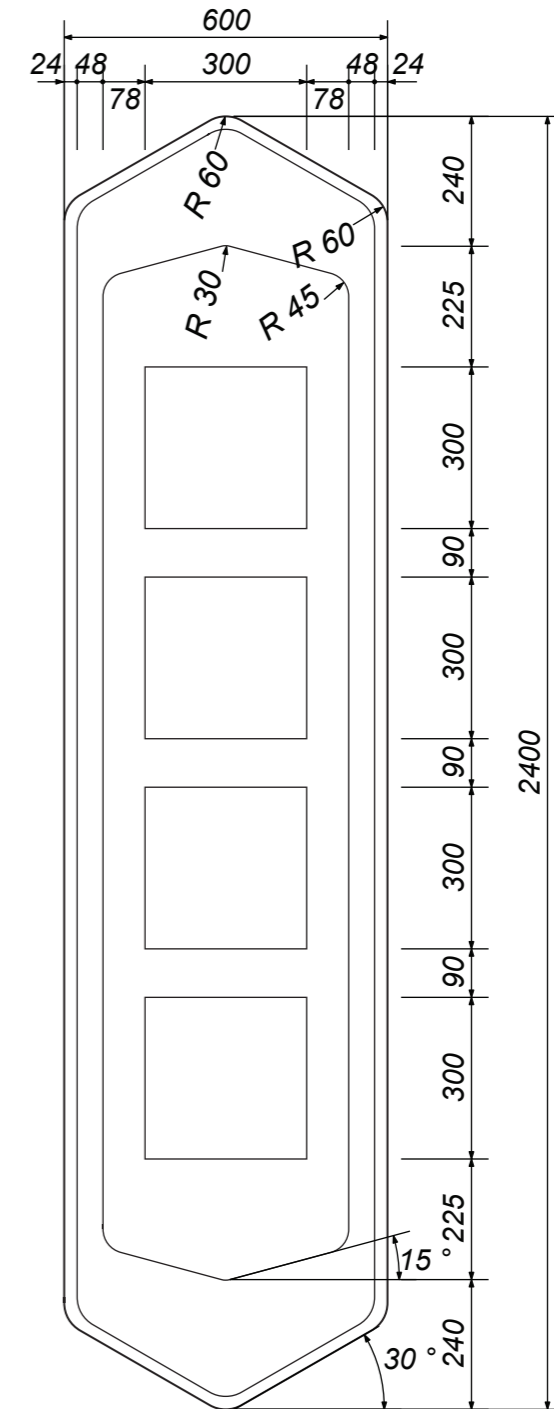
[オーバーヘッド式]
道路の通称名 (119-A)



[オーバーヘッド式]
道路の通称名 (119-B)

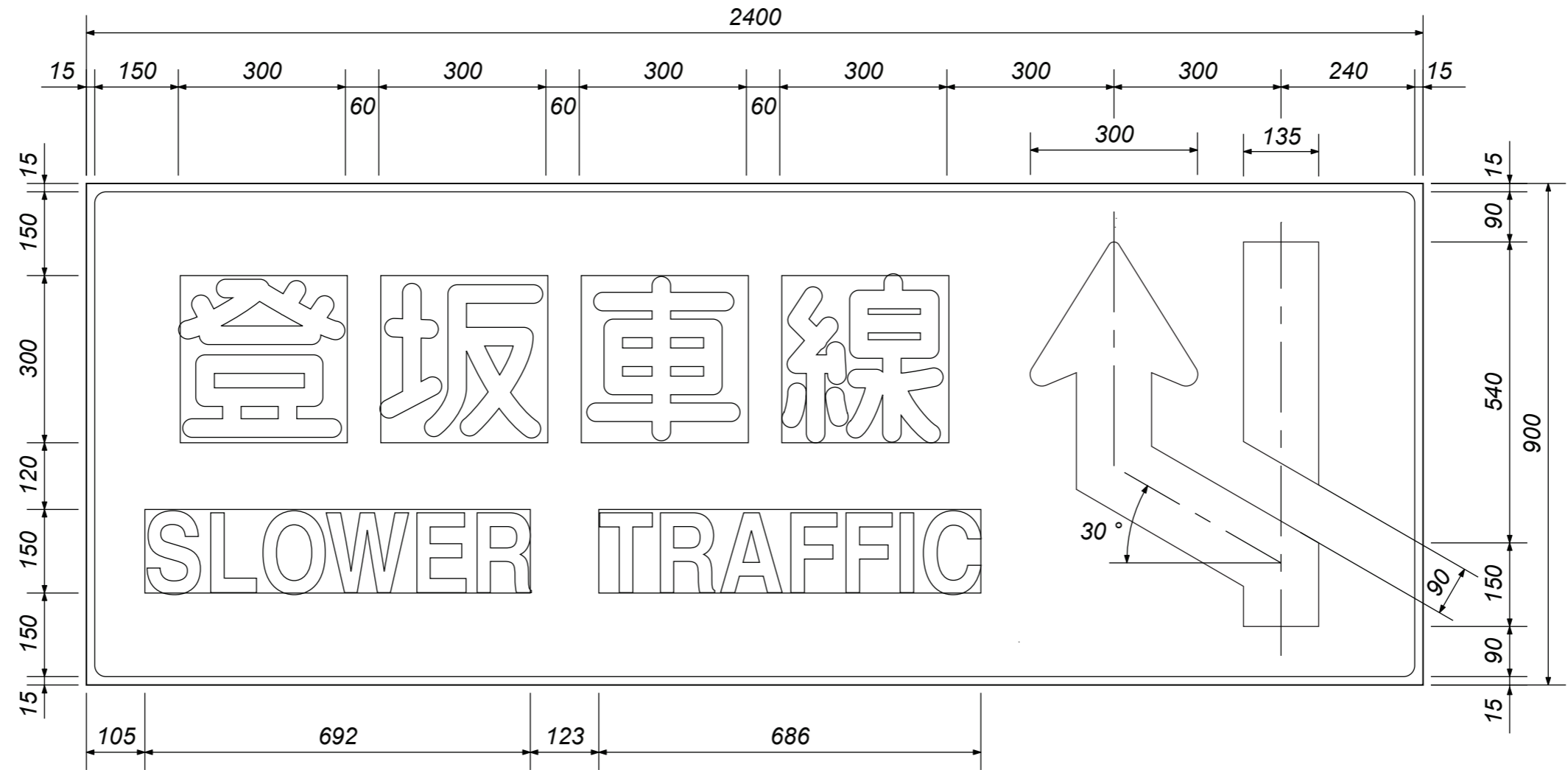


[オーバーヘッド式]
道路の通称名 (119-C)



レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-70

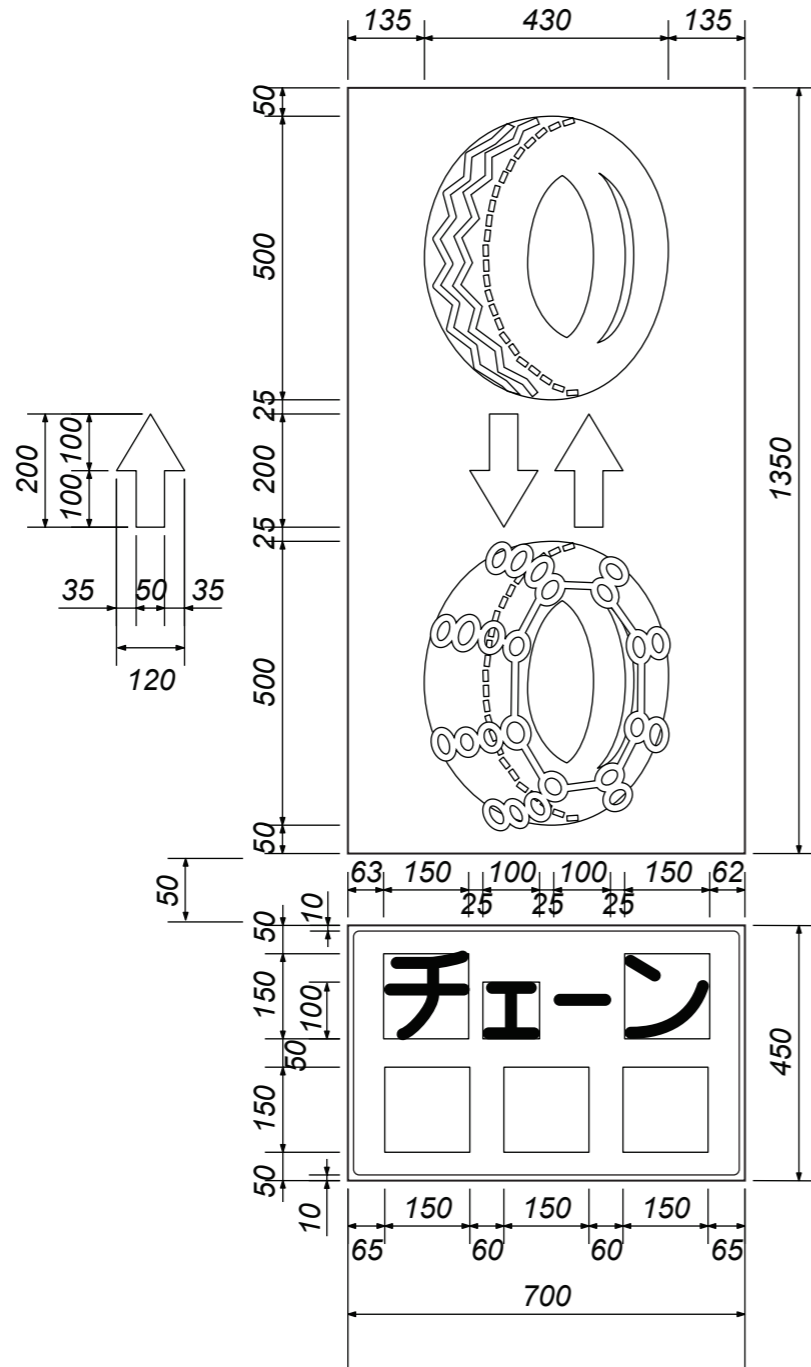
[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 登坂車線 (117の2-A) **B-70**



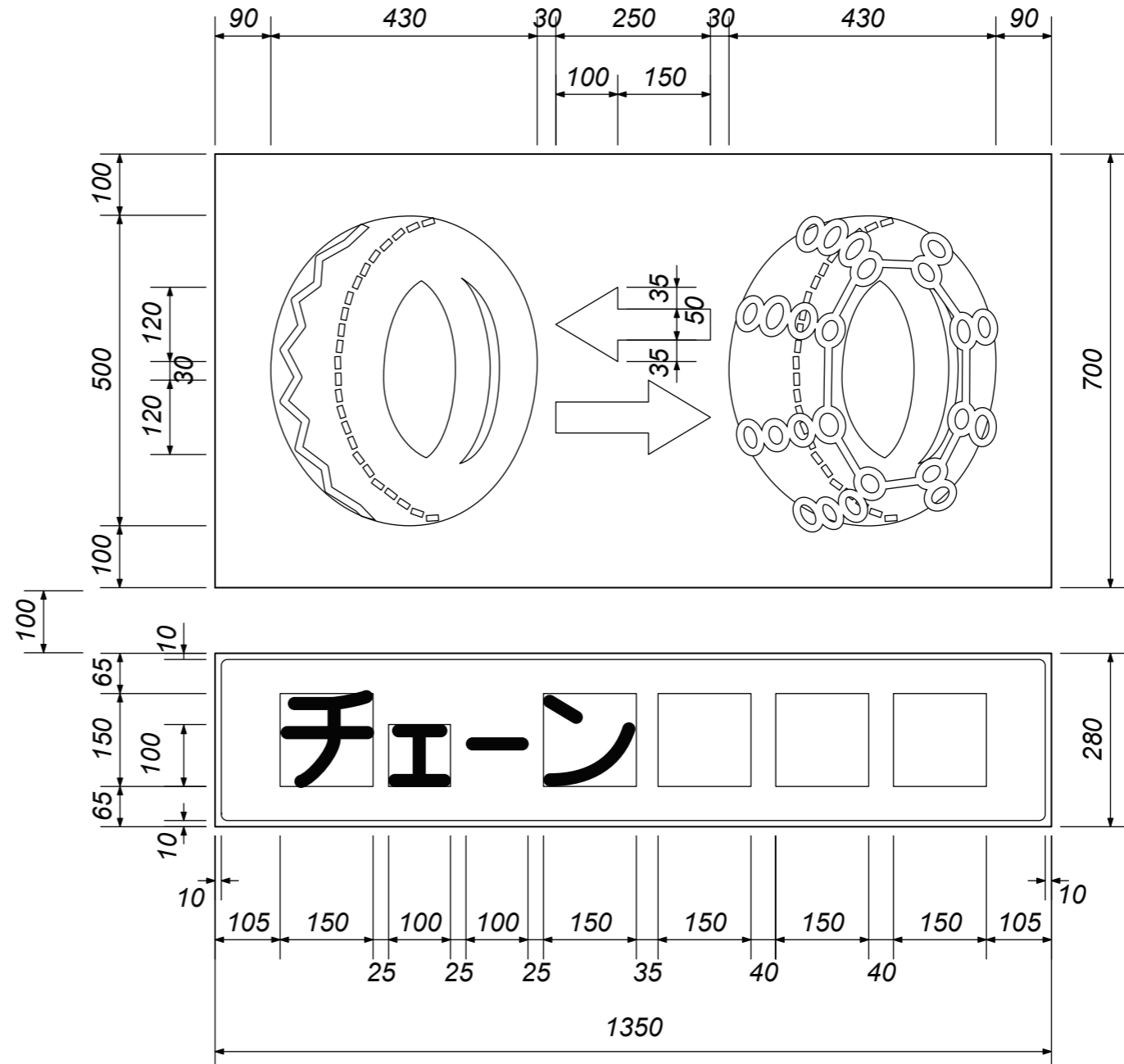
レイアウト図 (路側式・オーバーハング式・オーバーヘッド式)

型式	A-71 B-75
----	-----------

[路側式] チェーン着脱場 **A-71**

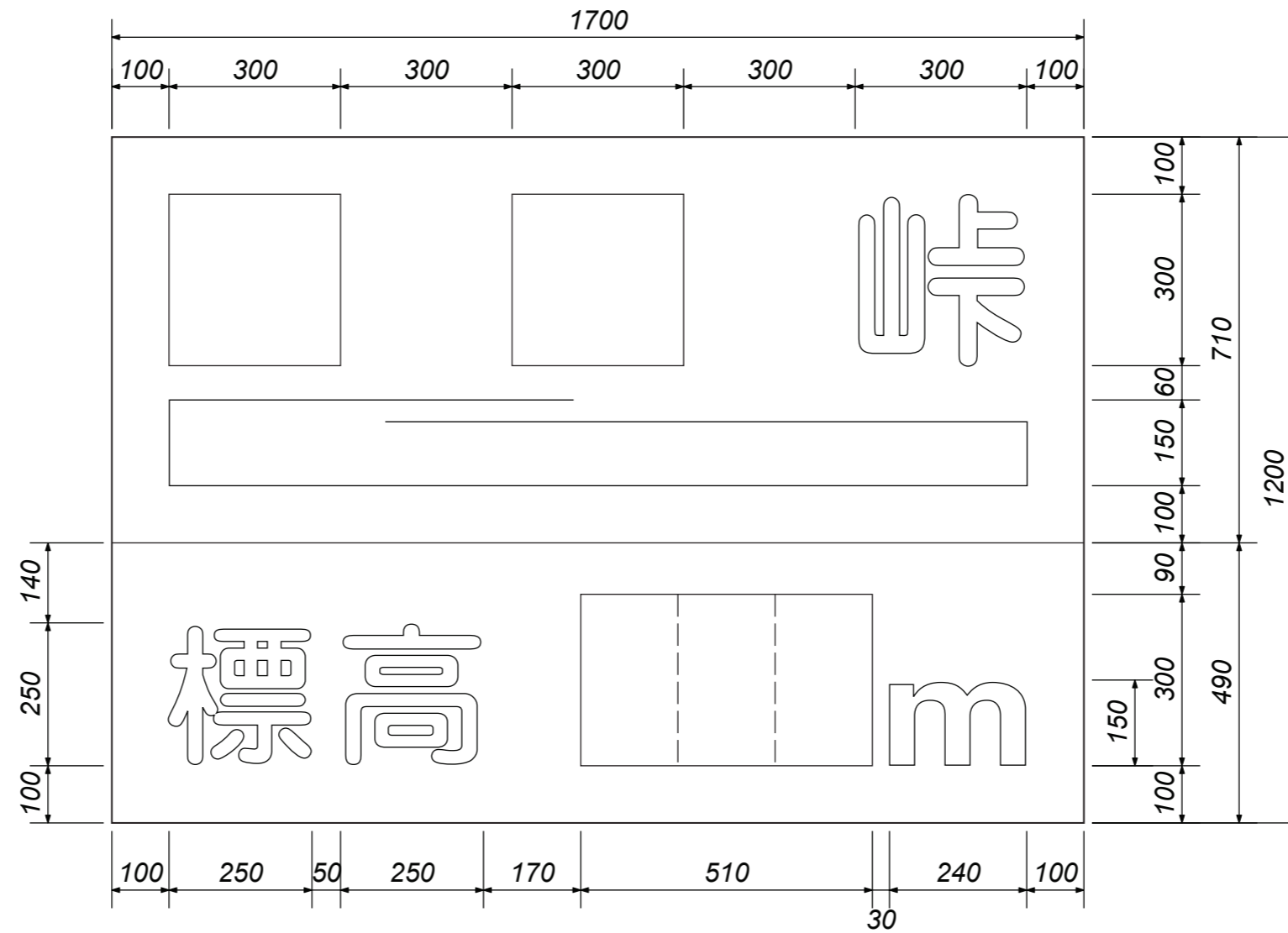


[オーバーハング式]
[オーバーヘッド式] チェーン着脱場 **B-75**



レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-73

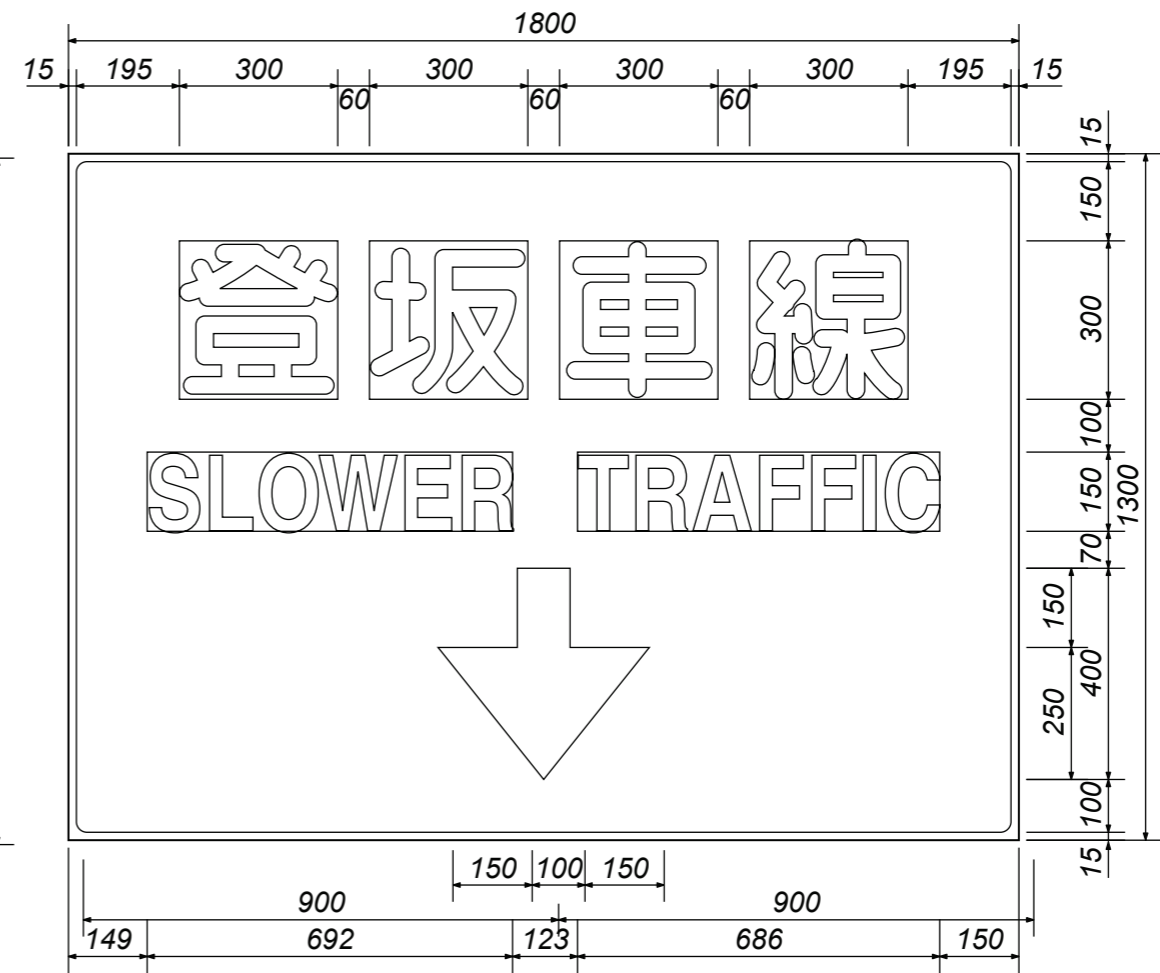
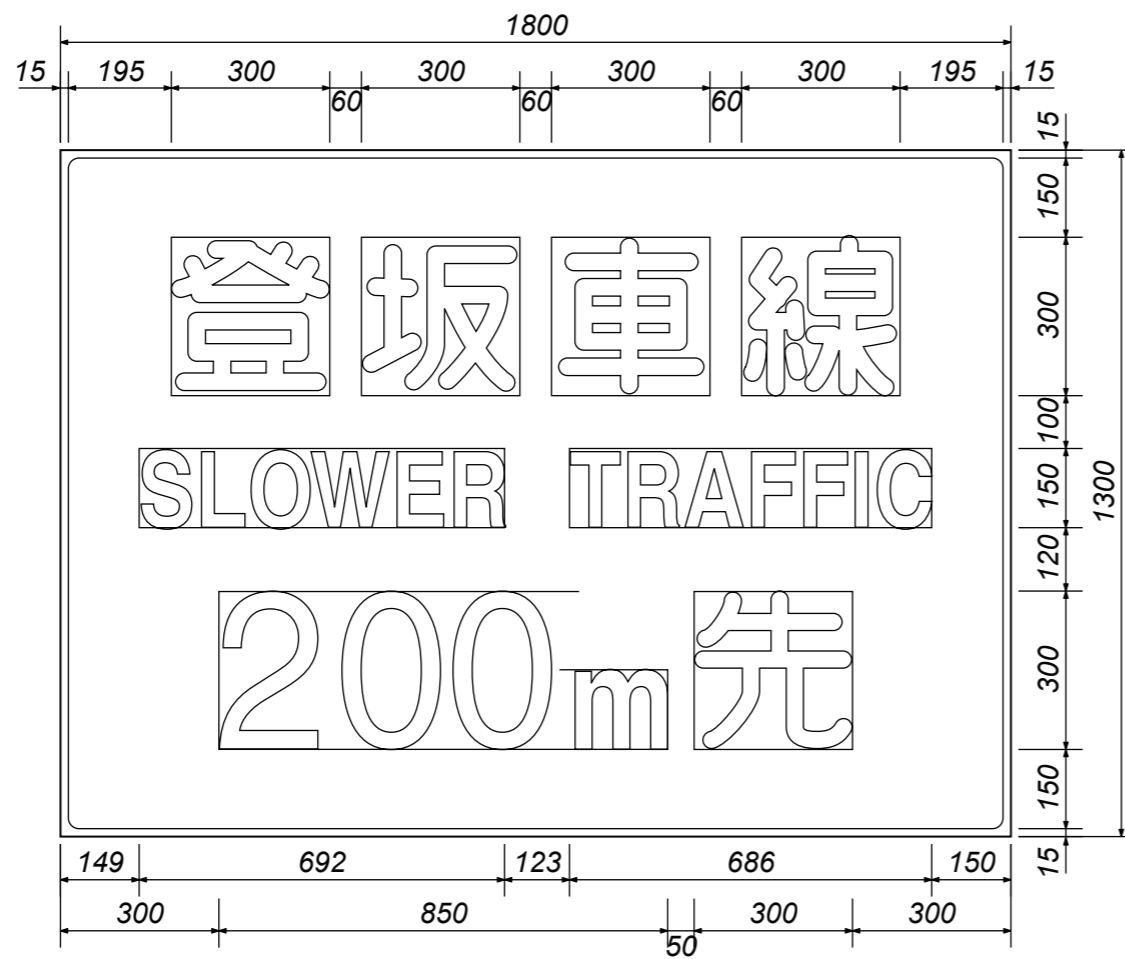
[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 峠名 **B-73**



レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-71

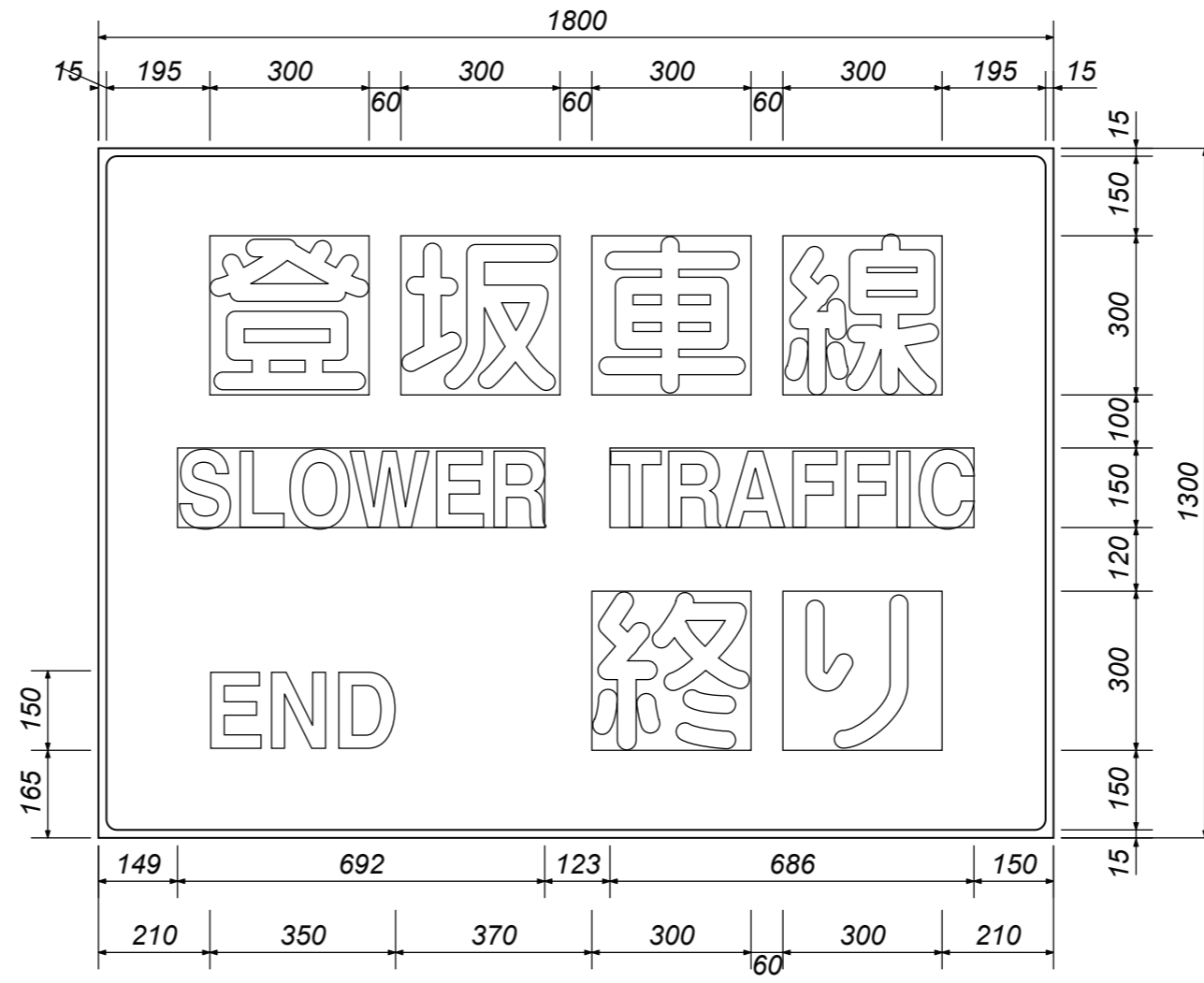
[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 登坂車線の予告 **B-71**

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 登坂車線 **B-71**

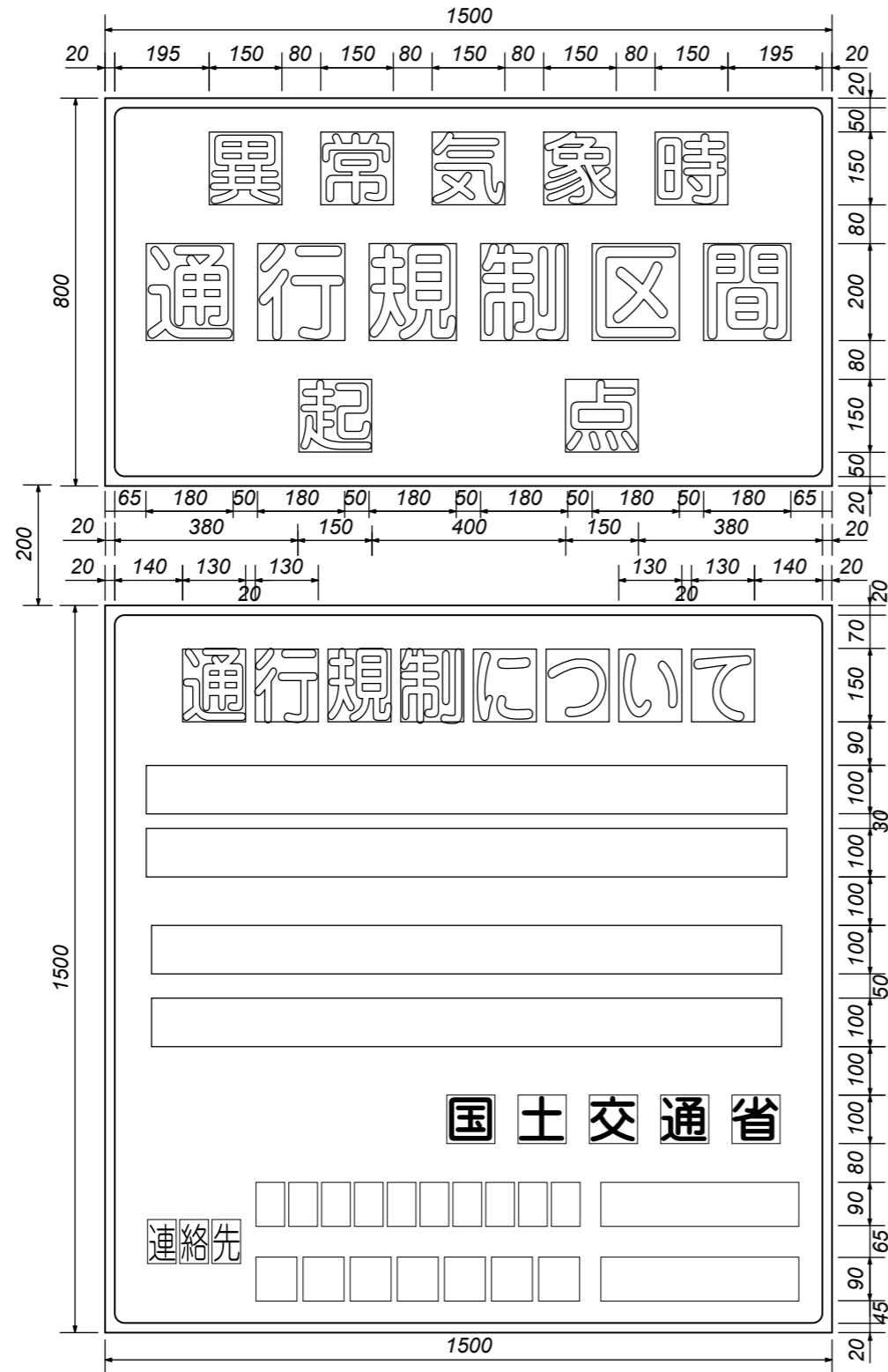


レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-71

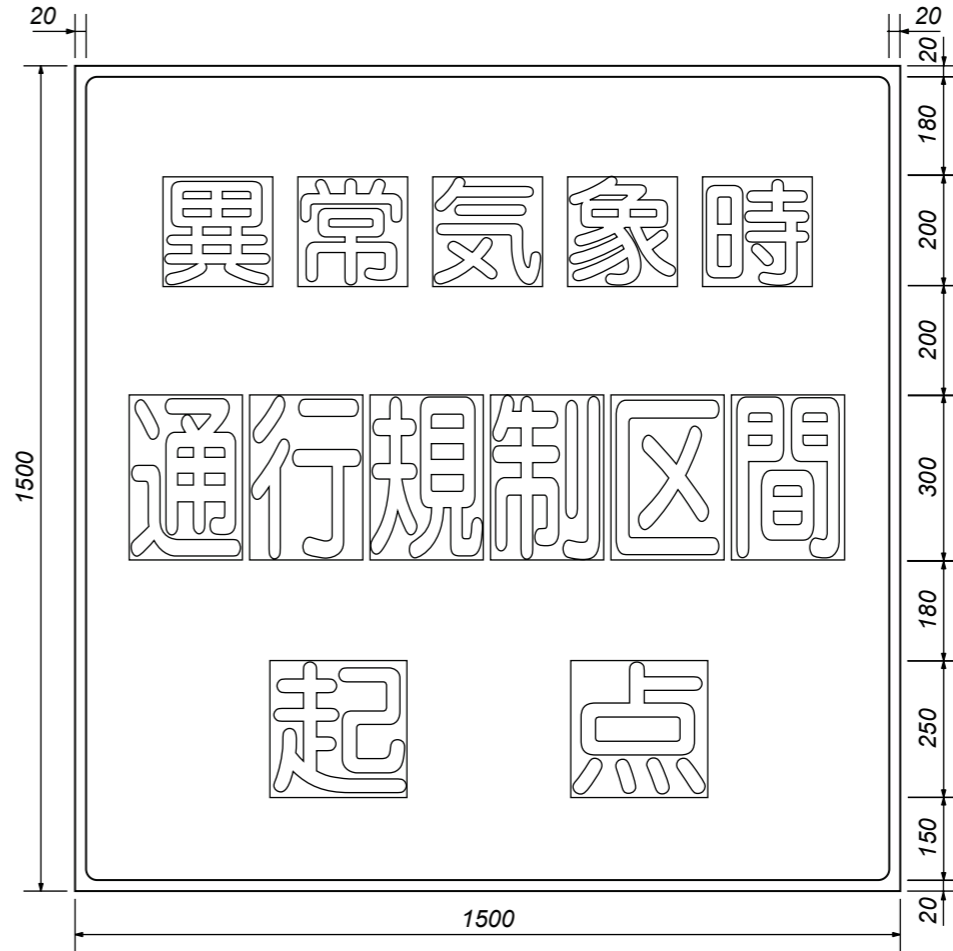
[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 登坂車線 **B-71**



[路側式 (複柱)] 交通規制区間 **A-70**
 ※裏面は「起点」の箇所を「終点」とする

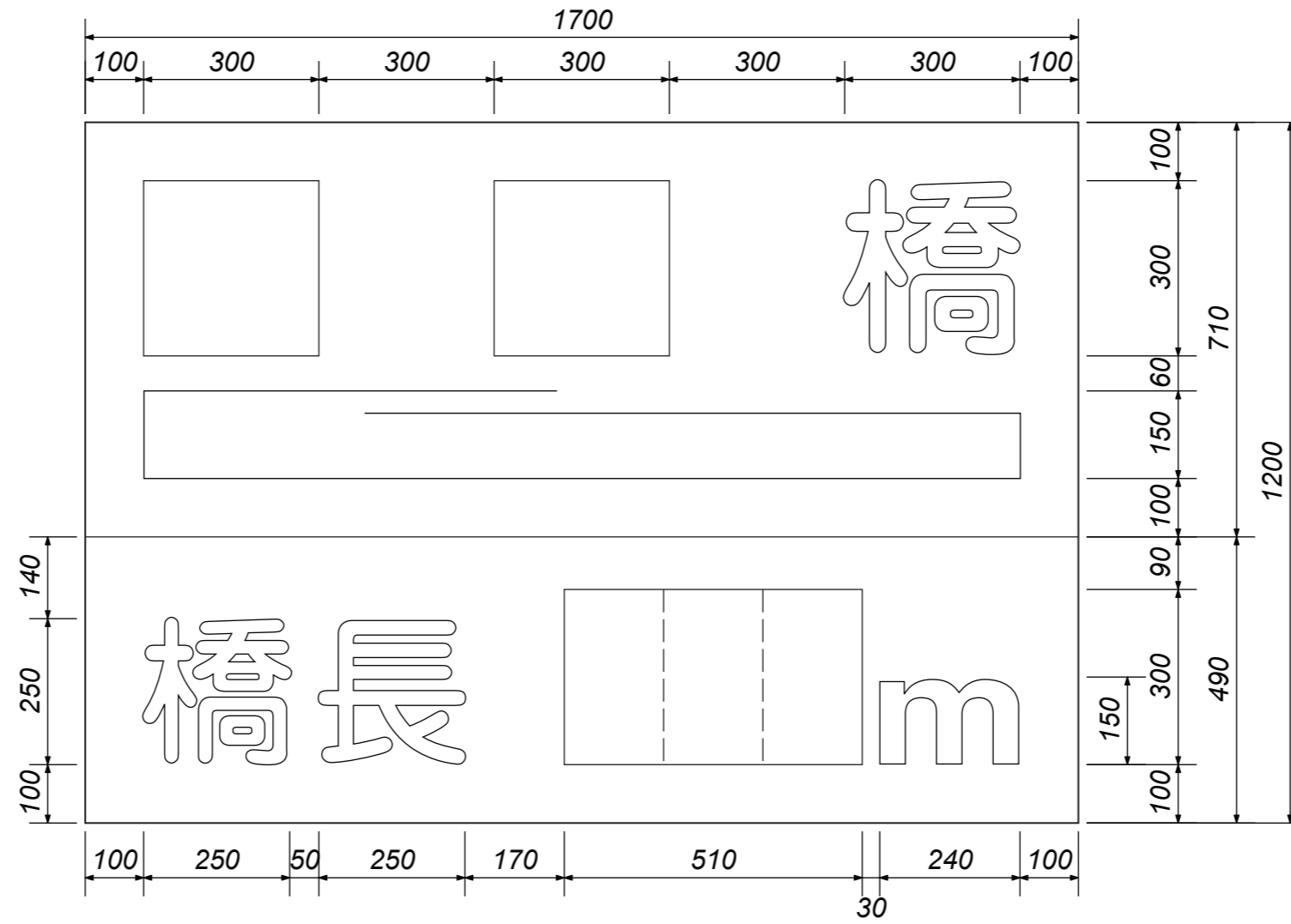


[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 交通規制区間 **B-72**
 ※裏面は「起点」の箇所を「終点」とする

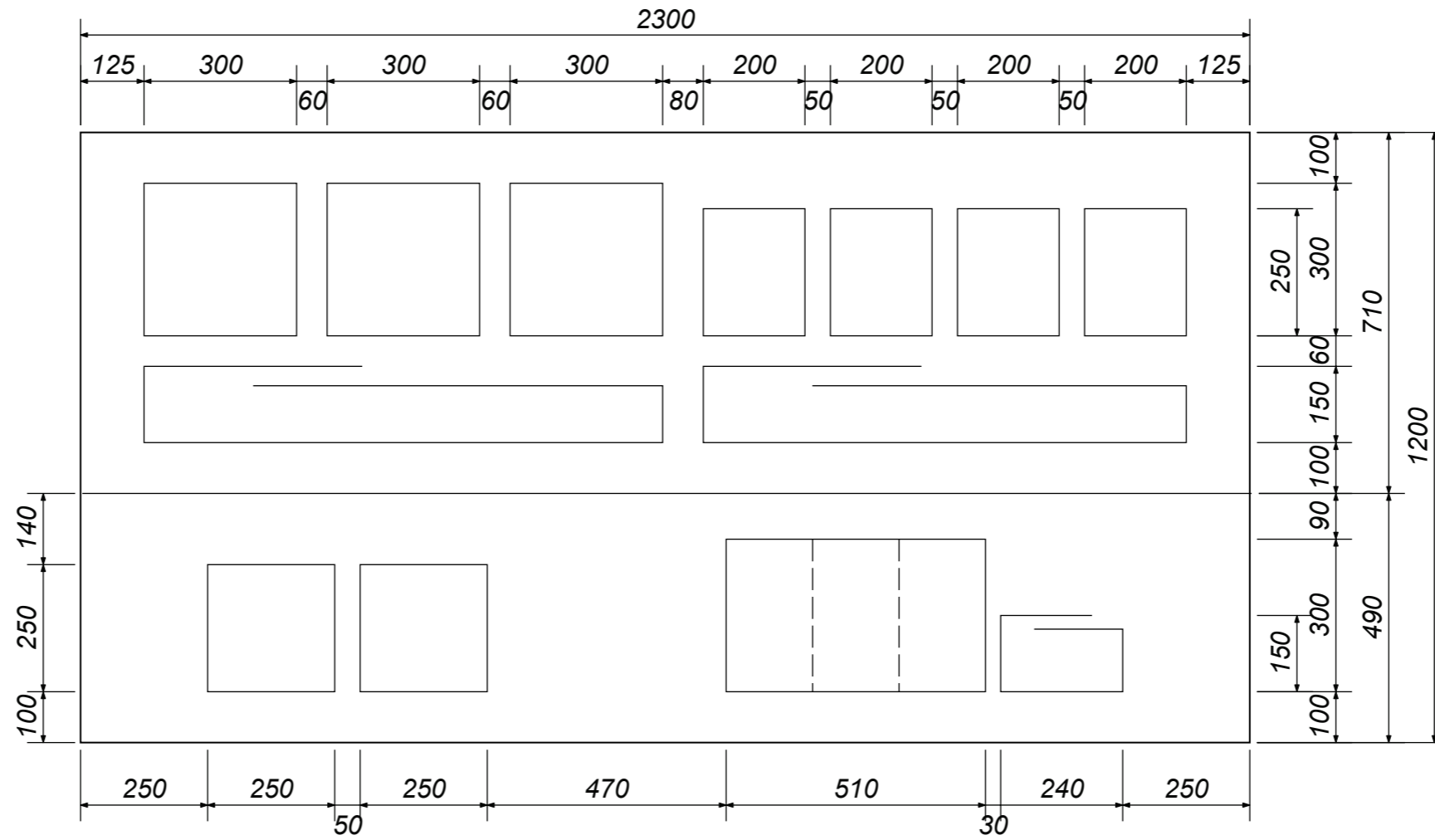


レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-73

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 橋名 **B-73**

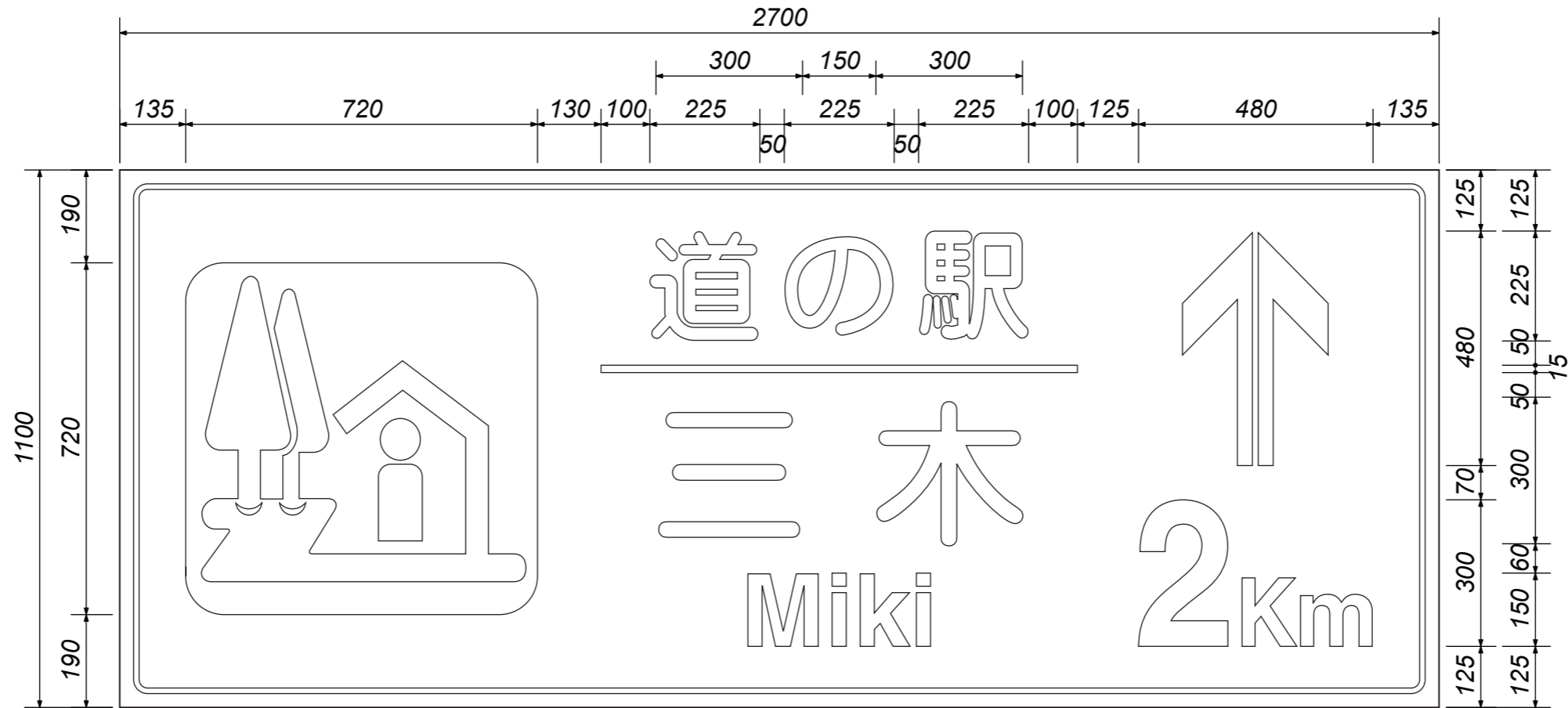


[路側式]
[オーバーハング式] トンネル名 **B-74**



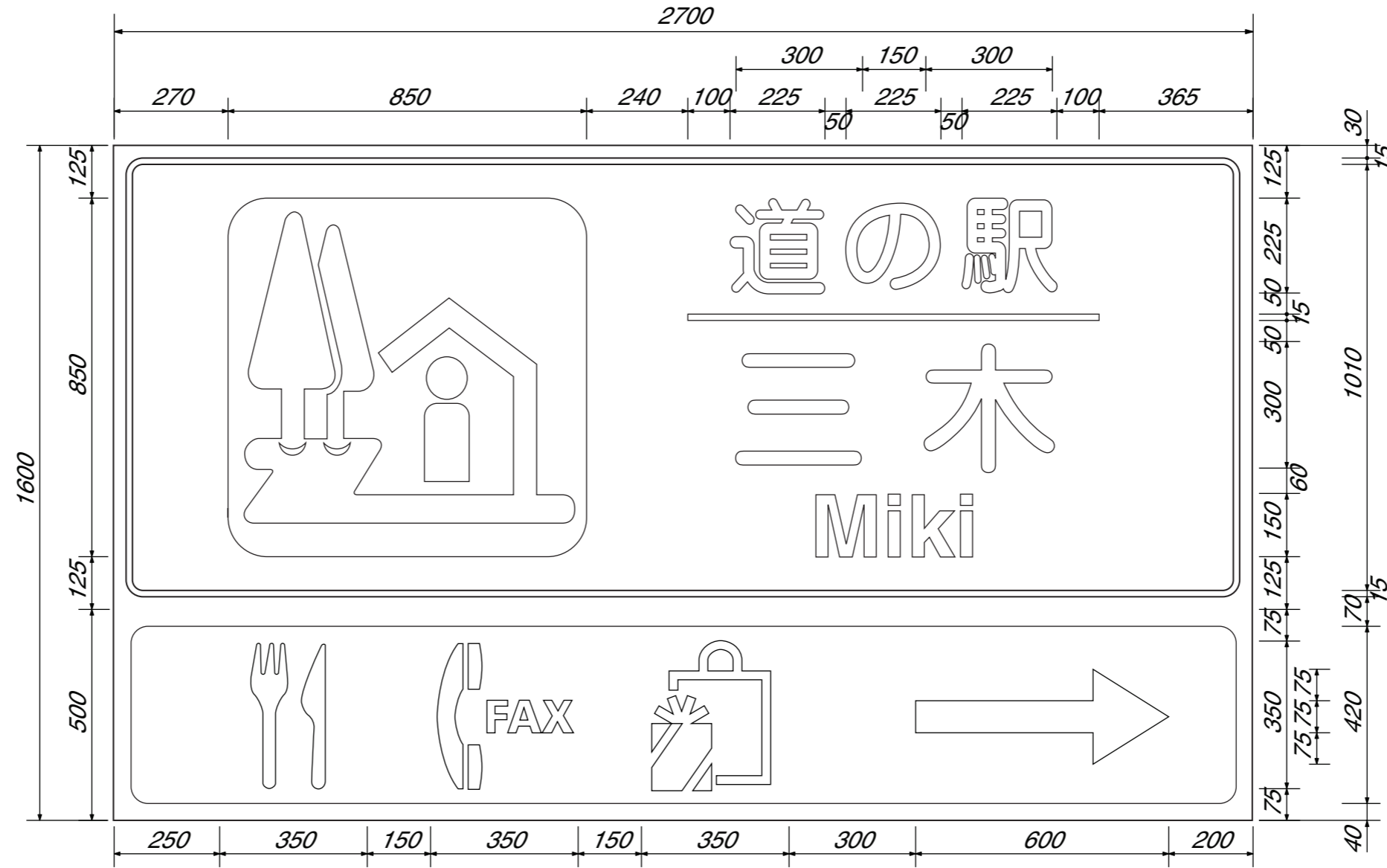
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-76

[オーバーハング式]
[オーバーヘッド式] 道の駅 **B-76**



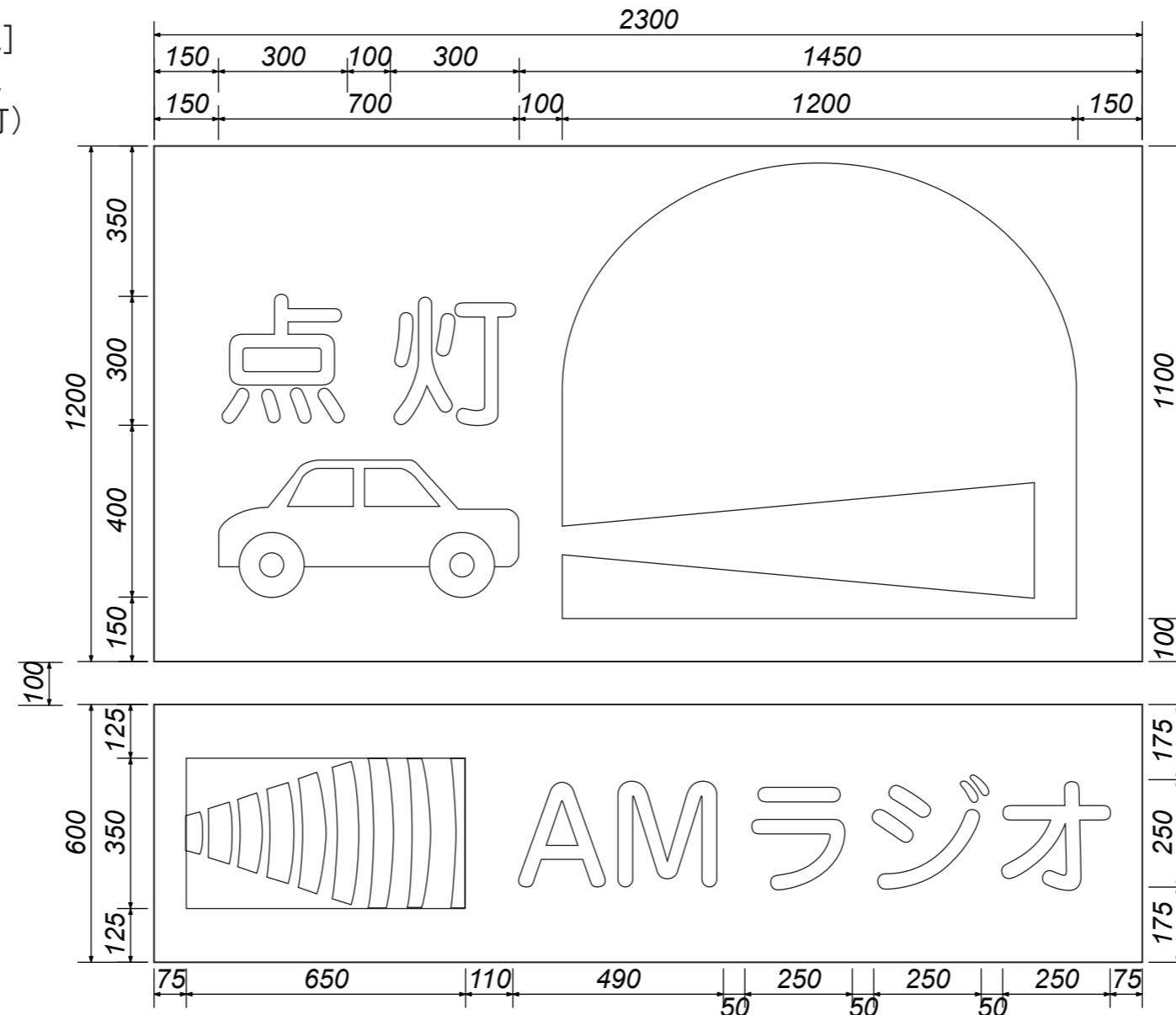
レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-77

[オーバーハング式]
 [オーバーヘッド式] 道の駅 **B-77**



レイアウト図 (オーバーハング式・オーバーヘッド式)	
型式	B-78 B-79

[オーバーハング式]
[オーバーヘッド式]
トンネル入口 (点灯)
B-78



[オーバーハング式]
[オーバーヘッド式]
トンネル出口 (消灯)
B-79

